名古屋城天守閣木造復元に向けた調査業務

報告書

― 目　　次 ―

業務概要 1
調査目的 1
業務概要 1
業務フロー 2

1. 入場者数見込み調査及び事業収支計画の策定 3
1.1. 入場者数見込み調査 3
1.1.1. アンケートアプローチ 5
1.1.2. 統計アプローチ 88
1.1.3. ２つのアプローチにみる入場者数見込み数の妥当性の確認 95
1.2. 事業収支計画の策定 98
1.2.1. 名古屋城運営における事業収支の概要 98
1.2.2. 事業収支計画の策定 99
1.2.3. 参考）入場料金別事業収支計画 104
1.2.4. 参考）収支均衡に必要な入場者数 104

2. 民間活力の導入の検討 105
2.1. 名古屋城に関する課題の整理 105
2.2. 管理運営にかかる民間活力の導入 106
2.2.1. 支出内容の確認 106
2.2.2. 管理運営における民間活力の導入 109
2.3. 便益施設及び収益事業にかかる民間活力の導入 111
2.3.1. 想定される民間活力手法 111
2.3.2. 想定される便益施設・収益事業の取り組み例 115
2.3.1. 収益事業の検討（効果等の確認） 116
2.4. 観光視点・家族視点などにかかる民間活力の導入 122
2.4.1. 基本的な考え方 122
2.4.2. 名古屋城での観光視点・家族視点の取り組み 123
2.4.3. 事例調査 124

3. 名古屋城に係る課題整理（法令整備、便益施設改善など） 126
3.1. 関係諸法令の要点整理 126
3.1.1. 特別史跡等に係る法令 126
3.1.2. その他関係法令 129

3.1.3. 入場者数を増加させる要因の洗い出し 130

4. 入場者数増加策の提案 143

4.1. 入場者数を増加させるための方策 143

4.2. 収支を均衡させるための方策 144

5. 経済波及効果調査 146

5.1. 分析目的 146

5.2. 分析手法 146

5.2.1. 産業の連関関係と産業連関表 146

5.2.2. 産業連関分析の用語 147

5.2.3. 産業連関分析の留意事項 149

5.3. 分析フロー 150

5.3.1. 名古屋城天守閣木造復元の経済波及効果の算出について 151

5.3.2. 名古屋城入場者の観光消費による経済波及効果の算出について 151

5.4. インプットデータ（発生需要額の設定） 152

5.4.1. 名古屋城天守閣木造復元の工事費 152

5.4.2. 名古屋城入場者の観光消費 152

5.4.3. 発生需要額における購入者価格と生産者価格の概念の違い 162

5.5. 経済波及効果（誘発効果）の算出 164

5.5.1. 名古屋城天守閣木造復元の工事費による経済波及効果 164

5.5.2. 名古屋城入場者の観光消費による経済波及効果 165

5.5.3. 既往調査事例との経済波及効果の比較 168

6. 各分野の専門家から構成される会議体の意見聴取・監修の実施 173

6.1. 会議概要 173

6.2. 開催結果 174

6.2.1. 第 1 回会議 174

6.2.1. 第 2 回会議 181

資　料　編 187

業務概要

調査目的

名古屋城は、本市における観光拠点であるとともに本市が実施したアンケート調査においても「名古屋の誇り」という回答が最も多いなど市民愛着度の高い施設である。一方、本市では「名古屋城天守閣の木造復元」を検討しており、多額の投資（最大 505 億円）に向けた経営計画の策定が必要となっている。

そこで本業務では、天守閣を木造復元（竣工）した場合の①入場者数見込み及び収支計画の策定、②民間活力の導入検討、③課題整理、④入場者数増加策の検討、⑤経済波及効果の推計の調査を行うことを目的とする。

業務概要

■業務名称　：　名古屋城天守閣木造復元に向けた調査業務委託
■履行期間　：　平成２９年９月２６日～平成３０年２月２８日
■発注者　　：　名古屋市
■受注者　　：　三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
■業務項目　：

１．入場者数見込み調査及び事業収支計画の策定
（１）入場者数見込み調査
（２）事業収支計画の策定
２．民間活力の導入の検討
（１）名古屋城に関する課題の整理
（２）管理運営にかかる民間活力の導入
（３）便益施設及び収益事業にかかる民間活力の導入
（４）観光視点・家族視点などにかかる民間活力の導入
３．名古屋城にかかる課題整理
４．入場者数増加策の提案
５．経済波及効果調査
６．各分野の専門家から構成される会議体の意見聴取・監修の実施

業務フロー

本業務は、以下に示す業務フローに基づき実施した。

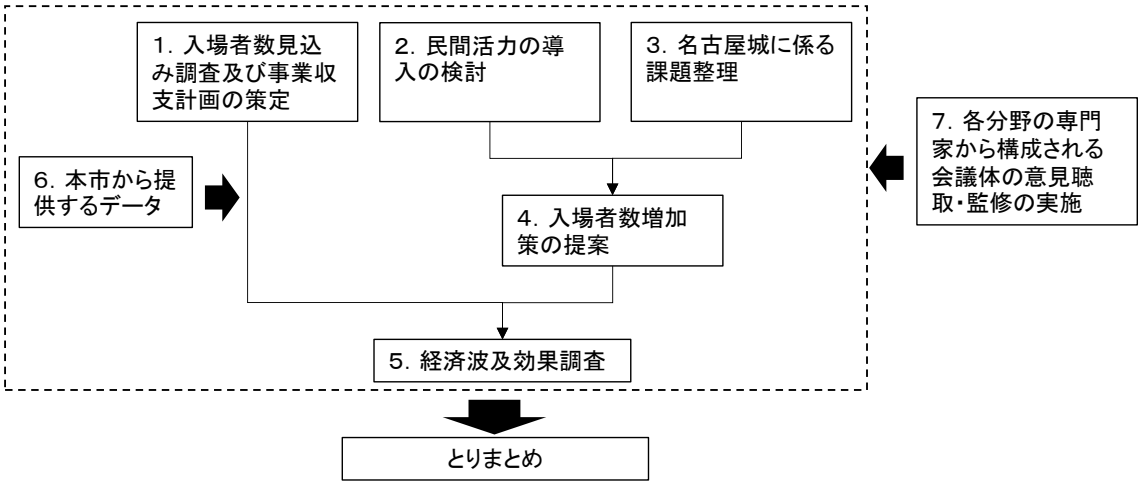


図 0-1　業務フロー

1. 入場者数見込み調査及び事業収支計画の策定

1.1. 入場者数見込み調査

入場者数見込みを推計するにあたり、「アンケートアプローチ」を基軸として、「統計アプローチ」を加えて、説明力のある入場者数の推計を下図に示すフローにより行った。

推計にあたっては、図 1-2 に示すように、現在から平成 38 年度（2026 年度）までを「短期」、平成 39 年度以降を「長期」と定義し、「短期」では各年度に計画されている変化要因を具体的に設定して入場者数を推計した。また、「長期」では、全国の人口変化等のトレンドに応じた入場者数を推計した。

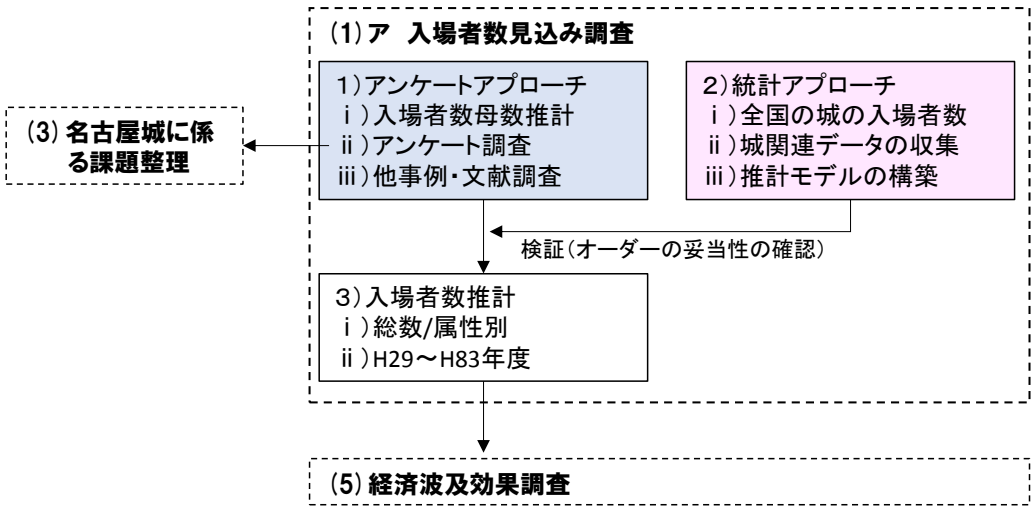


図 1-1　調査フロー

	年度		1)アンケートアプローチ				2)統計アプローチ
	西暦	和暦	ⅰ)入場者数母数の推計	想定される入場者数変化要因	ⅱ)アンケート調査	ⅲ)他事例・文献調査	統計データを用いた分析内容
内容	―	―	全国人口 中京都市圏人口 訪日外国人旅行者数 全国トリップ数、等	リニア 国際イベント 復元工事期間 周辺施設、等	訪問実態 来場意向 観光計画実行度、等	復元後の変動 工事期間中の変動 リニアの影響 国際イベントの影響、等	入場者数を非説明変数とし、入場者数変化要因を説明変数とする推計モデルの構築
現状	2016	H28	（分析にあたっての基準年度）				
短期	2017	H29	全国総人口1.26億人				入場者数変化要因の変数を変化させて分析を行う。 ・アクセス（背後圏人口、等） ・魅力（世界遺産登録の有無、メディア露出度等） ・その他（入場料金、工事有無等） ・アクセス ・周辺観光資源、等 ※ただし、統計的有意となる変数のみが対象
	2018	H30		金シャチ横丁/入場制限	◎	◎	
	2019	H31		金シャチ横丁/入場制限	◎	◎	
	2020	H32		復元工事着手/OP	◎	◎	
	2021	H33		復元工事着手	◎	◎	
	2022	H34		復元工事着手	◎	◎	
	2023	H35		木造復元完成	◎	◎	
	2024	H36		オープン後の逓減		◎	
	2025	H37		オープン後の逓減		◎	
	2026	H38		アジア大会開催/ オープン後の逓減		◎	
長期	2027	H39	リニア名古屋開業	リニア名古屋開業	◎	◎	全国人口、外国人旅行者数のトレンドを用いた補正 リニア開業に伴う2時間圏の広がり
	…	…					
	2030	H42	訪日外国人6,000万人（目標）				
	…	…					
	2037	H49	リニア大阪開業	リニア大阪開業	◎	◎	
	…	…					
	2071	H83					

図 1-2　各調査の位置付け

1.1.1. アンケートアプローチ

アンケートアプローチに基づく入場者数推計フローは下図の通りとした。

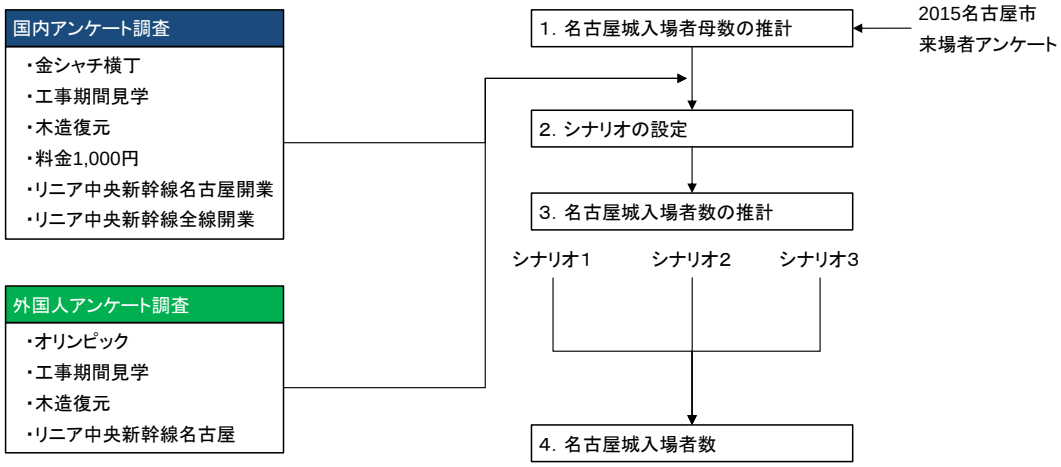


図 1-3　アンケートアプローチフロー

(1) 入場者母数の推計

入場者数の基礎となる入場者数母数（名古屋市への交流人口）は「全国人口」、「中京都市圏人口」、「訪日外国人旅行者数」、「名古屋市総生産」の相関関係より推計を行った。これにより、社会経済動向を踏まえた基礎となる将来推計が可能になる。

国内の交流人口は、経済活動及び人口動向の影響を考慮できるように、国内総生産をベースとして、家計支出内の交通費支出額と輸送量の関係から推計した。また、国外からの交流人口は、訪日外国人数をベースに推計した。

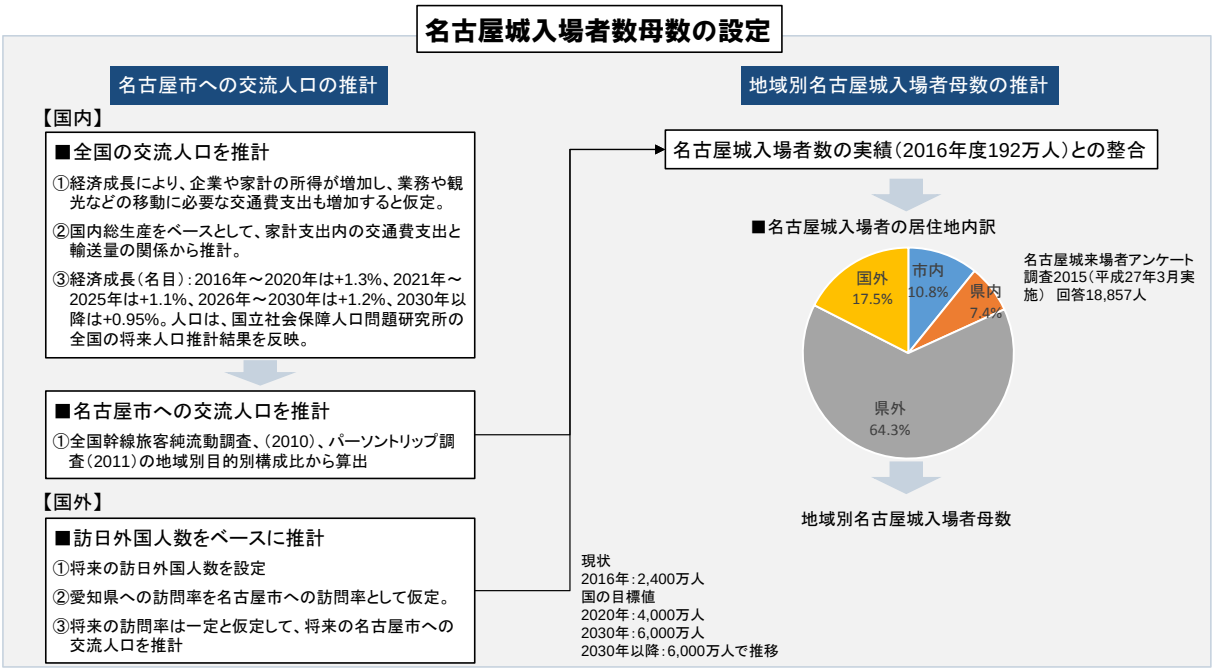


図 1-4　入場者母数の推計の考え方

a） 名古屋市への交流人口の考え方（名古屋城入場者数母数の推計（企画部調査報告書より一部抜粋）

国内の交流人口は、経済活動及び人口動向の影響を考慮できるように、国内総生産（名目）をベースとして、家計支出内の交通費支出額と輸送量の関係から推計した。また、国外からの交流人口は、訪日外国人数をベースに推計した。

（前提条件）
○人々は日常・非日常問わず、所得制約のもとで交通費支出を伴う移動を行っている。
○所得が多くなれば（＝企業の業績がよくなれば、＝景気がよくなれば）、様々な財・サービスを購入することができ、たとえば、個人では観光旅行を行ったり、ビジネスでは出張等の移動も増えたりと交通費支出も同様に増加すると考えられる。
○この場合、全国国内総生産（GDP）の将来設定はシナリオとして設定する。
○また、リニア中央新幹線、訪日外国人数、アジア競技大会の影響についてはシナリオとして設定する。

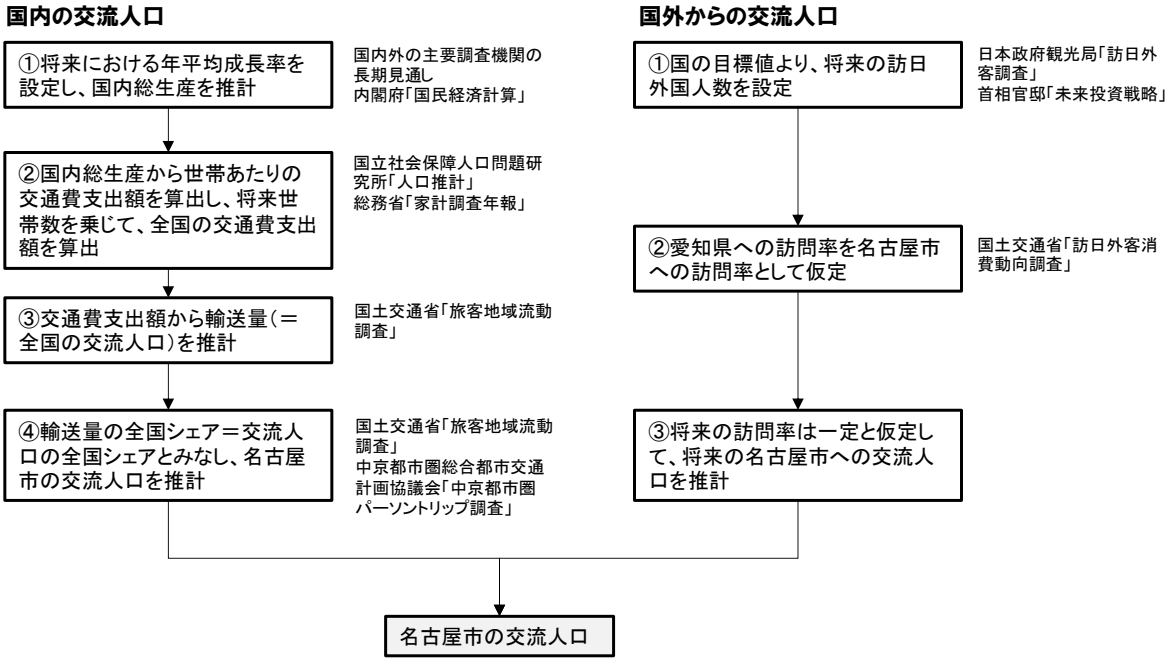


図 1-5　入場者母数推計フロー

b） 国内の名古屋市への交流人口の推計

■ 将来における年平均成長率を設定し、国内総生産を推計

平成 28（2016）年～平成 42（2030）年までは、国内の主要調査機関の長期見通しにみる年平均成長率をもとに設定した。各調査機関が公表している数値をみると、平成 28（2016）年～平成 32（2020）年では、(株)第一生命経済研究所及び三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)において他社と比較して若干低めの数値となっているが、ここでは、2030 年までは、各調査機関の平均値を採用することとした。

平成 42（2030）年以降については、平成 62（2050）年までの長期見通しを行っている世界の調査機関の数値を元に設定した。これをみると、シティグループ（アメリカ）が示す年平均成長率が最も大きい数値である一方、21 世紀政策経済研究所（日本）はマイナス成長

と調査機関で大きなばらつきがみられる。平成 42（2030）年までの国内調査機関の推移を踏まえ、公表年が平成 28（2016）年と最も新しいプライスウォーターハウスクーパーズ（イギリス）の数値が妥当と判断し+0.95%を用いた。

具体的には、平成 28（2016）年～平成 32（2020）年は＋1.5%、平成 33（2021）年～平成 37（2025）年は＋1.4%、平成 38（2026）年～平成 42（2030）年は＋1.2%、平成 42（2030）年～は＋0.95%とした。

表 1-1　国及び国内の調査機関の長期見通しにみる年平均成長率

	公表年	年平均成長率			
		2016～2020	2021～2025	2026～2030	平均値
(株)第一生命経済研究所 世界の長期見通し	2015 年	+0.9%	+1.1%	+0.9%	+1.0%
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 日本経済の中期見通し　2016～2030 年度	2017 年	+1.1%	+1.0%	+1.4%	+1.2%
(株)三菱総合研究所 内外経済の中長期展望　2015～2030 年度	2015 年	+1.9%	+1.4%	+1.4%	+1.6%
明治安田生命保険相互会社 日本経済中期見通し　2017～2026 年度	2017 年	+1.6%	+1.6%	-	+1.6%
(株)大和総研 日本経済見通しの概要とリスクシナリオ	2017 年	+1.5%	+1.9%	-	+1.7%
内閣府 中長期の経済財政に関する資産	2017 年	+1.9%	+1.2%	-	+1.6%
平均値	―	**+1.5%**	**+1.4%**	**+1.2%**	+1.4%

表 1-2　2050 年までの長期見通しを行っている調査機関の年平均成長率

	公表年	2030 年	2050 年	年平均成長率
HSBC（イギリス） 「The World in2050」	2012 年	―	6,429US＄	2030～2040　+0.9% 2040～2050　+1.0%
シティグループ（アメリカ）	2011 年	9,213US＄	16,394US＄	+2.9%
ゴールドマンサックス（アメリカ）	2007 年	5,814US＄	6,677US＄	+0.7%
プライスウォーターハウスクーパーズ（イギリス）	**2016 年**	**5,606US＄**	**6,779US＄**	**+0.95%**

■ 国内総生産から世帯あたりの交通費支出額を算出し、将来世帯数を乗じて、全国の交通費支出額を算出

1) 世帯あたり家計支出の推計

平成 23（2000）年度から平成 25（2013）年度における国内総生産（GDP）と世帯あたり家計支出の相関関係を求め、前述した経済成長率に基づき推計した GDP より、将来の世帯あたり家計支出を推計した。

【使用データ】
国内総生産：内閣府「国民経済計算」（国内総生産（支出側）名目暦年）の数値
世帯あたり家計支出：総務省「家計調査年報」（1 世帯あたり年平均 1 ヶ月の支出－二人以上の世帯）の数値
【相関係数】0.717

2)世帯あたり交通費支出額の推計

1)で推計した世帯あたり家計支出計に占める交通支出額割合を求め、世帯あたり交通費支出額を推計した。

【使用データ】
世帯あたり家計支出：総務省「家計調査年報」（1 世帯あたり年平均 1 ヶ月の支出－二人以上の世帯）の数値
【世帯あたり家計支出計に占める交通支出額割合】平成 28 年 1.9%

3)総世帯数（全国）の推計

平成 42（2035）年までは、国立社会保障人口問題研究所の総世帯数の推計値を用いた。平成 42（2035）年以降は、同研究所の総人口の推計値（2017 年推計　2065 年まで）の対前年比を求め、平成 42（2035）年時の「世帯あたり人口」が一定で推移すると仮定して、平成 42（2035）年以降の将来の総世帯数を求めた。

【使用データ】
総世帯数：国立保障人口問題研究所「日本の世帯数将来推計（全国)」の数値
総人口：国立保障人口問題研究所「日本の将来推計人口（全国)」の数値
【世帯あたり人口】平成 42（2035）年時 2.325 人／世帯を用いた

4)総交通支出額の推計

3)で求めた総世帯数を世帯あたり交通支出額の元データとなる「家計調査年報」の集計世帯数ベースに変換し、「総交通支出額」を推計した。

【使用データ】
集計世帯数：総務省「家計調査年報」
【総世帯数：集計世帯数】全国の集計世帯数 7,632 世帯を総世帯数 52,904,000 世帯に拡大

■ 交通費支出額から輸送量（＝全国の交流人口）を推計

求めた総交通支出額と「旅客地域流動調査」の輸送量（自動車輸送量を平成 21（2009）年度の自動車と公共交通の比率を用いて割り戻したもの）の実績値の相関関係を求め、輸送量を「全国の交流人口」として推計した。

【使用データ】
交通費支出額：4)の数値
輸送量：国土交通省「旅客地域流動調査」の数値
【相関係数】0.825

■ 輸送量の全国シェア＝交流人口の全国シェアとみなし、名古屋市の交流人口を推計

全国の交流人口に占める名古屋市への交流人口の割合は一定と仮定し、前項で求めた全国の交流人口の推計結果に名古屋市の全国に対するシェアに乗じて、名古屋市への国内の交流人口を推計した。

【使用データ】
愛知県の全国シェア：国土交通省「旅客地域流動調査」（平成 26 年）の数値
総トリップの愛知県に占める名古屋市の割合：中京都市圏総合都市交通計画協議会「中京都市圏パーソントリップ調査（平成 23 年）の数値

名古屋市内着の市外比率：中京都市圏総合都市交通計画協議会「中京都市圏パーソントリップ調査（平成 23 年）の数値

c） 国外の名古屋市への交流人口の推計

■ 国の目標値より、将来の訪日外国人数を設定

訪日外国人数について、国の「未来投資戦略 2017」では、平成 32（2020）年に 4,000 万人、平成 42（2030）年に 6,000 万人の目標を掲げている。この目標値をもとに、線形補完して各年の訪日外国人数を設定した。

【使用データ】
訪日外国人数の目標値：首相官邸「未来投資戦略 2017」

■ 愛知県への訪問率を名古屋市への訪問率として仮定

国土交通省「訪日外客消費動向調査」で示されている過去 10 カ年平均（2007 年～2016 年）の愛知県への訪問率を名古屋市への訪問率（9.5%）として仮定した。

【使用データ】
名古屋市への訪問率：国土交通省「訪日外客消費動向調査」の愛知県への訪問率

■ 将来の訪問率は一定と仮定して、将来の名古屋市への交流人口を推計

平成 42（2030）年までは、訪日外国人数に愛知県への訪問率を乗じて推計した。2030 年以降は、訪日外国人を 6,000 万人で打ち止めとし、名古屋市への外国人数も全国にあわせて一定に推移するとし、国外からの名古屋市への交流人口を推計した。また、2019 年の中部国際空港の新ターミナルによる外国人旅客数を追加した。

d） 入場者母数の推計結果

名古屋城入場者母数とは、2015 年の来場者アンケート調査に基づく訪問者の地域別構成比をベースとし、国内は「経済成長率」と「人口減少」、国外は「訪日外客数」と「訪問率」を加味したもの（木造復元の効果は含まない）を示す。

入場者母数の推計結果を以下に示す。詳細の数値は、「資料編」を参照。

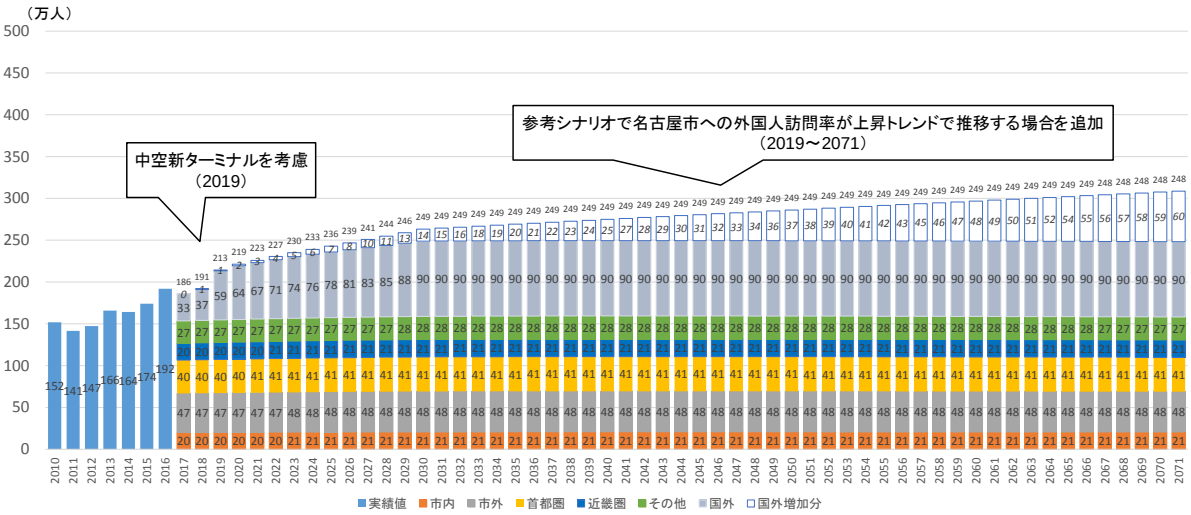


図 1-6　入場者母数推計結果

(2) アンケート調査

アンケート調査では、名古屋城の来場実態（他施設との関連）、木造復元の来場意向、頻度、他施設との相乗効果等を把握する設計とし、入場者数母数に掛け合わせることで推計した。アンケート調査の概要は以下の通りとなる。

a） アンケート調査の概要（国内）

アンケート調査の実施日、対象者、サンプル数、設問は下表の通りである。

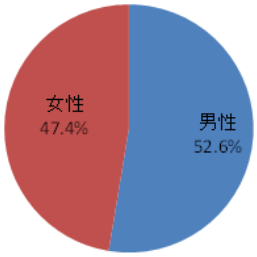
表 1-3　アンケート調査（国内）概要

	内容	
実施日	2017 年 11 月 16 日～2017 年 11 月 19 日	
対象者	名古屋市内、名古屋市外（名古屋城から 2 時間以内に含まれる市町村）、首都圏、関西圏に在住するマクロミルモニター 20～34 歳、35～49 歳、50～64 歳、65 歳以上	
サンプル数	合計 6,592 サンプル 名古屋市内 1,648、名古屋市外 1,648、首都圏 1,648、関西圏 1,648	
目的	木造天守閣への来場者数を推計するため、国内及び外国人の名古屋城への来場意向を把握する。	
設問	Ⅰ．「お城観光」への参加状況 Q1 お城観光の行動 Q2 過去 1 年にお城観光（日帰り）を実施したか Q3 過去 1 年にお城観光（宿泊）を実施したか Ⅱ．名古屋城の訪問実態 Q4 名古屋市への訪問実態 Q5 名古屋城への訪問実態 Q6 名古屋城への来場目的 Q7 名古屋城の観光とあわせて巡った観光資源 Q8 名古屋城に行かない理由	Ⅲ．名古屋城来場意向 Q9 天守閣木造復元の認知度 Q10 天守閣木造復元の訪問意向 Q11 天守閣木造復元の魅力 Q12 金シャチ横丁のある名古屋城への訪問意向 Q13 工事期間中の訪問意向 Q14 天守閣木造復元後の訪問頻度 Q15 天守閣木造復元の条件と行動 Q16 天守閣木造復元後の入場料金と訪問頻度 Q17 リニア中央新幹線開業後の名古屋市への観光意向 Q18 リニア中央新幹線開業後の名古屋城への観光意向 Q19 名古屋城を市外の人に勧めたいか Q20 名古屋城を市外の人に勧める際に重視すること

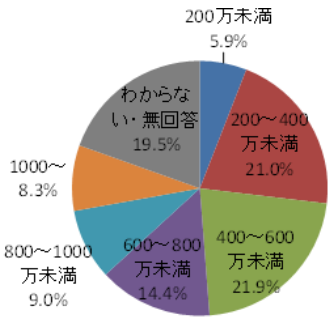
■ 回答者属性

性別は若干男性の方が多い。世帯年収は 400 万～600 万円未満が 21.9%と最も高い。600 万円未満が約半数。職業は、会社員が 35.2%、次いで専業主婦が 18.5%となった。

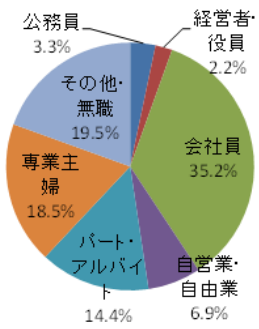
【性別】



【世帯年収】



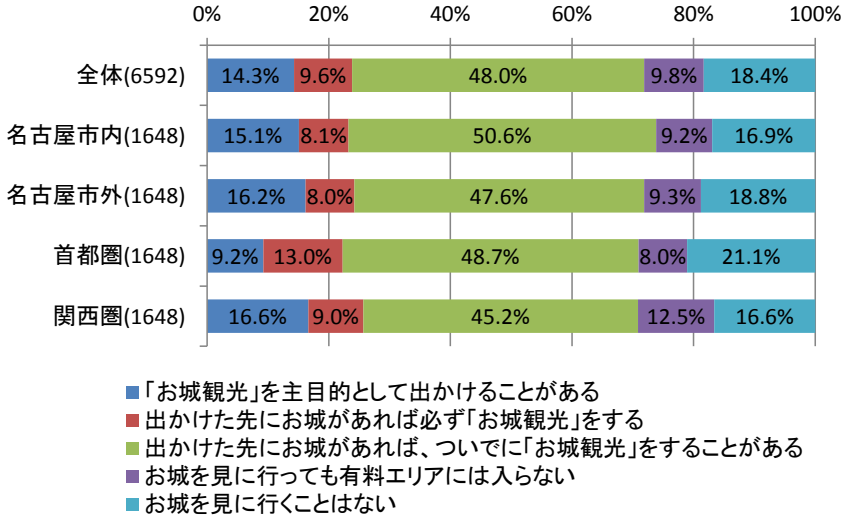
【職業】



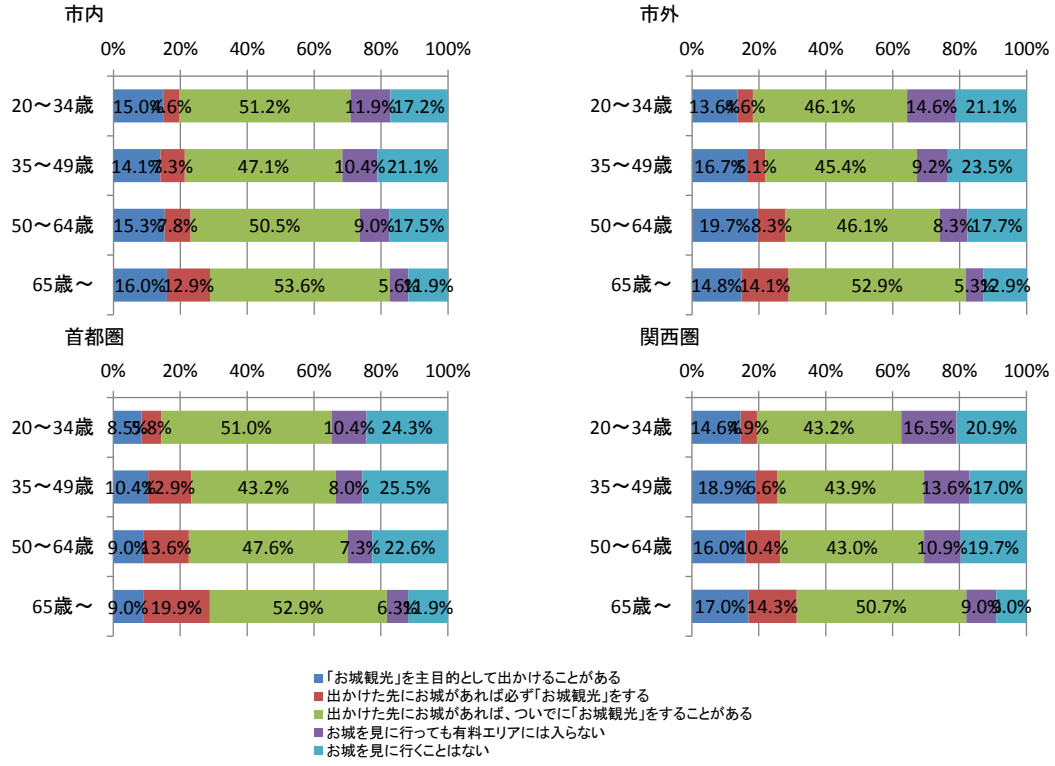
■ 回答結果

【設問１】あなたは、「お城観光」をしますか。あなたの行動に最も近いものを一つ選んでください。

首都圏の「「お城観光」を主目的として出かけることがある」の割合が他地域と比較して低く、「出かけた先にお城があれば必ず「お城観光」をする」の割合が他地域と比較して高い。

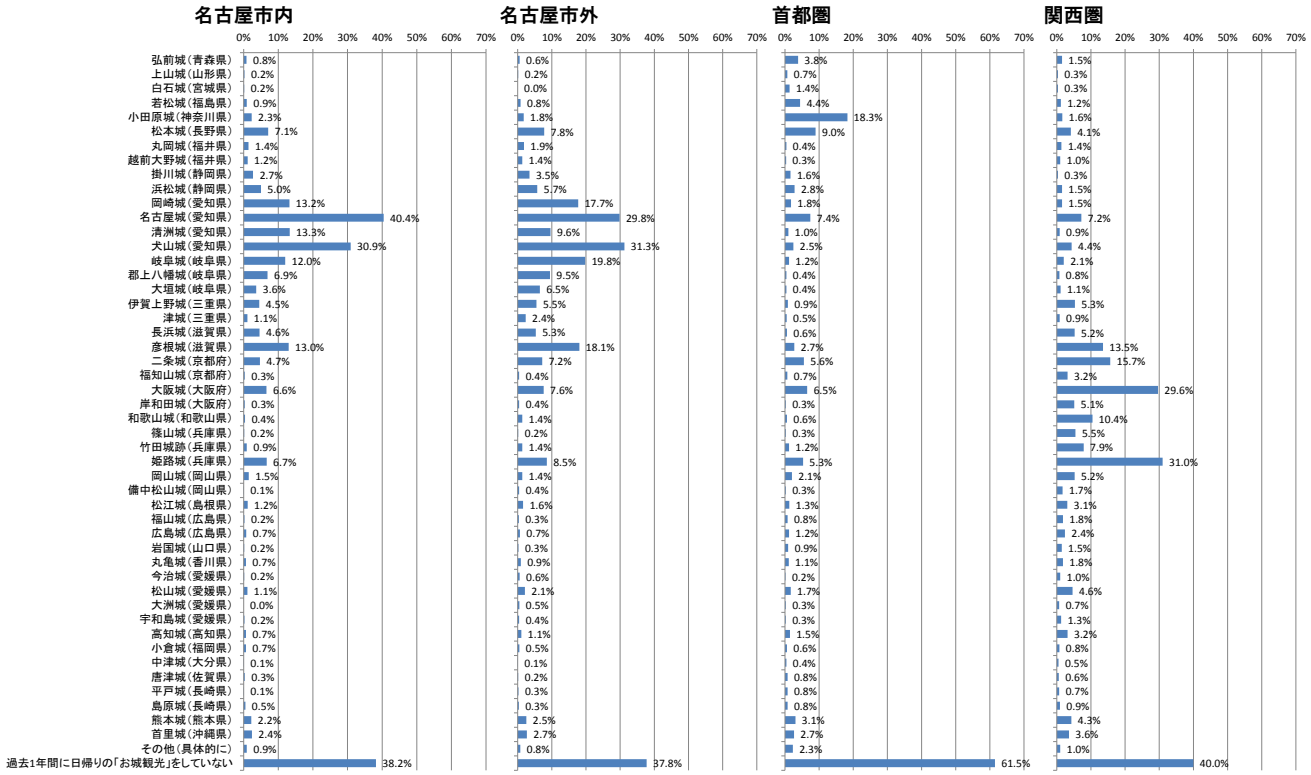


年齢が高いほど「出かけた先にお城があれば必ず「お城観光」をする」の割合が高くなる傾向がみられる。



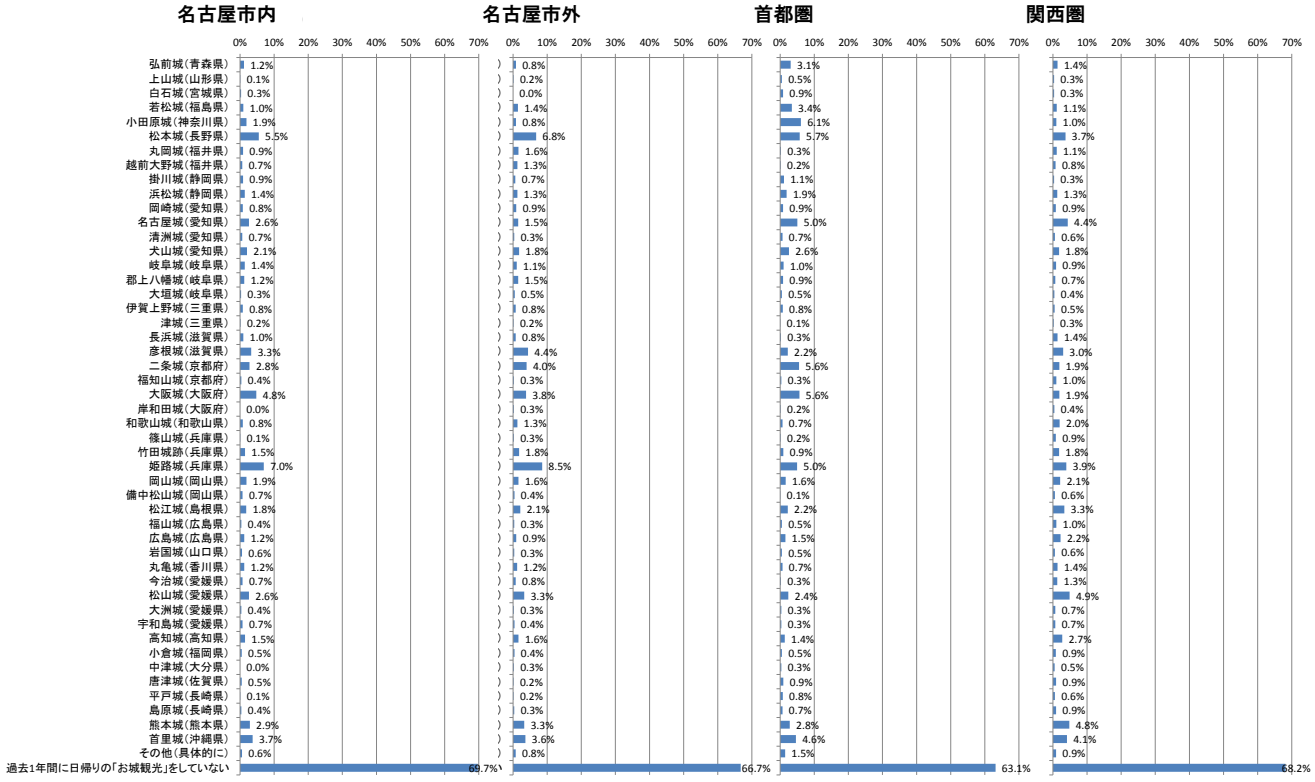
【設問2】あなたは、過去１年間に日本国内で日帰りによる「お城観光」をしましたか。「お城観光」をしたお城を全て選んでください。

首都圏の人は「「お城観光」をしていない」の割合が高い。



【設問3】あなたは、過去 1 年間に日本国内で宿泊による「お城観光」をしましたか。「お城観光」をしたお城を全て選んでください。

宿泊を伴う「お城観光」は 10%未満と少ない。



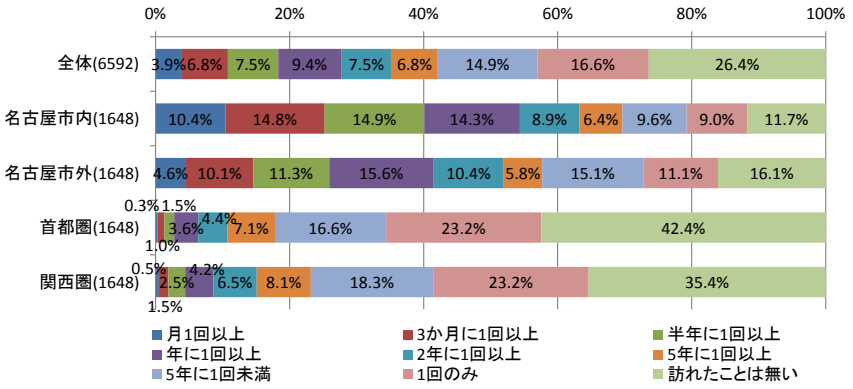
【設問4】あなたは、どれくらいの頻度（回数）で名古屋市内の観光施設に訪れていますか。あてはまるもの一つを選んでください。

【設問5】あなたは、前問で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。あてはまるもの一つを選んでください。

年に 1 回以上の多頻度の割合は、名古屋市内で 60%弱、名古屋市外で 40%強、首都圏や関西圏では 1 割未満となっている。

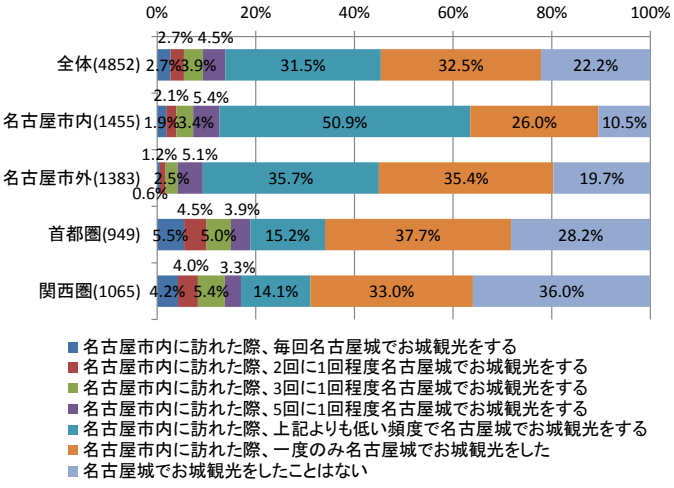
名古屋市内の観光施設に訪れた人のうち、名古屋城に 5 回に 1 回程度以上お城観光をする人は、首都圏や関西圏で 2 割弱となっている。

名古屋市内の観光施設への訪問頻度



	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	訪れたことは無い
全体(6592)	3.9%	6.8%	7.5%	9.4%	7.5%	6.8%	14.9%	16.6%	26.4%
名古屋市内(1648)	10.4%	14.8%	14.9%	14.3%	8.9%	6.4%	9.6%	9.0%	11.7%
名古屋市外(1648)	4.6%	10.1%	11.3%	15.6%	10.4%	5.8%	15.1%	11.1%	16.1%
首都圏(1648)	0.3%	1.0%	1.5%	3.6%	4.4%	7.1%	16.6%	23.2%	42.4%
関西圏(1648)	0.5%	1.5%	2.5%	4.2%	6.5%	8.1%	18.3%	23.2%	35.4%

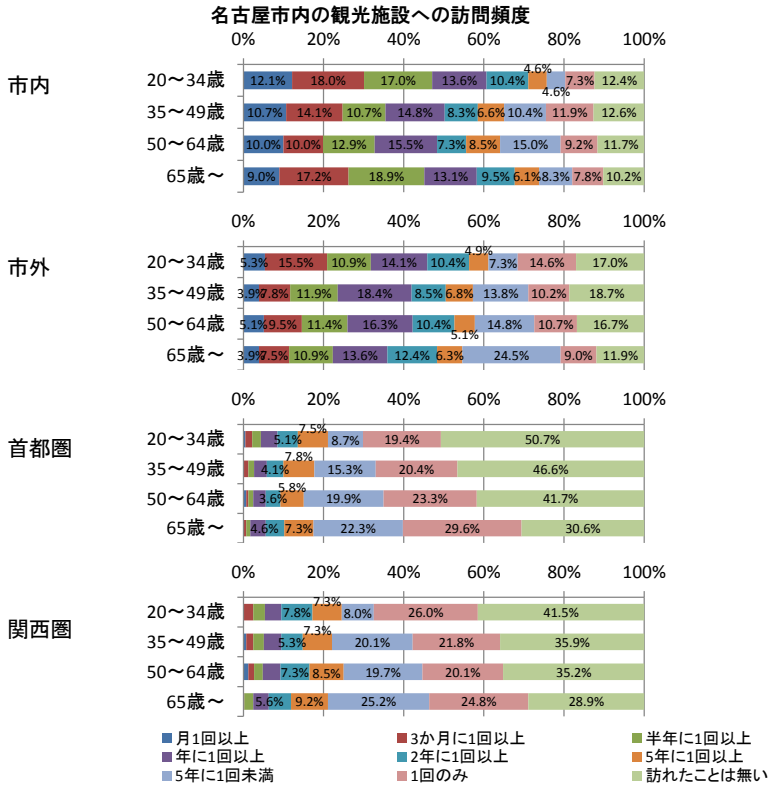
名古屋市内の観光施設への訪問した際の「名古屋城」への訪問頻度

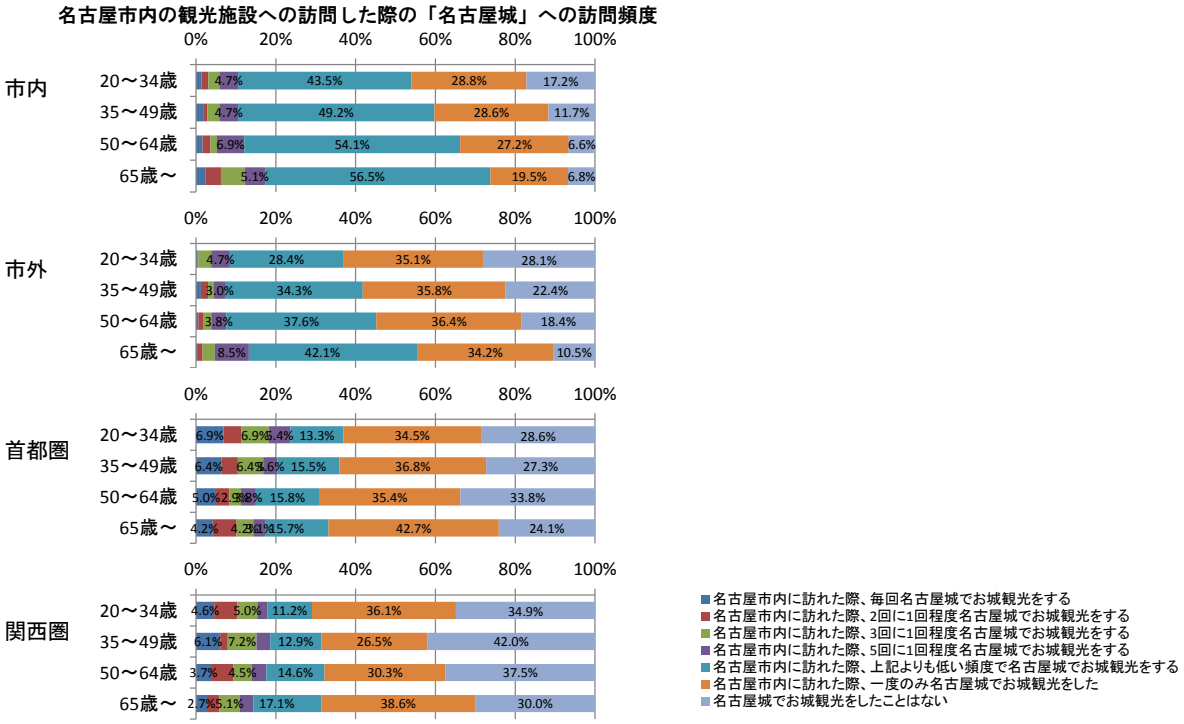


	毎回	2回に1回程度	3回に1回程度	5回に1回程度	低い頻度	一度のみ	ない
全体(4852)	2.7%	2.7%	3.9%	4.5%	31.5%	32.5%	22.2%
名古屋市内(1455)	1.9%	2.1%	3.4%	5.4%	50.9%	26.0%	10.5%
名古屋市外(1383)	0.6%	1.2%	2.5%	5.1%	35.7%	35.4%	19.7%
首都圏(949)	5.5%	4.5%	5.0%	3.9%	15.2%	37.7%	28.2%
関西圏(1065)	4.2%	4.0%	5.4%	3.3%	14.1%	33.0%	36.0%

名古屋市への訪問頻度は年齢が低いほど多頻度の傾向（名古屋市除く）がみられる。

市内と市外では、「名古屋城への訪問頻度」は年齢が高いほど訪問頻度が高く、首都圏と関西圏では年齢と訪問頻度に特筆すべき傾向はみられない。





名古屋市内の観光施設への訪問頻度

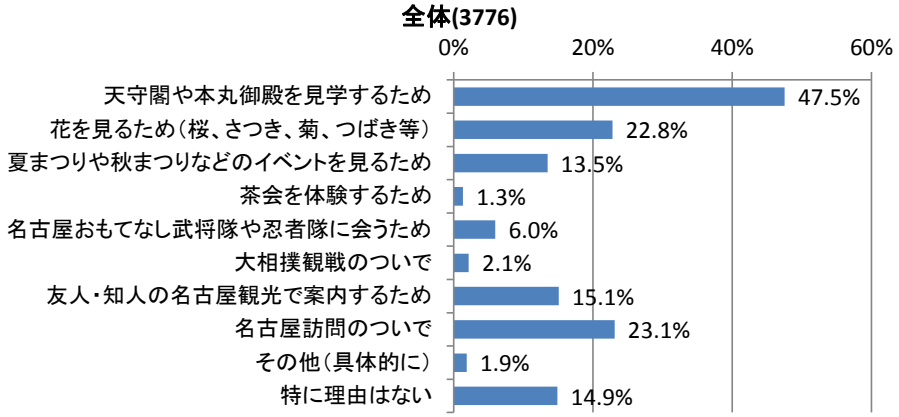
	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	訪れたことは無い
名古屋市内									
20～34歳	12.1%	18.0%	17.0%	13.6%	10.4%	4.6%	4.6%	7.3%	12.4%
35～49歳	10.7%	14.1%	10.7%	14.8%	8.3%	6.6%	10.4%	11.9%	12.6%
50～64歳	10.0%	10.0%	12.9%	15.5%	7.3%	8.5%	15.0%	9.2%	11.7%
65歳～	9.0%	17.2%	18.9%	13.1%	9.5%	6.1%	8.3%	7.8%	10.2%
名古屋市外									
20～34歳	5.3%	15.5%	10.9%	14.1%	10.4%	4.9%	7.3%	14.6%	17.0%
35～49歳	3.9%	7.8%	11.9%	18.4%	8.5%	6.8%	13.8%	10.2%	18.7%
50～64歳	5.1%	9.5%	11.4%	16.3%	10.4%	5.1%	14.8%	10.7%	16.7%
65歳～	3.9%	7.5%	10.9%	13.6%	12.4%	6.3%	24.5%	9.0%	11.9%
首都圏									
20～34歳	0.5%	1.7%	2.2%	4.1%	5.1%	7.5%	8.7%	19.4%	50.7%
35～49歳	0.0%	1.2%	1.5%	3.2%	4.1%	7.8%	15.3%	20.4%	46.6%
50～64歳	0.7%	0.5%	1.2%	3.2%	3.6%	5.8%	19.9%	23.3%	41.7%
65歳～	0.0%	0.7%	1.0%	3.9%	4.6%	7.3%	22.3%	29.6%	30.6%
関西圏									
20～34歳	0.0%	2.4%	2.9%	4.1%	7.8%	7.3%	8.0%	26.0%	41.5%
35～49歳	0.7%	1.7%	2.7%	4.4%	5.3%	7.3%	20.1%	21.8%	35.9%
50～64歳	1.2%	1.5%	2.2%	4.4%	7.3%	8.5%	19.7%	20.1%	35.2%
65歳～	0.0%	0.2%	2.2%	3.9%	5.6%	9.2%	25.2%	24.8%	28.9%

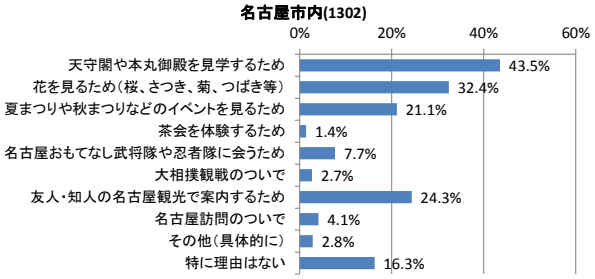
名古屋市内の観光施設への訪問した際の「名古屋城」への訪問頻度

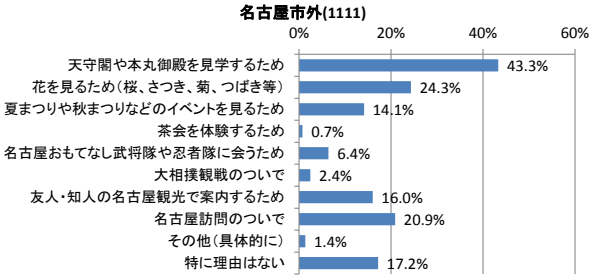
	名古屋市内に訪れた際、毎回名古屋城でお城観光をする	名古屋市内に訪れた際、2回に1回程度名古屋城でお城観光をする	名古屋市内に訪れた際、3回に1回程度名古屋城でお城観光をする	名古屋市内に訪れた際、5回に1回程度名古屋城でお城観光をする	名古屋市内に訪れた際、上記よりも低い頻度で名古屋城でお城観光をする	名古屋市内に訪れた際、一度のみ名古屋城でお城観光をした	名古屋城でお城観光をしたことはない
名古屋市内							
20～34歳	1.4%	1.7%	2.8%	4.7%	43.5%	28.8%	17.2%
35～49歳	1.9%	0.8%	3.1%	4.7%	49.2%	28.6%	11.7%
50～64歳	1.6%	1.9%	1.6%	6.9%	54.1%	27.2%	6.6%
65歳～	2.4%	3.8%	5.9%	5.1%	56.5%	19.5%	6.8%
名古屋市外							
20～34歳	0.3%	0.3%	3.2%	4.7%	28.4%	35.1%	28.1%
35～49歳	1.2%	1.8%	1.5%	3.0%	34.3%	35.8%	22.4%
50～64歳	0.6%	1.2%	2.0%	3.8%	37.6%	36.4%	18.4%
65歳～	0.3%	1.4%	3.0%	8.5%	42.1%	34.2%	10.5%
首都圏							
20～34歳	6.9%	4.4%	6.9%	5.4%	13.3%	34.5%	28.6%
35～49歳	6.4%	4.1%	6.4%	3.6%	15.5%	36.8%	27.3%
50～64歳	5.0%	3.3%	2.9%	3.8%	15.8%	35.4%	33.8%
65歳～	4.2%	5.9%	4.2%	3.1%	15.7%	42.7%	24.1%
関西圏							
20～34歳	4.6%	5.8%	5.0%	2.5%	11.2%	36.1%	34.9%
35～49歳	6.1%	1.9%	7.2%	3.4%	12.9%	26.5%	42.0%
50～64歳	3.7%	5.6%	4.5%	3.7%	14.6%	30.3%	37.5%
65歳～	2.7%	3.1%	5.1%	3.4%	17.1%	38.6%	30.0%

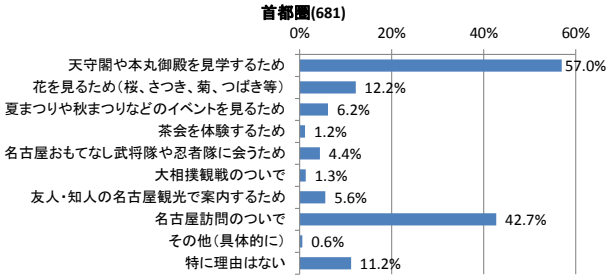
【設問6】どのような理由で名古屋城の「お城観光」をしていますか。あてはまるものを全て選んでください。

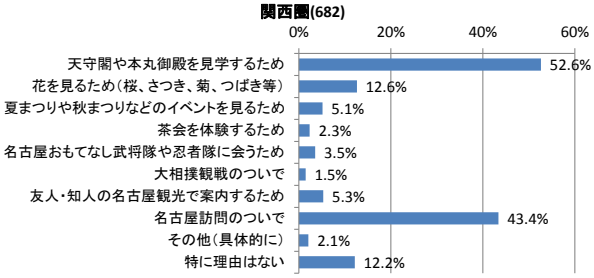
全体では、「天守閣や本丸御殿を見学するため」が 47.5%と最も高く、次いで「名古屋訪問のついで」が 23.1%となる。首都圏や関西圏では、「名古屋訪問のついで」の割合が 4 割を超える。

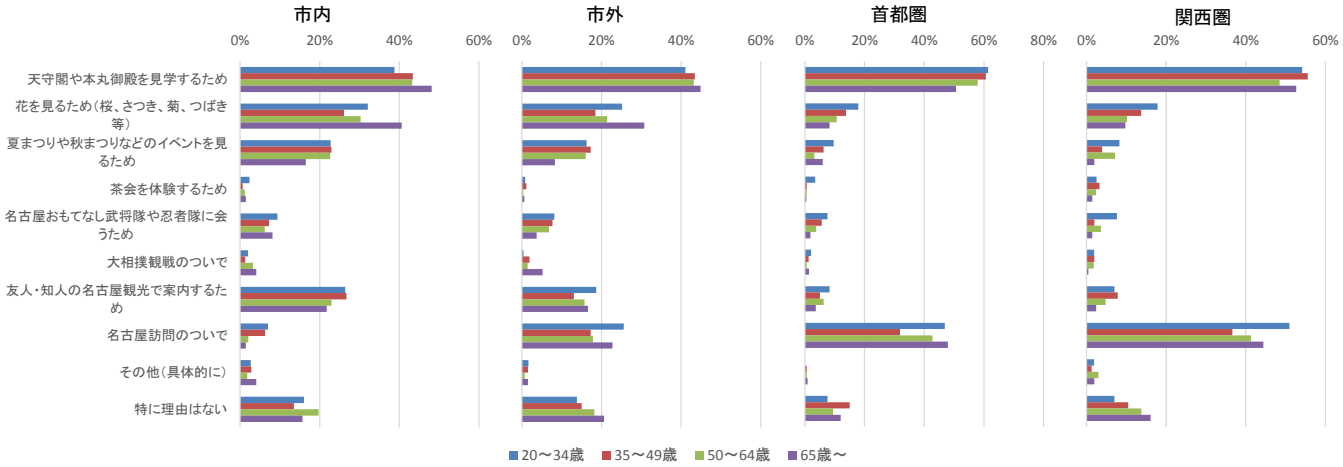








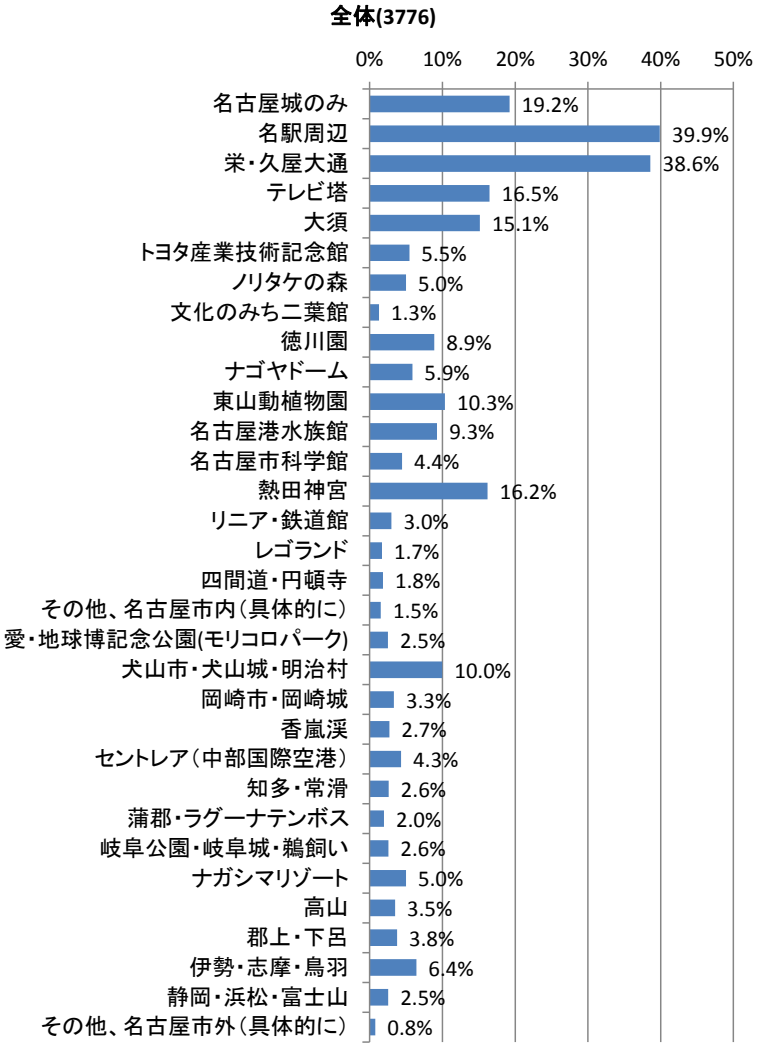




	天守閣や本丸御殿を見学するため	花を見るため（桜、さつき、菊、つばき等）	夏まつりや秋まつりなどのイベントを見るため	茶会を体験するため	名古屋おもてなし武将隊や忍者隊に会うため	大相撲観戦のついで	友人・知人の名古屋観光で案内するため	名古屋訪問のついで	その他（具体的に）	特に理由はない
名古屋市内										
20～34歳	38.8%	32.1%	22.7%	2.3%	9.4%	2.0%	26.4%	7.0%	2.7%	16.1%
35～49歳	43.4%	26.1%	23.0%	0.6%	7.2%	1.3%	26.7%	6.3%	2.8%	13.5%
50～64歳	43.2%	30.3%	22.6%	1.2%	6.2%	3.2%	22.9%	2.1%	1.8%	19.7%
65歳～	48.1%	40.6%	16.5%	1.4%	8.1%	4.1%	21.7%	1.4%	4.1%	15.7%
名古屋市外										
20～34歳	41.1%	25.2%	16.3%	0.8%	8.1%	0.4%	18.7%	25.6%	1.6%	13.8%
35～49歳	43.5%	18.5%	17.3%	1.2%	7.7%	1.9%	13.1%	17.3%	1.5%	15.0%
50～64歳	43.2%	21.4%	16.1%	0.4%	6.8%	1.4%	15.7%	17.9%	0.7%	18.2%
65歳～	44.9%	30.8%	8.3%	0.6%	3.7%	5.2%	16.6%	22.8%	1.5%	20.6%
首都圏										
20～34歳	61.4%	17.9%	9.7%	3.4%	7.6%	2.1%	8.3%	46.9%	0.0%	7.6%
35～49歳	60.6%	13.8%	6.3%	0.6%	5.6%	1.3%	5.0%	31.9%	0.6%	15.0%
50～64歳	57.9%	10.7%	3.1%	0.6%	3.8%	0.6%	6.3%	42.8%	0.6%	9.4%
65歳～	50.7%	8.3%	6.0%	0.5%	1.8%	1.4%	3.7%	47.9%	0.9%	12.0%
関西圏										
20～34歳	54.1%	17.8%	8.3%	2.5%	7.6%	1.9%	7.0%	51.0%	1.9%	7.0%
35～49歳	55.6%	13.7%	3.9%	3.3%	2.0%	2.0%	7.8%	36.6%	1.3%	10.5%
50～64歳	48.5%	10.2%	7.2%	2.4%	3.6%	1.8%	4.8%	41.3%	3.0%	13.8%
65歳～	52.7%	9.8%	2.0%	1.5%	1.5%	0.5%	2.4%	44.4%	2.0%	16.1%

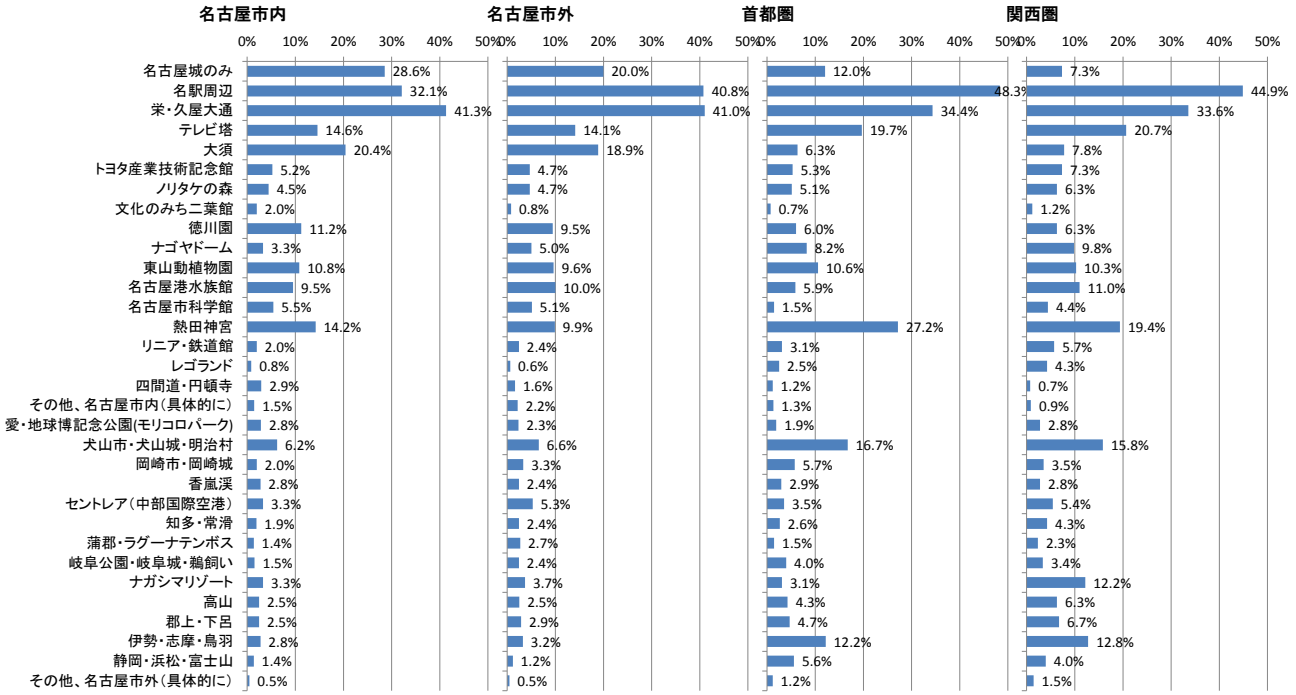
【設問7】前回、名古屋城を「お城観光」したときに、その前後で訪れた観光施設（地域）はありましたか。あてはまるものを全て選択してください。

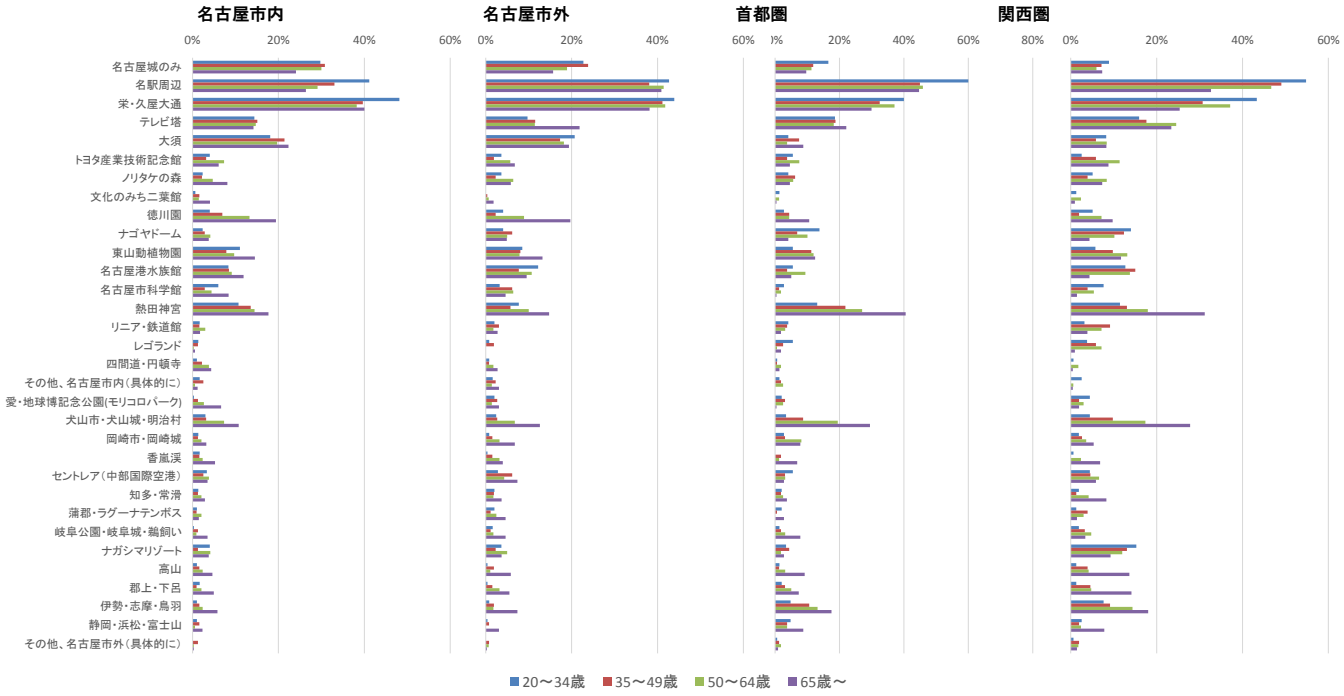
全体では「名駅周辺」、「栄・久屋大通」が４割弱と突出して高い。



首都圏や関西圏では、名古屋市内と比べ、「テレビ塔」、「熱田神宮」、「犬山市・犬山城・明治村」の割合が高く、「名古屋城のみ」は少ない。

年齢が低いほど、「名駅周辺」、「栄・久屋大通」の割合が高い傾向がみられ、年齢が高いほど、「熱田神宮」、「犬山市、犬山城、明治村」の割合が高い傾向がみられる。



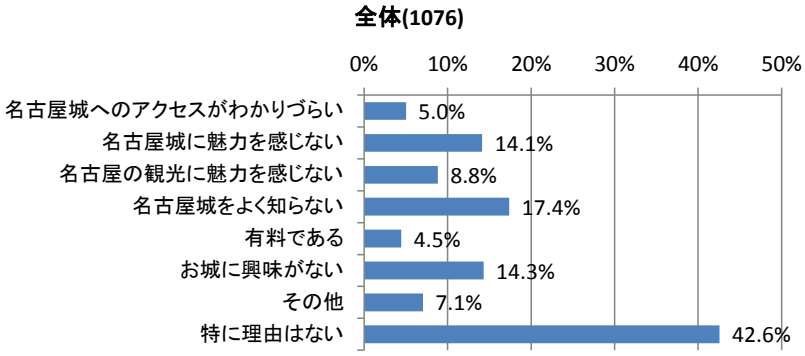


	名古屋城のみ	名駅周辺	栄・久屋大通	テレビ塔	大須	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	文化のみち二葉館	徳川園	ナゴヤドーム	東山動植物園	名古屋港水族館	名古屋市科学館	熱田神宮	リニア・鉄道館	レゴランド
名古屋市内																
20～34歳	29.8%	41.1%	48.2%	14.4%	18.1%	4.0%	2.3%	0.7%	4.0%	2.3%	11.0%	8.4%	6.0%	10.7%	1.7%	1.3%
35～49歳	30.8%	33.0%	39.6%	15.1%	21.4%	3.1%	2.2%	1.6%	6.9%	2.8%	7.9%	8.5%	2.8%	13.5%	1.6%	1.3%
50～64歳	30.0%	29.1%	38.2%	14.7%	19.7%	7.4%	4.7%	1.5%	13.2%	4.1%	9.7%	9.1%	4.4%	14.4%	2.9%	0.3%
65歳～	24.1%	26.4%	40.0%	14.2%	22.3%	6.1%	8.1%	4.1%	19.4%	3.8%	14.5%	11.9%	8.4%	17.7%	1.7%	0.6%
名古屋市外																
20～34歳	22.8%	42.7%	43.9%	9.8%	20.7%	3.7%	3.7%	0.0%	4.1%	4.1%	8.5%	12.2%	3.3%	7.7%	2.0%	0.8%
35～49歳	23.8%	38.1%	41.2%	11.5%	17.3%	1.9%	2.3%	0.4%	2.3%	6.2%	8.1%	7.7%	6.2%	5.8%	3.1%	1.9%
50～64歳	18.9%	41.4%	41.8%	11.4%	18.2%	5.7%	6.4%	0.7%	8.9%	5.0%	7.9%	10.7%	6.4%	10.0%	1.8%	0.0%
65歳～	15.7%	40.9%	38.2%	21.8%	19.4%	6.8%	5.8%	1.8%	19.7%	4.9%	13.2%	9.5%	4.6%	14.8%	2.8%	0.0%
首都圏																
20～34歳	16.6%	60.0%	40.0%	18.6%	4.1%	5.5%	4.1%	1.4%	2.8%	13.8%	5.5%	5.5%	2.8%	13.1%	4.1%	5.5%
35～49歳	11.9%	45.0%	32.5%	18.8%	7.5%	3.8%	6.3%	0.0%	4.4%	6.9%	11.3%	3.8%	1.3%	21.9%	3.8%	2.5%
50～64歳	11.3%	45.9%	37.1%	18.2%	3.8%	7.5%	5.7%	1.3%	4.4%	10.1%	11.9%	9.4%	1.9%	27.0%	3.1%	0.6%
65歳～	9.7%	44.7%	30.0%	22.1%	8.8%	4.6%	4.6%	0.5%	10.6%	4.1%	12.4%	5.1%	0.5%	40.6%	1.8%	1.8%
関西圏																
20～34歳	8.9%	54.8%	43.3%	15.9%	8.3%	2.5%	5.1%	1.3%	5.1%	14.0%	5.7%	12.7%	7.6%	11.5%	3.2%	3.8%
35～49歳	7.2%	49.0%	30.7%	17.6%	5.9%	5.9%	3.9%	0.0%	2.0%	12.4%	9.8%	15.0%	3.9%	13.1%	9.2%	5.9%
50～64歳	6.0%	46.7%	37.1%	24.6%	8.4%	11.4%	8.4%	2.4%	7.2%	10.2%	13.2%	13.8%	5.4%	18.0%	7.2%	7.2%
65歳～	7.3%	32.7%	25.4%	23.4%	8.3%	8.8%	7.3%	1.0%	9.8%	4.4%	11.7%	4.4%	1.5%	31.2%	3.9%	1.0%

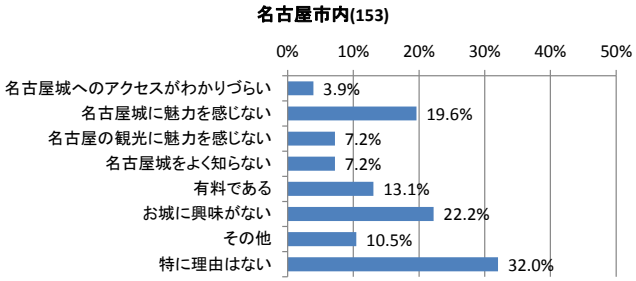
	四間道・円頓寺	その他、名古屋市内（具体的に）	愛・地球博記念公園(モリコロパーク)	犬山市・犬山城・明治村	岡崎市・岡崎城	香嵐渓	セントレア（中部国際空港）	知多・常滑	蒲郡・ラグーナテンボス	岐阜公園・岐阜城・鵜飼い	ナガシマリゾート	高山	郡上・下呂	伊勢・志摩・鳥羽	静岡・浜松・富士山	その他、名古屋市外（具体的に）
名古屋市内																
20～34歳	1.0%	1.7%	0.3%	3.0%	1.3%	1.7%	3.3%	1.3%	1.0%	0.3%	4.0%	1.0%	1.7%	1.0%	1.0%	0.0%
35～49歳	2.2%	2.5%	1.3%	3.1%	1.3%	1.6%	2.5%	1.3%	0.9%	1.3%	1.3%	1.6%	0.9%	1.6%	1.6%	1.3%
50～64歳	3.8%	0.6%	2.6%	7.4%	2.1%	2.4%	3.8%	2.1%	2.1%	0.9%	4.1%	2.4%	2.1%	2.4%	0.6%	0.3%
65歳～	4.3%	1.2%	6.7%	10.7%	3.2%	5.2%	3.5%	2.9%	1.4%	3.5%	3.8%	4.6%	4.9%	5.8%	2.3%	0.3%
名古屋市外																
20～34歳	0.8%	1.6%	2.0%	2.4%	0.8%	0.4%	2.8%	2.0%	2.0%	1.6%	3.7%	0.4%	0.4%	0.8%	0.4%	0.0%
35～49歳	0.8%	2.3%	2.7%	2.7%	1.5%	1.5%	6.2%	1.9%	1.2%	1.2%	2.3%	1.9%	1.5%	1.9%	0.8%	0.8%
50～64歳	1.8%	1.4%	1.4%	6.8%	3.2%	3.2%	4.3%	1.8%	2.5%	1.8%	5.0%	1.1%	3.2%	1.8%	0.0%	0.7%
65歳～	2.8%	3.1%	3.1%	12.6%	6.8%	4.0%	7.4%	3.7%	4.6%	4.6%	3.7%	5.8%	5.5%	7.4%	3.1%	0.3%
首都圏																
20～34歳	0.7%	1.4%	2.1%	3.4%	2.8%	0.0%	5.5%	2.1%	2.1%	1.4%	3.4%	1.4%	2.1%	4.8%	4.8%	0.7%
35～49歳	0.6%	1.9%	3.1%	8.8%	3.1%	1.9%	3.1%	1.9%	0.6%	1.9%	4.4%	1.3%	3.1%	10.6%	3.8%	1.3%
50～64歳	1.9%	2.5%	2.5%	19.5%	8.2%	1.3%	3.1%	2.5%	0.0%	3.1%	1.9%	3.1%	5.0%	13.2%	3.8%	1.9%
65歳～	1.4%	0.0%	0.5%	29.5%	7.8%	6.9%	2.8%	3.7%	2.8%	7.8%	2.8%	9.2%	7.4%	17.5%	8.8%	0.9%
関西圏																
20～34歳	0.6%	2.5%	4.5%	4.5%	1.9%	0.6%	4.5%	1.9%	1.3%	1.9%	15.3%	1.3%	1.3%	7.6%	2.5%	0.6%
35～49歳	0.0%	0.0%	2.0%	9.8%	2.6%	0.0%	4.6%	1.3%	3.9%	3.3%	13.1%	3.9%	4.6%	9.2%	2.0%	2.0%
50～64歳	1.8%	0.6%	3.0%	17.4%	3.6%	2.4%	6.6%	4.2%	3.0%	4.8%	12.0%	4.2%	4.8%	14.4%	2.4%	1.8%
65歳～	0.5%	0.5%	2.0%	27.8%	5.4%	6.8%	5.9%	8.3%	1.5%	3.4%	9.3%	13.7%	14.1%	18.0%	7.8%	1.5%

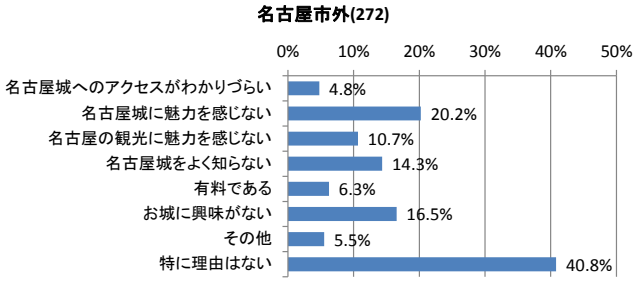
【設問8】「名古屋城」を「お城観光」したことがない理由をおしえてください。あてはまるものを全て選んでください。

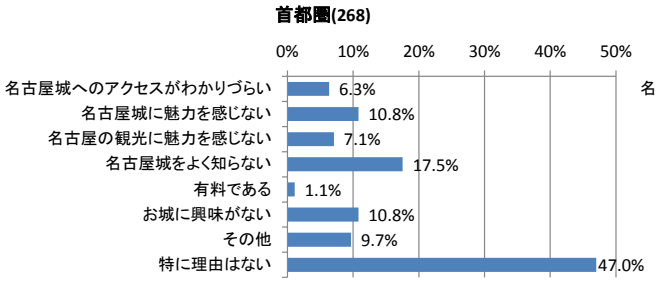
全体では、「特に理由はない」が 42.6%と最も高い。

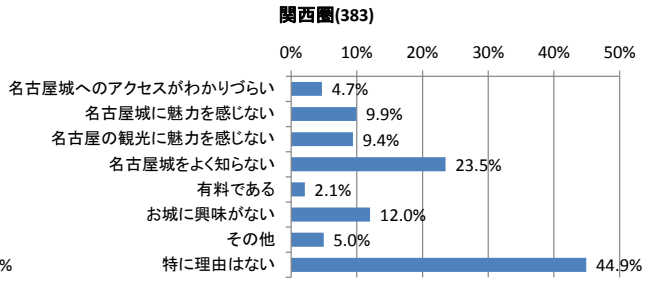


首都圏や関西圏では、「名古屋城をよく知らない」の割合が高い。名古屋市内や名古屋市外では「名古屋城に魅力を感じない」や「お城に興味がない」の割合が 2 割程度みられる。

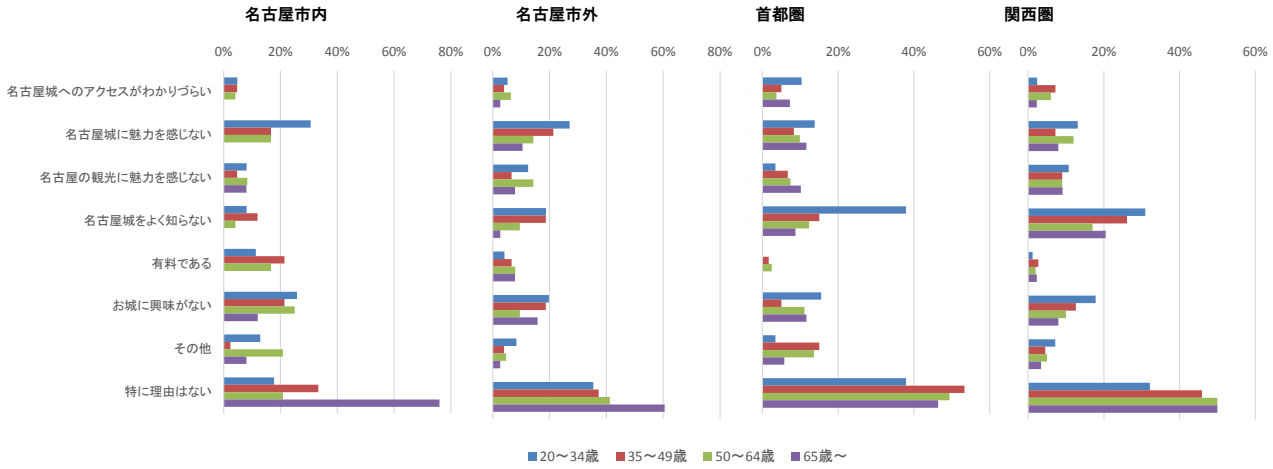








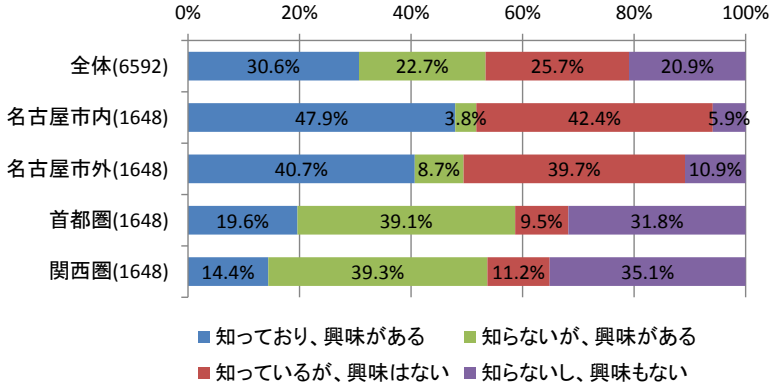
市内と市外では「名古屋城に魅力を感じない」は年齢が低いほど回答率が高い傾向がみられ、首都圏と関西圏では「名古屋城をよく知らない」は年齢が低いほど回答率が高い傾向がみられる。

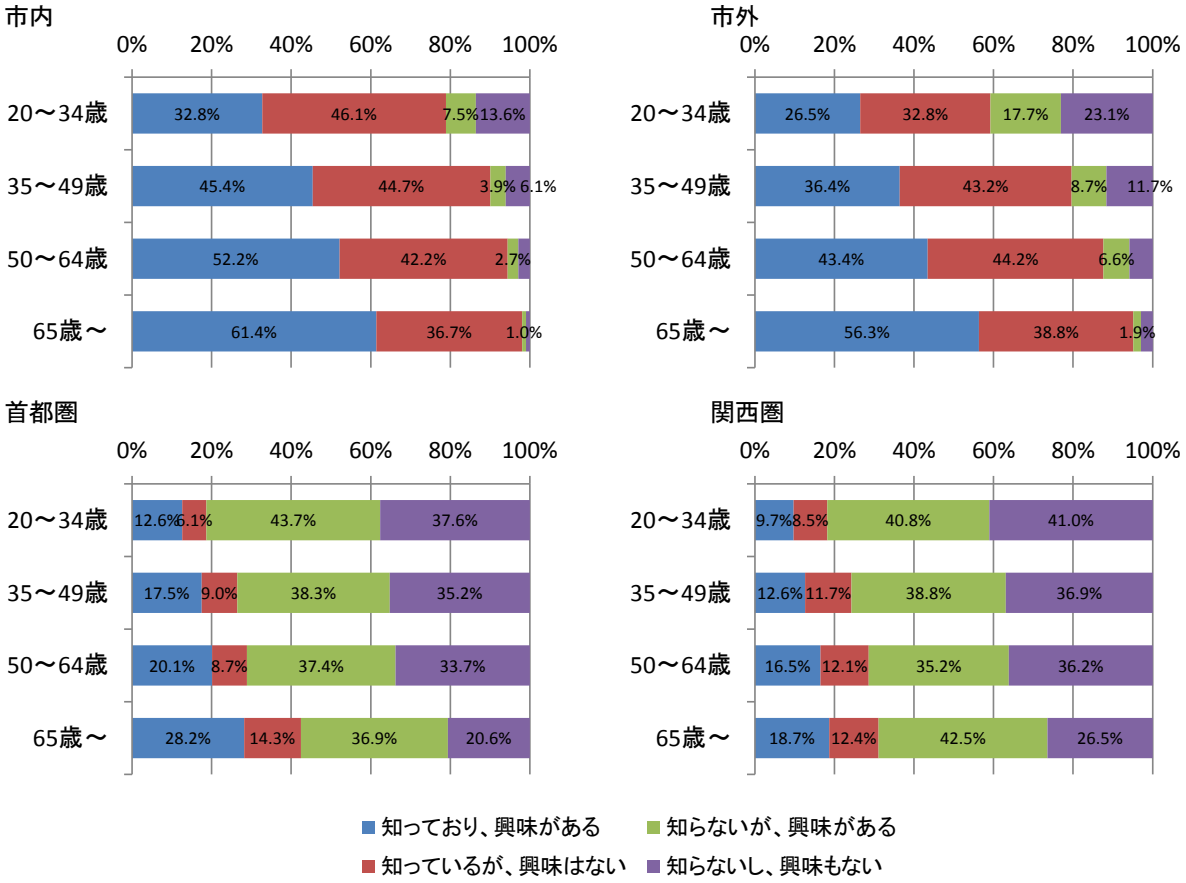


	名古屋城へのアクセスがわかりづらい	名古屋城に魅力を感じない	名古屋の観光に魅力を感じない	名古屋城をよく知らない	有料である	お城に興味がない	その他	特に理由はない
名古屋市内								
20～34歳	4.8%	30.6%	8.1%	8.1%	11.3%	25.8%	12.9%	17.7%
35～49歳	4.8%	16.7%	4.8%	11.9%	21.4%	21.4%	2.4%	33.3%
50～64歳	4.2%	16.7%	8.3%	4.2%	16.7%	25.0%	20.8%	20.8%
65歳～	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	12.0%	8.0%	76.0%
名古屋市外								
20～34歳	5.2%	27.1%	12.5%	18.8%	4.2%	19.8%	8.3%	35.4%
35～49歳	4.0%	21.3%	6.7%	18.7%	6.7%	18.7%	4.0%	37.3%
50～64歳	6.3%	14.3%	14.3%	9.5%	7.9%	9.5%	4.8%	41.3%
65歳～	2.6%	10.5%	7.9%	2.6%	7.9%	15.8%	2.6%	60.5%
首都圏								
20～34歳	10.3%	13.8%	3.4%	37.9%	0.0%	15.5%	3.4%	37.9%
35～49歳	5.0%	8.3%	6.7%	15.0%	1.7%	5.0%	15.0%	53.3%
50～64歳	3.7%	9.9%	7.4%	12.3%	2.5%	11.1%	13.6%	49.4%
65歳～	7.2%	11.6%	10.1%	8.7%	0.0%	11.6%	5.8%	46.4%
関西圏								
20～34歳	2.4%	13.1%	10.7%	31.0%	1.2%	17.9%	7.1%	32.1%
35～49歳	7.2%	7.2%	9.0%	26.1%	2.7%	12.6%	4.5%	45.9%
50～64歳	6.0%	12.0%	9.0%	17.0%	2.0%	10.0%	5.0%	50.0%
65歳～	2.3%	8.0%	9.1%	20.5%	2.3%	8.0%	3.4%	50.0%

【設問9】名古屋城天守閣の木造復元」について、ご存じですか。あてはまるもの一つを選んでください。

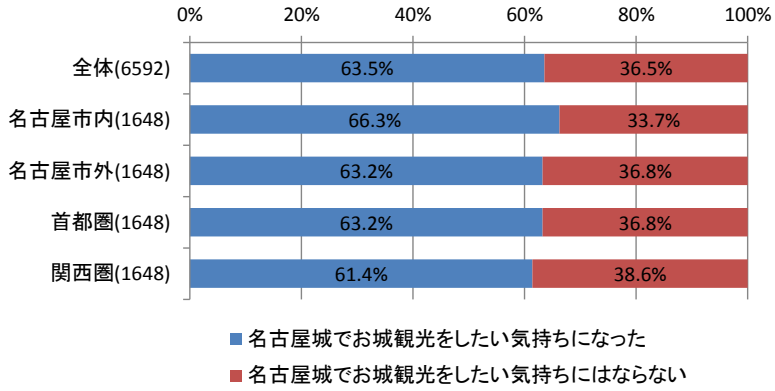
「知っている」の割合が高いのは「名古屋市内」「名古屋市外」。「興味がある」の割合はいずれの地域も半数程度みられる。年齢が高くなると、認知度（知っている）は高まる傾向（青＋赤）がみられ、市内では年齢が低くなると「知っているが、興味がない」の割合が高くなる傾向がみられる。

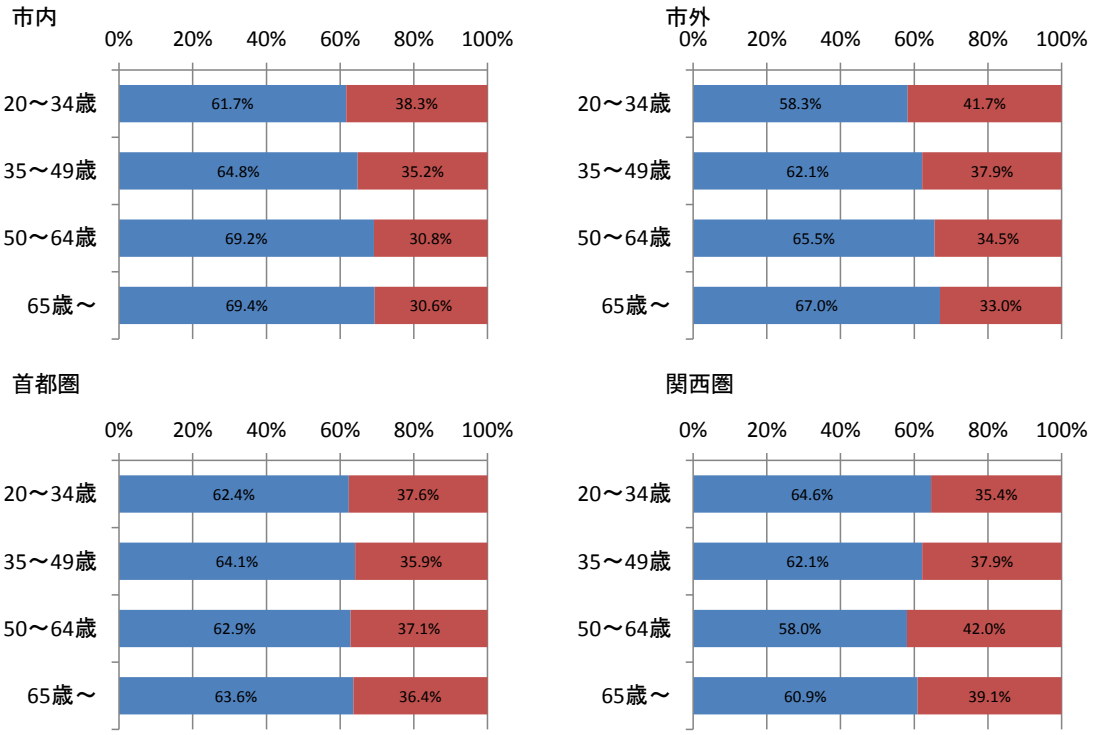




【設問10】「名古屋城天守閣の木造復元の背景」をご覧いただき、これが実現した場合、名古屋城でお城観光をしたいという気持ちになりましたか。

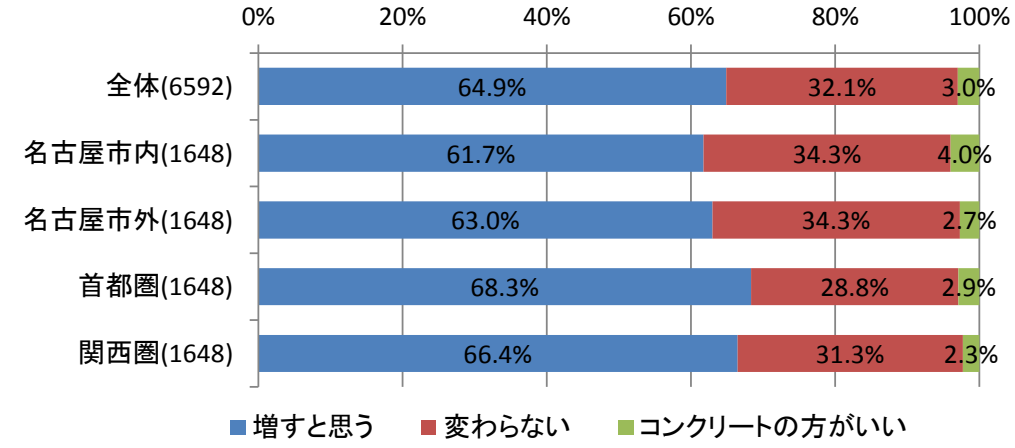
いずれの地域も6割強の方が「名古屋城でお城観光をしたい気持ちになった」と回答している。年齢間で大きな差は見られない。

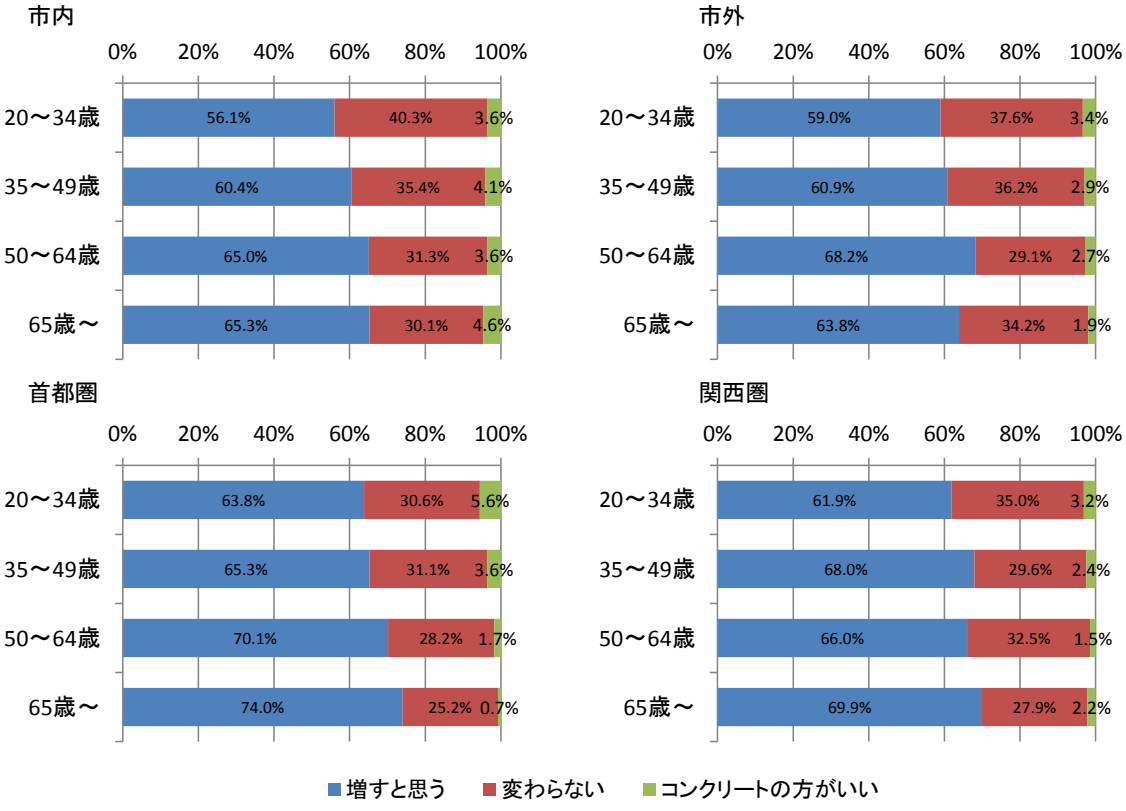




【設問11】名古屋城天守閣をコンクリートから木造に建て替えると、お城の「魅力」は増すと思いますか。

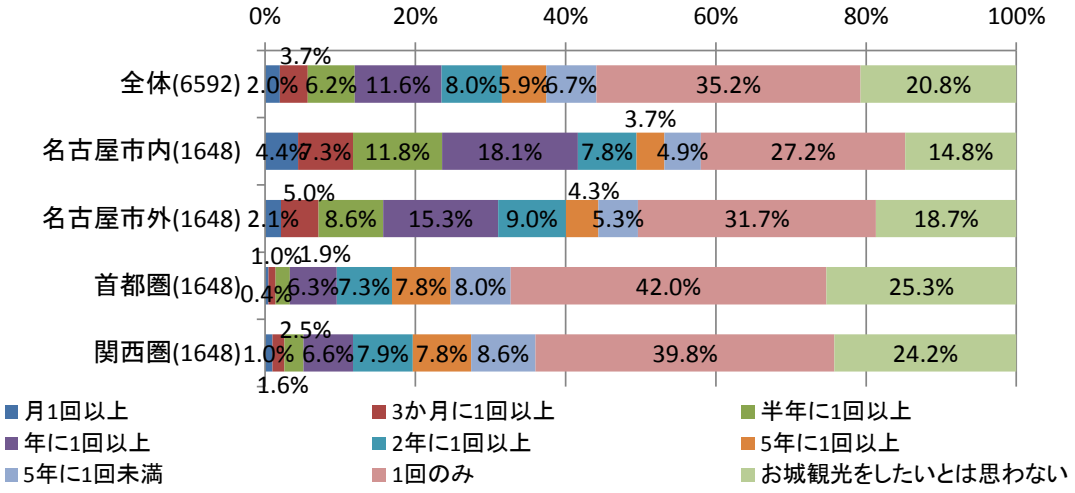
いずれの地域も6割以上の方が「増すと思う」と回答。とりわけ首都圏や関西圏で高い。





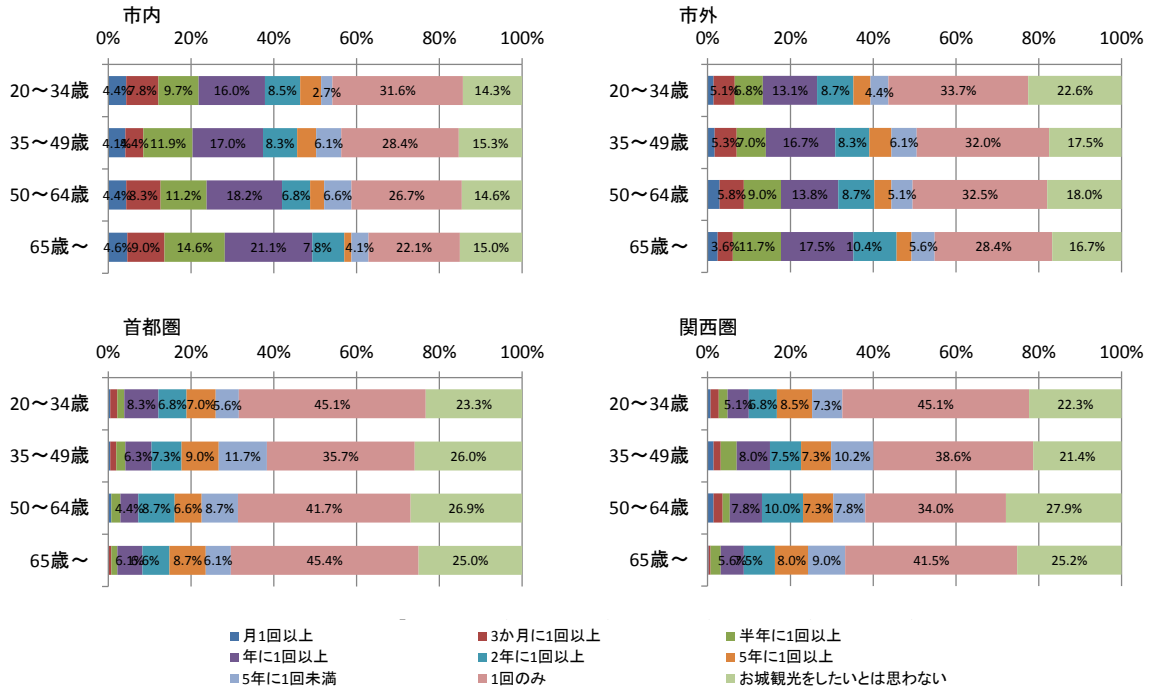
【設問12】あなたは、名古屋城周辺に「金シャチ横丁」（2018 年予定）ができた場合、「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。お城観光をしてみたい方は、その頻度も併せてお知らせください。あてはまるもの一つを選んでください。

年に 1 回以上の多頻度の割合をみると、名古屋市内は約 4 割、名古屋市外は約 3 割、首都圏や関西圏は 1 割強となっている。1 回のみの割合をみると、首都圏や関西圏で 4 割程度と高い。



	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	したいとは思わない
全体(6592)	2.0%	3.7%	6.2%	11.6%	8.0%	5.9%	6.7%	35.2%	20.8%
名古屋市内(1648)	4.4%	7.3%	11.8%	18.1%	7.8%	3.7%	4.9%	27.2%	14.8%
名古屋市外(1648)	2.1%	5.0%	8.6%	15.3%	9.0%	4.3%	5.3%	31.7%	18.7%
首都圏(1648)	0.4%	1.0%	1.9%	6.3%	7.3%	7.8%	8.0%	42.0%	25.3%
関西圏(1648)	1.0%	1.6%	2.5%	6.6%	7.9%	7.8%	8.6%	39.8%	24.2%

市内・市外では、年に 1 回以上の多頻度の人は、年齢が高いほど多く、首都圏では「20～24 歳」で、関西圏では「35～49 歳」で年に 1 回以上の割合が高い。

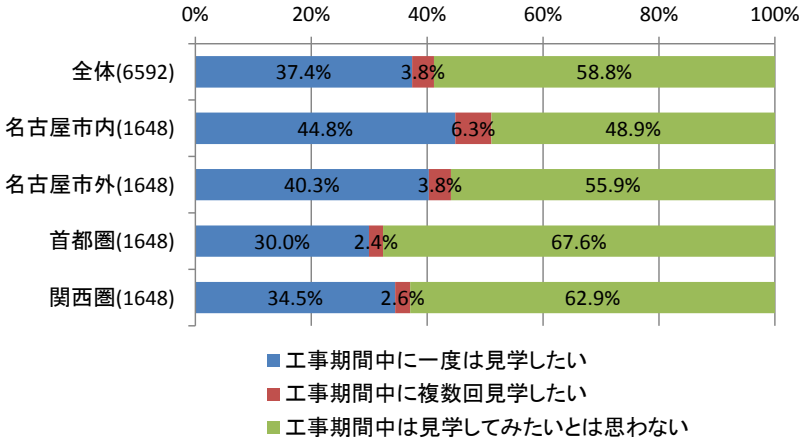


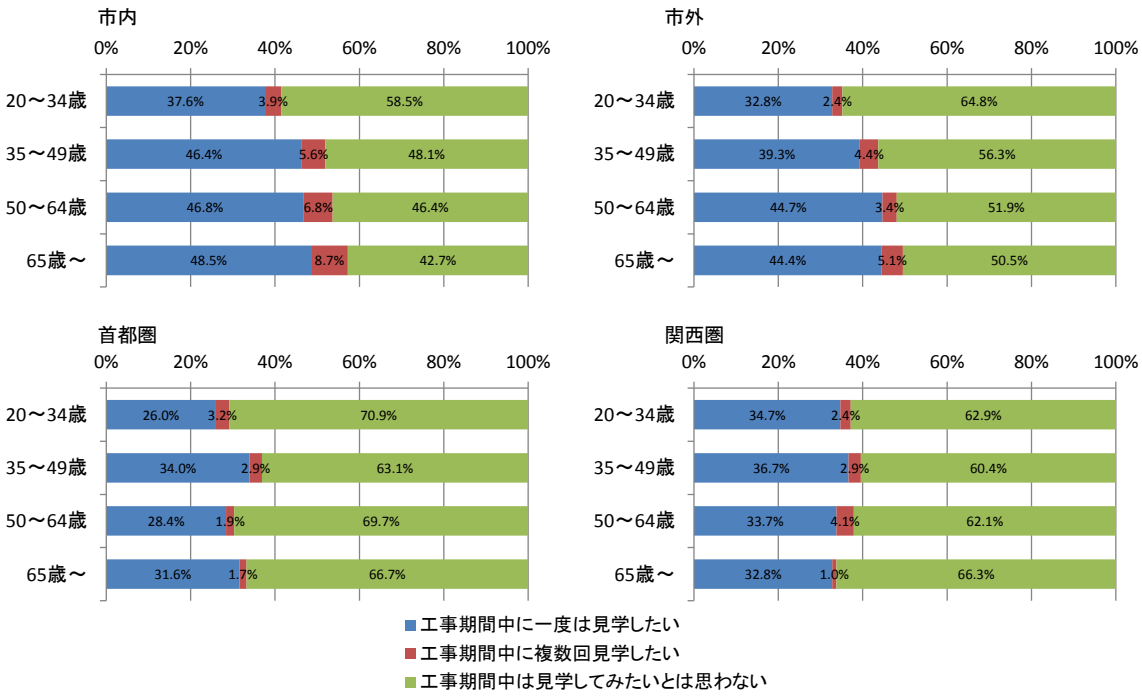
	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	訪れたことは無い
名古屋市内									
20～34歳	4.4%	7.8%	9.7%	16.0%	8.5%	5.1%	2.7%	31.6%	14.3%
35～49歳	4.1%	4.4%	11.9%	17.0%	8.3%	4.6%	6.1%	28.4%	15.3%
50～64歳	4.4%	8.3%	11.2%	18.2%	6.8%	3.4%	6.6%	26.7%	14.6%
65歳～	4.6%	9.0%	14.6%	21.1%	7.8%	1.7%	4.1%	22.1%	15.0%
名古屋市外									
20～34歳	1.5%	5.1%	6.8%	13.1%	8.7%	4.1%	4.4%	33.7%	22.6%
35～49歳	1.7%	5.3%	7.0%	16.7%	8.3%	5.3%	6.1%	32.0%	17.5%
50～64歳	2.9%	5.8%	9.0%	13.8%	8.7%	4.1%	5.1%	32.5%	18.0%
65歳～	2.4%	3.6%	11.7%	17.5%	10.4%	3.6%	5.6%	28.4%	16.7%
首都圏									
20～34歳	0.5%	1.7%	1.7%	8.3%	6.8%	7.0%	5.6%	45.1%	23.3%
35～49歳	0.5%	1.5%	2.2%	6.3%	7.3%	9.0%	11.7%	35.7%	26.0%
50～64歳	0.7%	0.0%	2.2%	4.4%	8.7%	6.6%	8.7%	41.7%	26.9%
65歳～	0.0%	0.7%	1.5%	6.1%	6.6%	8.7%	6.1%	45.4%	25.0%
20～34歳	0.7%	1.9%	2.2%	5.1%	6.8%	8.5%	7.3%	45.1%	22.3%
35～49歳	1.5%	1.7%	3.9%	8.0%	7.5%	7.3%	10.2%	38.6%	21.4%
50～64歳	1.5%	2.2%	1.7%	7.8%	10.0%	7.3%	7.8%	34.0%	27.9%
65歳～	0.2%	0.5%	2.4%	5.6%	7.5%	8.0%	9.0%	41.5%	25.2%

【設問13】「名古屋城天守閣の木造復元」の工事期間（2020 年～2022 年）は「天守閣」のみ入場できませんが高度で大規模な木造建築技術や匠の技を間近に見ることのできる唯一の期間でもあります。工事期間中に「名古屋城」に行きたいと思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。

名古屋市内及び名古屋市外において、「工事期間中に一度は見学したい」と回答した人が4割を超える。

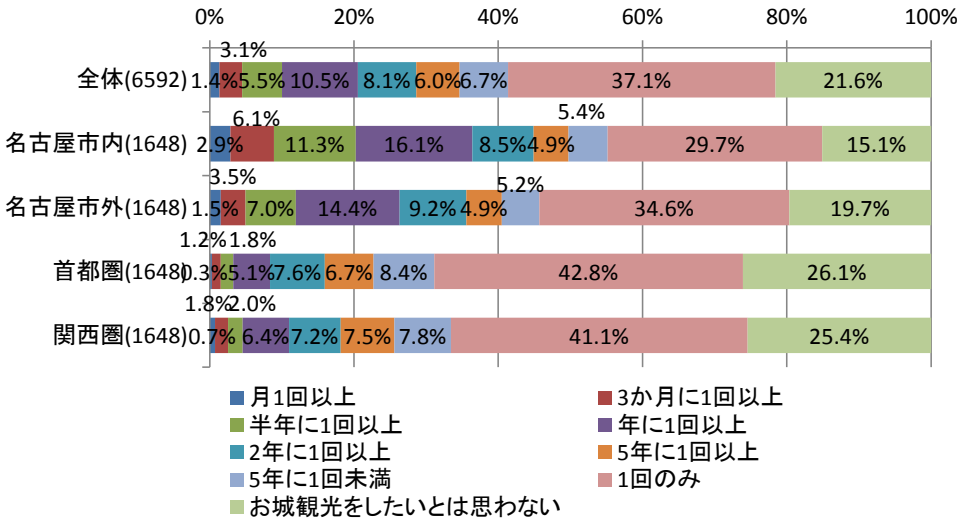
市内・市外では、年齢が高くなるほど、工事期間中の見学をしたいとする回答率が高くなる傾向。首都圏・関西圏では、年齢で大きな傾向は見られない。





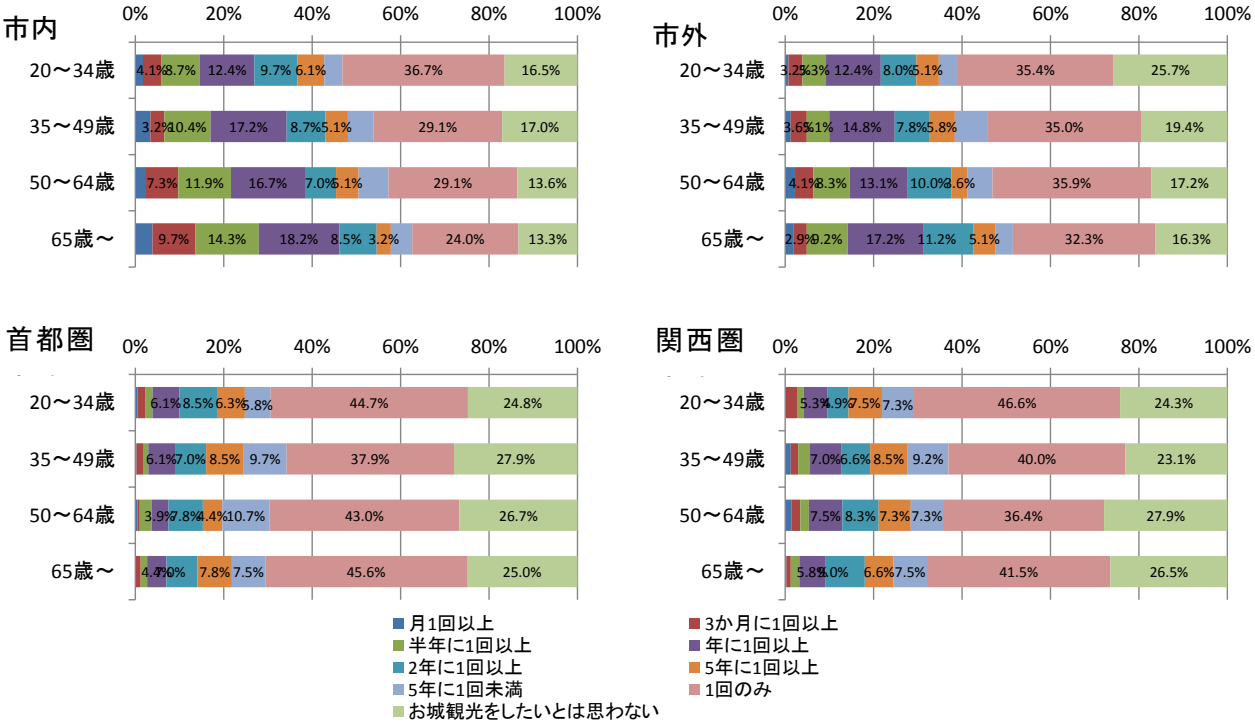
【設問14】あなたは、どれくらいの頻度（回数）で「名古屋城天守閣の木造復元」後の名古屋城でお城観光をしたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。（料金、周辺施設、交通アクセス等は現在と同じ条件とします）

年に1回以上の多頻度の割合をみると、名古屋市内は4割弱、名古屋市外は3割弱、首都圏や関西圏は1割程度となっている。1回のみの割合をみると、首都圏や関西圏で4割程度と高い。「金シャチ横丁」ができた場合に比べて、「木造復元」の方がお城観光したいと思う方の頻度が少ない。



	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	したいとは思わない
全体(6592)	1.4%	3.1%	5.5%	10.5%	8.1%	6.0%	6.7%	37.1%	21.6%
名古屋市内(1648)	2.9%	6.1%	11.3%	16.1%	8.5%	4.9%	5.4%	29.7%	15.1%
名古屋市外(1648)	1.5%	3.5%	7.0%	14.4%	9.2%	4.9%	5.2%	34.6%	19.7%
首都圏(1648)	0.3%	1.2%	1.8%	5.1%	7.6%	6.7%	8.4%	42.8%	26.1%
関西圏(1648)	0.7%	1.8%	2.0%	6.4%	7.2%	7.5%	7.8%	41.1%	25.4%

市内・市外では、年齢が高くなるほど、年に 1 回以上の割合が高くなる傾向がみられ、首都圏・関西圏では年齢間で大きな差はみられない。

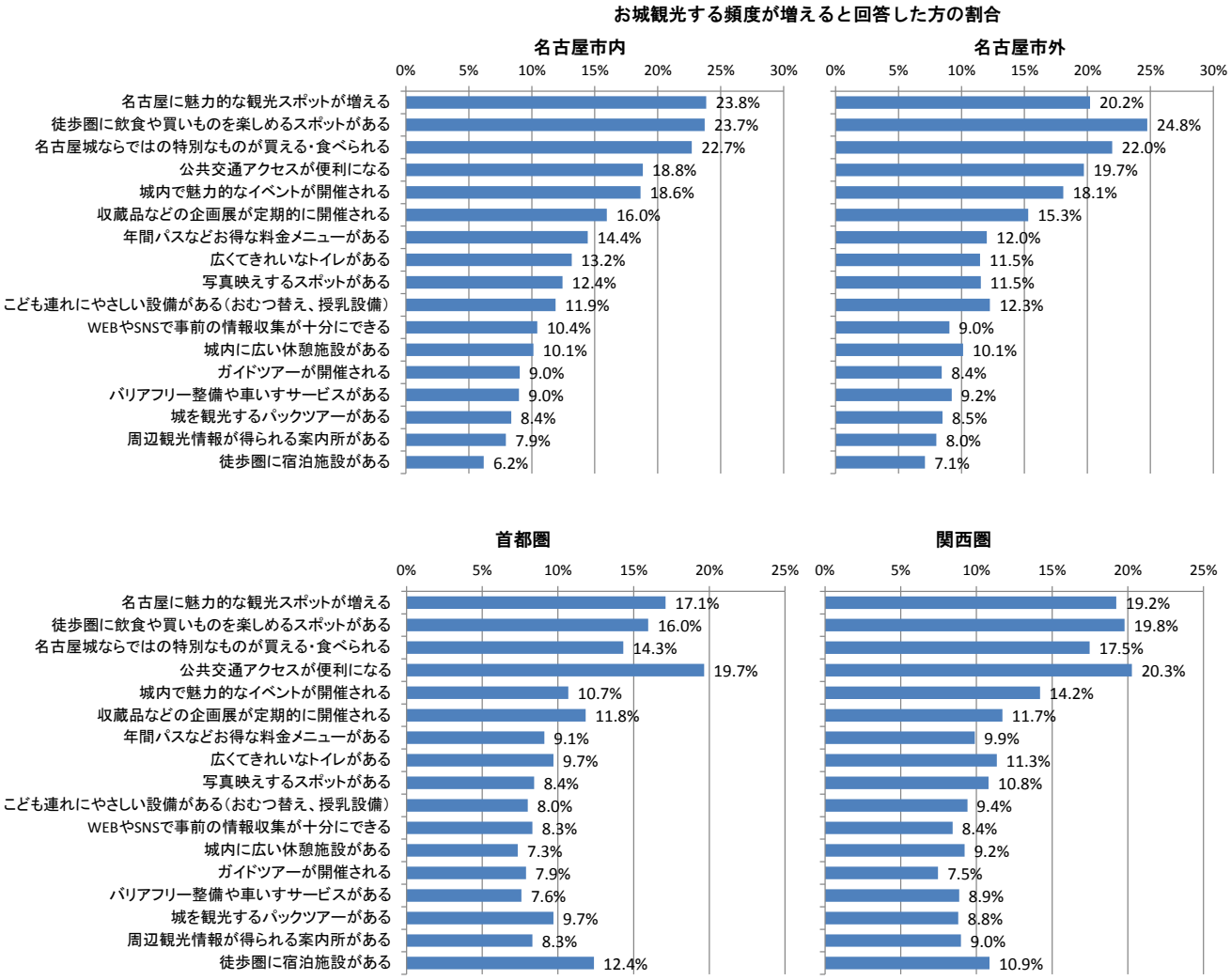


	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
名古屋市内									
20～34歳	1.7%	4.1%	8.7%	12.4%	9.7%	6.1%	4.1%	36.7%	16.5%
35～49歳	3.4%	3.2%	10.4%	17.2%	8.7%	5.1%	5.8%	29.1%	17.0%
50～64歳	2.4%	7.3%	11.9%	16.7%	7.0%	5.1%	6.8%	29.1%	13.6%
65歳～	3.9%	9.7%	14.3%	18.2%	8.5%	3.2%	4.9%	24.0%	13.3%
名古屋市外									
20～34歳	0.7%	3.2%	5.3%	12.4%	8.0%	5.1%	4.1%	35.4%	25.7%
35～49歳	1.2%	3.6%	5.1%	14.8%	7.8%	5.8%	7.3%	35.0%	19.4%
50～64歳	2.2%	4.1%	8.3%	13.1%	10.0%	3.6%	5.6%	35.9%	17.2%
65歳～	1.9%	2.9%	9.2%	17.2%	11.2%	5.1%	3.9%	32.3%	16.3%
首都圏									
20～34歳	0.5%	1.7%	1.7%	6.1%	8.5%	6.3%	5.8%	44.7%	24.8%
35～49歳	0.2%	1.5%	1.2%	6.1%	7.0%	8.5%	9.7%	37.9%	27.9%
50～64歳	0.5%	0.5%	2.7%	3.9%	7.8%	4.4%	10.7%	43.0%	26.7%
65歳～	0.0%	1.2%	1.5%	4.4%	7.0%	7.8%	7.5%	45.6%	25.0%
近畿圏									
20～34歳	0.0%	2.7%	1.5%	5.3%	4.9%	7.5%	7.3%	46.6%	24.3%
35～49歳	1.2%	1.7%	2.7%	7.0%	6.6%	8.5%	9.2%	40.0%	23.1%
50～64歳	1.5%	1.9%	1.9%	7.5%	8.3%	7.3%	7.3%	36.4%	27.9%
65歳～	0.2%	1.0%	1.9%	5.8%	9.0%	6.6%	7.5%	41.5%	26.5%

【設問15】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。以下の(1)～(17)の項目について、お考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んでください。※お城観光する頻度が減るまたはお城観光したい気持ちが低くなる場合は、「変わらない」をお選びください。

「名古屋市内」「名古屋市外」では、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「名古屋に魅力的な観光スポットが増える」「徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある」「名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる」の割合が 2 割を超える。

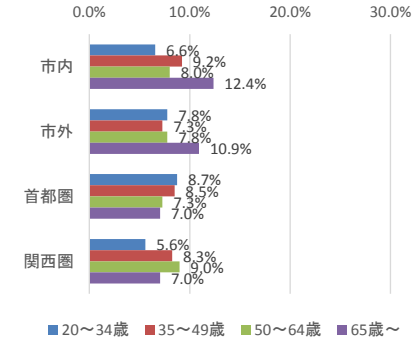
「首都圏」「関西圏」では、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「公共交通アクセスが便利になる」の割合が 2 割程度と最も高い。また、「徒歩圏に宿泊施設がある」の割合は、名古屋市内・名古屋市外に比べて高い。



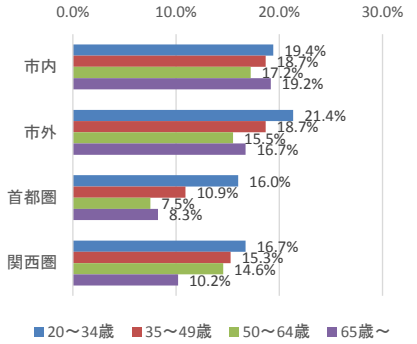
※条件の並びは名古屋市内の回答が多い順。

「こども連れにやさしい設備がある（おむつ替え、授乳設備）」、「名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる」は年齢が低いほど回答率が高い。「城を観光するパックツアーがある」は年齢が高いほど回答率が高い。

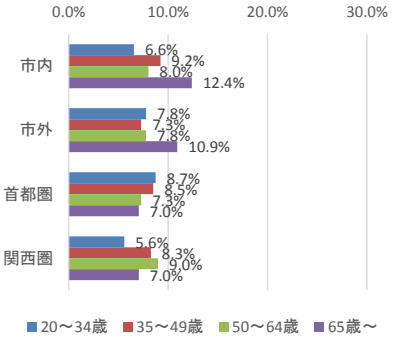
収蔵品などの企画展が定期的に開催される



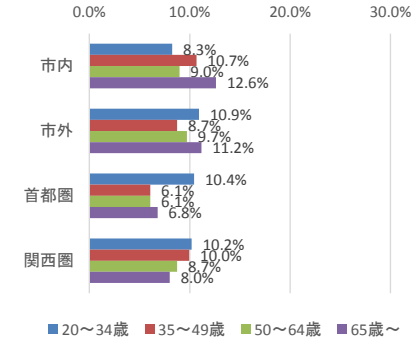
城内で魅力的なイベントが開催される



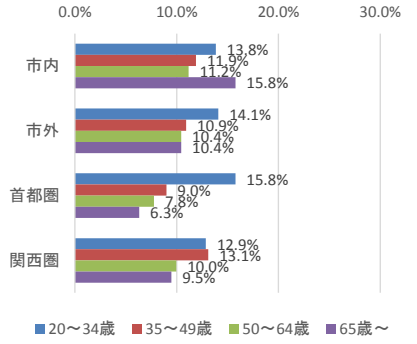
ガイドツアーが開催される



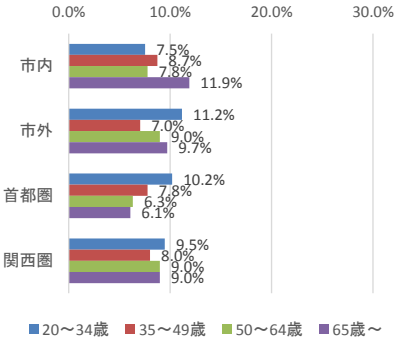
城内に広い休憩施設がある



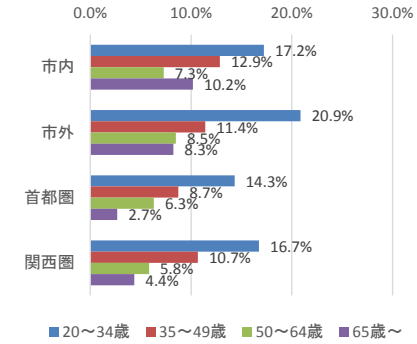
広くてきれいなトイレがある



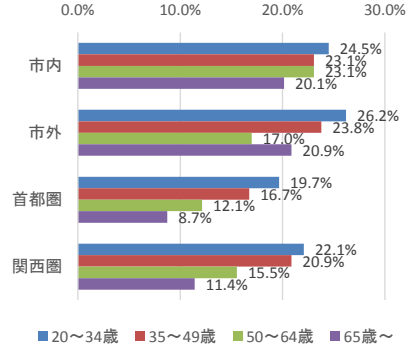
バリアフリー整備や車いすサービスがある



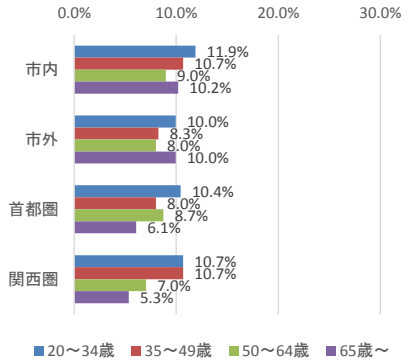
こども連れにやさしい設備がある（おむつ替え、授乳設備）



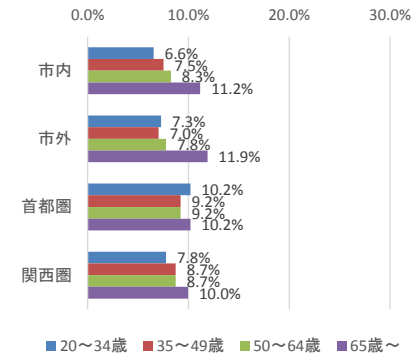
名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる



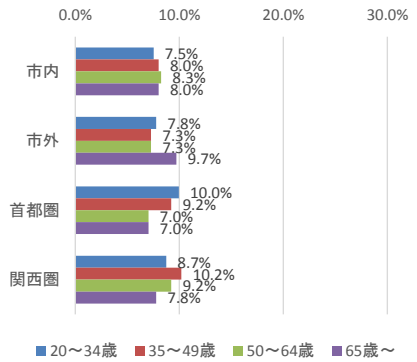
WEBやSNSで事前の情報収集が十分にできる



城を観光するパックツアーがある



周辺観光情報が得られる案内所がある

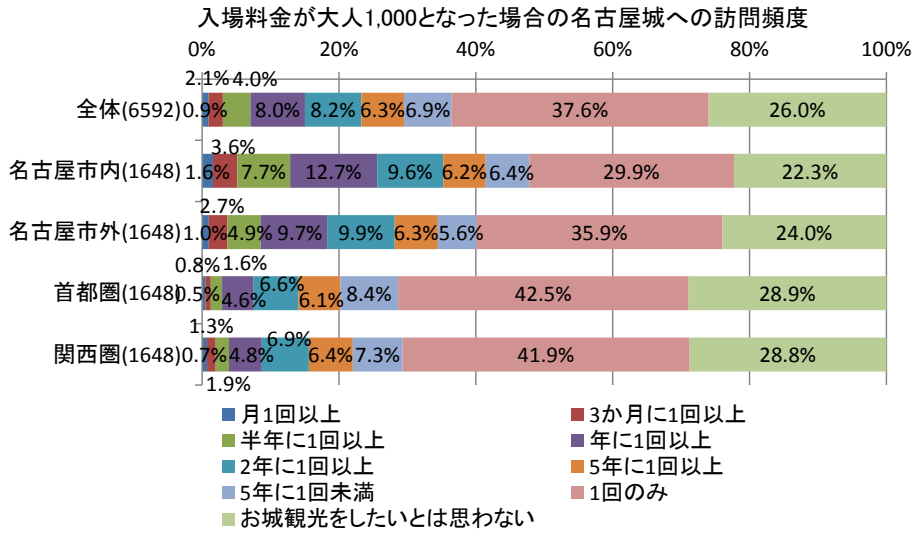


【設問16】「現在、名古屋城の入場料金は一般大人500円、中学生以下無料です。あなたは、入場料金一般大人が1,000円になった場合、前問で回答した頻度（回数）は変わると思いますか。当てはまるもの一つを選んでください。変化が想定されない場合は、同じ選択肢を選んでください。

提示した参考情報

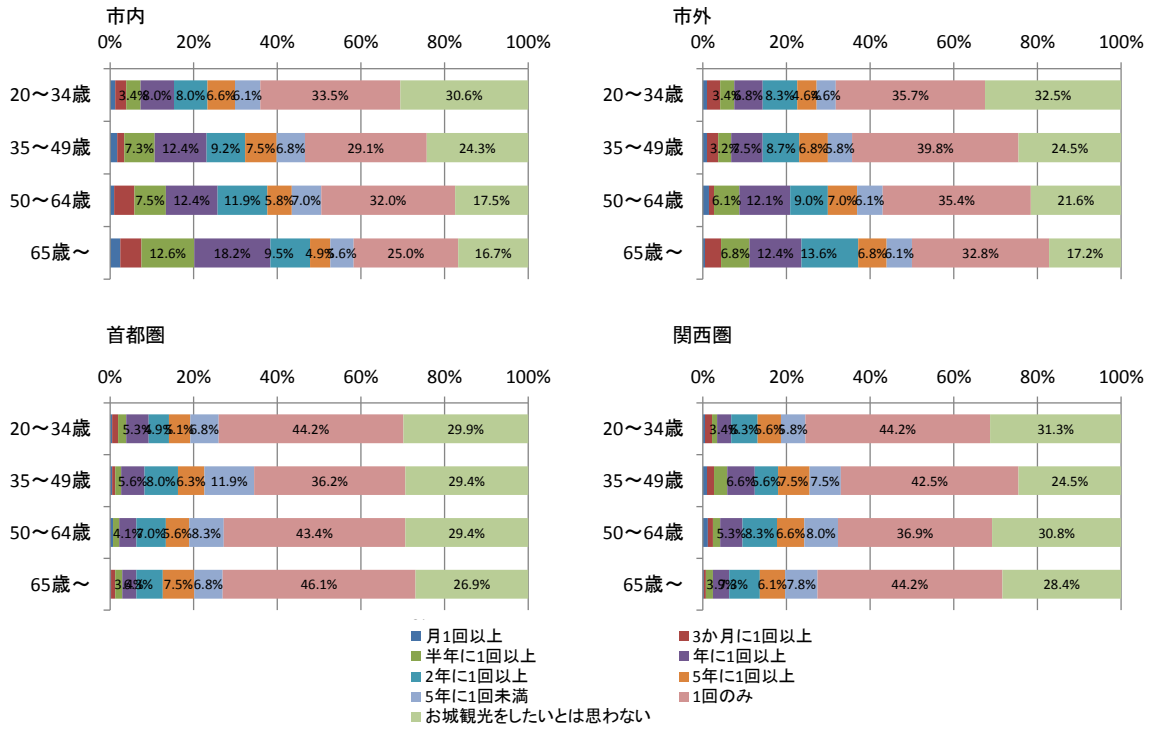
東京スカイツリー天望デッキ（当日券大人2,060円、高校生・中学生1,540円、小学生930円、幼児620円）
東京タワー大展望台（高校生以上900円、小中学生500円、幼児400円）
姫路城（18歳以上1,000円、小学生～高校生300円）
大阪城天守閣（大人600円、中学生以下無料）
名古屋テレビ塔展望料金（昼）（大人700円、高校・大学生600円、小・中学生300円、シニア600円）

「名古屋市内」「名古屋市外」において、半年に 1 回以上より多頻度の項目の割合は小さくなり、年に 1 回程度から 5 年に 1 回程度の割合が高くなっているなど、料金 1,000 円となることで訪問頻度が少なくなる。「首都圏」や「関西圏」の回答傾向は大きく変わらない。



	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	したいとは思わない
全体(6592)	0.9%	2.1%	4.0%	8.0%	8.2%	6.3%	6.9%	37.6%	26.0%
名古屋市内(1648)	1.6%	3.6%	7.7%	12.7%	9.6%	6.2%	6.4%	29.9%	22.3%
名古屋市外(1648)	1.0%	2.7%	4.9%	9.7%	9.9%	6.3%	5.6%	35.9%	24.0%
首都圏(1648)	0.5%	0.8%	1.6%	4.6%	6.6%	6.1%	8.4%	42.5%	28.9%
関西圏(1648)	0.7%	1.3%	1.9%	4.8%	6.9%	6.4%	7.3%	41.9%	28.8%

市内と市外では、市内では年齢が高いほど年に 1 回以上の割合が高まる傾向が見られる。首都圏と関西圏では、年齢が低いほど年に 1 回以上の割合が高まる傾向が見られる。

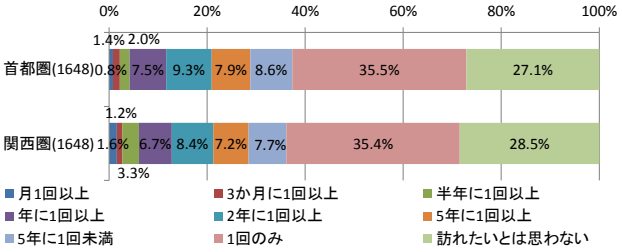


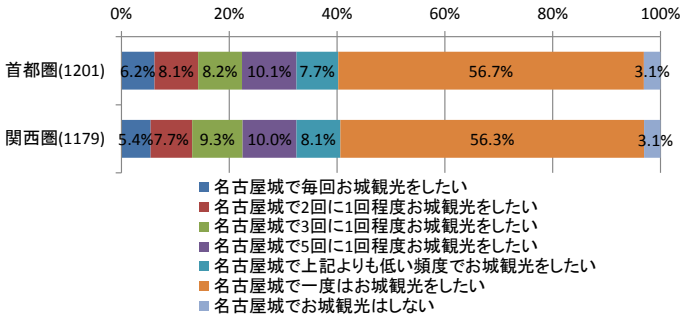
	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
名古屋市内									
20～34歳	1.2%	2.7%	3.4%	8.0%	8.0%	6.6%	6.1%	33.5%	30.6%
35～49歳	1.7%	1.7%	7.3%	12.4%	9.2%	7.5%	6.8%	29.1%	24.3%
50～64歳	1.0%	4.9%	7.5%	12.4%	11.9%	5.8%	7.0%	32.0%	17.5%
65歳～	2.4%	5.1%	12.6%	18.2%	9.5%	4.9%	5.6%	25.0%	16.7%
名古屋市外									
20～34歳	1.0%	3.2%	3.4%	6.8%	8.3%	4.6%	4.6%	35.7%	32.5%
35～49歳	1.0%	2.7%	3.2%	7.5%	8.7%	6.8%	5.8%	39.8%	24.5%
50～64歳	1.5%	1.2%	6.1%	12.1%	9.0%	7.0%	6.1%	35.4%	21.6%
65歳～	0.5%	3.9%	6.8%	12.4%	13.6%	6.8%	6.1%	32.8%	17.2%
首都圏									
20～34歳	0.5%	1.5%	1.9%	5.3%	4.9%	5.1%	6.8%	44.2%	29.9%
35～49歳	0.5%	0.7%	1.5%	5.6%	8.0%	6.3%	11.9%	36.2%	29.4%
50～64歳	0.7%	0.0%	1.5%	4.1%	7.0%	5.6%	8.3%	43.4%	29.4%
65歳～	0.2%	1.0%	1.7%	3.4%	6.3%	7.5%	6.8%	46.1%	26.9%
関西圏									
20～34歳	0.5%	1.7%	1.2%	3.4%	6.3%	5.6%	5.8%	44.2%	31.3%
35～49歳	1.0%	1.7%	3.2%	6.6%	5.6%	7.5%	7.5%	42.5%	24.5%
50～64歳	1.2%	1.2%	1.7%	5.3%	8.3%	6.6%	8.0%	36.9%	30.8%
65歳～	0.2%	0.5%	1.7%	3.9%	7.3%	6.1%	7.8%	44.2%	28.4%

【設問17】リニア中央新幹線が 2027 年に品川－名古屋間、2037 年に品川－名古屋－新大阪間で開業する予定です。品川－名古屋間は 40 分、新大阪－名古屋間は 20 分と、現在の新幹線料金に数百円の料金を追加することで利用でき、名古屋へのアクセス利便性がよくなります。リニア中央新幹線ができることで、名古屋市に観光に訪れたいと思いますか。名古屋城天守閣の木造復元がされた状態であることを前提としてお考えください。

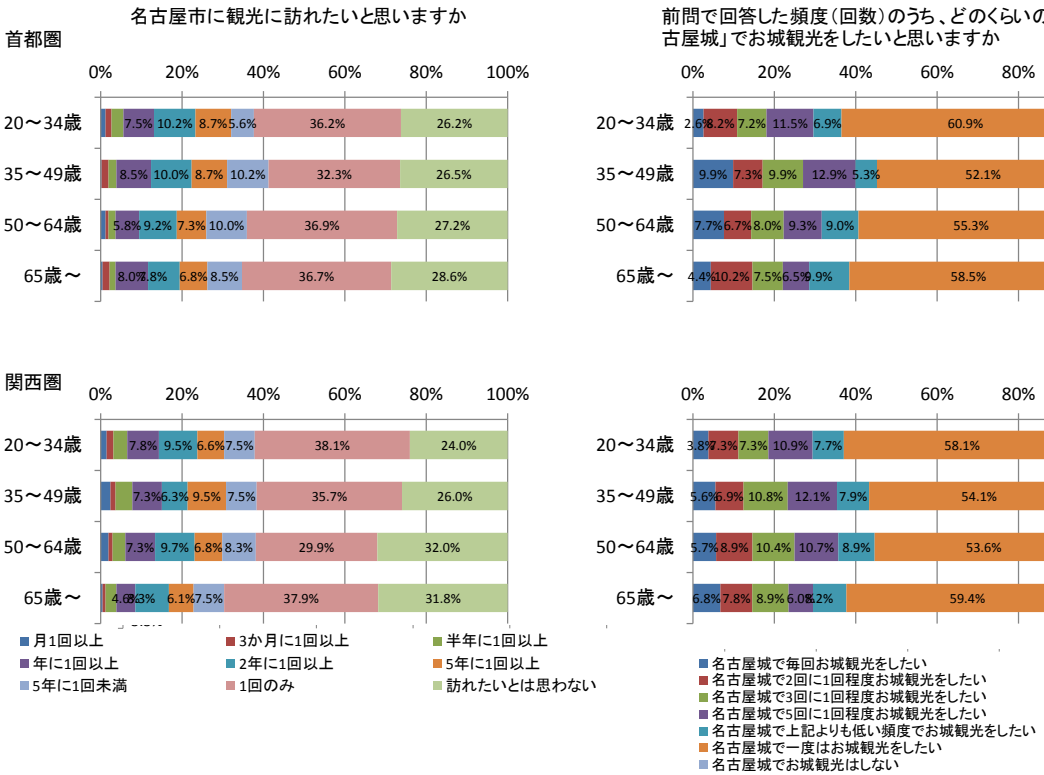
【設問18】リニア中央新幹線開業した後、前問で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。

名古屋市への観光以降について、「首都圏」「関西圏」の回答割合はほぼ同じ。「年に 1 回以上」より多い多頻度は 1 割程度となっている。名古屋城でのお城観光は、「一度はお城観光したい」が 6 割弱であり、5 回に 1 回より多いリピートは 3 割強となる。





関西圏の 65 歳以上では、年に 1 回以上の割合が高い。名古屋城でのお城観光意向は、首都圏の「35～49 歳」で年に 1 回以上の割合が高い。

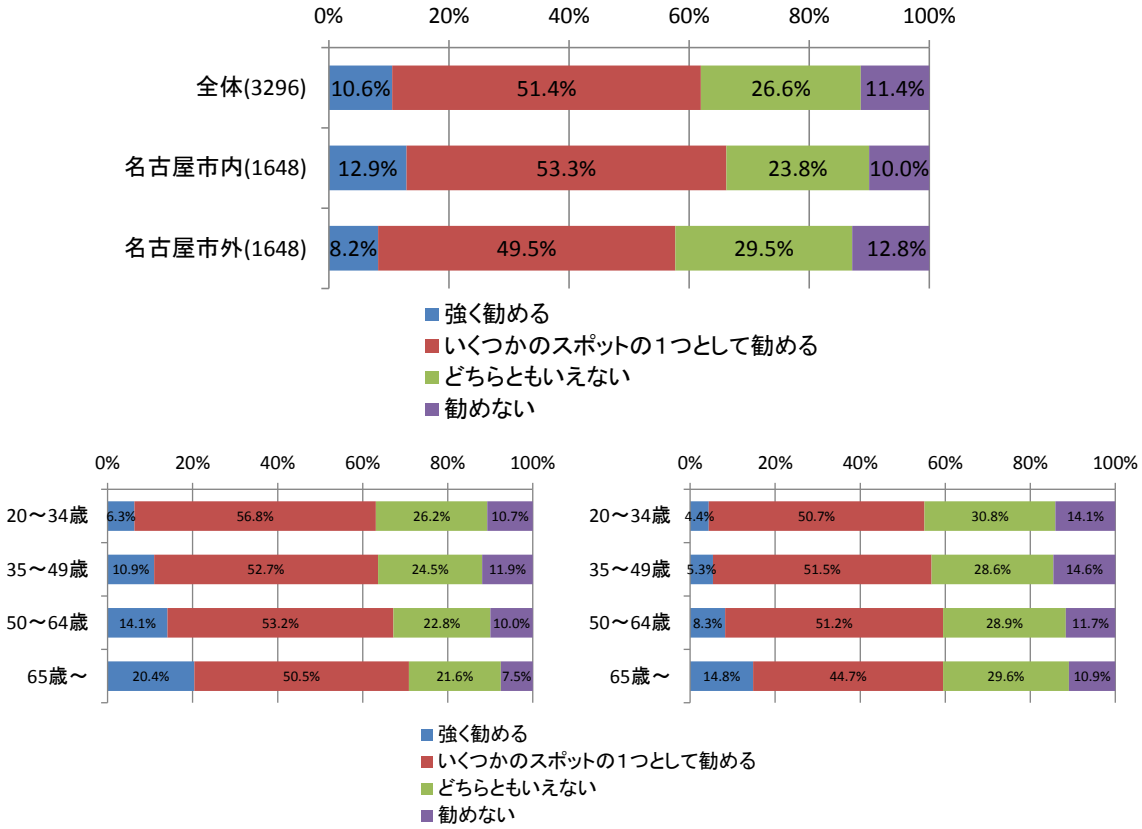


	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
首都圏									
20～34歳	1.2%	1.5%	2.9%	7.5%	10.2%	8.7%	5.6%	36.2%	26.2%
35～49歳	0.2%	1.7%	1.9%	8.5%	10.0%	8.7%	10.2%	32.3%	26.5%
50～64歳	1.2%	0.7%	1.7%	5.8%	9.2%	7.3%	10.0%	36.9%	27.2%
65歳～	0.5%	1.7%	1.5%	8.0%	7.8%	6.8%	8.5%	36.7%	28.6%
関西圏									
20～34歳	1.5%	1.7%	3.4%	7.8%	9.5%	6.6%	7.5%	38.1%	24.0%
35～49歳	2.4%	1.2%	4.1%	7.3%	6.3%	9.5%	7.5%	35.7%	26.0%
50～64歳	1.9%	1.0%	3.2%	7.3%	9.7%	6.8%	8.3%	29.9%	32.0%
65歳～	0.5%	0.7%	2.7%	4.6%	8.3%	6.1%	7.5%	37.9%	31.8%

	名古屋城で毎回お城観光をしたい	名古屋城で2回に1回程度お城観光をしたい	名古屋城で3回に1回程度お城観光をしたい	名古屋城で5回に1回程度お城観光をしたい	名古屋城で上記よりも低い頻度でお城観光をしたい	名古屋城で一度はお城観光をしたい	名古屋城でお城観光はしない
首都圏							
20～34歳	2.6%	8.2%	7.2%	11.5%	6.9%	60.9%	2.6%
35～49歳	9.9%	7.3%	9.9%	12.9%	5.3%	52.1%	2.6%
50～64歳	7.7%	6.7%	8.0%	9.3%	9.0%	55.3%	4.0%
65歳～	4.4%	10.2%	7.5%	6.5%	9.9%	58.5%	3.1%
関西圏							
20～34歳	3.8%	7.3%	7.3%	10.9%	7.7%	58.1%	4.8%
35～49歳	5.6%	6.9%	10.8%	12.1%	7.9%	54.1%	2.6%
50～64歳	5.7%	8.9%	10.4%	10.7%	8.9%	53.6%	1.8%
65歳～	6.8%	7.8%	8.9%	6.0%	8.2%	59.4%	2.8%

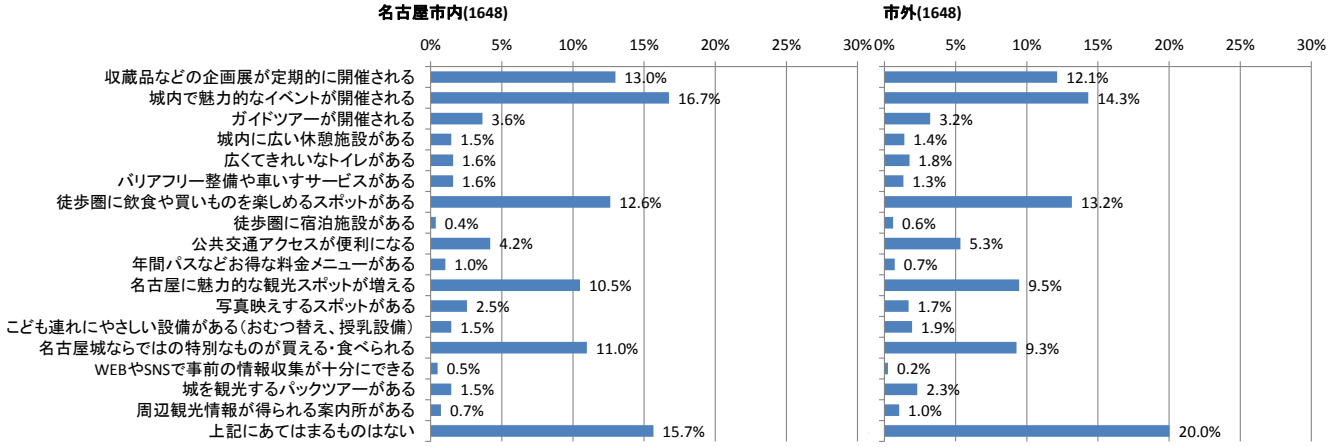
【設問19】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、名古屋市外に住む家族、友人・知人があなたのお住まいの地域や名古屋市に来るときに、名古屋城の「お城観光」をお勧めしますか。あてはまるもの一つ選んでください。

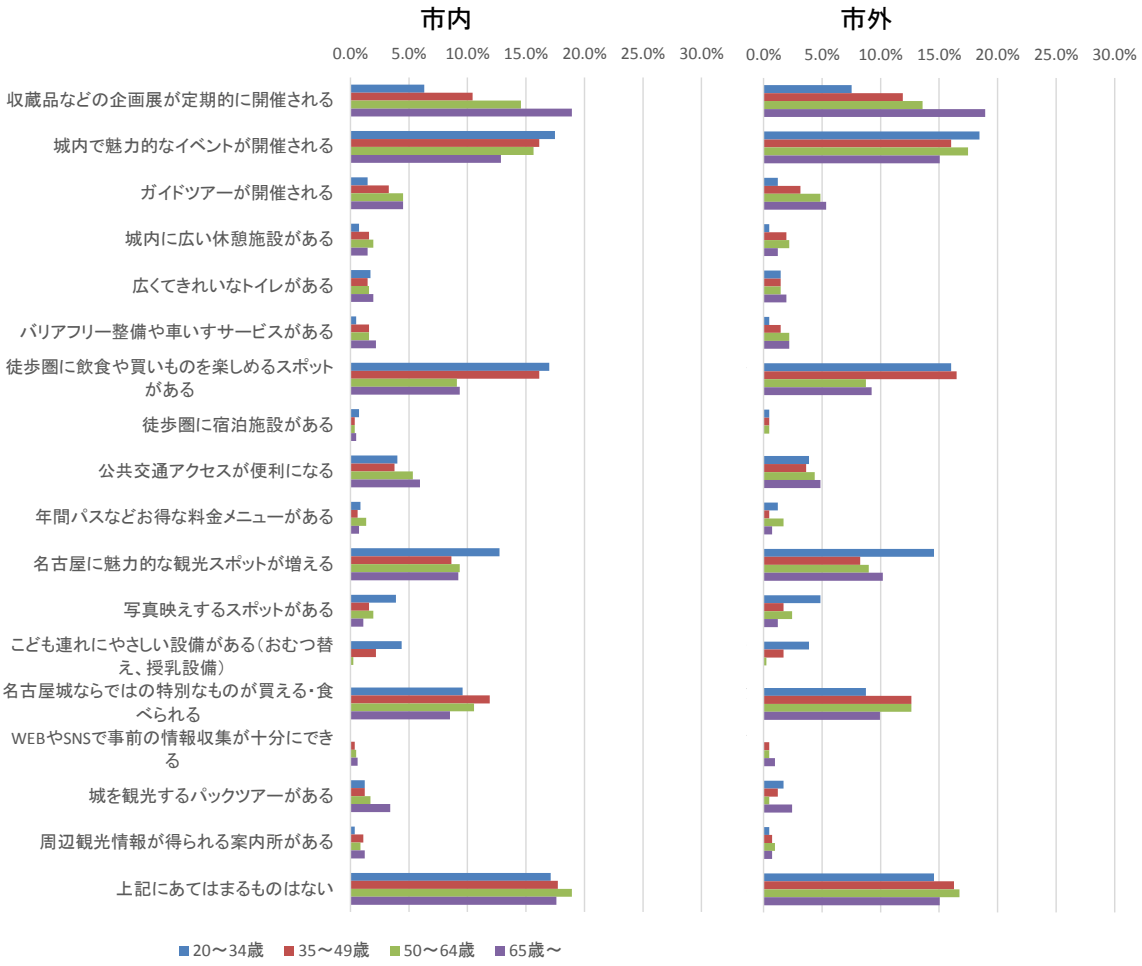
名古屋城の「お城観光」を「いくつかのスポットの１つとして勧める」の割合が半数程度となった。年齢が高くなるほど、家族・知人に「強く勧める」の割合が高くなる傾向がみられる。



【設問20】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、名古屋市外に住む家族、友人・知人があなたのお住まいの地域や名古屋市に来るときに、何が充実していると名古屋城の「お城観光」をお勧めしたいと思いますか。特に重要と考えるもの一つを選んでください。

充実しているとよい条件については、「域内で魅力的なイベントが開催される」「収蔵品などの企画展が定期的に開催される」「徒歩圏に飲食や買い物を楽しめるスポットがある」の割合が相対的に高い。





	収蔵品などの企画展が定期的に開催される	城内で魅力的なイベントが開催される	ガイドツアーが開催される	城内に広い休憩施設がある	広くてきれいなトイレがある	バリアフリー整備や車いすサービスがある	徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある	徒歩圏に宿泊施設がある	公共交通アクセスが便利になる
名古屋市内									
20～34歳	6.3%	17.5%	1.5%	0.7%	1.7%	0.5%	17.0%	0.7%	4.0%
35～49歳	10.4%	16.1%	3.3%	1.6%	1.5%	1.6%	16.1%	0.4%	3.8%
50～64歳	14.6%	15.7%	4.5%	1.9%	1.6%	1.6%	9.1%	0.4%	5.3%
65歳～	18.9%	12.9%	4.5%	1.5%	1.9%	2.2%	9.3%	0.5%	5.9%
名古屋市外									
20～34歳	7.5%	18.4%	1.2%	0.5%	1.5%	0.5%	16.0%	0.5%	3.9%
35～49歳	11.9%	16.0%	3.2%	1.9%	1.5%	1.5%	16.5%	0.5%	3.6%
50～64歳	13.6%	17.5%	4.9%	2.2%	1.5%	2.2%	8.7%	0.5%	4.4%
65歳～	18.9%	15.0%	5.3%	1.2%	1.9%	2.2%	9.2%	0.0%	4.9%

	年間パスなどお得な料金メニューがある	名古屋に魅力的な観光スポットが増える	写真映えするスポットがある	こども連れにやさしい設備がある（おむつ替え、授乳設備）	名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる	WEBやSNSで事前の情報収集が十分にできる	城を観光するパックツアーがある	周辺観光情報が得られる案内所がある	上記にあてはまるものはない
名古屋市内									
20～34歳	0.8%	12.7%	3.9%	4.4%	9.6%	0.0%	1.2%	0.4%	17.1%
35～49歳	0.6%	8.6%	1.6%	2.2%	11.9%	0.4%	1.2%	1.1%	17.7%
50～64歳	1.3%	9.3%	1.9%	0.2%	10.6%	0.5%	1.7%	0.8%	18.9%
65歳～	0.7%	9.2%	1.1%	0.0%	8.5%	0.6%	3.4%	1.2%	17.6%
名古屋市外									
20～34歳	1.2%	14.6%	4.9%	3.9%	8.7%	0.0%	1.7%	0.5%	14.6%
35～49歳	0.5%	8.3%	1.7%	1.7%	12.6%	0.5%	1.2%	0.7%	16.3%
50～64歳	1.7%	9.0%	2.4%	0.2%	12.6%	0.5%	0.5%	1.0%	16.7%
65歳～	0.7%	10.2%	1.2%	0.0%	10.0%	1.0%	2.4%	0.7%	15.0%

b） アンケート調査の概要（外国人）

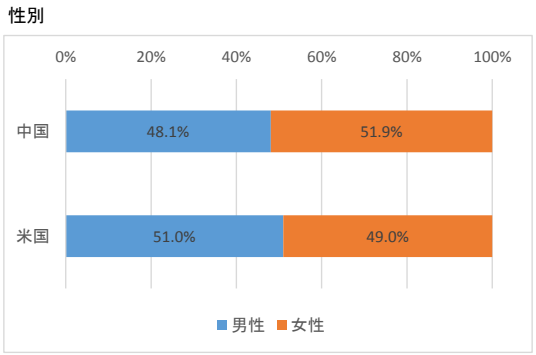
アンケート調査の実施日、対象者、サンプル数、設問は下表の通りである。

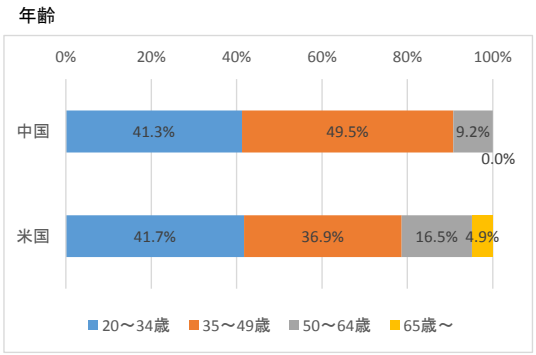
表 1-4　アンケート調査（外国人）の概要

	内容	
実施日	2017 年 11 月 27 日～2017 年 12 月 4 日	
対象者	名古屋市内への宿泊者数の最も多い国を対象 アジア：中国（313,701 人：44.0%）、欧米：米国（26,020 人：3.7%）　※ 合計 712,918 人（H27 年度宿泊施設調査） 訪日経験のある人に限定	
サンプル数	合計 412 サンプル　中国 206、米国 206	
目的	木造天守閣への来場者数を推計するため、国内及び外国人の名古屋城への来場意向を把握する。	
設問	Ⅰ．属性 S1 国 S2 性別 S3 年齢 S4 いったことのある国 S5 日本への旅行回数 Ⅱ．訪日状況 Q1 日本に行く予定の有無 Q2 訪日への期待 Q3 東京オリンピックと訪日旅行 Q4 日本への旅行計画のタイミング Q5 名古屋の認知度 Q6 名古屋の観光回数 Q7 名古屋への観光意向 Q8 日本のお城観光の経験 Q9 今後の日本旅行でお城を訪問する予定か Q10 日本のお城への期待	Ⅲ．名古屋城来場意向 Q11 天守閣木造復元の魅力 Q12 名古屋城に行ってみたいタイミング Q13 金シャチ横丁のある名古屋城への訪問意向 Q14 リニア乗車意向 Q15 リニアを利用して名古屋で観光したいか Q16 名古屋に観光する際に名古屋城に立ち寄りたいか Q17 名古屋城の木造天守閣再現と重視する項目が充足された場合の来場意向

■ 回答者属性

性別は男女半々。年齢は中国は 50 歳以上が約 1 割と少ない。両国とも 50 歳未満の方が 8 割かそれ以上の割合となる。





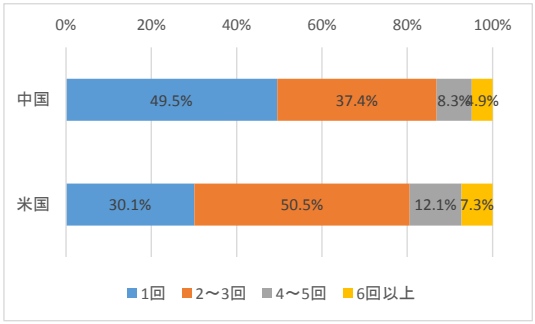
■ **アンケート調査の結果**

【設問 S4】あなたは、これまでに日本に何回いったことがありますか。数字をご記入ください。

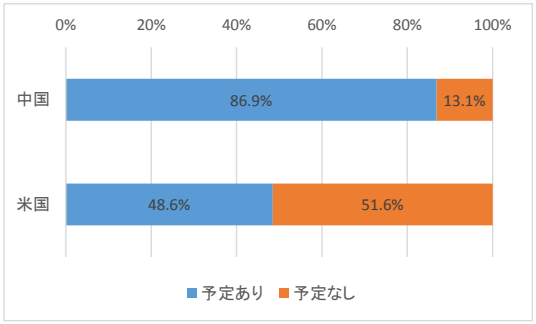
【設問 1】あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。

日本への訪問回数は、中国では 1 回が 49.5%、2~3 回が 37.4%、米国では 1 回が 30.1%、2~3 回が 50.5%。現時点で日本に観光に行く予定がある人は、中国では 9 割弱、米国では半数程度となっている。

訪日回数



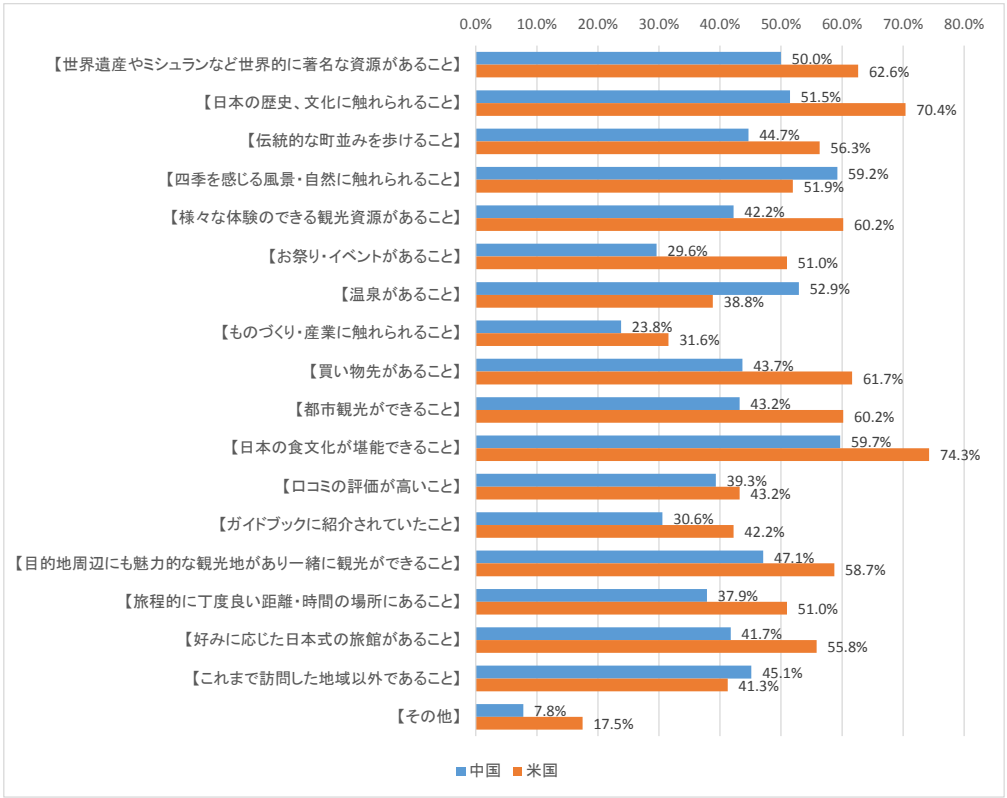
日本に観光に行く予定



【設問 2】あなたは日本に旅行する際に、以下の内容を期待しますか。あなたのお考えに最も近いもの一つをお選びください。

「大いに期待する」の割合をみると、中国では、「日本の食文化が堪能できること 」「四季を感じる風景・自然に触れられること 」の割合、米国では「日本の食文化が堪能できること 」「日本の歴史、文化に触れられること 」の割合が相対的に高い。

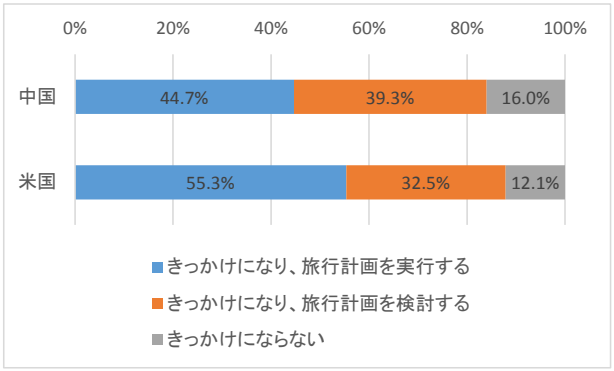
「大いに期待する」の割合



【設問 3】2020 年の東京オリンピックの開催は、日本に行くきっかけとなりますか。あてはまるものを一つを選択してください。

オリンピックが訪日のきっかけになり旅行計画を実行する人の割合は中国では 44.7%、米国では 55.3%となった。

オリンピックが訪日のきっかけになるか

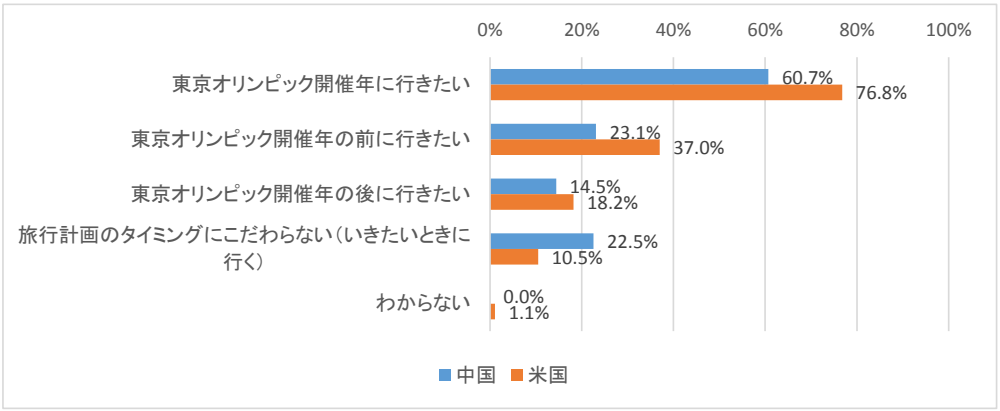


【設問 4】日本への旅行を計画する場合、東京オリンピックの開催年（2020 年）に行きたいと思いますか。あてはまるもの全てを選択してください。

日本旅行のタイミングとしては、両国ともに「東京オリンピック開催年に行きたい」が最も高い。

日本旅行のタイミング

（「きっかけになり旅行計画を実行する」「きっかけになり旅行計画を検討する」と回答した人）



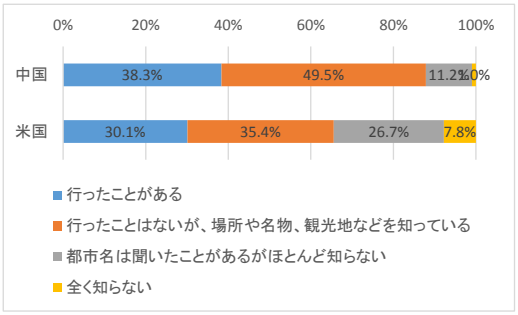
【設問 5】あなたは「名古屋」という都市をご存じですか。最もあてはまるものを選択してください。

【設問 6】これまでに名古屋を観光したことは何回ありますか。数字をご記入ください。

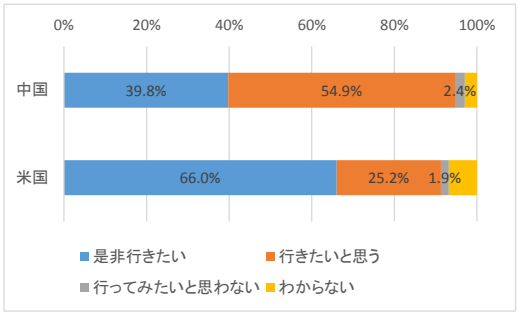
【設問 7】将来、日本へ旅行する場合、名古屋を観光する意向はありますか。

名古屋に「行ったことがある」人は中国で 4 割、米国で 3 割。そのうち、複数回の人は中国で 5 割、米国で 7 割。将来の名古屋観光の意向について、「是非行きたい」の割合は米国で 66.0%と中国より高い。

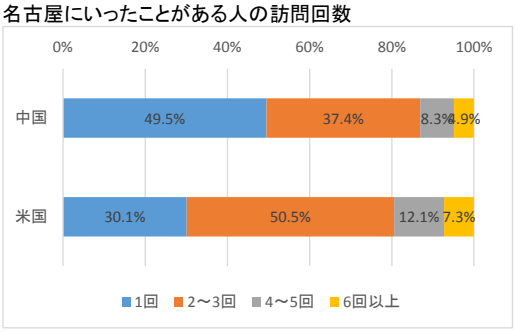
名古屋の認知度



将来の名古屋観光への意向



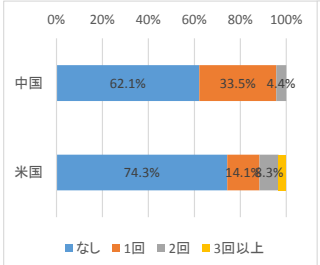
名古屋にいったことがある人の訪問回数



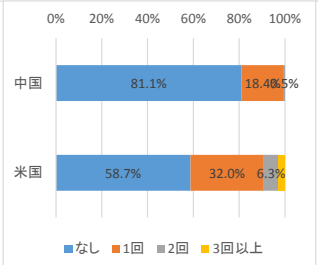
【設問 8】あなたはこれまでに、以下の日本のお城を観光した経験はありますか。

1 回以上の経験の多い城は、中国、米国ともに「大阪城」。米国人が中国人よりも経験の多い城は「姫路城」「首里城」「松本城」「二条城」となった。

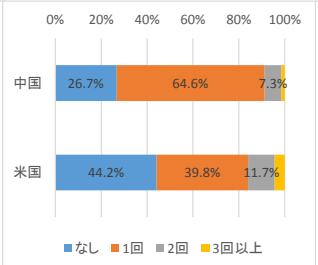
名古屋城



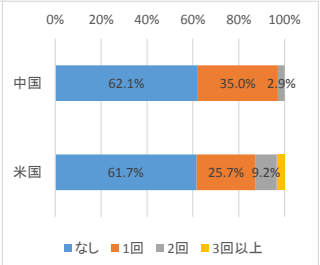
姫路城



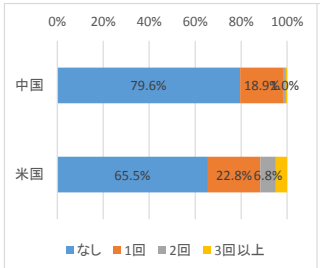
大阪城



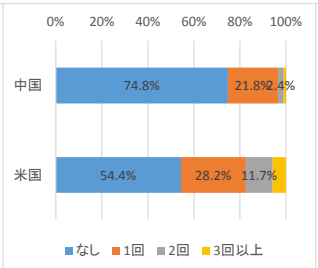
熊本城



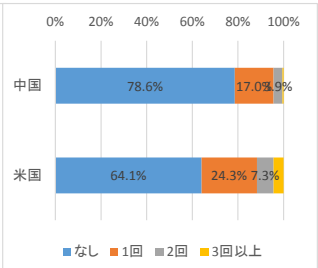
首里城



松本城

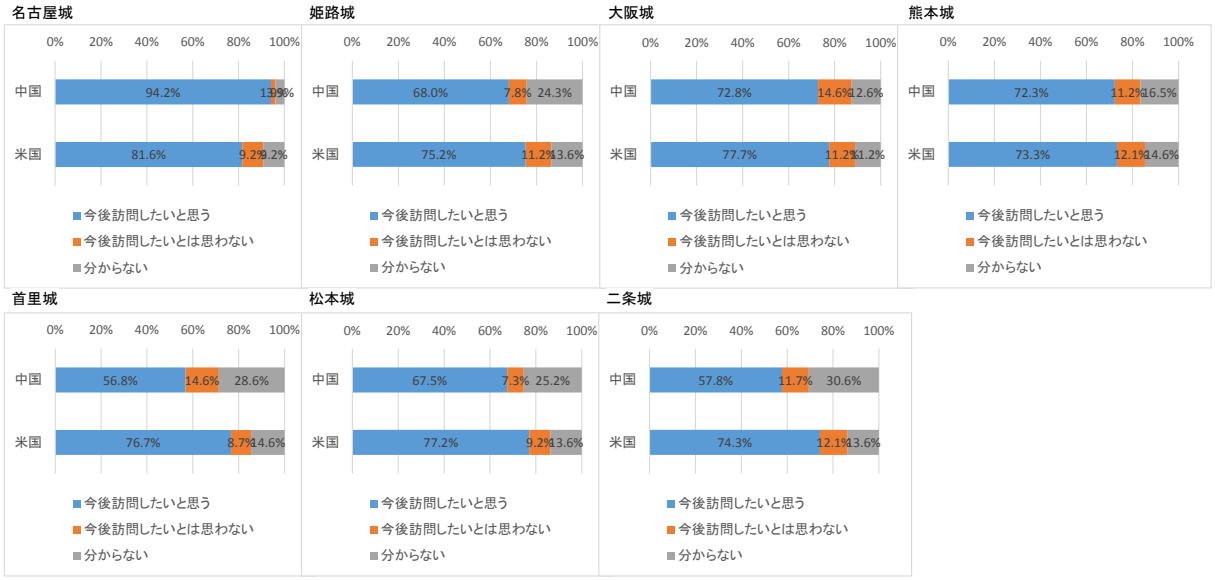


二条城



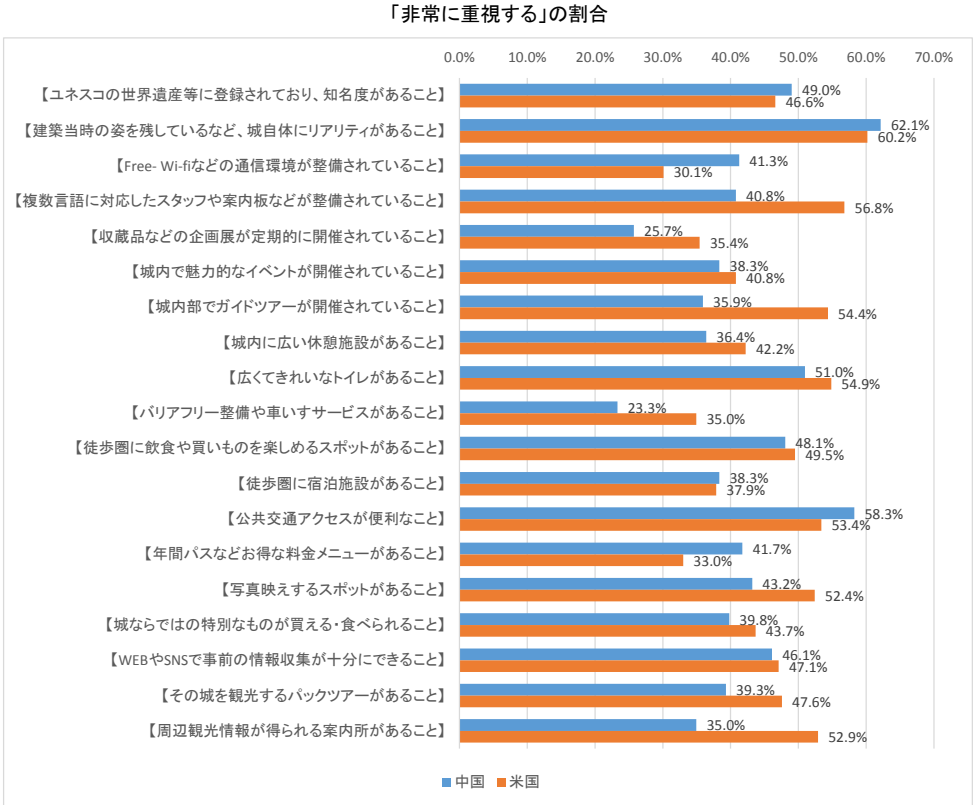
【設問 9】あなたは今後日本旅行で、以下のお城を訪問する予定ですか。

名古屋城は中国、米国ともに、「今後訪問したいと思う」の割合が 8 割以上。中国の割合の方が高い。



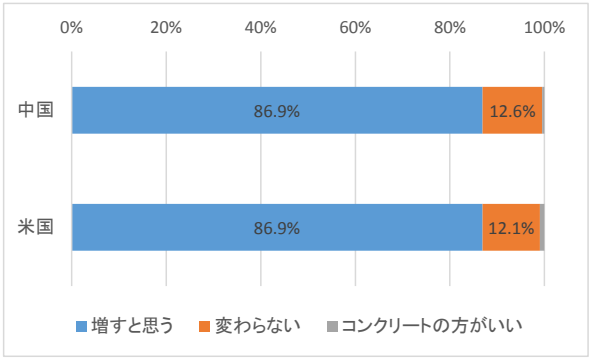
【設問 10】あなたは日本のお城にどういったことを期待しますか。以下項目毎に、あなたのお考えに最も近いものを選択してください。

中国、米国ともに「建築当時の姿を残しているなど、城自体にリアリティがあること」の割合が最も高い。次いで、中国では「公共交通アクセスが便利なこと」、米国では「複数言語に対応したスタッフや案内板などが整備されていること」の割合が高い。



【設問 11】名古屋城天守閣をコンクリートから木造で建て替えると、お城の「魅力」は増すと思いますか。

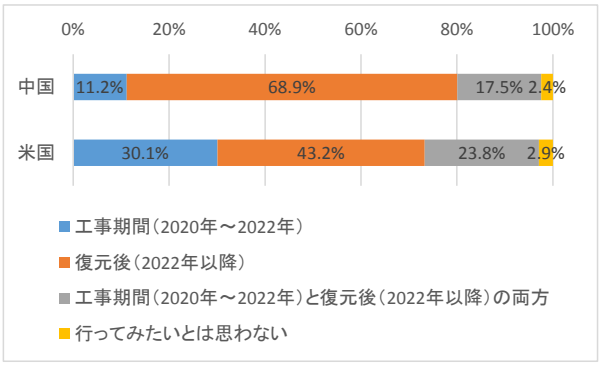
中国、米国ともに、8 割以上の人が「増すと思う」と回答している。



【設問 12】「名古屋城天守閣の木造復元」の工事期間（2020 年～2022 年を予定）は「天守閣」のみ入場できませんが高度で大規模な木造建築技術や匠の技を間近に見ることのできる唯一の期間でもあります。名古屋城が木造天守閣として、よりリアリティの高い姿で復元された場合、名古屋城に行ってみたいと思いますか。

中国は「復元後」の割合が 7 割弱と高く、米国では「工事期間」が 3 割、「復元後」が 4 割との回答となっている。

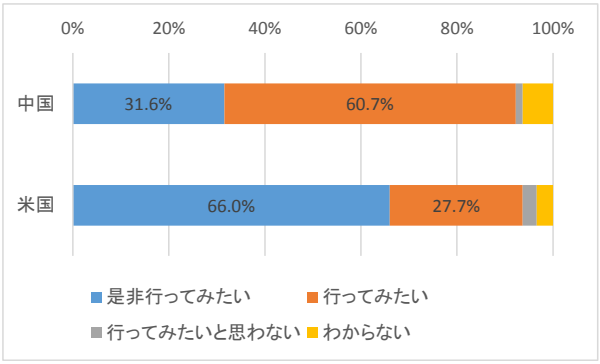
木造復元された場合の名古屋城への訪問意向



【設問 13】あなたは、名古屋城に隣接する「金シャチ横丁」(2018 年)があれば、復元された名古屋城に行ってみたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。

金シャチ横丁がある場合の名古屋城への訪問意向は、「是非行ってみたい」の割合が中国よりも米国の方が 66.0%と高い。

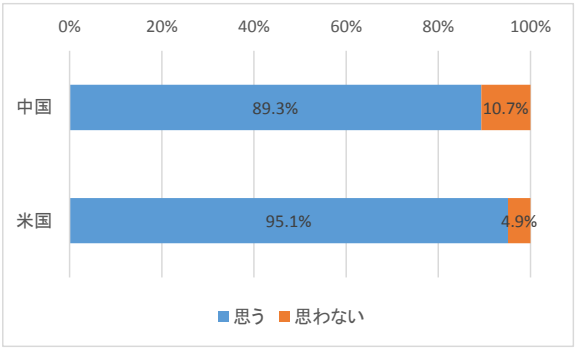
金シャチ横丁がある場合の名古屋城への訪問意向



【設問 14】2022 年の名古屋城の木造天守閣復元に加えて、2027 年には東京－名古屋間(約 300km)において、高速鉄道(世界初の時速 500km/h 以上で走行する浮上式リニアモーターカー、現在東京－名古屋間の所要時間 1 時間 30 分が 40 分に短縮)の開業が予定されています。あなたはこのリニアモーターカーに乗ってみたいと思いますか。

リニア乗車意向は中国、米国ともに 9 割もしくは 9 割以上となった。

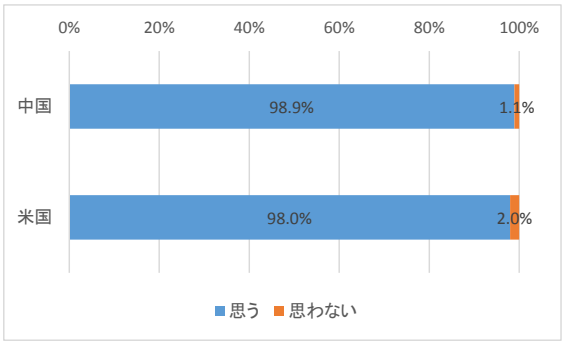
リニア乗車意向



【設問 15】また、リニアモーターカーを利用することにより、東京－名古屋間は 40 分で結ばれ、東京観光とあわせて、名古屋への観光がしやすくなります。名古屋市への観光をしたいと思いますか。

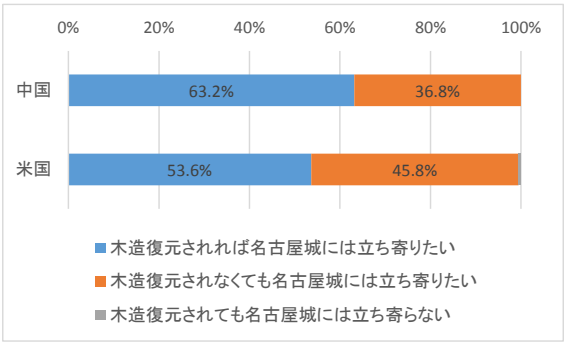
リニア乗車意向のある人のリニアを利用した名古屋への観光意向は 98%の人が名古屋市への観光をしたいと思うに回答している。

リニアを利用した名古屋への観光意向



【設問 16】名古屋に観光する際に、「名古屋城」に立ち寄りたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。

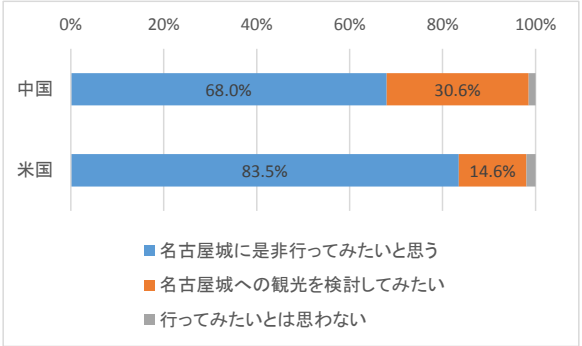
「木造復元されれば名古屋城には立ち寄りたい」の割合は中国で 6 割強、米国で 5 割強となった。



【設問 17】名古屋城の木造天守閣再現に加え、前問であなたが「1. 非常に重視する」と答えた項目がすべて充足された場合、名古屋城に行ってみたいと思いますか。

「名古屋城に是非行ってみたいと思う」は中国で 7 割弱、米国で 8 割強となった。

条件が充足された場合の名古屋城への訪問意向



(3) 他事例・文献調査

a） 新幹線開業が観光客数に与える影響について（リニア開業影響への考察）

北陸新幹線と新たにつながった地域からの観光客数は、開業前に比べ 1.5 倍以上の伸びがみられる。リニア開業は名古屋市への観光客数を増加させるものと考えられる。

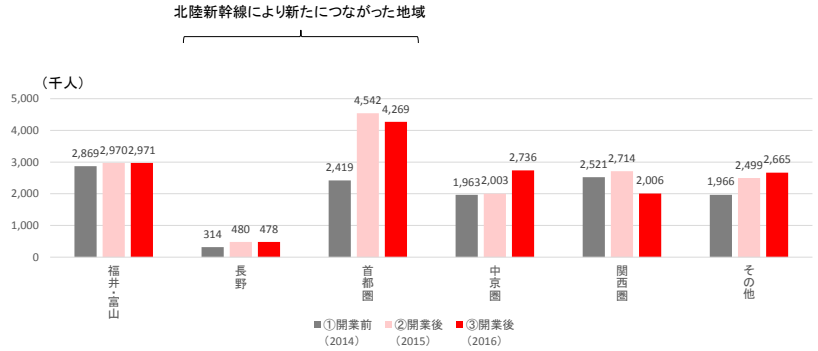


図 1-7　北陸新幹線開業による石川県の観光客数の変化

出典：統計からみた石川県の観光

また、新幹線開業が観光客数に与えた影響をみると、97’開業の長野（北陸）新幹線以外において開業次年度の観光客数は増加している（青：黄）。開業 2 年目以降、ピーク時と比較していずれの都市も大きな減少率は見られず、開業年次水準で推移している。（熊本市は熊本地震の影響）

こうしたことから、リニア開業の影響に伴う 2 年目以降の観光客数の減少は小さいものと想定される。本推計においては、リニア開業以降の観光客数に帯する減衰率は考慮しいとした。

表 1-5　整備新幹線開業後の各県・市の観光客数の変化

（千人）

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
		'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16
東北新幹線	青森市	4,999	5,020	4,964	4,964	4,949	5,769	5,939
2010.12.4	（対前年比）	–	**1.00**	0.99	0.99	0.99	1.15	1.18
北陸新幹線	金沢地域	8,152	7,618	7,942	8,239	8,442	10,064	10,335
2015.3.14	（対前年比）	–	–	–	–	–	**1.00**	**1.03**
九州新幹線	熊本市	5,327	5,468	5,229	5,441	5,566	5,607	4,600
2011.3.12	（対前年比）	–	**1.00**	0.96	1.00	1.02	1.03	0.84
	鹿児島市	8,875	9,555	9,392	9,517	9,498	9,532	9,554
	（対前年比）	–	**1.00**	0.98	1.00	0.99	1.00	1.00
備考		東日本大震災3.11					善光寺御開帳	熊本地震4.14

		H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度
		'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01
長野（北陸）新幹線	長野地域	16,319	16,291	21,638	16,265	15,286	15,731	15,112
1997.10.1		–	–	–	**1.00**	0.94	0.97	0.93
				善光寺御開帳、長野OP				
		開通年度						

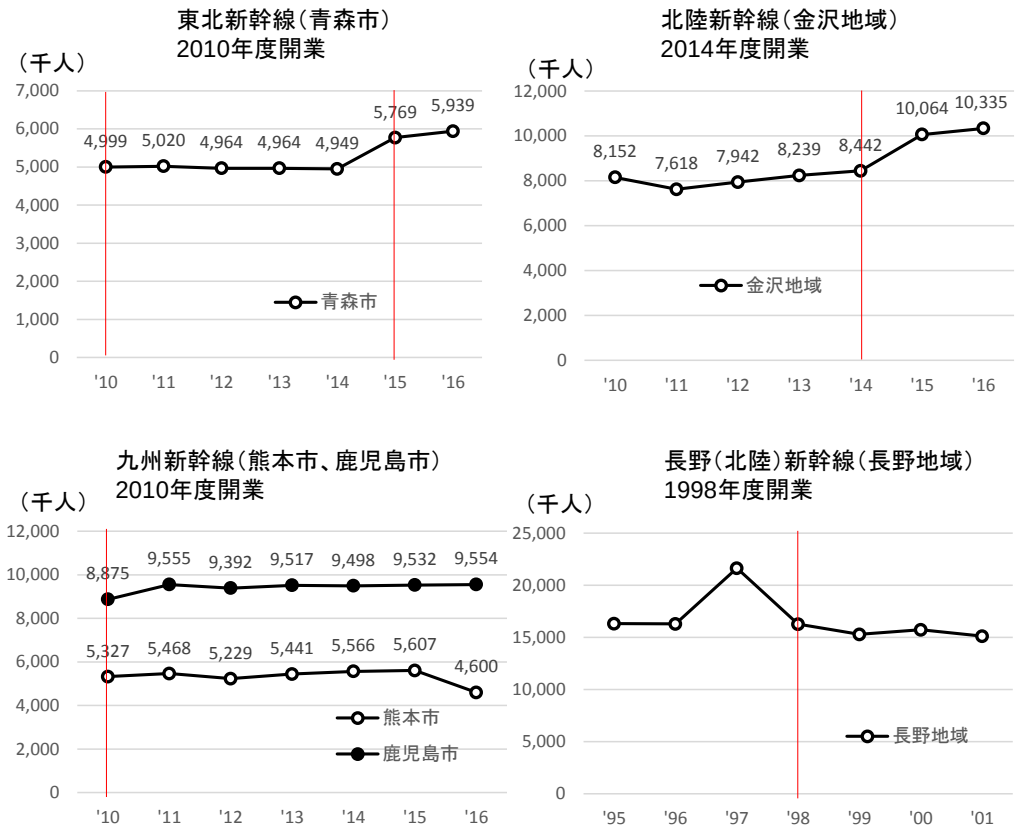


図 1-8　整備新幹線所在都市・地域における観光客数の推移

出典：各県・市観光統計

b） トレンドの整理

■ 国内

国内の入場者母数の推計においては、全国の交流人口を求めてから、名古屋市の全国シェアを乗じて推計している。そのため、名古屋市の全国シェアの設定が、将来の名古屋市の交流人口に大きく影響する。ここでは、過去の交流人口の名古屋市の全国シェアのトレンドを確認し、入場者母数の推計に対する設定を行った。

入場者母数で採用した交流人口（全国）の名古屋市の全国シェアと全国シェア設定別にみた名古屋城入場者母数の推移（国内）は次図のようになる。名古屋市の全国シェアは近年上昇傾向にあり、短期的には上昇していくと考えられる。しかしながら、その上昇幅は逓減していくと考えられるため、近年の上昇傾向をそのまま当てはめると過大推計となる可能性がある。

そのため、本入場者母数の推計においては、直近（2015 年）の名古屋市の全国シェアを用いて、それが一定で推移すると設定した。

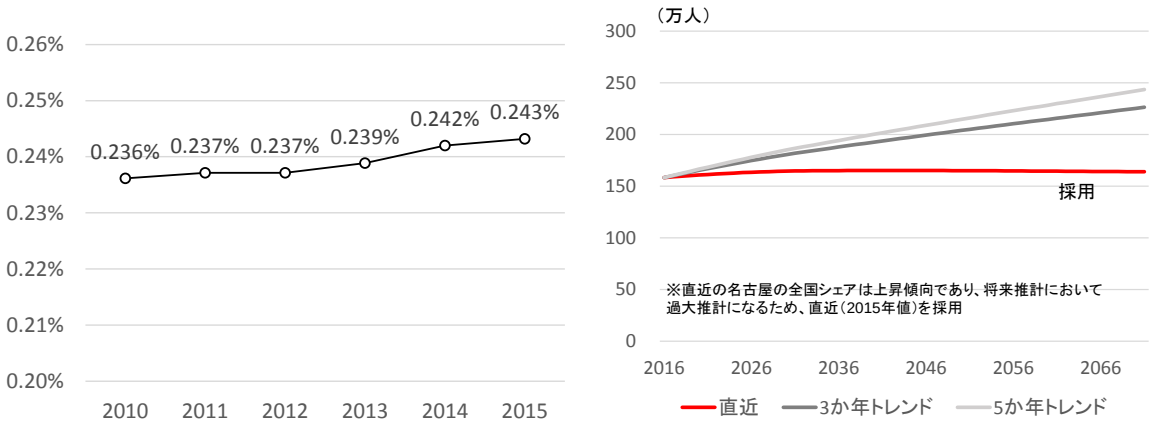


図 1-9　名古屋市の全国シェアの推移（左）と全国シェアの設定別の名古屋城入場者母数の推移（右）

出典：国土交通省「地域旅客流動調査」、中京都市圏総合都市交通計画協議会「中京都市圏パーソントリップ調査」

■ 国外

国外の入場者母数の推計においては、愛知県の訪問率を名古屋市の訪問率と見なし、訪日外国人数に乗じて設定する。そのため名古屋市の訪問率が、名古屋城の外国人観光客数に大きく影響する。ここでは、過去の名古屋市の訪問率のトレンドを確認し、将来の入場者母数の推計に対する設定を行った。

名古屋市の訪問率と訪問率設定別にみた名古屋城入場者母数（国外）の推移は次図のようになる。過去 10 年の名古屋市の訪問率をみると、最大が 10.9%、最小が 8.5%とばらつきがみられるため、入場者母数の推計にあたっては、トレンドでなく、平均値をとることが望ましい。本推計においては、名古屋市の訪問率の過去 10 年の平均値とした。

なお、訪問率の過去 10 年トレンドはリーマンショックや東日本大震災の影響が大きく影響し、低下傾向を示している。また、訪問率の過去 5 年トレンドは、東日本大震災後であり、上昇傾向を示しており、実際に愛知県（名古屋市）への外国人の訪問率が上昇している。（例えば、アジアからの訪日客が一巡し、リピート先として、名古屋を拠点にした観光が行われるなどを想定）この傾向が将来にわたって続いた場合を（参考）シナリオとして設定した。

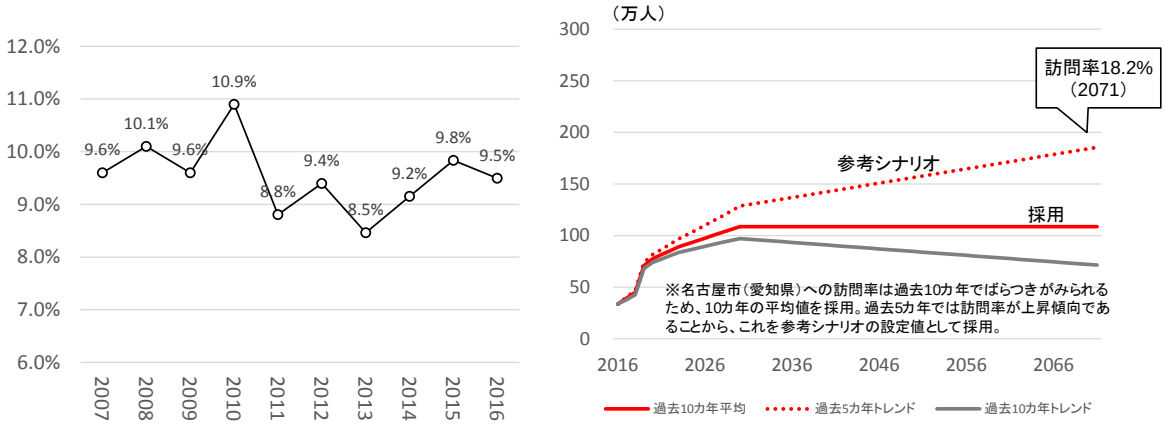


図 1-10　愛知県への訪問率の推移（左）と訪問率設定別の名古屋城入場者母数の推移（右）

出典：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」

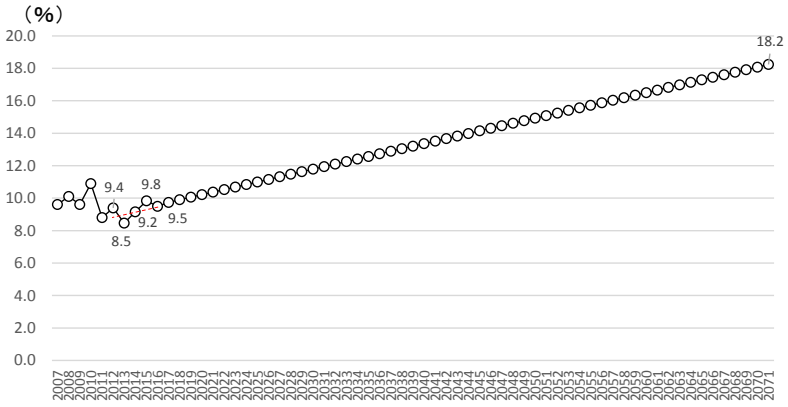


図 1-11　参考シナリオとした場合の訪問率の将来の推計値（過去 5 カ年トレンド）

※ここでは、愛知県への訪問率を名古屋市への訪問率とみなした。

c） 減衰率の設定

一般に集客施設の入場者数においては、開業年がピークとなり年次を追うごとに減少していくケースが多く、実際、姫路城や熊本城などでは、復元後の翌年以降、入場者数は減少している。そのため、名古屋城木造復元した翌年以降、入場者数は減少していくことが想定されることから、ここでは、全国の類似事例の入場者数の推移を参考に、名古屋城復元の入場者数の開業年以降の減衰率を設定した。

具体的には、開業年で 1,000,000 人以上、かつ、データが収集可能な集客施設を対象に、開業年度と 5 カ年面までの入場者数から、対数変換による回帰分析を行い、開業年数と入場者数の関係式として、α、β のパラメータを導出した。

入場者数推計の実際の減衰率の設定としては、対前年比として、類似事例野熊本城の事例を踏まえ、開業 1 年目：97%、開業 2 年目：79%、開業 3 年目以降は 70%と設定した。

表 1-6　対象施設と入場者数の推移（人）

	開業年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
リニア・鉄道館	2011	1,057,400	679,300	592,200	531,000	546,000
熊本城	2007	2,219,517	1,710,201	1,440,355	1,589,925	1,579,714
スカイツリー	2012	6,648,000	6,190,000	5,310,000	4,790,000	4,490,000

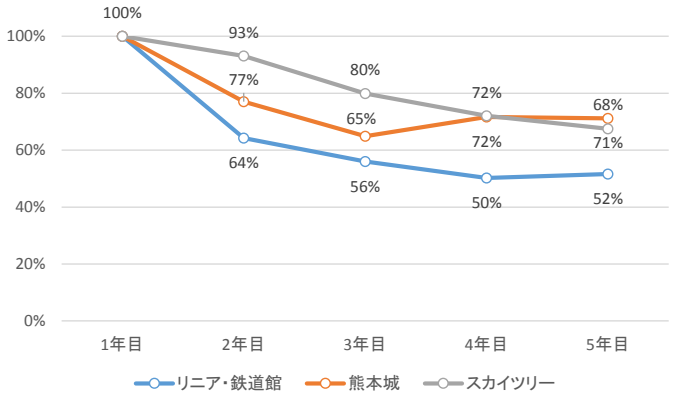


図 1-12　対象施設の入場者数の開業年対比

〔対数変換による回帰分析〕

Y＝αTβ

ここで、Y：入場者数、T：年数、α、β：係数

	係数等	t値
相関係数	0.772	—
決定係数	0.596	—
サンプル数	15	—
α	−0.02911	−0.3810
β	−0.30067	−4.3821

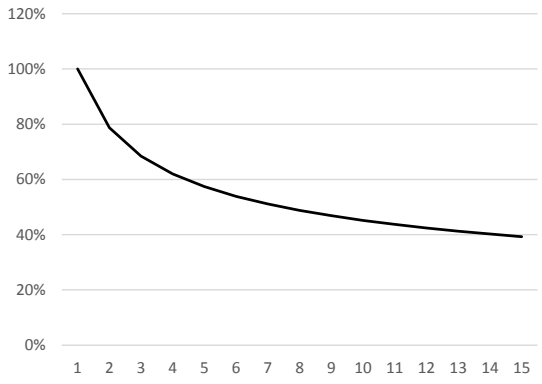


図 1-13　推計結果と減衰率曲線

d） セントレア新ターミナル開業による訪日来場者数の算出について

セントレア新ターミナルが 2019 年に開業予定となっている。新ターミナルは LCC 向けであり、外国人旅行者を中心に空港利用者が増加すると想定される。その影響は、愛知県等の観光客数にも大きく影響すると考えられる。

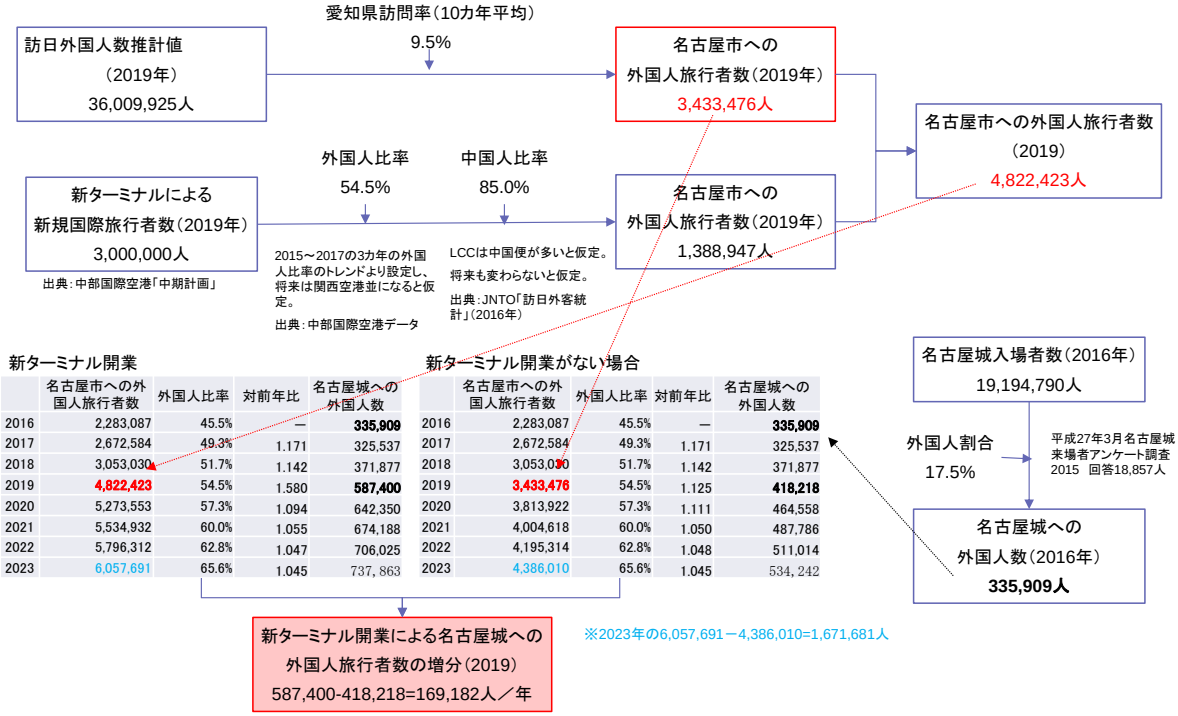
ここでは、セントレア新ターミナルの影響を加味するため、下図に示す考え方により、訪日来場者数を算出した。具体的には、中部国際空港では、2019 年の新ターミナルによる新規国際旅行者数を 300 万人と想定していることから、これに、「外国人比率」と「中国人比率」を乗じた外国人が名古屋市に観光に訪れると仮定した。ここでは、「外国人比率」は 2015～2017 年の 3 カ年の中部国際空港のトレンドを反映し、将来は関西国際空港並（約 65%）になると仮定した。また、中国との LCC が多くなると想定されることから、中国人比率を乗じている。

その結果、2019 年の名古屋市への外国人旅行者数は約 139 万人増加して、約 482 万人になり、名古屋城の外国人割合を乗じると、2019 年の外国人は約 42 万人（2016 年より約 8 万人増加）と見込まれる。

表 1-7　セントレア新ターミナルの概要

新ターミナルの概要 ①年間旅客取扱数：450 万人（国際線 300 万人、国内線 150 満員） ②延べ床面積：約 40,000 ㎡ ③2 階建て 2 棟構成 ④スポット数合計 10 スポット 供用時期：2019 年度上期

出典：中部国際空港株式会社「Centrair Group News」（2017 年 3 月 31 日）



	名古屋市への外国人旅行者数	外国人比率	対前年比	名古屋城への外国人数
2016	2,283,087	45.5%	–	**335,909**
2017	2,672,584	49.3%	1.171	325,537
2018	3,053,030	51.7%	1.142	371,877
2019	**4,822,423**	54.5%	1.580	**587,400**
2020	5,273,553	57.3%	1.094	642,350
2021	5,534,932	60.0%	1.055	674,188
2022	5,796,312	62.8%	1.047	706,025
2023	6,057,691	65.6%	1.045	737, 863

	名古屋市への外国人旅行者数	外国人比率	対前年比	名古屋城への外国人数
2016	2,283,087	45.5%	–	**335,909**
2017	2,672,584	49.3%	1.171	325,537
2018	3,053,030	51.7%	1.142	371,877
2019	**3,433,476**	54.5%	1.125	**418,218**
2020	3,813,922	57.3%	1.111	464,558
2021	4,004,618	60.0%	1.050	487,786
2022	4,195,314	62.8%	1.048	511,014
2023	4,386,010	65.6%	1.045	534, 242

図 1-14　算出方法

(4) 入場者数の推計

a） シナリオの設定

木造天守閣復元に係る入場者数について、施策よる頻度変化の影響や不確定要素のある入場者数を把握するため、「基本」シナリオを設定して、「低位」、「高位」、「参考」の入場者数を推計した。

具体的な推計方法は、p62 以降を参照。

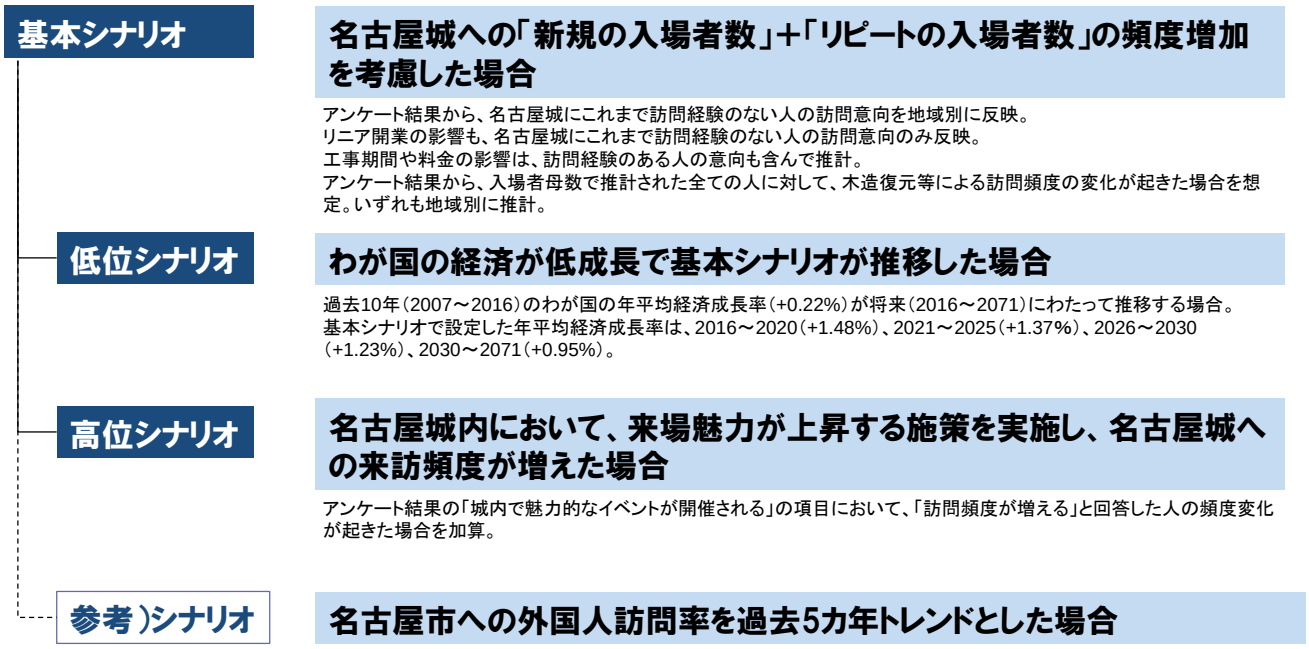


図 1-15　シナリオの設定

b） 見込み数の推計結果

名古屋城入場者数の実績は 192 万人（ 2016 年度）である。基本シナリオでは、2023 年の木造復元で 382 万人と見込まれる結果となった。

復元後、入場者数は減少するが、リニア名古屋開業効果（2028 年度）、同全線開業効果（2038 年度）で増加したのち、微減傾向となり、2071 年度まで 320 万人前後で推移すると見込まれる結果となった。

また、アンケート結果によるイベント開催効果を見込んだ高位シナリオでは、2038 年度以降は 350 万人前後で推移すると見込まれる結果となった。

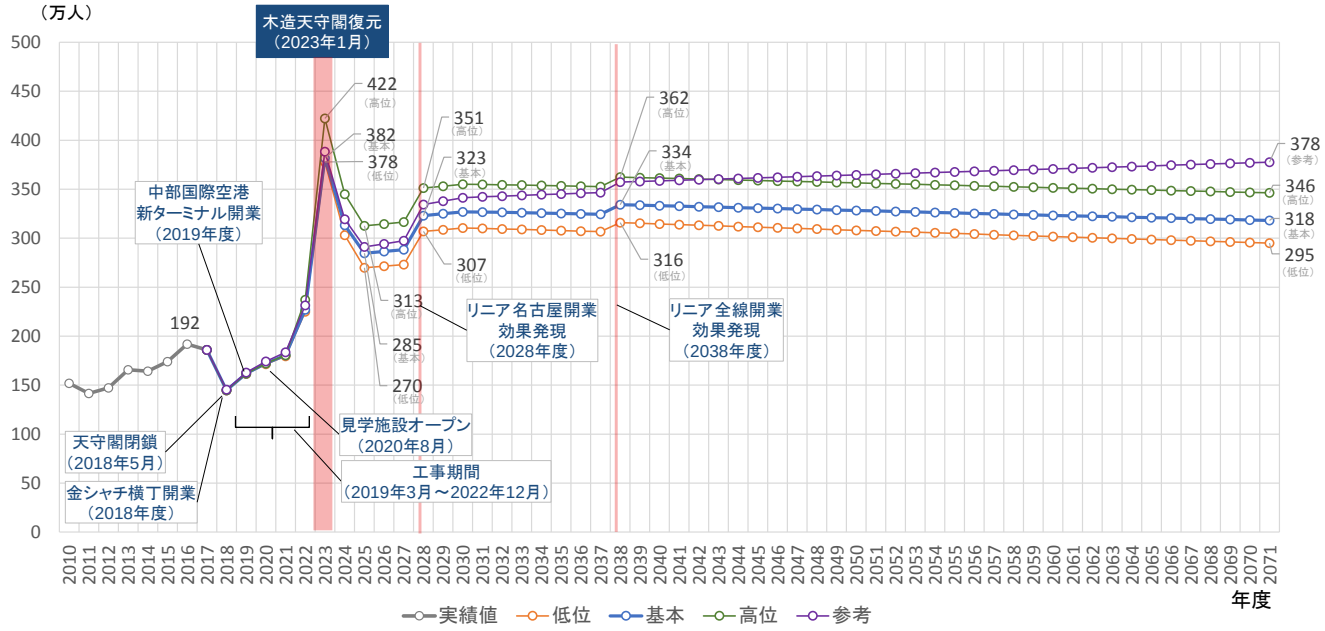
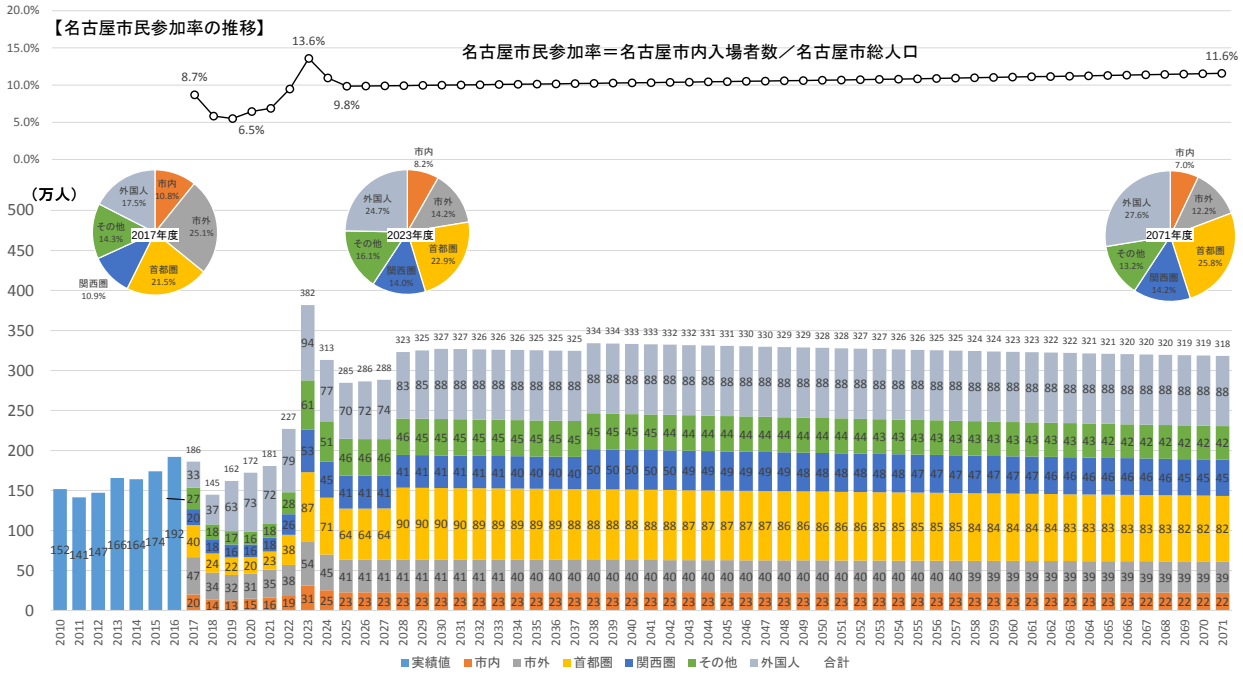


図 1-16　推計結果

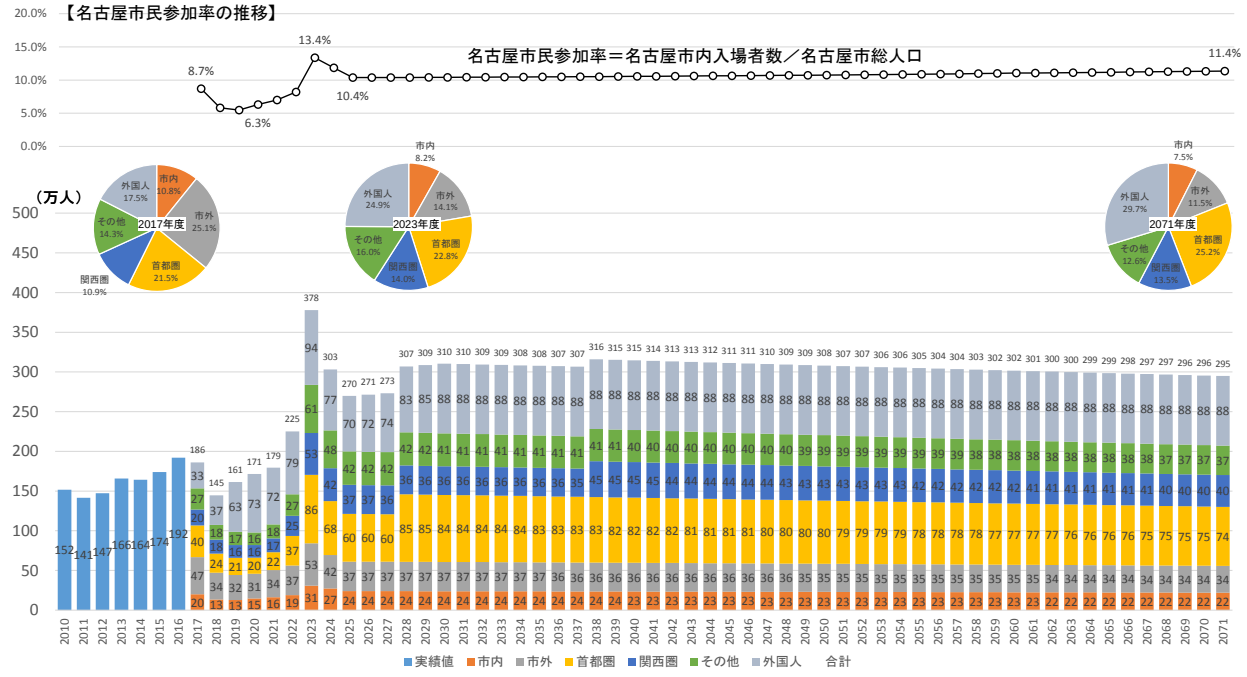
c） 属性別見込み数の推計結果

属性別の見込み数の推計結果は下図の通りとなった。なお、折れ線グラフは、名古屋市民の入場者数に名古屋市総人口を除した「名古屋市民参加率」、円グラフは市内、市外、首都圏、関西圏、その他、外国人の構成比、帯グラフは属性別の具体的数値となる。

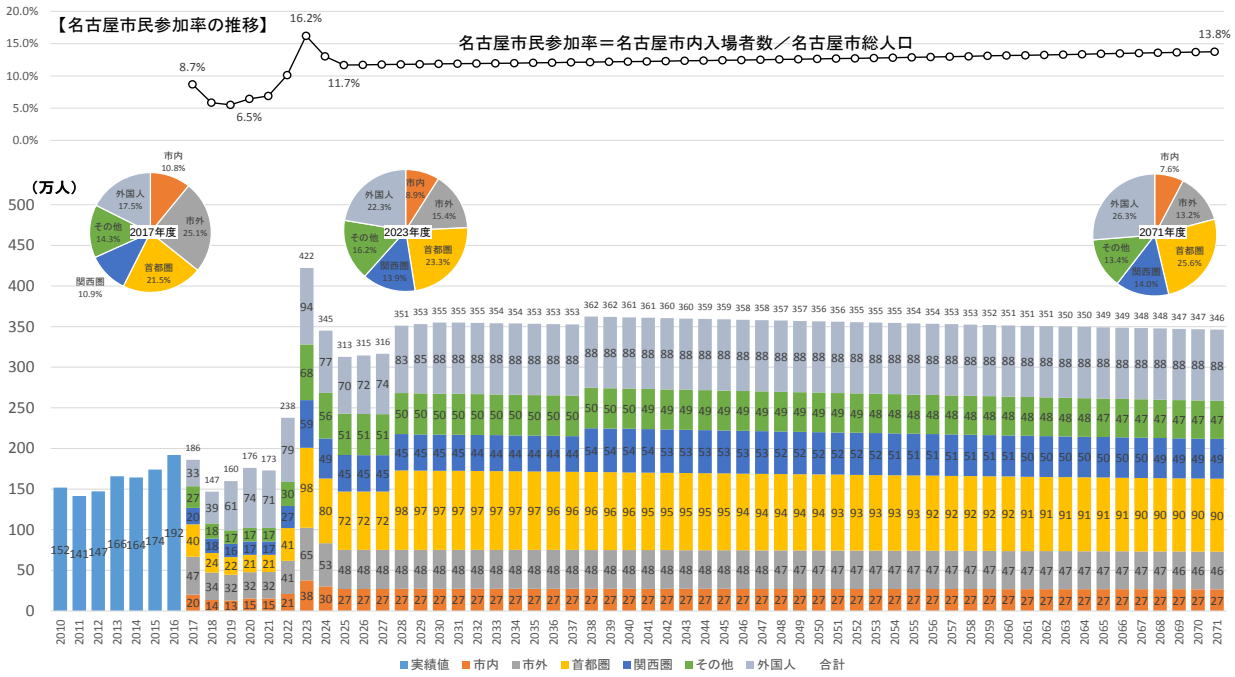
■ 基本ケース



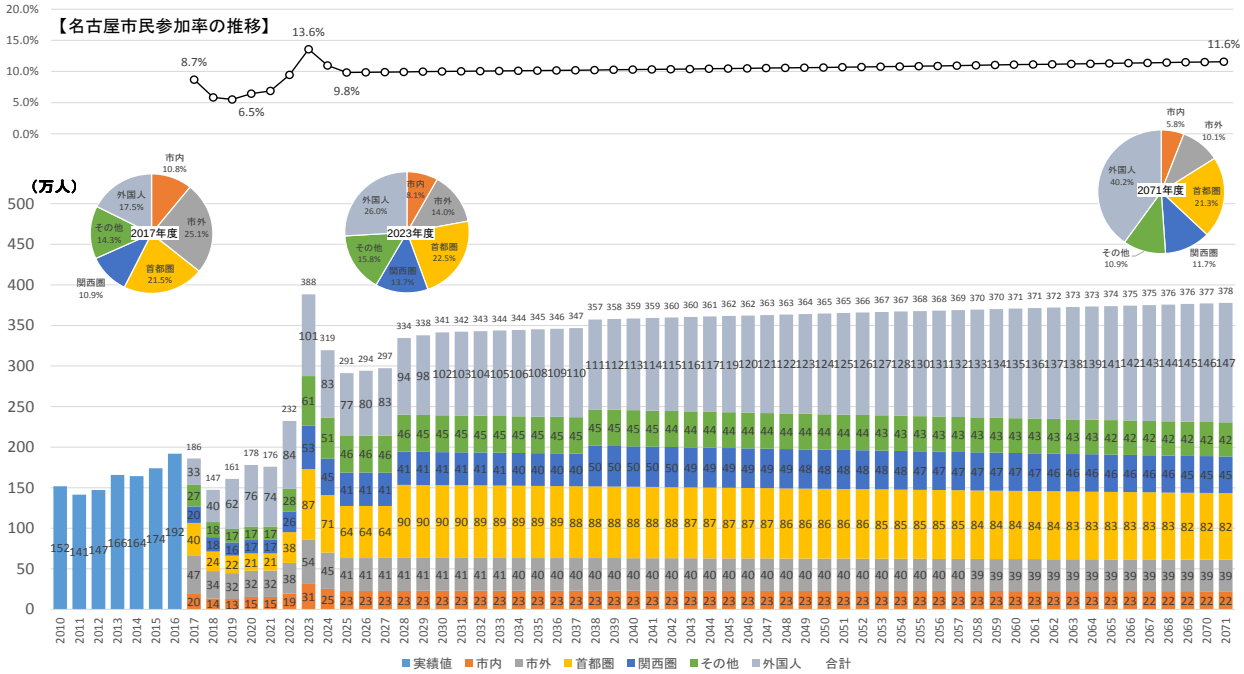
■ 低位ケース



■ 高位ケース


【名古屋市民参加率の推移】
名古屋市民参加率＝名古屋市内入場者数／名古屋市総人口
16.2%
8.7%
6.5%
11.7%
13.8%
（万人）
2017年度
2023年度
2071年度
実績値 市内 市外 首都圏 関西圏 その他 外国人 合計

■ 参考ケース


【名古屋市民参加率の推移】
13.6%
8.7%
6.5%
9.8%
11.6%
（万人）
2017年度
2023年度
2071年度
実績値 市内 市外 首都圏 関西圏 その他 外国人 合計

d） 入場料金別名古屋城入場者数の推計結果

基本シナリオでは、入場料金を市民（市内）は現行通り、市外は 1,000 円と設定している。ここでは、入場料金の変化の影響を把握するために、市内・市外の入場者がともに「現行」の料金とした場合と、市内の人も「1,000 円」となった場合を想定して感度分析を行った。

その結果、市内・市外ともに、現行の入場料金とした場合は、基本シナリオと比較して約 30 万人程度多くなり、市内・市外ともに 1,000 円とした場合は、復元時は基本シナリオと比較して約 10 万人少なくなると推計された。

表 1-8　入場料金別名古屋城入場者数の推計結果

	基本シナリオ	現行	1,000 円
市内	現行	現行	1,000 円
市外	1,000 円	現行	1,000 円
復元時（2023 年度）	3,817,961 人	4,189,012 人	3,711,150 人
50 年後（2071 年度）	3,181,806 人	3,450,530 人	3,107,591 人
補足：基本シナリオとの比較	―	【復元時（2023 年度）の変化量（対基本）】 市外（日帰圏）：＋19.7 万人 首都圏：+3.5 万人 関西圏：+8.2 万人 その他：+5.8 万人 合計：+37.1 万人	【復元時（2023 年度）の変化量（対基本）】 市民：-10.7 万人 合計：-10.7 万人

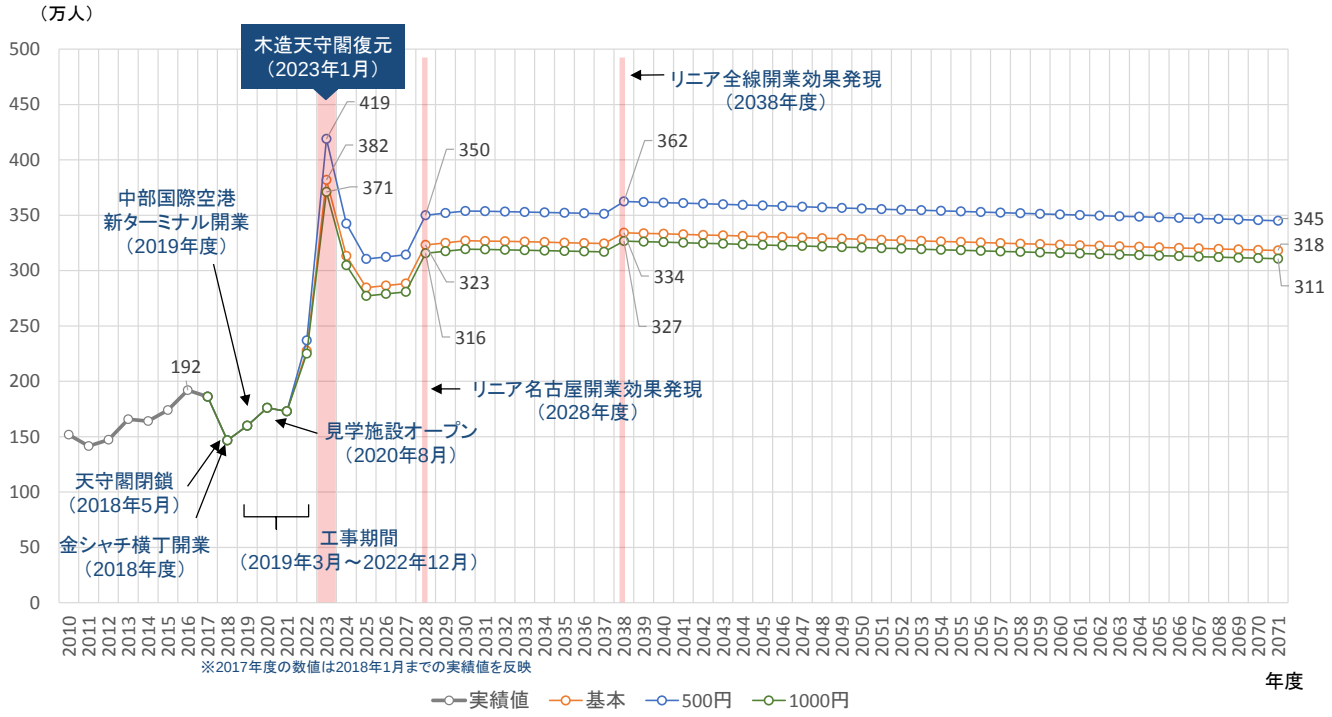


図 1-17　入場料金別名古屋城入場者数の推計結果

(5) 名古屋城入場者数の推計結果のまとめ

名古屋城入場者数の推計結果をまとめると下表のようになった。

表 1-9　名古屋城入場者数の推計結果のまとめ

シナリオ	復元（ピーク）の入場者数	復元後の年平均入場者数	2071 年市内構成比	2071 年市民参加率	基本シナリオとの比較にみる特徴
基本シナリオ	381.8 万人	324.4 万人	7.0%	11.6%	－
低位シナリオ	377.9 万人	305.3 万人	7.5%	11.4%	国全体の経済が低成長の場合には、基本シナリオと比較して復元時は約 4 万人少なくなり、復元後は平均約 20 万人少なく推移。
高位シナリオ	422.2 万人	352.9 万人	7.6%	13.8%	スポット的な施策である「イベントの取り組み」は市内・市外の構成比を高める。基本シナリオと比較して約 28 万人多く推移。
参考	388.4 万人	357.3 万人	5.8%	11.6%	過去 5 カ年の訪問率トレンド（2071 年 18.2%）でいけば、2071 年の外国人構成比は 40.3%にのぼる（2016 年の大阪城は日本人と外国人半々）
基本シナリオ 市内・市外 500 円	418.9 万人	352.0 万人	6.5%	11.6%	現行の入場料金とした場合は、基本シナリオよりも入場者数は復元時に約 37 万人多くなり、復元後は平均約 28 万人多く推移。
基本シナリオ 市内・市外 1,000 円	371.1 万人	316.8 万人	4.8%	7.7%	市民も入場料金が上昇することで、基本シナリオよりも入場者数は復元時に約 10 万人少なくなり、復元後は平均 8 万人少なく推移。

(6) 入場者数見込み算出根拠

入場者数見込み数の根拠は下表の通りとなる。赤文字はアンケート結果の数値。P72 以降参照。

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
2016	192	110.3%	―	―	
2017	186	96.9%	―	※2017 年 12 月までの数値を反映し、2018 年 1 月～3 月は 2012～2016 の各月のトレンドで推計	
2018	145	77.8%	**191**	**【金シャチ横丁】** **国内人数＝対象人口×名古屋城訪問経験の割合×名古屋城に行く意向のある人の割合×平均頻度×同行人数×お城があれば必ずお城観光をする人の割合×人口変化率** 市内：171 万人×9.3%×34.6%×0.76 人/年×2.15 人×25.8%×1.001＝+2.3 万人　･･･① 市外：602 万人×16.5%×30.9%×0.40 人/年×2.82 人×27.3%×0.996＝+9.3 万人　･･･② 首都：2,742 万人×16.3%×24.3%×0.13 人/年×2.44 人×34.1%×0.997=+10.0 万人･･･③ 関西：1,360 万人×23.2%×29.0%×0.14 人/年×3.25 人×38.7%×0.994=+14.3 万人･･･④ その他：(③＋④) ×44.3%×0.993=+10.7 万人･･･⑤ **国内合計：+46.5 万人　･･･⑥** **【工事期間(天守閣閉鎖)】** **国内人数＝名古屋城入場者数のうち「天守閣」を目的とする割合×名古屋城入場者数×天守閣閉鎖期間（11/12）ヶ月** 市内：43.5%×22.4 万人×11/12（ヶ月）=－9.0 万人　･･･⑦ 市外：43.3%×56.1 万人×11/12（ヶ月）=－22.2 万人　･･･⑧ 首都：57.0%×50.1 万人×11/12（ヶ月）=－26.2 万人　･･･⑨ 関西：52.6%×34.5 万人×11/12（ヶ月）=－16.6 万人　･･･⑩ その他：(③＋④) ×44.3%=－19.0 万人　　･･･⑪ **国内合計：－93.0 万人　･･･⑫** **国外合計：0 人** **母数＋金シャチ⑥－天守閣閉鎖⑫** **191.2＋46.5－93.0＝144.7 万人**	△増加要因 ・金シャチ横丁 ・オリンピックを契機とした訪日 ・(訪日外国人) ▼減少要因 ・天守閣閉鎖 ・(人口減少)

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
2019	162	111.8%	**213**	**【金シャチ横丁、工事期間（天守閣閉鎖）】** 2018 年度の数値に人口の対前年比を乗じ、母数に加算したもの +46.3 万人 **【工事期間（天守閣閉鎖）】** 国内人数＝名古屋城入場者数のうち「天守閣」を目的とする割合×名古屋城入場者数×天守閣閉鎖期間（12/12）ヶ月 市内：43.5%×22.4 万人×12/12（ヶ月）=－9.8 万人　･･･⑦ 市外：43.3%×56.1 万人×12/12（ヶ月）=－24.4 万人　･･･⑧ 首都：57.0%×50.1 万人×12/12（ヶ月）=－28.7 万人　･･･⑨ 関西：52.6%×34.5 万人×12/12（ヶ月）=－18.2 万人　･･･⑩ その他：（③＋④）×44.3%=－20.7 万人　･･･⑪ **国内合計：－101.7 万人　･･･⑫** **【オリンピックを契機とした訪日】** 国外人数＝対象人口×オリンピックをきっかけに日本旅行を実行に移す割合×日本に行く予定のなかった人の割合×名古屋市訪問意向×名古屋城訪問意向×オリンピック前（2018～2019）に実行する割合×（1/2）カ年 中国：1.22 億人×1.0%×15.1%×25.9%×31.6%×7.1%=+0.1 万人　･･･① 米国：0.73 億人×1.5%×17.7%×22.6%×66.0%×40.0%=+1.2 万人　･･･② その他：（①＋②）×2.16＝+2.6 万人　･･･③ **国外合計：+3.9 万人　･･･④** 母数＋金シャチ＋オリンピックー天守閣閉鎖 **213＋46.3＋3.9－101.7＝162 万人**	△増加要因 ・金シャチ横丁 ・オリンピックを契機とした訪日（訪日外国人） ▼減少要因 ・天守閣閉鎖 ・（人口減少） ※訪日外国人について中部国際空港の新ターミナル分を増分
2020	172	106.4%	**219**	**【金シャチ横丁】** 2019 年度の数値に各地域の人口変化率を乗じたもの **合計　+46.1 万人　･･･①**	△増加要因 ・金シャチ横丁 ・工事見学 ・オリンピックを契機とした

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				【工事期間（天守閣閉鎖）＋見学施設オープン】 工事見学により増加する人数 国内人数＝当該年の入場者数×（工事期間中はお城に行かない割合＋工事期間中は見学したい割合×（1/3）×（8/12））×工事期間中は複数回見学したい割合×（8/12） 市内：22.6 万人×（－48.9%＋44.8%×（1/3）×（8/12））＋6.3%×（8/12）=+3.2 万人② 市外：56.3 万人×（－55.9%＋40.3%×（1/3）×（8/12））＋3.8%×（8/12）=+6.5 万人③ 首都：50.3 万人×（－67.6%＋30.0%×（1/3）×（8/12））＋2.4%×（8/12）=+4.2 万人④ 関西：34.5 万人×（－55.9%＋40.3%×（1/3）×（8/12））＋3.8%×（8/12）=+3.2 万人⑤ その他：（④＋⑤）×44.3%=+3.3 万人　・・・⑥ **合計：+20.4 万人　・・・⑦** 国内人数＝名古屋城入場者数のうち「天守閣」を目的とする割合×名古屋城入場者数×人口変化率 工事により減少する人数＝当該年の入場者数×工事期間中はお城に行かない割合 市内：22.6 万人×（－48.9%）=-11.1 万人⑧ 市外：56.3 万人×（－55.9%）=-31.5 万人⑨ 首都：50.3 万人×（－67.6%）=-34.1 万人⑩ 関西：34.5 万人×（－55.9%）=-21.7 万人⑪ その他：（⑩＋⑪）×44.3%=+24.7 万人　・・・⑫ **合計：－123.0 万人　・・・⑬** **【オリンピックを契機とした訪日】** 国外人数＝対象人口×オリンピックをきっかけに日本旅行を実行に移す割合×日本に行く予定のなかった人の割合×名古屋市訪問意向×名古屋城訪問意向×オリンピック中（2020）に実行する割合 中国：1.22 億人×1.0%×15.1%×25.9%×31.6%×57.1%=+8,352 人　・・・⑭ 米国：0.73 億人×1.5%×17.7%×22.6%×66.0%×46.7%=+13,183 人　・・・⑮ その他：（⑨＋⑩）×2.16＝+46,436 人　・・・⑯	訪日 ・（訪日外国人） **▼減少要因** ・天守閣閉鎖 ・（人口減少）

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				合計：**+6.8** 万人　･･･⑰ **【工事期間の訪日】** 国外人数＝名古屋市への観光客数×（工事期間中に行きたい意向＋工事期間と復元両方に行きたい意向）×（1/3）×（8/12）ヶ月×日本訪問平均頻度 中国：152.3 万人×（11.2%+17.5%）×（1/3）×（8/12）×0.06 人=+0.6 万人　･･･⑱ 米国：22.7 万人×（30.1%+23.8%）×（1/3）×（8/12）×0.08 人=+0.2 万人　･･･⑲ その他：（⑬＋⑭）×2.16=+1.7 万人　･･･⑳ 合計：**+2.5** 万人　･･･㉑ 母数×金シャチ横丁①＋工事見学⑦－天守閣閉鎖⑧＋オリンピック⑫＋工事見学（国外）㉑ **219+46.1+20.4－123.0＋6.8＋2.5＝171.8** 万人	
2021	181	104.8%	**223**	**【金シャチ横丁、工事期間（天守閣閉鎖）】** 国内人数＝2019 年度の数値に人口の対前年比を乗じ、母数に加算したもの +45.8 万人 工事期間見学者数 国内人数＝当該年の入場者数×（工事期間中はお城に行かない割合＋工事期間中は見学したい割合×（1/3）×（12/12））×工事期間中は複数回見学したい割合×（12/12） 市内：22.6 万人×（－48.9%＋44.8%×（1/3）×（12/12））＋6.3%×（12/12）=+4.8 万人② 市外：56.3 万人×（－55.9%＋40.3%×（1/3）×（12/12））＋3.8%×（12/12）=+9.7 万人③ 首都：50.3 万人×（－67.6%＋30.0%×（1/3）×（12/12））＋2.4%×（12/12）=+6.2 万人④ 関西：34.5 万人×（－55.9%＋40.3%×（1/3）×（12/12））＋3.8%×（12/12）=+4.9 万人⑤ その他：（④＋⑤）×44.3%=+4.9 万人　　･･･⑥ 合計：**+30.6** 万人　　･･･⑦	△増加要因 ・金シャチ横丁 ・工事見学 ・オリンピックを契機とした訪日 ・（訪日外国人） ▼減少要因 ・天守閣閉鎖 ・（人口減少）

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				工事期間中はお城に行かない人 **工事により減少する人数＝当該年の入場者数×工事期間中はお城に行かない割合×人口減少率** 市内：22.6 万人×（－48.9%）×（1.00）=-11.1 万人⑧ 市外：56.3 万人×（－55.9%）×（0.99）=-31.5 万人⑨ 首都：50.3 万人×（－67.6%）×（0.99）=-34.1 万人⑩ 関西：34.5 万人×（－55.9%）×（0.99）=-21.7 万人⑪ その他：（⑩＋⑪）×44.3%=+24.7 万人　･･･⑫ **合計：－123.1 万人　　･･･⑬** **【オリンピックを契機とした訪日】** **国外人数＝対象人口×オリンピックをきっかけに日本旅行を実行に移す割合×日本に行く予定のなかった人の割合×名古屋市訪問意向×名古屋城訪問意向×オリンピック後に実行する割合** 中国：1.22 億人×1.0%×15.1%×25.9%×31.6%×42.9%=+366 人　　･･･① 米国：0.73 億人×1.5%×17.7%×22.6%×66.0%×20.0%=+438 人　　･･･② その他：（①＋②）×2.16＝+1,735 人　･･･③ **合計：+0.3 万人　･･･④** **【工事期間の訪日】** **国外人数＝名古屋市への観光客数×（工事期間中に行きたい意向＋工事期間と復元両方に行きたい意向）×（1/3）×（8/12）ヶ月×日本訪問平均頻度** 中国：152.3 万人×（11.2%+17.5%）×（1/3）×（12/12）×0.06 人=+0.9 万人　･･･⑱ 米国：22.7 万人×（30.1%+23.8%）×（1/3）×（12/12）×0.08 人=+0.3 万人　･･･⑲ その他：（⑬＋⑭）×2.16=+2.6 万人　･･･⑳ **合計：+3.9 万人　･･･㉑** **母数＋金シャチ横丁＋工事見学－天守閣閉鎖＋オリンピック④＋工事見学（国外）㉑** **223＋45.8＋30.6－123.1＋0.3+3.9＝180.5 万人**	
2022	227	125.7%	**227**	**【金シャチ横丁、工事期間（天守閣閉鎖）】** 国内人数＝2019 年度の数値に人口の対前年比を乗じ、母数に加算したもの +45. 5 万人 工事期間見学者数	△増加要因 ・金シャチ横丁 ・工事見学 ・木造復元（2023

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				国内人数＝当該年の入場者数×（工事期間中はお城に行かない割合＋工事期間中は見学したい割合×（1/3）×（9/12））×工事期間中は複数回見学したい割合×（9/12） 市内：22.6 万人×（－48.9%＋44.8%×（1/3）×（9/12））＋6.3%×（9/12）=+3.6 万人② 市外：56.3 万人×（－55.9%＋40.3%×（1/3）×（9/12））＋3.8%×（9/12）=+7.3 万人③ 首都：50.3 万人×（－67.6%＋30.0%×（1/3）×（9/12））＋2.4%×（9/12）=+4.7 万人④ 関西：34.5 万人×（－55.9%＋40.3%×（1/3）×（9/12））＋3.8%×（9/12）=+3.6 万人⑤ その他：（④＋⑤）×44.3%=+3.7 万人　・・・⑥ **合計：+23.0 万人　・・・⑦** 工事期間中はお城に行かない人 **工事により減少する人数＝当該年の入場者数×工事期間中はお城に行かない割合×人口減少率** 市内：22.6 万人×（－48.9%）×（1.00）=-11.1 万人⑧ 市外：56.3 万人×（－55.9%）×（0.99）=-31.6 万人⑨ 首都：50.3 万人×（－67.6%）×（0.99）=-34.3 万人⑩ 関西：34.5 万人×（－55.9%）×（0.99）=-21.6 万人⑪ その他：（⑩＋⑪）×44.3%=+24.7 万人　・・・⑫ **合計：－123.2 万人　・・・⑬** **オリンピックを契機とした訪日** +0. 3 万人 **【工事期間の訪日】** 国外人数＝名古屋市への観光客数×（工事期間中に行きたい意向＋工事期間と復元両方に行きたい意向）×（1/3）×（9/12）ヶ月×日本訪問平均頻度 中国：152.3 万人×（11.2%+17.5%）×（1/3）×（9/12）×0.06 人=+0.7 万人　・・・⑱ 米国：22.7 万人×（30.1%+23.8%）×（1/3）×（9/12）×0.08 人=+0.2 万人　・・・⑲ その他：（⑬＋⑭）×2.16=+2.1 万人　・・・⑳ **合計：+3.1 万人　・・・21**	年分） ・オリンピックを契機とした訪日 （訪日外国人） **▼減少要因** ・天守閣閉鎖 ・（人口減少）

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				母数＋金シャチ横丁＋工事見学－天守閣閉鎖＋オリンピック＋工事見学（国外） **227＋45.5＋23.0－123.2＋0.3+3.1＝175.7 万人　･･･①** 2022 年度①の 9 ヶ月分（9/12）：+132.2 万人 ･･･② 2023 年度 3 ヶ月分：+95.4 万人･･･③ 2022 年 4～12 月＋2023 年 1～3 月 **②＋③＝227 万人**	
2023	382	168.2%	**230**	**【金シャチ横丁】** 2023 年度の数値に人口の対前年比を乗じ、母数に加算したもの 市内：2.3 万人･･･① 市外：9.1 万人･･･② 首都：9.8 万人･･･③ 関西：13.7 万人･･･④ その他：（③＋④）×44.3%×0.991=+10.2 万人･･･⑤ **国内合計：+45.2 万人　･･･⑥** **【木造復元により新たに訪れる入場者数】** 国内人数＝対象人口×名古屋城訪問経験の割合×名古屋城に行く意向のある人の割合×平均頻度×同行人数×お城があれば必ずお城観光をする人の割合×人口変化率 市内：171 万人×9.3%×27.5%×0.52 人/年×2.15 人×25.8%×1.000＝+1.3 万人　･･･⑦ 市外：602 万人×16.5%×26.5%×0.31 人/年×2.82 人×27.3%×0.994＝+6.3 万人　･･･⑧ 首都：2,742 万人×16.3%×24.3%×0.12 人/年×2.44 人×34.1%×0.994=+10.4 万人･･･⑨ 関西：1,360 万人×23.2%×24.5%×0.13 人/年×3.25 人×38.7%×0.991=+12.9 万人･･･⑩ その他：（⑧＋⑨）×44.3%×0.991=+10.3 万人･･･⑪ **国内合計：+41.0 万人　･･･⑫** **【木造復元によりリピート者の入場者数】** 国内人数＝入場者数×頻度の変化率×人口変化率 市内：20.5 万人×1.36 倍×1.000＝+7.3 万人　･･･⑬ 市外：47.6 万人×1.23 倍×0.994=+10.9 万人　･･･⑭ 首都：40.7 万人×1.73 倍×0.994=+29.9 万人　･･･⑮ 関西：20.6 万人×1.70 倍×0.991=+14.4 万人　･･･⑯ その他：（⑮＋⑯）×44.3%×0.991=+19.4 万人･･･⑰	△増加要因 ・金シャチ横丁 ・木造復元（新規） ・木造復元（リピート） ・（訪日外国人） ▼減少要因 ・入場料金 ・（人口減少）

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				国内合計：+81.9 万人　･･･⑱ **【入場料金　市外：1,000 円】** 国内人数＝入場者数×市外 1,000 円による頻度減少率 市内：（31.4 万人＋①＋⑦）×0%＝0 人　　･･･⑲ 市外：（47.6 万人＋②＋⑧）×26.6%=－19.6 万人　･･･⑳ 首都：（40.7 万人＋③＋⑨）×3.8%=－3.5 万人　　･･･21 関西：（20.6 万人＋④＋⑩）×13.4%＝－8.2 万人　･･･22 その他：（27.2 万人＋⑤＋⑪）×8.6%=－5.8 万人　　･･･23 **国内合計：－37.1 万人　･･･24** **【木造復元による入場者数（国外）】** 国外人数＝名古屋市への観光客数×（工事期間と復元両方に行きたい意向）×（28/36）ヶ月×復元後に行きたい意向×日本訪問平均頻度 中国：152.3 万人×（17.5%×（28/36）＋31.6%）×0.06 人=+4.8 万人　･･･25 米国：22.7 万人×（23.8%×（28/36）＋66.0%）×0.08 人=+1.6 万人　･･･26 その他：（23＋24）×2.16=+13.8 万人　･･･27 **合計：+20.2 万人　･･･28** **【オリンピックを契機とした訪日】** 国外人数＝対象人口×オリンピックをきっかけに日本旅行を実行に移す割合×日本に行く予定のなかった人の割合×名古屋市訪問意向×名古屋城訪問意向×オリンピック後）に実行する割合 中国：1.22 億人×1.0%×15.1%×25.9%×31.6%×42.9%=+366 人　　･･･29 米国：0.73 億人×1.5%×17.7%×22.6%×66.0%×20.0%=+438 人　　･･･30 その他：（27＋28）×2.16＝+1,735 人　･･･31 **合計：+0.3 万人　･･･32** 母数＋金シャチ⑥＋木造復元（新規）⑫＋木造復元（リピート）⑱－入場料金 24＋木造復元（外国）28＋オリンピック後の訪日 32 **230＋45.2＋41.0＋81.9－37.1＋20.2＋0.3＝382**	
2024	313	82.0%	**233**	金シャチ横丁以外の入場者数（340.2 万人）に減衰率 78.9%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（44.8 万人）を加算 **340.2×78.9%＋44.8＝313**	△増加要因 ・（訪日外国人） ▼減少要因

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
					・減衰率 ・（人口減少）
2025	285	90.9%	**236**	金シャチ横丁以外の入場者数（344.9 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（44.5 万人）を加算 **344.9×69.8%＋44.5＝285**	同上
2026	286	100.6%	**239**	金シャチ横丁以外の入場者数（347.1 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（44.1 万人）を加算 **347.1×69.8%＋44.1＝286**	同上
2027	288	100.7%	**241**	金シャチ横丁以外の入場者数（350.6 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（43.6 万人）を加算 **350.6×69.8%＋43.6＝288**	同上
2028	323	112.0%	**244**	**【リニア名古屋開業】** **国内人数＝入場者数×頻度の変化率×人口減少率** 首都：50.7 万人×81.2%×93.9%＝+38.6 万人 **国外人数＝名古屋市への観光客数×リニア乗車意向×リニア乗車による名古屋市訪問意向×リニア乗車による名古屋城立ち寄り意向×復元した名古屋城に立ち寄りたい意向×日本訪問平均頻度** 中国：216.6 万人×89.3%×98.9%×26.4%×57.1%×0.06 人=2.9 万人 米国：26.6 万人×95.1%×98.0%×7.8%×46.7%×0.08 人＝0.2 万人 その他：　6.7 万人 **合計：+9.8 万人** **リニアによる増加分　＋48.4 万人** 2027 年度の数値に人口の対前年比を乗じ、母数に加算し、リニアによる増加分を加算 **444.1 万人** 金シャチ横丁以外の入場者数（401.0 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（43.2 万人）を加算 **401.0×69.8%＋43.2＝323**	**△増加要因** ・リニア名古屋開業 ・（訪日外国人） **▼減少要因** ・減衰率 ・（人口減少）
2029	325	100.6%	**246**	金シャチ横丁以外の入場者数（404.4 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（43.2 万人）を加算 **404.4×69.8%＋43.2＝325**	**△増加要因** ・（訪日外国人） **▼減少要因**

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
					・減衰率 ・（人口減少）
2030	327	100.6%	**249**	金シャチ横丁以外の入場者数（407.8 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（42.7 万人）を加算 **407.8×69.8%＋42.7＝327**	**△増加要因** ・（訪日外国人） **▼減少要因** ・減衰率 ・（人口減少）
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
2037	325	99.9%	**249**	金シャチ横丁以外の入場者数（407.7 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（40.4 万人）を加算 **407.7×69.8%＋40.4＝325**	**△増加要因** （なし） **▼減少要因** ・減衰率 ・（人口減少）
2038	334	103.0%	**249**	**【リニア全線開業】** **国内人数＝入場者数×頻度の変化率×人口減少率** 関西：32.9 万人×60.9%×83.1%＝+16.6 万人 **リニアによる増分　＋16.6 万人** 2029 年度の数値に人口の対前年比を乗じ、母数に加算し、リニアによる増加分を加算 **461.5 万人** 金シャチ横丁以外の入場者数（421.7 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（40.1 万人）を加算 **421.7×69.8＋40.1＝334**	**△増加要因** ・リニア全線開業 ・（訪日外国人） **▼減少要因** ・減衰率 ・（人口減少）
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
2070	319	99.9%	**248**	金シャチ横丁以外の入場者数（411.9 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（31.1 万人）を加算 **411.9×69.8%＋31.1＝319**	**△増加要因** （なし） **▼減少要因** ・減衰率 ・（人口減少）
2071	318	99.9%	**248**	金シャチ横丁以外の入場者数（411.6 万人）に減衰率 69.8%を乗じ、金シャチ横丁の入場者数（30.8 万人）を加算	同上

年度	入場者数（万人）	前年度比	復元がなかった場合の入場者数（母数）	算出根拠	増加要因・減少要因
				411.6×69.8%＋30.8＝318	

(7) 入場者数推計に用いたアンケート結果の内容

(6)で示した各数値の根拠は、以下の通りとなる。

■国内

１．名古屋城訪問経験のない人の割合（名古屋市に訪問経験があるが名古屋城でお城観光したことのない人の割合）の設定

１－①

	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	訪れたことは無い
全体(6592)	3.9%	6.8%	7.5%	9.4%	7.5%	6.8%	14.9%	16.6%	26.4%
名古屋市内(1648)	10.4%	14.8%	14.9%	14.3%	8.9%	6.4%	9.6%	9.0%	11.7%
名古屋市外(1648)	4.6%	10.1%	11.3%	15.6%	10.4%	5.8%	15.1%	11.1%	16.1%
首都圏(1648)	0.3%	1.0%	1.5%	3.6%	4.4%	7.1%	16.6%	23.2%	42.4%
関西圏(1648)	0.5%	1.5%	2.5%	4.2%	6.5%	8.1%	18.3%	23.2%	35.4%

②

	毎回	2回に1回程度	3回に1回程度	5回に1回程度	低い頻度	一度のみ	ない
全体(4852)	2.7%	2.7%	3.9%	4.5%	31.5%	32.5%	22.2%
名古屋市内(1455)	1.9%	2.1%	3.4%	5.4%	50.9%	26.0%	10.5%
名古屋市外(1383)	0.6%	1.2%	2.5%	5.1%	35.7%	35.4%	19.7%
首都圏(949)	5.5%	4.5%	5.0%	3.9%	15.2%	37.7%	28.2%
関西圏(1065)	4.2%	4.0%	5.4%	3.3%	14.1%	33.0%	36.0%

（１－①）×②

	（1－①）	②	
名古屋市内(1648)	88.3%	10.5%	**9.3%**
名古屋市外(1648)	83.9%	19.7%	**16.5%**
首都圏(1648)	57.6%	28.2%	**16.3%**
関西圏(1648)	64.6%	36.0%	**23.2%**

２．名古屋城に行く意向のある人の割合の設定

			Q13 あなたは、名古屋城周辺に「金シャチ横丁」（2018年予定）ができた場合、「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。 お城観光をしてみたい方は、その頻度も併せてお知らせください。あてはまるもの一つを選んでください。									
	あなたは、Q5で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。 あてはまるもの一つを選んでください。 名古屋市内の観光施設を訪れる頻度(Q5)の回答:【【Q5の選択内容】】		全体	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
全体			1,648	69	117	190	285	124	54	74	383	159
名古屋市内		名古屋城経験あり	1,302	66	109	177	271	115	51	71	323	119
		名古屋城経験なし	**153**	**3**	**8**	**13**	**14**	**9**	**3**	**3**	**60**	**40**
全体			1,648	31	79	135	237	137	67	77	425	195
名古屋市外		名古屋城経験あり	1,111	30	73	123	206	121	58	68	308	124
		名古屋城経験なし	**272**	**1**	**6**	**12**	**31**	**16**	**9**	**9**	**117**	**71**
全体			1,648	6	15	26	77	103	107	108	376	131
首都圏		名古屋城経験あり	681	5	15	24	67	87	93	86	237	67
		名古屋城経験なし	**268**	**1**	**0**	**2**	**10**	**16**	**14**	**22**	**139**	**64**
全体			1,648	15	24	32	88	109	105	116	434	142
関西圏		名古屋城経験あり	682	14	23	31	73	81	77	79	249	55
		名古屋城経験なし	**383**	**1**	**1**	**1**	**15**	**28**	**28**	**37**	**185**	**87**

	全体	5年に1回未満よりも頻度の多い人	
名古屋市内	153	53	**34.6%**
名古屋市外	272	84	**30.9%**
首都圏	268	65	**24.3%**
関西圏	383	111	**29.0%**

３．平均頻度の設定

			Q13 あなたは、名古屋城周辺に「金シャチ横丁」（2018年予定）ができた場合、「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。 お城観光をしてみたい方は、その頻度も併せてお知らせください。あてはまるもの一つを選んでください。									
	あなたは、Q5で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。 あてはまるもの一つを選んでください。 名古屋市内の観光施設を訪れる頻度(Q5)の回答:【【Q5の選択内容】】		全体	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
名古屋市内	全体		1,648	69	117	190	285	124	54	74	383	159
		名古屋城経験あり	1,302	66	109	177	271	115	51	71	323	119
		名古屋城経験なし	**153**	**3**	**8**	**13**	**14**	**9**	**3**	**3**	**60**	**40**
名古屋市外	全体		1,648	31	79	135	237	137	67	77	425	195
		名古屋城経験あり	1,111	30	73	123	206	121	58	68	308	124
		名古屋城経験なし	**272**	**1**	**6**	**12**	**31**	**16**	**9**	**9**	**117**	**71**
首都圏	全体		1,648	6	15	26	77	103	107	108	376	131
		名古屋城経験あり	681	5	15	24	67	87	93	86	237	67
		名古屋城経験なし	**268**	**1**	**0**	**2**	**10**	**16**	**14**	**22**	**139**	**64**
関西圏	全体		1,648	15	24	32	88	109	105	116	434	142
		名古屋城経験あり	682	14	23	31	73	81	77	79	249	55
		名古屋城経験なし	**383**	**1**	**1**	**1**	**15**	**28**	**28**	**37**	**185**	**87**

×

月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
12回／年	4回／年	2回／年	1回／年	0.5回／年	0.2回／年	0.1回年	0.05回／年	0回／年

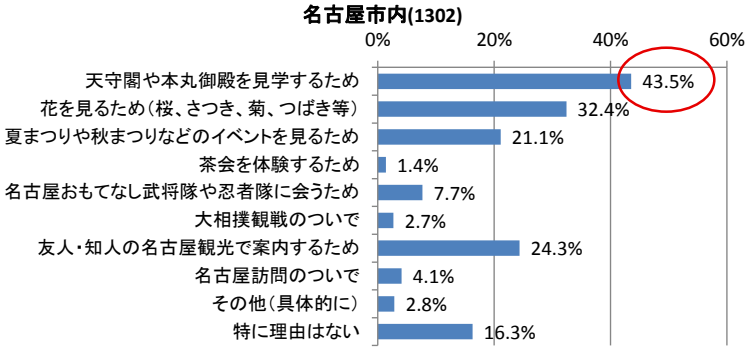
	全体（人）	合計頻度（回／年）	一人あたりの訪問頻度
名古屋市内	153	116	**0.76回／人・年**
名古屋市外	272	108	**0.40回／人・年**
首都圏	268	30	**0.13回／人・年**
関西圏	383	48	**0.14回／人・年**

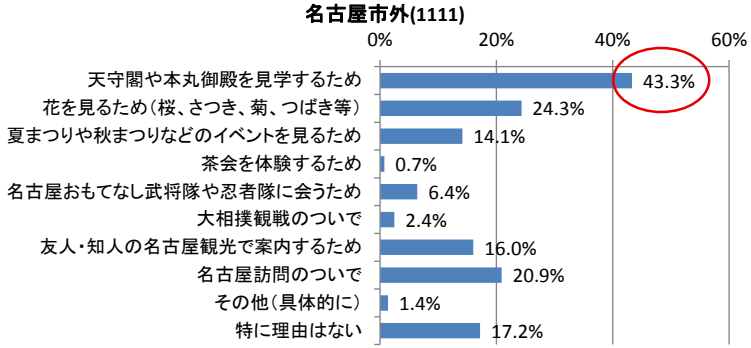
４．お城があれば必ずお城観光をする人の割合の設定

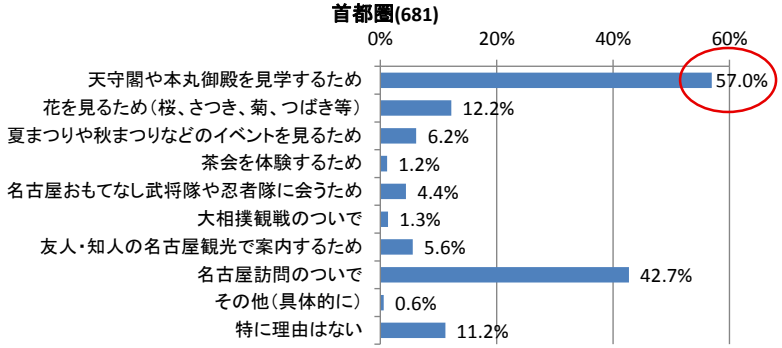
		Q2 あなたは、「お城観光」をしますか。あなたの行動に最も近いものを一つ選んでください。					
	Q5で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。あてはまるもの一つを選んでください。名古屋市内の観光施設を訪れる頻度(Q5)の回答:【【Q5の選択内容】】	全体	「お城観光」を主目的として出かけることがある	出かけた先にお城があれば必ず「お城観光」をする	出かけた先にお城があれば、ついでに「お城観光」をすることがある	お城を見に行っても有料エリアには入らない	お城を見に行くことはない
	名古屋市内	1455	245	130	770	134	176
	名古屋市外	1383	255	122	708	130	168
	首都圏	949	114	168	509	77	81
	関西圏	1065	214	119	536	116	80

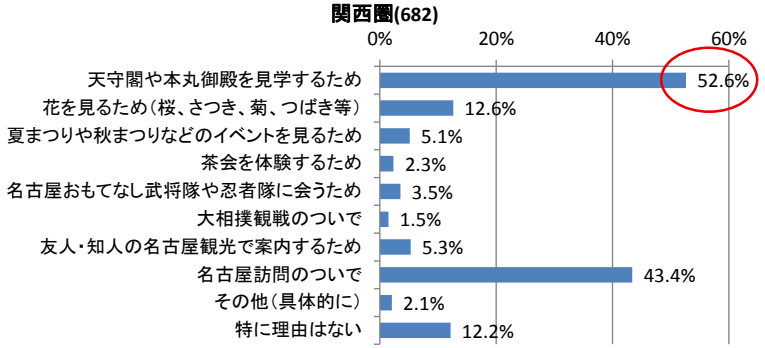
	全体（人）	お城観光を必ずる	割合
名古屋市内	1455	375	**25.8%**
名古屋市外	1383	377	**27.3%**
首都圏	949	282	**29.7%**
関西圏	1065	383	**31.3%**

５．天守閣を目的とする人の割合の設定









	割合
名古屋市内	**43.5%**
名古屋市外	**43.3%**
首都圏	**57.0%**
関西圏	**52.6%**

６．工事期間の見学率の設定

	Q14「名古屋城天守閣の木造復元」の工事期間（2020年～2022年）は「天守閣」のみ入場できませんが 高度で大規模な木造建築技術や匠の技を間近に見ることのできる唯一の期間でもあります。 工事期間中に「名古屋城」に行きたいと思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。			
	全体	工事期間中に一度は見学したい	工事期間中に複数回見学したい	工事期間中は見学してみたいとは思わない
名古屋市内	1648	739	103	806
名古屋市外	1648	664	63	921
首都圏	1648	494	40	1114
関西圏	1648	568	43	1037

	工事期間中に一度は見学したい	工事期間中に複数回見学したい	工事期間中はお城に行かない割合
名古屋市内	**44.8%**	**6.3%**	**48.9%**
名古屋市外	**40.3%**	**3.8%**	**55.9%**
首都圏	**30.0%**	**2.4%**	**67.6%**
関西圏	**34.5%**	**2.6%**	**62.9%**

７．木造復元（新規）の訪問意向の設定

	（1－①）	②	訪問経験なしの割合（再掲）
名古屋市内(1648)	88.3%	10.5%	**9.3%**
名古屋市外(1648)	83.9%	19.7%	**16.5%**
首都圏(1648)	57.6%	28.2%	**16.3%**
関西圏(1648)	64.6%	36.0%	**23.2%**

		Q15 あなたは、どれくらいの頻度（回数）で「名古屋城天守閣の木造復元」後の名古屋城でお城観光をしたいと思いますか。 あてはまるものー つを選んでください。（料金、周辺施設、交通アクセス等は現在と同じ条件とします）									
	【表側1】割付セル 【表側2】あなたは、Q5で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。あてはまるもの一つを選んでください。 名古屋市内の観光施設を訪れる頻度(Q5)の回答:【【Q5の選択内容】】	全体	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
名古屋市内	全体	1,648	44	98	182	253	133	78	81	431	155
	名古屋城経験あり	1,302	42	94	173	240	125	74	79	362	113
	名古屋城経験なし	153	2	4	9	13	8	4	2	69	42
名古屋市外	全体	1,648	22	55	113	219	142	79	76	476	201
	名古屋城経験あり	1,111	21	50	107	195	126	69	66	350	127
	名古屋城経験なし	272	1	5	6	24	16	10	10	126	74
首都圏	全体	1,648	5	18	24	63	103	94	112	390	140
	名古屋城経験あり	681	4	17	24	56	89	76	88	249	78
	名古屋城経験なし	268	1	1	0	7	14	18	24	141	62
関西圏	全体	1,648	12	27	27	88	98	101	109	446	157
	名古屋城経験あり	682	12	25	26	76	76	77	76	250	64
	名古屋城経験なし	383	0	2	1	12	22	24	33	196	93

	訪問意向
名古屋市内	**27.5%**
名古屋市外	**26.5%**
首都圏	**24.3%**
関西圏	**24.5%**

月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
12回／年	4回／年	2回／年	1回／年	0.5回／年	0.2回／年	0.1回年	0.05回／年	0回／年

	全体（人）	合計頻度（回／年）	一人あたりの訪問頻度
名古屋市内	153	79	**0.52回／人・年**
名古屋市外	272	85	**0.31回／人・年**
首都圏	268	27	**0.10回／人・年**
関西圏	383	41	**0.11回／人・年**

８．木造復元の頻度の変化率の設定

		回数①	現状（頻度構成比）②	木造（頻度構成比）③	現状（頻度）④ ①×②	木造（頻度）⑤ ①×③
名古屋市内	月1回以上	12	1.6%	2.9%	18.7	34.2
	3か月に1回以上	4	6.0%	6.1%	23.8	24.3
	半年に1回以上	2	7.0%	11.3%	14.1	22.7
	年に1回以上	1	9.9%	16.1%	9.9	16.1
	2年に1回以上	0.5	5.2%	8.5%	2.6	4.2
	5年に1回以上	0.2	4.6%	4.9%	0.9	1.0
	5年に1回未満	0.1	35.4%	5.4%	3.5	0.5
	1回のみ	0.05	18.7%	29.7%	0.9	1.5
	訪れたことは無い	0	11.7%	15.1%	0.0	0.0
	全体				**74**	**101**
名古屋市外	月1回以上	12	0.7%	1.5%	8.5	18.2
	3か月に1回以上	4	3.9%	3.5%	15.7	13.8
	半年に1回以上	2	5.4%	7.0%	10.7	14.0
	年に1回以上	1	8.9%	14.4%	8.9	14.4
	2年に1回以上	0.5	9.9%	9.2%	4.9	4.6
	5年に1回以上	0.2	3.4%	4.9%	0.7	1.0
	5年に1回未満	0.1	31.7%	5.2%	3.2	0.5
	1回のみ	0.05	20.1%	34.6%	1.0	1.7
	訪れたことは無い	0	16.1%	19.7%	0.0	0.0
	全体				**54**	**66**
首都圏	月1回以上	12	0.2%	0.3%	2.1	3.6
	3か月に1回以上	4	0.5%	1.2%	1.8	4.9
	半年に1回以上	2	0.6%	1.8%	1.2	3.5
	年に1回以上	1	1.7%	5.1%	1.7	5.1
	2年に1回以上	0.5	1.8%	7.6%	0.9	3.8
	5年に1回以上	0.2	2.7%	6.7%	0.5	1.3
	5年に1回未満	0.1	7.7%	8.4%	0.8	0.8
	1回のみ	0.05	42.5%	42.8%	2.1	2.1
	訪れたことは無い	0	42.4%	26.1%	0.0	0.0
	全体				**11**	**19**
関西圏	月1回以上	12	0.3%	0.7%	3.7	8.7
	3か月に1回以上	4	0.8%	1.8%	3.1	7.3
	半年に1回以上	2	1.2%	2.0%	2.4	4.0
	年に1回以上	1	1.8%	6.4%	1.8	6.4
	2年に1回以上	0.5	2.9%	7.2%	1.4	3.6
	5年に1回以上	0.2	3.5%	7.5%	0.7	1.5
	5年に1回未満	0.1	12.0%	7.8%	1.2	0.8
	1回のみ	0.05	42.2%	41.1%	2.1	2.1
	訪れたことは無い	0	35.4%	25.4%	0.0	0.0
					17	**28**

	頻度変化
名古屋市内	**1.36**
名古屋市外	**1.23**
首都圏	**1.73**
関西圏	**1.70**

９．料金 1,000 円の頻度の変化率の設定

現状

	Q15 あなたは、どれくらいの頻度（回数）で「名古屋城天守閣の木造復元」後の名古屋城でお城観光をしたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。（料金、周辺施設、交通アクセス等は現在と同じ条件とします）									
	全体	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
名古屋市内	1648	47	100	187	266	140	80	89	490	249
名古屋市外	1648	25	57	115	237	152	81	86	571	324
首都圏	1648	5	20	29	84	125	111	139	705	430
関西圏	1648	12	30	33	106	118	123	129	678	419

1,000円

	Q17 現在、名古屋城の入場料金は一般大人500円、中学生以下無料です。あなたは、入場料金一般大人が1，000円になった場合、Q15で回答した頻度（回数）は変わると思いますか。当てはまるもの一つを選んでください。変化が想定されない場合は、同じ選択肢を選んでください。「名古屋城天守閣の木造復元」後に「お城観光」をしたい頻度(Q15)の回答 【【Q15の選択内容】】									
	全体	月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
名古屋市内	1648	26	59	127	210	159	102	105	493	367
名古屋市外	1648	16	45	80	160	163	104	93	592	395
首都圏	1648	8	13	27	76	108	101	139	700	476
関西圏	1648	12	21	32	79	113	106	120	691	474

	現状	料金1,000円	減少率
名古屋市内	1,699	1,122	**66.0%**
名古屋市外	1,097	805	**73.4%**
首都圏	381	366	**96.2%**
関西圏	533	462	**86.6%**

月1回以上	3か月に1回以上	半年に1回以上	年に1回以上	2年に1回以上	5年に1回以上	5年に1回未満	1回のみ	お城観光をしたいとは思わない
12回／年	4回／年	2回／年	1回／年	0.5回／年	0.2回／年	0.1回年	0.05回／年	0回／年

１０．リニア名古屋開業・全線開業の頻度の変化率の設定

延べ頻度（回／年）

		リニア	現状
首都圏	月1回以上	1,851,700	832,015
	3か月に1回以上	764,439	470,297
	半年に1回以上	494,217	272,901
	年に1回以上	917,990	417,466
	2年に1回以上	453,777	274,056
	5年に1回以上	125,107	117,517
	5年に1回未満	22,154	96,053
	1回のみ	31,069	92,322
	訪れたことは無い	4,660,452	2,572,627

延べ頻度（回／年）

		リニア	現状
関西圏	月1回以上	1,604,515	582,409
	3か月に1回以上	287,442	371,127
	半年に1回以上	327,981	235,148
	年に1回以上	313,252	153,464
	2年に1回以上	179,282	154,851
	5年に1回以上	36,447	56,813
	5年に1回未満	7,741	59,330
	1回のみ	11,836	107,669
	訪れたことは無い	2,768,497	1,720,811

	頻度変化率
首都圏	**1.812倍**
関西圏	**1.609倍**

■中国人、米国人

１．オリンピックをきっかけに日本旅行を実行に移す割合の設定

中国

		Q3 2020年の東京オリンピックの開催は、日本に行くきっかけとなりますか。あてはまるものを一つを選択してください。			
		全体	きっかけになり、旅行計画を実行する	きっかけになり、旅行計画を検討する	きっかけにならない
全体		206	92	81	33
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	179	90	69	20
	予定はない	27	2	12	13

2÷206=1.0%

米国

		Q3 2020年の東京オリンピックの開催は、日本に行くきっかけとなりますか。あてはまるものを一つを選択してください。			
		全体	きっかけになり、旅行計画を実行する	きっかけになり、旅行計画を検討する	きっかけにならない
全体		206	114	67	25
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	175	111	55	9
	予定はない	31	3	12	16

3÷206＝1.5%

２．日本に行く予定のなかった人の割合

中国

		Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。		
		全体	予定がある	予定はない
全体		206	179	27

27÷206=15.1%

米国

		Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。		
		全体	予定がある	予定はない
全体		206	175	31

31÷206＝17.7%

３．名古屋市訪問意向の設定

中国

		Q7 将来、日本へ旅行する場合、名古屋を観光する意向はありますか。				
		全体	是非行きたい	行きたいと思う	行ってみたいと思わない	わからない
全体		206	82	113	5	6
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	179	75	99	4	1
	予定はない	27	7	14	1	5

7÷27=25.9%

米国

		Q7 将来、日本へ旅行する場合、名古屋を観光する意向はありますか。				
		全体	是非行きたい	行きたいと思う	行ってみたいと思わない	わからない
全体		206	136	52	4	14
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	175	129	40	1	5
	予定はない	31	7	12	3	9

7÷31＝22.6%

４．名古屋城訪問意向の設定

中国

		Q13 あなたは、名古屋城に隣接する「金シャチ横丁」（2018年）があれば、復元された名古屋城に行ってみたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。				
		全体	是非行ってみたい	行ってみたい	行ってみたいと思わない	わからない
全体		206	65	125	3	13
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	179	63	106	3	7
	予定はない	27	2	19	0	6

65÷206=31.6%

米国

		Q13 あなたは、名古屋城に隣接する「金シャチ横丁」（2018年）があれば、復元された名古屋城に行ってみたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。				
		全体	是非行ってみたい	行ってみたい	行ってみたいと思わない	わからない
全体		206	136	57	6	7
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	175	126	44	2	3
	予定はない	31	10	13	4	4

136÷206=66.0%

５．オリンピック前、中、後の日本訪問意向の設定

中国

		Q4 日本への旅行を計画する場合、東京オリンピックの開催年（2020年）に行きたいと思いますか。あてはまるもの全てを選択してください。					
		全体	東京オリンピック開催年に行きたい	東京オリンピック開催年の前に行きたい	東京オリンピック開催年の後に行きたい	旅行計画のタイミングにこだわらない（いきたいときに行く）	わからない
全体		173	105	40	25	39	0
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	159	97	39	24	34	0
	予定はない	14	8	1	1	5	0
	オリンピック実行タイミング	―	57.1%	7.1%	7.1%	35.7%	―

米国

		Q4 日本への旅行を計画する場合、東京オリンピックの開催年（2020年）に行きたいと思いますか。あてはまるもの全てを選択してください。					
		全体	東京オリンピック開催年に行きたい	東京オリンピック開催年の前に行きたい	東京オリンピック開催年の後に行きたい	旅行計画のタイミングにこだわらない（いきたいときに行く）	わからない
全体		181	139	67	33	19	2
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	166	132	61	32	17	2
	予定はない	15	7	6	1	2	0
	オリンピック実行タイミング	―	46.7%	40.0%	6.7%	13.3%	―

６．工事期間の訪問意向の設定

中国

		Q12 名古屋城が木造天守閣として、よりリアリティの高い姿で復元された場合、名古屋城に行ってみたいと思いますか。				
		全体	工事期間（2020年～2022年）から行ってみたい	復元後（2022年以降）に行ってみたい	工事期間（2020年～2022年）と復元後（2022年以降）の両方に行ってみたい	行ってみたいとは思わない
全体		206	23	142	36	5
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	179	22	120	34	3
	予定はない	27	1	22	2	2
	工事期間意向割合		**11.2%**	68.9%	**17.5%**	2.4%

米国

		Q12 名古屋城が木造天守閣として、よりリアリティの高い姿で復元された場合、名古屋城に行ってみたいと思いますか。				
		全体	工事期間（2020年～2022年）から行ってみたい	復元後（2022年以降）に行ってみたい	工事期間（2020年～2022年）と復元後（2022年以降）の両方に行ってみたい	行ってみたいとは思わない
全体		206	62	89	49	6
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	175	57	72	45	1
	予定はない	31	5	17	4	5
	工事期間意向割合		**30.1%**	43.2%	**23.8%**	2.9%

７．日本訪問平均頻度の設定

中国

回答者年齢÷日本訪問回数　の206名の平均値

0.06回／人・年

米国

回答者年齢÷日本訪問回数　の206名の平均値

0.08回／人・年

８．リニア乗車意向／名古屋市訪問意向／名古屋城立ち寄り意向の設定

中国

		Q14 あなたはこのリニアモーターカーに乗ってみたいと思いますか。		
		全体	思う	思わない
全体		206	184	22
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	179	163	16
	予定はない	27	21	6

184÷206＝89.3%

		Q15 また、リニアモーターカーを利用することにより、東京－名古屋間は40分で結ばれ、東京観光とあわせて、名古屋への観光がしやすくなります。名古屋市への観光をしたいと思いますか。		
		全体	思う	思わない
全体		184	182	2
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	163	161	2
	予定はない	21	21	0

182÷184＝98.9%

		Q16 名古屋に観光する際に、「名古屋城」に立ち寄りたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。			
		全体	木造復元されれば名古屋城には立ち寄りたい	木造復元されなくても名古屋城には立ち寄りたい	木造復元されても名古屋城には立ち寄らない
全体		182	115	67	0
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	161	97	64	0
	予定はない	21	18	3	0

115÷182－67÷115＝63.2%－36.8%＝26.4%

米国

		Q14 あなたはこのリニアモーターカーに乗ってみたいと思いますか。		
		全体	思う	思わない
全体		206	196	10
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	175	170	5
	予定はない	31	26	5

196÷206＝95.1%

		Q15 また、リニアモーターカーを利用することにより、東京－名古屋間は40分で結ばれ、東京観光とあわせて、名古屋への観光がしやすくなります。名古屋市への観光をしたいと思いますか。		
		全体	思う	思わない
全体		196	192	4
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	170	168	2
	予定はない	26	24	2

192÷196＝98.0%

		Q16 名古屋に観光する際に、「名古屋城」に立ち寄りたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。			
		全体	木造復元されれば名古屋城には立ち寄りたい	木造復元されなくても名古屋城には立ち寄りたい	木造復元されても名古屋城には立ち寄らない
全体		192	103	88	1
Q1 あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。	予定がある	168	92	75	1
	予定はない	24	11	13	0

103÷192－88÷192＝53.6%－45.8%＝7.8%

1.1.2. 統計アプローチ

名古屋城の来場者推計にあたり、より説明力を高めるべく、アンケートを利用した手法に加え、統計データを利用した重回帰分析による推計を行った。ここでは、この統計アプローチの一連のプロセス、得られた結果、及びその考察を示す。

表 1-10　統計アプローチフロー

統計アプローチのフロー	
1.城の選定	■ 回帰分析に利用する城を選定 ● 全国の城から、以下の①と②両方に当てはまる城を抽出 ①直近の来場者が30万人以上の城 ②天守閣が存在する城（竹田城跡、二条城、首里城などは除外）
2.統計データの収集	■ 1.で抽出した城に対して、統計データ等をひも付け ● 各城別に天守閣の種別・城の立地する市町村の人口・観光客数などの統計データをH19～直近期まで集計
3.回帰モデルの作成	■ 2.で収集した統計データから、最も当てはまりの良い回帰モデルを作成
4.回帰モデルによる推計	■ 3.で作成した回帰モデルを用いて、名古屋城の将来の来場者数を推計

(1) 推計に利用する城の選定

重回帰分析を行うにあたり、全国の城から名古屋城と類似した城を選定すべく、以下の 2 つの条件両方に当てはまるものを抽出した。

条件①：直近の来場者数が 30 万人以上の城
条件②：天守閣が存在する城（但し、現存天守や外観復元天守といった種別は問わない）
（条件②により竹田城跡、二条城、首里城などは除外される）

上記の 2 条件により、抽出された城を次表に示す。

表 1-11　回帰分析に利用した城一覧

	城の属性	市町村	来場者数（人）
1	彦根城	彦根市	817,100
2	松江城	松江市	521,778
3	姫路城	姫路市	2,112,000
4	犬山城	犬山市	543,224
5	松本城	松本市	989,000
6	弘前城	弘前市	379,280
7	松山城	松山市	517,566
8	名古屋城	名古屋市	1,935,562
9	広島城	広島市	326,750
10	会津若松城	会津若松市	593,177
11	岡山城	岡山市	347,691
12	大阪城	大阪市	2,557,394
13	小田原城	小田原市	775,406
14	熊本城	熊本市	1,775,339

（注）来場者数は、各県の最新の観光統計（H28 年）に記載の値。但し、彦根城、弘前城、熊本城については、H28 年の観光統計のデータが公表されていなかったため、名古屋市提供データに基づき、H27 年の値を記載している。

尚、丸岡城（坂井市）については、福井県の観光統計上は、直近期の来場者数が 30 万人を超えていたが、名古屋市提供データ（H27 年：153,660）と数値に大きな乖離があったため、今回は集計対象外とした。

（出典）各県「観光統計」、名古屋市提供データより

(2) 城関連データの収集

上記で選定された 14 の城に対して、以下のデータのひも付けを行った。なお、収集するデータが最新の 1 時点のものだけではサンプル数が足りず、重回帰分析の精度が著しく低下してしまうため、取得可能なデータについては、平成 19 年（2007 年）から直近期まで収集することにした。

表 1-12　収集データ一覧

	収集データ	備考（データ年次）	出典
1	入城料金	現在の入場料を利用	各城HP
2	築城年	－	各種資料
3	天守閣の種別	現存天守／外観復元天守／復興天守の3区分	各種資料
4	世界遺産・国宝・重文の種別	－	各城HP
5	大規模改修工事の着工年	－	各種資料
6	大規模改修工事の期間	－	各種資料
7	大規模改修工事の竣工年	－	各種資料
8	城周辺の駐車場台数（普通車）	現在の駐車場台数を利用	各城HP
9	城周辺の駐車場台数（大型バス）	現在の駐車場台数を利用	各種資料
10	駐車場料金	現在の駐車場料金を利用	各城HP
11	90分圏人口	H17年、H22年の国勢調査メッシュデータを利用	技研商事インターナショナル（株）「国勢調査4次メッシュ」
12	60分圏人口	H17年、H22年の国勢調査メッシュデータを利用	技研商事インターナショナル（株）「国勢調査4次メッシュ」
13	城の立地する県の人口	H17年、H22年、H27年の国勢調査を利用	総務省「国勢調査」
14	城の立地する市町村の人口	H17年、H22年、H27年の国勢調査を利用	総務省「国勢調査」
15	城の入場者数	H19年から各年の入場者数	各県観光統計・名古屋市提供データ
16	城の立地する県の観光客数	H19年から各年の観光入込客数	各県観光統計
17	城から東京駅・名古屋駅・大阪駅までの時間距離	現在の時間距離を利用	NAVITIME
18	城から東京駅・名古屋駅・大阪駅までの電車運賃	現在の電車運賃を利用	NAVITIME
19	城を中心に500×500mメッシュに含まれる小売店・飲食店の数	H24経済センサスメッシュデータを利用	技研商事インターナショナル「経済センサス4次メッシュ」
20	東京都・大阪府人口	H17年、H22年、H27年の国勢調査を利用	総務省「国勢調査」
21	都道府県別外国人宿泊旅行者数	H23年から各年の宿泊旅行統計調査を利用	観光庁「宿泊旅行統計調査」

(3) 推計モデルの構築

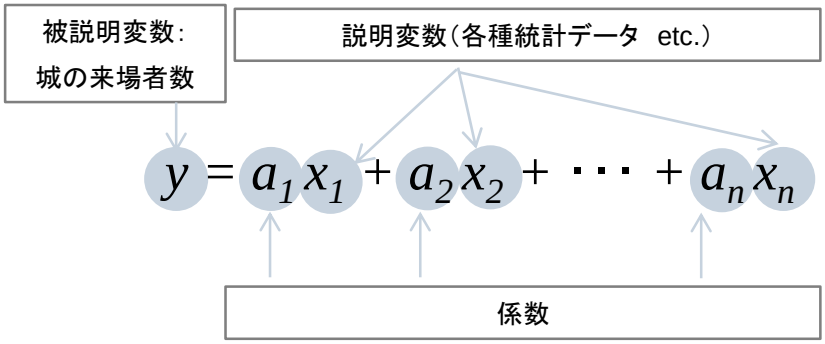
以下の重回帰モデルを使い、ひも付けを行ったデータの複数通りの組み合わせに対して、回帰分析を行い、その中で最も当てはまりのよい変数を選定した。

なお、選定の際は、下記の 3 条件全てに当てはまる組み合わせから、最も重決定係数 R^2 (注 1) の大きい組み合わせを選ぶこととした。

条件①：モデルの重決定係数 R^2 が 0.75 以上であること

条件②：全ての変数に対して、*p* 値 (注 2) ≦0.05 かつ *t* 値 (注 3) ≧2 を満たすこと

条件③ (注 4)：各係数の符号が事前の予想と整合的であること



（注 1）R^2：選定した説明変数でどれだけ非説明変数を表現（説明）できているかの指標。0～1 までの値をとり、1 に近ければ近いほど説明力の高いモデルとなる。

（注 2）*p* 値：選定した説明変数が、実際には非説明変数と無関係であるにもかかわらず、0 以外の係数が推計結果として導き出される確率。p 値が低ければ低いほど、その説明変数は妥当であるとされ、一般に *p* 値が 5%未満であることが統計的に求められる。

（注 3）*t* 値：それぞれの説明変数が目的変数に与える影響の大きさを表す指標で、絶対値が大きいほど影響が強く、一般に *t* 値が 2 以上であれば、その説明変数をモデルに組み込んでも妥当とされる。

（注 4）条件③は、例えば、城の立地する県の観光客を説明変数として選んだ際、県の観光客が増加すれば、それに比例して、城の来場者も増加する（係数が正）と予想されるが、重回帰分析の結果、この予想に反して係数が負となった場合、条件③を満たさないので、県の観光客は説明変数から除外するといった考え方である。

この結果、説明変数として選ばれた 8 つのデータとそれぞれの係数、*p* 値、*t* 値、及びモデルの重決定係数 R^2 を以下に示す。

表 1-13　説明変数一覧

説明変数*x*			係数*a*	*t* 値	*p* 値
x_1	着工フラグ	工事が行われる前年に1 それ以外は0	241,543	2.15	0.034
x_2	工事中フラグ	工事中は1 それ以外は0	-297,531	-2.39	0.018
x_3	竣工フラグ	工事が完了した年以降、1を加算 初期値は0	515,009	8.9	0
x_4	大型バス用の駐車場台数	周辺大型バスの駐車場の容量	14,218	11.85	0
x_5	東京駅と大阪駅までの平均時間	各城から東京駅・大阪駅までの最短所要時間の平均値	-1,175	-3.43	0.001
x_6	周辺の小売店・飲食店数	各城から半径500m圏に含まれる小売店・飲食店数	994	2.82	0.006
x_7	世界遺産フラグ	世界遺産であれば1 それ以外は0	354,604	3.02	0.003
重決定係数R2：0.77					

(4)　入場者数推計結果

上記の重回帰モデルによる名古屋城の入場者数の推計結果を以下に示す。

推計の結果、名古屋城の来場者数は、2060 年時点で約 256 万人となった。

今回の推計では、名古屋城の工事前後やリニア開業といったイベントの前後にのみ、来場者数が増減するが、その間の期間では来場者数は一定となっている。これは、人口や外国人旅行者数といった各年次で変動するデータが、重回帰モデルの説明変数として採用されなかったためである。

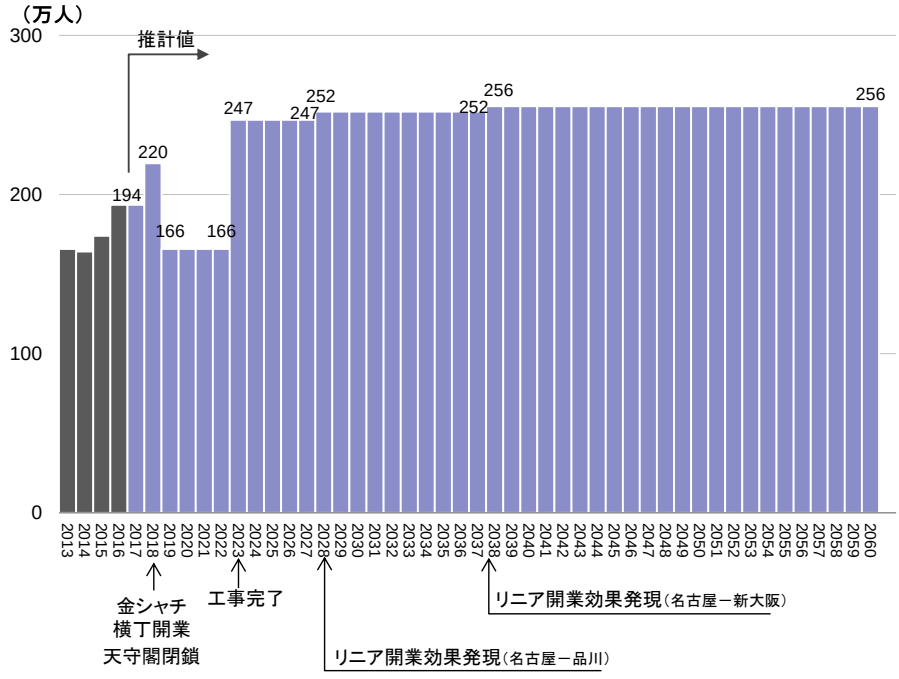


図 1-18　統計アプローチによる推計結果

a） 金シャチ横丁開業（2018 年 3 月）

金シャチ横丁開業によって、名古屋城周辺の小売店・飲食店数は 19 店舗増加する。従って、この説明変数 x_6 の変化量 19 に x_6 の係数 994 を乗じることで、被説明変数 y（来場者数）は 18,883 人増加。

b） 工事開始に伴う天守閣閉鎖（2018 年 5 月）

天守閣の閉鎖により、着工フラグ x_1 が 1 になり、これに x_1 の係数 241,543 を乗じることで、被説明変数 y（来場者数）は 241,543 人増加。

天守閣が閉鎖される際に入場者数が増加する理由としては、駆け込み需要が発生するためであり、実際、他城をみても、姫路城や会津若松城など、大規模な改修工事が行われ入場制限がされる直前に、入場者数が大きく増加する傾向がみられる。

尚、金シャチ横丁開業と工事開始に伴う天守閣閉鎖（駆け込み需要）を合わせると城の入場者数は 260,426 人増加（+13.4%）となる。

c） 工事期間中（2019 年 3 月～2022 年 12 月）

工事中フラグ x_2 が 1 になり、これに x_2 の係数-297,531 を乗じることで、被説明変数 y（来場者数）は 297,531 人減少（-24.5%）。

d） 工事完了（2019 年 3 月～2022 年 12 月）

竣工フラグ x_3 が 1 加算され、これに x_3 の係数 515,009 を乗じることで、被説明変数 y（来場者数）は 515,009 人増加（+49.0%）。

e） リニア開業効果発現（名古屋－品川間）（2028 年～）

2027 年度のリニア開業によって、城から東京駅と大阪駅までの平均時間 x_5 は-43.5 分*短縮*される。これに x_5 の係数 1,175 を乗じることで、被説明変数 y（来場者数）は 51,132 人増加（+2.1%）。

f） リニア開業効果発現（名古屋－新大阪間）（2038 年～）

2038 年度のリニア開業によって、城から東京駅と大阪駅までの平均時間 x_5 はさらに、-29.5 分短縮される。これに x_5 の係数 1,175 を乗じることで、被説明変数 y（来場者数）は 34,676 人増加（+1.3%）。

表 1-14　各イベントに関連する説明変数と非説明変数の変化量

イベント	時期	A:関係する説明変数x_i（およびその係数）	B:説明変数x_iの変化量	C:A×B 非説明変数yの変化量（入場者の増減数）	非説明変数y（入場者数）	
（参考）H28年実績値	2016	－	－	－	1,935,562	
①金シャチ横丁開業	2018.3	x_6:周辺の小売店・飲食店数（係数:994）	+19店舗（46→65）	18,883	2,195,988	+13.4%
②工事開始に伴う天守閣閉鎖	2018.5	x_1:着工フラグ（係数:241,543）	+1（0→1）	241,543		-24.5%
③工事期間中	2019.3～2022.12	x_2:工事中フラグ（係数:-297,531）	+1（0→1）	-297,531	1,656,914	+49.0%
④工事完了	2023.1	x_3:竣工フラグ（係数:515,009）	+1（1→2）	515,009	2,469,454	+2.1%
⑤リニア開業効果発現（名古屋-品川）	2028～	x_5:東京駅と大阪駅までの平均時間（係数:-1,175）	-43.5分（103→59.5）	51,132	2,520,586	+1.3%
⑥リニア開業効果発現（名古屋-新大阪）	2038～	x_5:東京駅と大阪駅までの平均時間（係数:-1,175）	-29.5分（59.5→30）	34,676	2,555,262	

今回の推計では、⑤、⑥のリニア開業による入場者数の増加割合が合わせて 3.5%であり、あまり大きなインパクトは得られない結果となったが、これは、本当に魅力有る城・観光地であれば、たとえ移動時間が長くとも、人は集まるためと考える。したがって、城自体の魅力を高める方策は重要であると考えられ、この点、名古屋城を木造天守閣に建て替える取り組みの意義は大きいものと思われる。

また、今回の推計では現状値を据え置いた（将来も不変とした）大型バスの駐車場台数をみてみると、この係数は 14,218 でそれなりの影響力を持った説明変数となる。従って、今後、名古屋城への来場者数を増やす上では、こうしたバス用駐車場台数の拡充を行い、更に多くの団体客を呼び込む方策も一考の余地が有ると考える。

1.1.3. ２つのアプローチにみる入場者数見込み数の妥当性の確認

(1) アンケートアプローチと統計アプローチの特徴

アンケートアプローチ及び統計アプローチの２つの手法により、名古屋城天守閣木造復元による入場者数見込み数を推計した。各アプローチの特徴は下表の通りである。

表 1-15　アンケートアプローチと統計アプローチの特徴

	アンケートアプローチ	統計アプローチ
手法の特徴	統計データでは把握できない、現状の利用者の頻度、各事象（金シャチ横丁や工事期間、木造復元、料金設定、リニア開業）に対する参加意向や参加頻度がアンケートにより反映できる。また、地域別年齢別の特性を踏まえた分析ができる。	「現状」の城の入場者数と環境要因（アクセス、工事期間、世界遺産指定、駐車場台数、周辺の小売店・飲食店数）の相関関係が統計的に反映できる。
留意点	一般的にアンケート結果で把握された参加意向は過大傾向を示すことが多い。例えば、将来の名古屋市への観光意向に関して被験者の将来の所得の制約が明確でないため、実際は観光への参加意向があったとしても所得制約上参加できない場合があるなど、参加意向と実際の行動では乖離が生じる可能性がある。	環境要因の中で、将来の人口減少や経済成長、訪日外国人数など、入場者数に関連する変数が含まれていないことから、こうした要因の影響が反映できていない。そのため、結果の取扱としては、現状における各変数の寄与のみを反映したものと捉える必要がある。

(2) 各事象時の変化率の比較

各事象時における変化率を比較すると、2019 年度の工事期間では、両アプローチはほぼ同じ結果が得られた。2023 年度の木造復元では、アンケートアプローチの変化率が統計アプローチに比べ 20 ポイントほど大きい。実際に推計結果を個別にみると、アンケート結果で得られた首都圏の訪問意向・頻度の変化率が大きいことが要因となっている。

また、2028 年度のリニア名古屋開業では、アンケートアプローチの変化率が統計アプローチに比べ 10 ポイントほど大きい。これもアンケート結果で得られた首都圏の訪問意向・頻度の変化率が大きいことが要因となっている。さらに、2038 年度のリニア全線開業で大きな差は見られなかった。

これらより、各アプローチの結果の違いは、アンケートアプローチによる首都圏からの入場者数の見込み数が大きいことが影響していることが把握できた。

表 1-16　各事象時の変化率の比較結果

年度	事象	アンケートアプローチ①	統計アプローチ②	ポイント差（②－①）
2019 年度	工事期間	（2017 年度比） 87.0%	（2017 年度比） 85.6%	-1.4 ポイント
2023 年度	木造復元	（2022 年度比） 168.2%	（2022 年度比） 149.0%	-19.2 ポイント
2028 年度	リニア名古屋開業	（2027 年度比） 112.0%	（2027 年度比） 102.0%	-10.0 ポイント
2038 年度	リニア全線開業	（2037 年度比） 103.0%	（2037 年度比） 101.3%	-1.7 ポイント

(3) 各事象時の見込み数の比較

両アプローチの見込み数結果を比較すると、2019 年度の工事期間についてはほぼ同水準であるが、2023 年度の木造復元では約 135 万人の差、2028 年度及び 2038 年度のリニア開業の影響では約 70 万人～80 万人の差が見られた。

この差の大きな要因としては、外国人の取扱が統計アプローチに反映されていないことがあげられる。実際、アンケートアプローチの木造復元（2023 年）の外国人の増加分を確認してみると、現状（2017 年比）で約 62 万人増加しており、また。2028 年度、2038 年度も同様に外国人数は大きく増加している。そのほか、わが国の経済成長に伴う交流人口の増加影響が反映されていないことも要因となっている。

表 1-17 主な事象時の入場者見込み数の推計結果の比較（単位：人）

年度	事象	アンケートアプローチ①	統計アプローチ②	差分（②－①）
2019 年度	工事期間	1,618,432	1,656,914	38,482
2023 年度	木造復元	3,817,961	2,469,454	-1,348,507
2028 年度	リニア名古屋開業	3,230,793	2,520,586	-710,207
2038 年度	リニア全線開業	3,341,685	2,555,262	-786,423

(4) ２つのアプローチ結果にみる将来の入場者見込み数の考察

(3)で整理したように、統計アプローチにおいては、将来の訪日外国人数や経済成長が反映されていないため、アンケートアプローチの入場者見込み数の方が大きくなっていることが確認できた。しかしながら、仮に訪日外国人数の増加や経済成長の要因を除いたとしてもアンケートアプローチの入場者見込み数は大きい状況にある。これはアンケート結果で得られた首都圏住民の名古屋城への参加意向が高いことが大きく影響している。アンケート回答には被験者の「期待」が含まれているため、参加意向を実現するためには被験者の期待に応えられる取り組みが必要となる。

逆にいえば、統計アプローチに見られるように、仮に名古屋城誘客の取り組みを十分に行わなくても（現状のままの取り組みを進めていけば)、現状より約 50 万人多い、約 250 万人の入場者数が見込めることを示している。

以上の結果より、アンケートアプローチの推計結果である入場者数（約 320 万人）を確保するためには、天守閣木造復元の国内外（特に首都圏）への情報発信を含め、後述する「誘客に向けた各種イベントの実施」や「一活性にとどまらない持続的な取り組みの実施」、「名古屋駅から名古屋城へのアクセス」、「名古屋城周辺の観光施設との連携」などを積極的に推進していくことが重要となる。逆に、首都圏や関西圏などの県外の広域的な観点での誘客方策が十分でない場合は、統計アプローチが示した結果に近くに留まる可能性があることが示唆される。

1.2. 事業収支計画の策定

1.2.1. 名古屋城運営における事業収支の概要

平成 27 年度、平成 28 年度の収支関係資料を基に、名古屋城の運営における事業収支の現状を確認した。事業収支の概要は次の通りである。

表 1-18　名古屋城運営における収入・支出概要

単位：百万円	2015 年度	2016 年度
収入	699	761
使用料及び手数料	699	761
うち名古屋城観覧料	687	746
支出	670	720
職員の人件費	198	199
運営管理	334	360
宵まつり等催物の実施	31	38
本丸御殿の運営等	106	123
年度収支	29	41

※職員の人件費は、名古屋城総合事務所に勤務する職員 33 人（事務職員 19 名、技術職員 14 名｜2016 年度）のうち管理課 20 人分の人件費とするため、実績額×20/33 で設定した。

※上記以外の支出（本丸御殿障壁画保存修理、石垣の整備、本丸御殿の復元等）は、名古屋城運営に関連しないと費用と考え、計上対象から除いた。

1.2.2. 事業収支計画の策定

入場者数見込み及び収支関係資料を基に、名古屋城天守閣を木造復元した場合の事業全体の収支計画（事業期間は 2017 年度～2071 年度）を策定した。

(1) 前提条件

名古屋城天守閣木造復元事業（以下、木造天守閣事業）の事業収支計画策定における収入・支出科目、各科目の算定方法等は次の通りとした。

表 1-19　事業収支計画の前提条件

		算定方法	条件設定
収入			
	観覧料収入	入場者数×入場料×客単価率×0.75	✓ 入場料：市内 450 円、市外 1,000 円 ✓ 客単価率＝客単価実績値÷入場料実績値（料金割引や無料入場者の影響を考慮） ✓ 名古屋城観覧料収入の 75%を天守閣運営事業収入として充当。（天守閣整備費：本丸御殿整備費＝75：25）
	使用料収入	実績値×0.75	✓ 施設使用料、茶席使用料、行為使用料等による収入の 75%を計上。
	寄附金	17 年度に 223 百万円、18~22 年度に 200 百万円の寄附を見込み、それぞれ翌年度の建設費に充当。	✓ 市の見込みに基づき設定
支出			
	公債費（建設費＋利子）	元金＋利払い額	✓ 償還期間　40 年（20 年公募債・借換1回） ✓ 積立　当初：4年据置3%　借換：4年据置6% ✓ 利率 0.625%（平成 29 年埼玉県実績）
	職員人件費	職員人数×単価	✓ 単価＝人件費実績値÷人数実績値 ✓ 人数：　17 年度：7 人、18 年度～22 年度 12 月：9 人、22 年度 1 月～31 年度 11 月：17 人、31 年度 12 月～：15 人
	管理運営費	①運営管理＝天守閣分経費＋共通経費×0.75 ②催事実施＝実績値×0.75 ③消費税納付＝預かり消費税－支払い消費税	① 管理運営費実績内訳を基に整理。 ① 変動費は入場者数に連動。 ①・② 共通経費、催事費用の 75%を天守閣経費として計上。 ③ 消費税率は現状の8%で設定。
	発注者支援＋事務費	N/A	✓ 市の予算に基づき設定。
	起債手数料	○発行手数料＝起債額×0.0416×1.08 ○新規記録手数料＝起債額×0.00005×1.08 ○償還手数料（元金）＝起債額×0.0000075×1.08 ○償還手数料（利子）＝起債額×0.0000075×1.08×2 （上期・下期）	
	集客促進費	右記の該当年に 20 百万円を計上。	✓ 5周年ごとに記念イベントを実施。
	修繕費	N/A	✓ 10 年ごとに修繕を実施。（市の予算を4回に配分）

N/A：算定方法なし

a） 運営管理費の設定

事業収支計画の前提条件に示した通り、運営管理費には収支関係資料の管理運営費実績内訳から天守閣運営に係る経費及び名古屋城全体運営に係る経費の 75%を計上した。

本丸御殿に係る経費は、本丸御殿の管理運営のための収入を観覧料収入の 25%で確保していると考え、木造天守閣事業の経費から除いた。

天守閣・本丸御殿以外の特定の場所・施設にかかる経費または場所・施設が限定できない経費は、場所・施設が特定できない経費のみ天守閣にもかかる経費と考え、その 75%を本事業の経費として計上した。ただし、賃金、報償費、旅費、役務費、使用料・賃借料、工事請負費、原材料費、備品購入費、負担金補助・交付金は少額のため、本事業の経費から除いた。

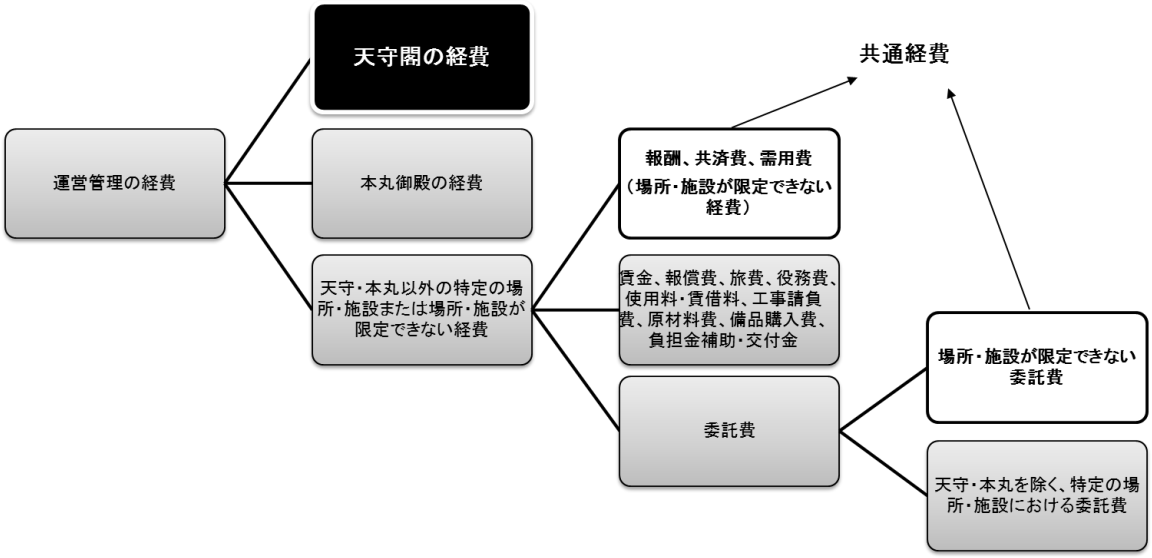


図 1-19　運営管理費科目の仕分け方法

b） その他の条件設定

■ 公債費の考え方（寄附金との関係）

起債額（総事業費 505 億円）とその利息で構成される。ただし、寄附金を建設費に充当することで起債額を削減しているため、その分の利息は削減される。

■ 変動費の考え方

運営管理費の項目の内、下記の変動費項目については、次の通り費用を設定した。

H28 年度実績値　×　（当該年度入場者数÷H28 年度入場者数）

変動費項目

入館者用スリッパ・下足袋・記念品等、城内便所用トイレットペーパー（消耗品費）、観覧券（印刷製本費）、リーフレット（印刷製本費）、その他印刷（印刷製本費）、上下水道料、名古屋城一般廃棄物処理委託

■ 消費税納付の考え方

預かり消費税（(観覧料収入＋使用料収入）×消費税率÷（１＋消費税率)）から支払い消費税（(建設費＋起債手数料＋発注者支援・事務費＋運営管理・催事費＋集客促進費＋修繕費）×消費税率÷（１＋消費税率)）を引いた額を設定している。

(2) 結果

a） 総収支額

各入場者シナリオの総収支額は次の通りである。基本シナリオでは事業期間全体で約 15 億円の支出超過となるが、高位シナリオでは約 45 億円の収入超過となることが見込まれる。

単位：百万円

表 1-20　総収支額（期間：2017 年度～2071 年度）

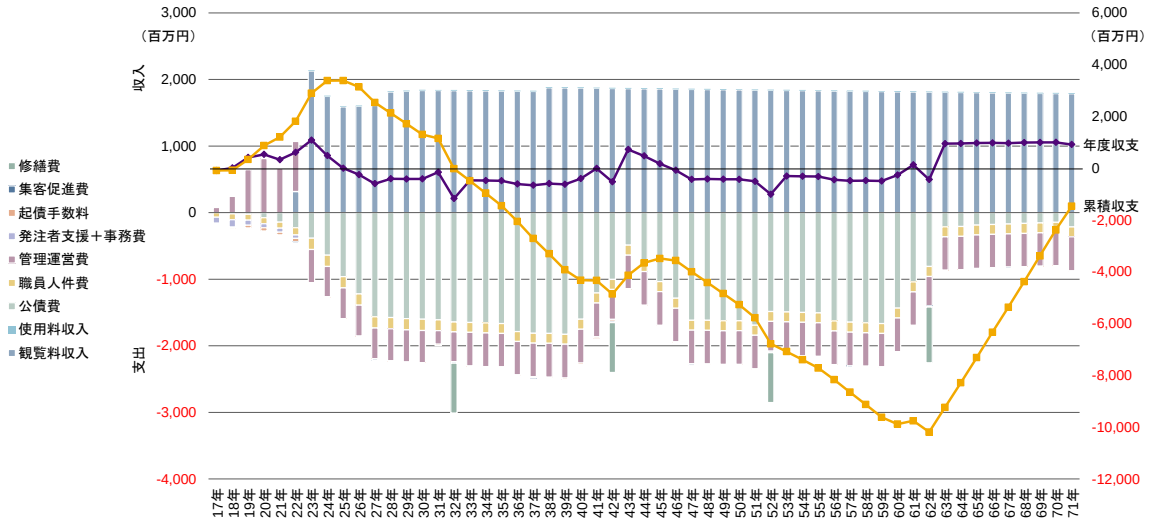
入場者シナリオ	低位	基本	高位	参考	備考
収入	**85,677**	**91,201**	**98,683**	**100,613**	
観覧料収入	83,898	89,422	96,904	98,835	名古屋城観覧料収入の 75%
使用料収入	556	556	556	556	施設使用料等収入の 75%
寄附金	1,223	1,223	1,223	1,223	
支出	**92,141**	**92,667**	**94,137**	**93,566**	
公債費	59,741	59,741	59,741	59,741	建設費＋利子
職員人件費	8,020	8,020	8,020	8,020	
管理運営費	20,276	20,802	21,471	21,700	運営管理、消費税納付、催事関係
発注者支援＋事務費	451	451	451	451	発注者支援・事務費、寄附機運醸成費
起債手数料	368	368	368	368	
集客促進費	200	200	1,000	200	
修繕費	3,086	3,086	3,086	3,086	
収支額	**-6,465**	**-1,467**	**4,546**	**7,047**	収入－支出

高位：「域内で魅力的なイベントが開催される」　⇒　木造天守閣オープン後、集客イベントを毎年実施
参考：名古屋市への訪問率が「過去 5 カ年のトレンド」で推移

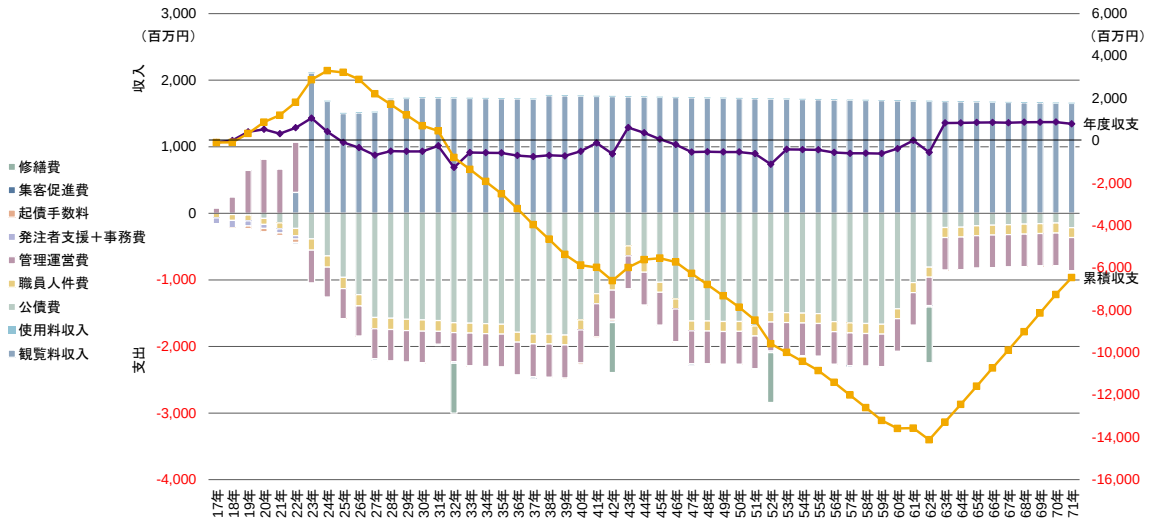
b） 年度別事業収支

各入場者シナリオについて、年度別事業収支のグラフを示す。なお、寄付金は事業費（建設費）に充当されるため、グラフから除外した。

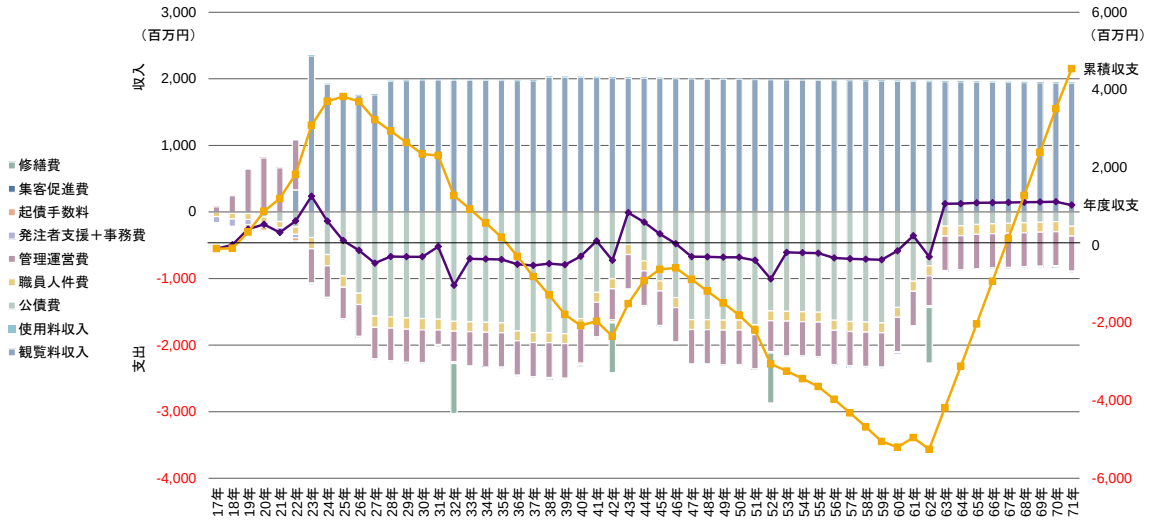
■ 基本シナリオ



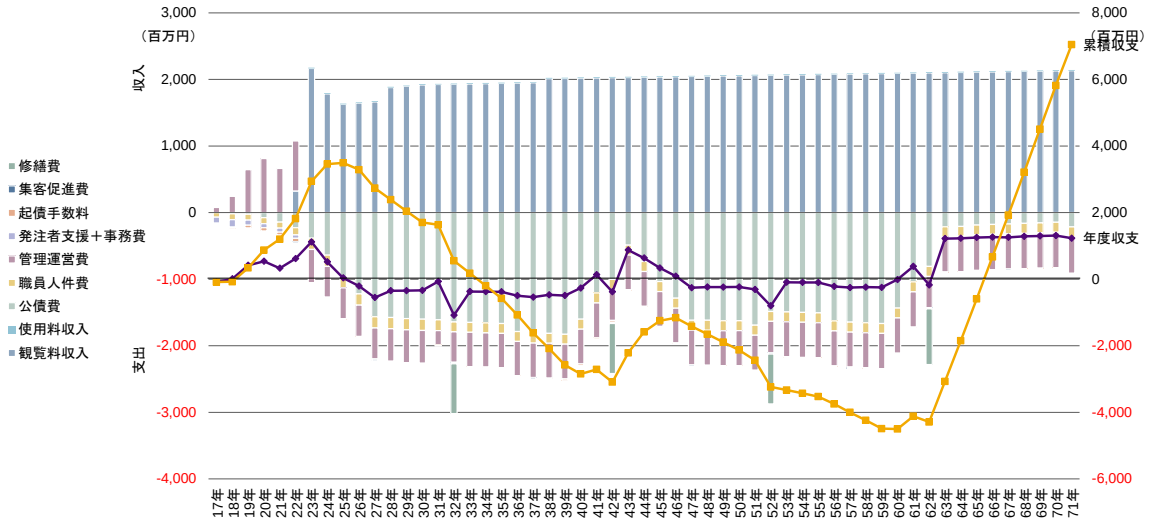
■ 低位シナリオ



■ 高位シナリオ



■ 参考シナリオ



1.2.3. 参考）入場料金別事業収支計画

入場料金を一律 500 円（現行のまま）とした場合及び一律 1,000 円（全員値上げ）とした場合の入場者数見込みによる事業収支を算定した。

表 1-21　入場料金別の収支計画｜総収支額（期間：2017 年度～2071 年度）

単位：百万円

入場者シナリオ	基本	基-500	基-1,000
収入	**91,201**	**52,249**	**92,653**
観覧料収入	89,422	50,470	90,875
使用料収入	556	556	556
寄附金	1,223	1,223	1,223
支出	**92,667**	**89,951**	**92,729**
公債費	59,741	59,741	59,741
職員人件費	8,020	8,020	8,020
管理運営費	20,802	18,085	20,863
発注者支援＋事務費	451	451	451
起債手数料	368	368	368
集客促進費	200	200	200
修繕費	3,086	3,086	3,086
収支額	**-1,467**	**-37,702**	**-75**

1.2.4. 参考）収支均衡に必要な入場者数

基本シナリオ、料金 500 円、料金 1,000 円のケースについて、均衡に必要な入場者数を算定した。具体的には、基本の入場者構成割合をベースに、収支額＝0 となる入場者数を算定した。

表 1-22　収支均衡をするために必要な入場者数

	71年度入場者数	収支額
基本シナリオ	3,182 千人/年	▲1,467 百万円
↓ 収支均衡	3,240 千人/年	0 円
（料金 500 円）	71年度入場者数	収支額
基本-500	3,451 千人/年	▲37,702 百万円
↓ 収支均衡	6,369 千人/年	0 円
（料金 1,000 円）	71年度入場者数	収支額
基本-1000	3,108 千人/年	▲75 百万円
↓ 収支均衡	3,110 千人/年	0 円

2. 民間活力の導入の検討

2.1. 名古屋城に関する課題の整理

名古屋城は本物志向の観光施設が集積し、周辺にも歴史・産業観光、サブカルチャー等の資源が立地しているものの、これらの相乗効果が発揮されているとはいえず、名古屋城は広域拠点としての機能（観光案内所設備等）が必要となる。また、バリアフリーへの対応も十分でなく、ユニバーサルデザイン（UD）に加え、インバウンド観光を含めたダイバーシティ（DC）への対応も求められる。以下に、観光視点・家族視点と多様性からみた課題を記載した。

表 2-1　観光視点・家族視点と多様性からみた特徴と過大

	内容	キーワード
特徴	【本物志向】 〇木造天守閣、本丸御殿、能楽堂等、“本物志向”型の観光施設として面的集積を有する 〇非日常性を味わえるユニークベニューとしての活用の可能性 【象徴的な存在】 〇市民の誇りとして根強い象徴的な存在である「名古屋城」 〇隣接の愛知県体育館にて大相撲名古屋場所が行われる名古屋を代表するエリア 【集客力】 〇三英傑をテーマとしたエンターテイメント性の強い「名古屋おもてなし武将隊」 〇「宵祭り」などのイベント拠点 【観光資源の集積】 〇徳川園等の観光施設、伝統産業、四間道、円頓寺、大須、文化のみち等の集積	〇史跡の面的集積 〇名古屋の代表エリア 〇多彩なイベント 〇街の界隈性
課題	【資産の活用】 △消費行動に繋がる施設が乏しい（買う・食べる・観る・遊ぶ・癒やされる） 金シャチ横丁（物販・飲食）から、エンターテインメント・イベント・宿泊施設等への拡張 △ユニークベニューとして積極的に活用できていない（活用の余地が大きい） △夜間駐車場の有効活用が進んでいない（機会損失） 【市内施設との連携】 △「史跡の面的集積」と「街の界隈性」との相乗効果が発揮されていない △広域情報拠点として「次の目的地」への橋渡し機能が不足している △観光周遊バス:メーグルでは観光施設が網羅し切れていない 【来場者の拡大】 △外国人向けのニーズや意向に合った案内 △本物であるがゆえに有する、授乳室、おむつ替え、バリアフリー（エレベーター、スロープ、手すり等）への対応の難しさ △様々な世代に支持され、好まれるコンテンツの提供	△便益施設の整備 △収益事業の拡大 △利用の拡大 △拠点性・周遊性の強化 △多様性への対応

2.2. 管理運営にかかる民間活力の導入

民間委託等の可能性を調査するとともに、委託した場合に費用削減できる事項の調査を実施し、経営効率化かつ市民サービスを向上できる方策を調査する。

2.2.1. 支出内容の確認

天守閣にかかる支出科目について、委託、経営効率化等の民間活力の導入可能性を確認する（支出額は平成 28 年度決算）。

a） 職員人件費

内　　容	天守閣に係る市職員の人件費
支　出　額	198,931,938 円
民間活力の導入可能性	・直営業務を民間に委託することが考えられ、民間委託によって、人件費を削減する（民間の賃金水準となる）。 ・民間事業者による広報・宣伝、業催事の企画・運営によって、市は、本来の企画経営に専念する。

b） 報酬・共済費

内　　容	植物管理指導員、学芸嘱託員報酬、事務嘱託員、整備嘱託員の報酬・共済費
支　出　額	12,808,096 円
民間活力の導入可能性	・民間に学芸業務を委託し、民間事業者が指導員、学芸員等を雇用、管理することが考えられる。 ・民間に委託等することで、市の事務量等は軽減される。

c） 賃金

内　　容	事務補助臨時職員の賃金
支　出　額	1,791,603 円
民間活力の導入可能性	・臨時的な事務補助であるため、予め民間に委託することは難しい。 ・全体の管理を包括的に民間に委託した場合は、かかる業務についても民間に委託することが現実的である。

d） 報償費

内　　容	各種指導の謝金、謝礼品の購入、法律相談
支　出　額	88,037 円
民間活力の導入可能性	・直営業務を民間に委託した場合は、かかる業務（支払い等）についても民間に委託することが現実的である。

e） 旅費

内　　容	市外出張旅費等、在勤地内等出張旅費、嘱託員通勤費用
支　出　額	3,210,630 円
民間活力の導入可能性	・直営業務やを事務補助臨時職員業務を民間に委託した場合は、かかる費用についても、民間に移管される。

f） 需用費

内　　容	光熱水費（工業用水道料を含む）
支　出　額	77,356,366 円
内　　容	その他消消耗品、印刷製本費
支　出　額	17,122,703 円
民間活力の導入可能性	・全体の管理を包括的に民間に委託した場合は、かかる業務についても民間に移行する現実的である。 ・民間事業者のコストマネジメントによって費用を削減する。

g） 役務費

内　　容	電話料金、郵便代、通信回線、筆耕、保険掛金、手数料等
支　出　額	2,749,516 円
民間活力の導入可能性	・全体の管理を包括的に民間に委託した場合は、かかる業務についても民間に移行する現実的である。 ・民間事業者のコストマネジメントによって費用を削減する。

h） 委託料

内　　容	名古屋城発券・改札・警備・清掃等業務委託（追加契約を含む）
支 出 額	129,887,447 円
内　　容	植物管理・剪定・除草
支 出 額	48,167,038 円
内　　容	建物設備保守
支 出 額	8,916,480 円
内　　容	展示室等燻蒸
支 出 額	1,998,000 円
内　　容	廃棄物処理
支 出 額	9,426,755 円
内　　容	その他運営管理
支 出 額	15,115,983 円
民間活力の導入可能性	・現在、民間委託（3 年・包括契約）が導入され、一定の費用削減効果が導出されている。 ・契約期間の長期化（例：10 年超）によって、費用削減を図る。

2.2.2. 管理運営における民間活力の導入

民間活力の導入にあたっての業務の発注方法等を整理する。

(1) 発注方法

a） 性能発注

発注者（市）が求めるサービス水準を明らかにし、受注者（民間）が満たすべき水準の詳細を規定した発注であり、仕様発注方式よりも民間の創意工夫の発揮が実現しやすい。

b） 包括発注

市の直営業務を含めて、現在分離発注（支出）されている業務を包括して発注することで、事業（関連する業務）全体を見据えた効率的で効果的な管理運営が実現され、コスト削減を図るとともに利用者に対するサービスの向上も期待できる。

c） 長期契約

収入（委託料等）が長期にわたり安定することで、低廉な価格で契約することが可能となる。また、維持管理や運営を計画的に行うことができるため、人員体制や必要機材を合理的に配備することができる。さらには、営業経費や契約に伴う経費を削減すること、人材育成コストの削減や熟練による効率化も期待できる。

(2) 対価の支払方法

委託料等の対価の支払方法としては、大きくは下記の方法がある。

表 2-2　対価の支払方法

類型	支払いの考え方	現在の契約
アベイラビリティフィー Availability Fee	・利用可能性の確保に対する支払い ・確保できていない場合は減額 ・対価の例：維持管理費等	○
ユーセージフィー Usage Fee	・利用量に応じて変動する事業コストに対する支払い ・対価の例：運営人件費、光熱水費等	○
パフォーマンスフィー Performance Fee	・サービスの成果に対する支払い ・成果に応じて変動する ・対価の例：入場者数、料金収入等	

現在の民間委託業務又は支出は、アベイラビリティフィー、ユーセージフィーによる支払いとなっている。

今後、一層の民間の創意工夫の発揮、サービスの向上等を図るには、パフォーマンスフィーを導入するなど経済的な動機付け（インセンティブの付与）が必要となる。

天守閣事業においては、入場料収入をインセンティブとすることが考えられ、入場料について以下の収受方法等が考えられる。

表 2-3　入場料の収受方法と帰属先

方法	支払いの考え方	現在の契約
徴収代行	・受託者は入場料を市に代わって収受代行する ・入場料はすべて市に帰属する	○
一部還元方式	・受託者は入場料を市に代わって収受代行する ・入場料は基本的には帰属し、契約（提案書）に規定された計画以上の収入が得られた場合は、増加収入の一部を受託者に支払う	
利用料金制	・受託者は入場料を自らの収入として収受する ・入場料は全て受託者に帰属する	
プロフィットシェアリング	・受託者は入場料を自らの収入として収受する ・契約（提案書）に規定された計画以上の収入（増加収入）が得られた場合は、増加収入の一部を市に支払う	

入場料収入は天守閣事業の建設費支払い（償還）の財源であることから、「徴収代行の一部還元方式」等、市が入場料収入として留保しつつ、受託者の入場者増、入場料収入増に対する努力を引き出す仕組みの構築が必要となる。

2.3. 便益施設及び収益事業にかかる民間活力の導入

場内の施設だけでなく、正門前駐車場や名城公園などの周辺都市公園など城外の本市既存施設等の利活用を含めた広範囲での民間活力の導入手法及び場内でのツアーやイベントなど特別史跡内での収益事業の強化策を調査する。

2.3.1. 想定される民間活力手法

便益施設（施設整備）、収益事業の実施が可能で、また 2.2 の検討のとおり経営効率を高めるための長期・包括発注が可能な民間活力の導入手法としては、従来の指定管理者制度の外、PFI、設置許可制度、コンセッション、公募設置管理制度（Park-PFI）が考えられる。

このなかでも、民間に裁量を付与し、より経営効率を高める手法として、公募設置管理制度（Park-PFI）がある。

表 2-4　民間活力導入手法

制度名	根拠法	事業期間	民間の事業範囲	民間の裁量	導入効果	城址・公園事例
包括委託（現状）	―	3 年	・管理運営	（基準）		
指定管理者制度	地方自治法	3～5 年	・管理運営 ・収益事業	やや大きい	①サービス向上 ②コスト削減（管理運営） ③収益増加	大阪城公園 （公募設置管理制度に近い手法）
PFI 事業	PFI 法	10～30 年	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・収益事業	大きい	①サービス向上 ②コスト削減（＋施設整備） ③収益増加	熊本城桜の馬場
設置管理制度	都市公園法	10 年以内	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・収益事業	大きい	①サービス向上 ②コスト削減（＋施設整備） ③収益増加	名城公園北園
コンセッション	PFI 法	10～30 年	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・収益事業	より大きい	①サービス向上 ②コスト削減（＋施設整備） ③収益増加 ④運営権対価の市への納付	（城址・公園施設にはない）
公募設置管理制度（Park-PFI）	都市公園法	20 年以内	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・便益施設	より大きい	①サービス向上 ②コスト削減（＋施設整備） ③収益増加 ④収益の市への還元	久屋大通公園

（参考）全国の主要城郭の管理形態

城名	天守有無	指定文化財	所在地	集客（人/年間）	時点	指定管理	指定管理者名	備考
姫路城	○	国宝（天守）	兵庫県姫路市	2,867,051	H27 年度	×	公園内一部の庭園のみ指定管理	現存 12 天守。
首里城	×	世界遺産	沖縄県那覇市	2,727,677	H28 年度	○	一般財団法人沖縄美ら島財団	
大阪城	○	有形文化財（天守）	大阪府大阪市	2,557,394	H28 年度	○	大阪城パークマネジメント共同事業体（公園）	
明石城	×	国重要（櫓）	兵庫県明石市	2,440,000	H25 年度	○	公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会	運動場・庭園等併設。桜名所。
金沢城	×	国重要（門、長屋他）	石川県金沢市	2,259,559	H28 年度	×	-	兼六園、２１世紀美術館隣接。
二条城	×	国宝（二の丸）、世界遺産他	京都市中京区	1,738,815	H27 年	×	-	二の丸庭園が特別名勝。庭園内にあり。小規模な公園が隣接。
熊本城	○	国重要（櫓他多数）	熊本県中央区	1,715,642	H27 年度	×	熊本城隣の桜の馬場観光交流施設は指定管理。	
名古屋城	○	国重要（櫓、門）	愛知県名古屋市	1,694,724	H26 年	×	岩間・中日本エンジ名古屋グループ（公園）	
松本城	○	国宝（天守）	長野県松本市	927,055	H27 年	×	駐車場だけ指定管理	現存 12 天守。
犬山城	○	国宝（天守）	愛知県犬山市	533,337	H27 年	×	-	現存 12 天守。
仙台城	×	国指定史跡	宮城県仙台市	900,448	H27 年	○	青葉城本丸会館	売店・神社等あり。
高岡城	×	国指定史跡	富山県高岡市	846,000	H27 年	○	富山興業株式会社	体育館、神社、動物園などあり。21 万 m²。1/3 が堀。
竹田城（竹田城跡）	×	国指定史跡	兵庫県朝来市	416,000	H27 年度	○	全但バス・神戸新聞事業社・神姫バス共同事業体	指定管理は城道中にある山城の郷（売店、テストラン、グラウンドゴルフ場）
丸岡城	○	国重要（天守）	福井県坂井市	371,400	H26 年	○	（公財）丸岡文化財団	現存 12 天守。
彦根城	○	国宝（天守）	滋賀県彦根市	817,100	H27 年	○	髙木・技研特別共同体（公園）	現存 12 天守。城入場料 1000 円。敷地内に高校。城下町が発展。
岡山城	○	国重要（櫓）	岡山県岡山市	810,000	H26 年度	△	天守　（指定）観光コンベンション協会　公園　（委託）（公財）岡山県郷土文化財団	公園も国の特別名勝に指定。城も公園も料金必要。14400m²
小田原城	○	国指定史跡	神奈川県小田原市	775,406	H28 年度	○	一般社団法人 小田原市観光協会	遊園地、カフェ、図書館等あり
五稜郭	×	国特別史跡	北海道函館市	775,000	H27 年度	○	一般財団法人函館市住宅都市施設公社	

若松城	○	国指定史跡	福島県会津若松市	622,587	H27 年度	○	一般財団法人会津若松市観光公社	体育館、博物館、茶室等あり。駅遠い。
松山城	○	国重要（大天守他多数）	愛媛県松山市	494,897	H27 年度	○	伊予鉄道株式会社	現存 12 天守。県庁・市役所・ミュージアム併設。桜名所
松江城	○	国宝（天守）	島根県松江市	494,189	H27 年	○	NPO 法人松江ツーリズム研究会	現存 12 天守。桜名所。県庁裏。
高遠城	×	国指定史跡	長野県伊那市	339,500	H27 年	×	-	来場者の内 23 万人程度が桜祭り。（有料）
弘前城	○	国重要（天守）	青森県弘前市	379,347	H27 年度	○	一般財団法人弘前市みどりの協会	桜名所。現存 12 天守。
岐阜城	○	国指定史跡	岐阜県岐阜市	243,098	H27 年度	×	-	麓に岐阜公園
広島城	○	国指定史跡	広島県広島市	296,422	H27 年	○	（公財）広島市文化財団	美術館、科学館、アリーナ等近隣にあり。公園・城は堀で隔たれている。
高知城	○	国重要（天守他多数）	高知県高知市	264,992	H27 年	○	入交グループ	現存 12 天守。県庁裏。隣に別公園（4.5ha）
岡崎城	○	市指定史跡	愛知県岡崎市	244,574	H27 年度	○	一般社団法人岡崎パブリックサービス	
島原城	○	県指定史跡	長崎県島原市	211,308	H27 年度	○	一般社団法人島原城振興協会（城）	
高松城	×	国重要（二の丸他）	香川県高松市	178,776	H25 年度	○	香川県造園事業協同組合	披雲閣庭園が名勝指定。美術館側。
掛川城	○	国重要(二の丸)	静岡県掛川市	129,660	H27 年度	○	掛川市掛川城・茶室竹の丸管理運営業務事業共同体	ステンドグラス美術館隣接。
丸亀城	○	国重要（天守他）	香川県丸亀市	110,000	H28 年度	×	公園内グラウンドのみ指定管理。	石垣の名城。現存 12 天守。
上田城	×	国指定史跡	長野県上田市	96,163	H27 年度	×	-	桜名所。野球場・陸上競技場・博物館併設。
備中松山城	○	国重要（天守他）	岡山県高梁市	90,000	H27 年	×	-	現存 12 天守。
駿府城	×	×	静岡県静岡市	67,826	H27 年度	○	駿府城公園観光文化施設管理運営共同事業体	平城。二の丸、櫓、門など復元。天守台復元に向け調査中。出土品が指定文化財
甲府城	×	県指定史跡	山梨県甲府市	25,768	H28 年度	×	-	櫓･門復元、石垣現存のみ。舞鶴城公園内で隣に別の公園有り。
安土城（安土城跡）	×	国特別史跡	滋賀県近江八幡市	19,500	H27 年	×	-	摠見寺という臨済宗の寺が管理しているよう。特定の日に茶室見学やコンサートを実施しているとのこと。

2.3.2. 想定される便益施設・収益事業の取り組み例

想定される便益施設・収益事業の取り組み例を下表に示した。

表 2-5　想定される便益施設・収益事業の内容と事例・実施案

	内　　容	事例・実施案
便益施設	・カフェ・レストラン・土産物施設の拡充 ・観光案内所の整備	・商業・観光案内施設（JO-TERRACE OSAKA（大阪城）） ・飲食施設（旧第四師団司令部庁舎（大阪城））
	・名古屋文化（元禄料理）の提供、多様性への対応	・ムスリム対応　等
収益事業	・ユニークベニューとしての弾力的な運用	・プロジェクションマッピング（大阪城） ・レセプション ・ウェディング（二条城、掛川城） ・グルメイベント（ビアガーデン（松本城、掛川城）） ・宿泊（グランピング（島原城）） ・将棋タイトル戦（掛川城）
	・場内観覧方法の拡大	・城内循環バス（大阪城） ・セグウェイツアー（二条城）
利用の拡大	・既存の大規模イベントを名古屋城での開催	・どまつり、コスプレサミット、武将をテーマにしたイベント　等 ・コスプレ撮影・島原城
	・名古屋城を活用した新規イベントの開催	・カーミーティング（豊川稲荷）、 ・チャンバライベント（宇和島城） ・スポーツイベント（トライアスロン・モトクロスバイク（大阪城）、 剣道大会（松本城、舞鶴城）　※利用の拡大を兼ねる
	・夜間イベント	・天守閣からの初日の出観覧、天守閣・本丸御殿等での宿泊等
	・ビジネス客を取り込む、早朝、夜間営業拡大	―
市民の日常利用	・高齢者向けのコミュニティスペースとしての場の提供	・ラジオ体操、太極拳、ゲートボール　等
	・ワークショップの開催	・カメラ教室、盆栽教室　等
愛着の醸成	・ファンクラブ、スポンサー制度	・名前入り平板ブロック（セントレア）
	・バックヤードツアー	―

2.3.1. 収益事業の検討（効果等の確認）

(1) 導入効果

大阪城のイベントは、入場者数（観覧料収入）の増加に大きく寄与し、連動して駐車場資料料も増加している。また、大阪城のイベントは、管理者（指定管理者）の支出を伴わない事業も多く、管理者として効率的である（費用対効果が高い）。

二条城のウェディングは、管理者として収入を確保することができる。上記の入場者数の増加による収入増加と比較して、決して大きくはないが、コストをかけることなく年間 500 万円程度確保することができる。

(2) 名城公園の資産を活用したイベント

大阪城のプールと同様に、名城公園のプールの活用が考えられる。

表 2-6　収益事業事例の整理

事例名	内容	導入効果	管理者の支出
大阪城 プロジェクションマッピングイベント 「戦国ザ・リアル」	・企画・運営主体：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン ・入場者数：26,672 人 （天守閣への入場者数の増分：前年比 8.35%/2 ヶ月） ・イベント会場を無償提供。 ・大阪城パークマネジメント大阪㈱（PMO）は、天守閣内で企画展示「戦国ザ・リアル」を開催。 ・天守閣の入場者数（観覧料収入）、西の丸庭園の入園者数（入園料収入）、駐車場使用料が増額。	・入場者増（大きい） ・使用料増	・天守閣の企画展示
大阪城 トライアスロン	・企画・運営主体：大会組織委員会（PMO とは別組織） ・参加者数：65,000 人（平成 29 年度） ・大会会場を無償提供。 ・西の丸庭園の入園者数（入園料収入）、駐車場使用料が増額。	・入場者増（大きい） ・使用料増	・なし

事例名	内容	導入効果	管理者の支出
大阪城 謎解きイベント	・企画・運営主体:PMO ・入場者数:2,760 人(平成 29 年 4～6 月) ・西の丸庭園の入園者数(入園料収入)、駐車場使用料が増額。 ※収入は入園料×人数	・入場者増	・なし
大阪城公園内 移動交通システム	・企画・運営主体:大阪城パークマネジメント大阪㈱(PMO) ・利用者数:不詳 ・平成 27 年 7 月から運行開始(ロードトレインとエレクトリックカー) ・乗車料金 大人(中学生以上 65 歳未満) 片道 ¥300 / 往復 ¥500 こども(4 歳以上小学生以下) 片道 ¥200 / 往復 ¥300 高齢者(65 歳以上) 片道 ¥100 / 往復 ¥200 障がい者(障がい者手帳等ご提示、介護者1名) 乗車券 ¥100 ・入場者増への寄与は不明	・収入増加	・設備費 ・管理運営費
二条城 ウェディング	・企画・運営主体:㈱エルエスティ(京都市からの委託先) ・参加者:年間 40 組程度 ・京都市は委託先に委託料 50 万円/件を支払う。利用者は京都市に利用料 60 万円を支払う。差額の 10 万円/件(年間 400 万円)が京都市の収入となる。	・入場者増(小さい) ・使用料増	・なし(収入超過)
二条城 セグウェイツアー (二条城まつり 2016)	・企画・運営主体:セグウェイジャパン㈱ ・参加者数:72 名(3 日×4 回/日×6 名/回) ・参加料金:6,000 円/人 ・イベントでの一コンテンツであり、継続的に行われていない	・入場者増(小さい)	・なし

事例名	内容	導入効果	管理者の支出
島原城 グランピング	・企画・運営主体:指定管理者の自主事業 ・参加者数:4 名 ・参加料金:無償 ・宿泊施設運営ではないため、宿泊料は徴収しない。	・入場者増(小さい)	・管理運営費(電気代等)
舞鶴城公園 剣道大会	・企画・運営主体:甲府市信玄公まつり実行委員会 ・参加者数:1,000 人(剣士の数)、随行者、家族等を含めた総数は不明 ・信玄公まつり全体として場所代を徴収しており、個別には算出していない(剣道大会の他、空手の演武会等も実施)	・使用料増(金額については要確認)	・要確認
松本城 少年少女県道なぎなた大会	・企画・運営:松本城管理事務所(運営業務を外部委託) ・参加者数:600 名(剣士の数)、随行者・家族を含めると1,000名以上(詳細は把握出来ていない) ・参加料金:無料 ・国宝松本城お城まつりの一環として実施。 ・イベント運営を剣道連盟に 16 万円で外部委託(募集、記念品、審判員謝礼、弁当代等が含まれる)	・入場者増(小さい) ・使用料 無し	・委託費(16万円)
島原城 コスプレ撮影会	・企画・運営主体:島原市 ・参加者数:100 名 ・参加料金:1,500 円/人	・入場者増(小さい) ・使用料増(大きい)	・不明
宇和島城 チャンバライベント	・企画・運営主体:宇和島市 ・参加者数:100 名 ・参加料金:無料 ・年間行事「ふるさと宇和島学」の一貫として実施	・入場者増(小さい)	・企画運営費100 万円

事例名	内容	導入効果	管理者の支出
豊川稲荷 カーミーティング	・企画・運営主体:クラシックカー愛好家 ・参加者数:30～40 名(台) ・参加料金:無料 ・賑わいを高める取り組みとして、豊川稲荷が場所を提供したもの	・入場者増(小さい)	・無し
ミライザ大阪城	・企画・運営主体:大阪城パークマネジメント大阪㈱(PMO) ・入場者数:平成 29 年 10 月開業のため実績値なし。 ・レストラン、軽食、土産物店が入店。	・入場者増(大きい) ・天守閣入場者への寄与は不明	・非公開

(3) 便益施設事例

a) 大阪城 JO-TERRACE OSAKA

大阪城を管理する民間事業者の提案により、 平成 29 年 6 月、城内で商業施設「JO-TERRACE OSAKA」 がオープン（延床面積 4,823 ㎡） 。

天守閣を眺めながらバーベキューを楽しめるレストランや、和装体験ができる和食・和スイーツ店など、幅広い業態の飲食店を中心に 22 店舗が開業。観光案内機能も備える。

図 2-1 大阪城 JO-TERRACE OSAKA

b） 名古屋城における便益施設の可能性

現状、城内（特別史跡内）において売店 4 店舗を運営。名城公園（特別史跡外）において、平成 29 年 4 月に商業施設「tonarino」がオープンし、平成 30 年 3 月に金シャチ横丁もオープン予定。

一定規模の建築物の新築が可能なエリアとして、正門前駐車場東側用地と名城公園（南園）がある。

正門前駐車場東側用地　：市内観光の拠点となりうる立地

⇒観光案内所・エンターテインメント（金シャチ横丁第二期）

名城公園・南園：天守閣の眺望に最も優れる場所の一つ

⇒　レセプション・宿泊施設

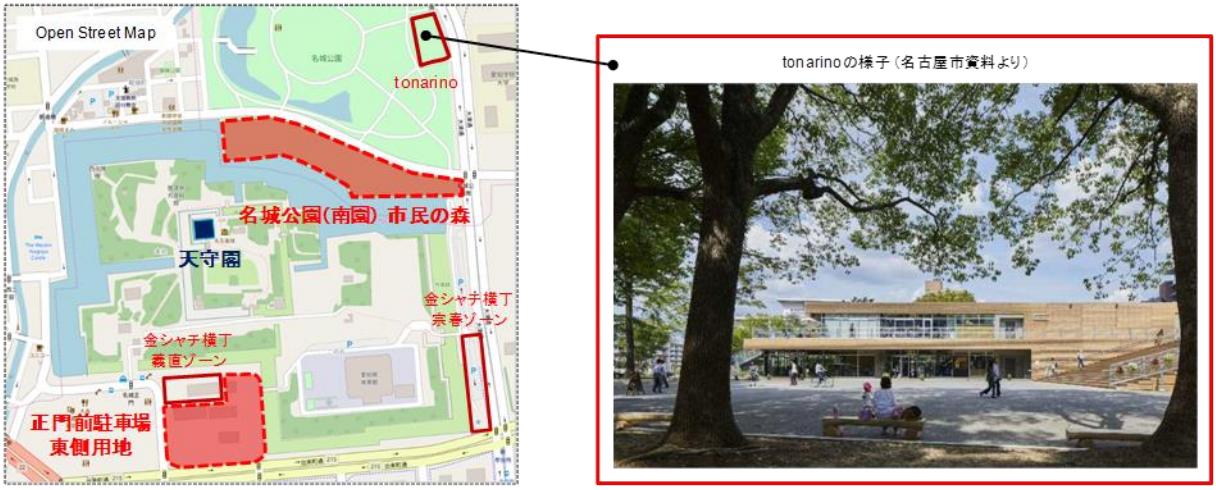


図 2-2　正門前駐車場東側用地と名城公園（南園）の位置

(4) 収益事業事例

a） 大阪城の収益事業の例

USJ が西の丸庭園（特別史跡内）でプロジェクションマッピングイベント「戦国ザ・リアル」を開催（H28.12.16～H29.3.12）。

これと連携する形で、大阪城を管理する民間事業者が、天守閣内で企画展示「戦国ザ・リアル」を実施（H28.11.30～H29.1.26）。

その結果、天守閣への入館者数が前年同期間（約 2 ヶ月間）と比べて 26,672 人（8.35%）増の 346,036 人となった。

図 2-3　大阪城西の丸庭園の位置

b） 名古屋城における収益事業の可能性

名古屋城においては、二ノ丸広場を活用したイベントの企画・誘致が考えられる。

〇二之丸広場を活用したイベントの企画・誘致
（ユニークベニューとしての弾力的な運用）
〇既存イベントとの連携
どまつり、コスプレサミット、武将をテーマにしたイベント等、年間を通じたイベントの実施
〇レセプション、ガーデンウェディング
〇スポーツイベント
〇グルメイベント
〇宿泊（グランピング等）

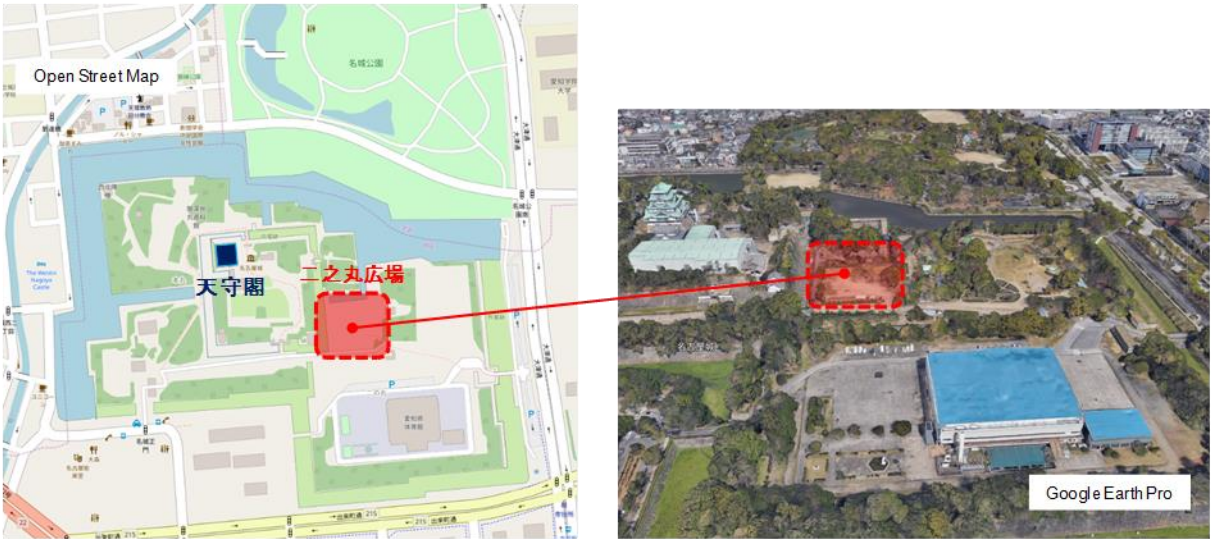


図 2-4　名古屋城における二之丸広場の活用

2.4. 観光視点・家族視点などにかかる民間活力の導入

2.4.1. 基本的な考え方

(1) 観光視点における基本的な考え方

観光視点における基本的な考え方は以下の通りとなる。

〇魅力度

・観光地の魅力の向上

〇アクセス性

・観光客が来やすく、他の観光スポットからの往来がしやすい交通ネットワークの充実

〇拠点性

・周遊観光の拠点としての位置付け

〇情報発信

・様々な観光情報が入手可能

・外国人向けの案内の充実（多言語対応）

・観光案内のゲートウェイ（外国人観光案内所認証カテゴリーⅢ）

多機能を有する観光案内所
（東京都台東区立浅草文化観光センター）

(2) 家族視点における基本的な考え方

家族視点における基本的な考え方は以下の通りとなる。

〇安心、快適

・誰もが安心して、快適に利用できる設備（トイレ、休憩所　等）

〇多様性

・ファミリー、障がい者、高齢者、外国人、宗教等、多様な客層のニーズに対応（様々なコンテンツ、多目的スペースなどの設備　等）

〇満足度

・様々な客層のニーズや要望、欲求に応える施設整備

利用者満足度が高まるトイレ
（JR ゲートタワーモール）

2.4.2. 名古屋城での観光視点・家族視点の取り組み

(1) 観光視点の取り組み例

観光視点の取り組み例を以下に示す。

表 2-7　観光視点の取り組み例

項目	内容
アクセス向上	・周遊バス「メーグル」ルート拡充 ・観光バス駐車スペースの充実 ・レンタサイクルの導入 ・堀川クルーズの活用、外堀での水上交通・架橋、BRT・LRT　等
回遊性向上	・市内観光施設との連携 ・名古屋城の観光の拠点化 ・近隣他城との連携（犬山城、岡崎城、岐阜城　等）
情報発信	・名古屋市の観光情報の集約化 ・市外、県外の観光地の情報発信による観光拠点間のネットワーク化

(2) 家族視点の取り組み例

家族視点の取り組み例を以下に示す。

表 2-8　家族視点の取り組み例

項目	内容
設備：トイレ	・個数の充足、和便器・洋便器の割合、本物志向（木製・畳敷等）の採用等 ・居心地の良いトイレ空間・利用したくなるトイレ空間の創出 ・多目的トイレの整理（障がい者、子連れ、オストメイト、LGBT　等）
施設：休憩所	・入場者数増加への対応（拡大、設備の充実等） ・多目的機能の追加　（オムツ替え、授乳、着替え、コインロッカー等）
多様性への対応	・多目的スペースの設置 （おむつがえ、着替えスペース、礼拝スペース　等） ・多国籍対応（多言語表記、多言語案内、留学生を活用した名古屋城ガイド、戦略的な情報発信　等） ・様々な宗教、食文化への対応（礼拝スペースの設置、飲食施設での原材料表記　等） ・障がい者の観覧への対応（城内の移動の円滑化）

2.4.3. 事例調査

観光視点・家族視点のサービスを提供する全国の観光案内所等の先進事例について、施設が有する機能別に整理し、機能の有無をもとに数値化した。

○運営手法・・・PFI で運営されている施設は、比較的機能が充実。
○保有機能・・・観光視点では、インフォメーション、物販施設、カフェ・飲食施設、イベントスペース等といった機能が比較的充実。家族視点では、授乳室、おむつ交換台などの機能を有する施設は少ない。

表 2-9　観光視点・家族視点のサービスを提供する観光案内所事例

区分		施設名	場所	アクセス	施設・機能																																（参考）得点	運営手法
					観光視点										家族視点				外国人		その他													
					カフェ・飲食施設	スポーツ施設	物販施設	体験コーナー	インフォメーション	イベントスペース	展示施設・スペース	宿泊施設	放送スタジオ	会議室	旅行団体支援スペース	多目的トイレ	授乳室	おむつ交換台	車いす貸出	ベビーカー貸出	無料国際電話	礼拝室	外貨両替機	観光情報検索端末	ライブラリー	写真印刷機・コピー機	無料WiFi	ATM	旅行商品・チケット販売	手荷物預かり・配送	ロッカー	レンタサイクル	観光ガイド	シアター	大型モニター	VR機器		
城跡・史跡周辺		JO-TERRACE OSAKA	大阪市中央区	大阪城公園内	○	○	○		○	○						○	○	○	○												○						10	指定管理者制度（大阪パークマネジメント）
城跡・史跡周辺		首里杜館	沖縄県那覇市	首里城公園内	○		○		○	○					○				○																		6	指定管理者制度（（一社）沖縄美ら島財団）
城跡・史跡周辺		松本市観光情報センター	長野県松本市	松本城徒歩3分					○															○									○				3	直営
城跡・史跡周辺		彦根観光センター	滋賀県彦根市	彦根城駐車場内			○																				○										2	指定管理者制度（彦根市観光協会）
城跡・史跡周辺		ぶらっと松江観光案内所	島根県松江市	松江城山公園内			○		○																					△			○				3.5	指定管理者制度（NPO法人　松江ツーリズム研究会）
城跡・史跡周辺		姫路市観光案内所	兵庫県姫路市	JR姫路駅構内					○										○													○	○		○		5	直営
城跡・史跡周辺		熊本城桜の馬場城彩苑	熊本県熊本市	熊本駅からバス15分	○		○	○	○	○	○			○																	○		○	○			10	PFI（㈱トータルメディア開発研究所）
城跡・史跡周辺		てんしば	大阪府天王寺区	地下鉄、JR「天王寺駅」下車すぐ	○	○	○		○	○		○				○											○										8	PFI（近鉄不動産）
観光地・施設周辺	駅・駅構内	TRAVEL HUB MIX（トラベルハブミックス）	東京都千代田区	JR東京駅日本橋口前正面					○	○	○		○								○			○	○		○			○			○		○	○	12	民間（㈱パソナ）
観光地・施設周辺	駅・駅構内	東武日光駅観光案内所	栃木県日光市	「東武日光駅」構内					○																		○		△	○							3.5	民間（東武鉄道、日光観光協会、東武バス日光）
観光地・施設周辺	駅・駅構内	京阪ツーリストインフォメーションセンター祇園四条	京都府東山区	京阪電車「祇園四条駅」構内	○				○	○																							○				4	民間（京阪電気鉄道が㈱らくたびに運営業務委託）
観光地・施設周辺	駅・駅構内	関西ツーリストインフォメーションセンター京都	京都府下京区	JR京都駅より徒歩2分（京都タワー内）																		○	○				○	○	○	○							6	民間（京阪電気鉄道、JTB西日本）
観光地・施設周辺	駅・駅構内	嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア	京都市右京区	嵐電「嵐山駅」直結	○		○		○			△																○		○		○					7	民間（京福電気鉄道）
観光地・施設周辺	まちなか	浅草文化観光センター	東京都台東区	浅草雷門前							○			○	○	○	○	○						○		○	○										9	直営　※一部委託
観光地・施設周辺	まちなか	浅草寺子屋i	東京都台東区	浅草寺付近	○			○																○													3	民間（浅草槐（えんじゅ）の会、ビー・エフ・シー）
観光地・施設周辺	まちなか	山梨県立富士山世界遺産センター	山梨県富士川口湖町	「河口湖駅」下車バス5分	○		○	○	○	○	○																										6	指定管理者制度（富士山観光開発㈱）
観光地・施設周辺	まちなか	御殿場プレミアム・アウトレット「ウェルカムセンター」	静岡県御殿場市	御殿場プレミアム・アウトレット内					○						○				○	○			○	○			○										7	民間（三菱地所・サイモン株式会社）
観光地・施設周辺	まちなか	法隆寺iセンター	奈良県斑鳩町	JR「法隆寺駅」下車徒歩15分			○		○	○	○					○	○										○					○	○				9	指定者管理制度（（一社）斑鳩町観光協会）
観光地・施設周辺	まちなか	平和記念公園レストハウス	広島県広島市	広島電鉄電車「原爆ドーム前」下車徒歩5分			○		○																												2	指定管理者制度（㈱エムケイ興産）
観光地・施設周辺	まちなか	奈良市総合観光案内所	奈良県奈良市	JR奈良駅すぐ	○				○		○					○	○					○	○	○	○		○			○							11	指定管理者制度（（公財）奈良市観光協会）
観光地・施設周辺	まちなか	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	山口県山口市	JR山口線「湯田温泉駅」下車徒歩10分	○					○	○																○										4	指定管理者制度（特定非営利活動法人ゆだかつ）
観光地・施設周辺	まちなか	神門通りおもてなしステーション	島根県出雲市	一畑電車「出雲大社前駅」下車徒歩3分																				○									○				2	指定管理者制度（出雲観光協会）
その他		海の駅「なおしま」	香川県直島町	宮浦港内	○		○			○																			△									3.5	指定管理者制度（直島町観光協会）
その他		伊豆ゲートウェイ函南	静岡県函南町	伊豆縦貫自動車道　函南塚本ICから車1分	○		○		○	○				○		○	○	○									○										9	PFI（加和田建設グループ）
その他		鹿の舟（奈良町南観光案内所 ）	奈良県奈良市	近鉄奈良駅から徒歩17分	○		○				○													○	○												5	指定管理者制度（くるみの木）
その他		大金駅前観光交流施設	栃木県那須烏山市	JR烏山線「大金駅」前			○			○	○																										3	指定管理者制度（㈱アド・ワークス）
				（参考）対応施設数	13	2	14	3	17	12	9	2	1	3	3	6	5	3	4	1																			

※△は一部機能保有もしくは今後設置予定
※得点は、○を1点、△を0.5点として各施設の合計得点を計算
※グレー色は運営主体に株式会社を含むもの

出典：各施設のウェブサイト、自治体のウェブサイトを元に作成

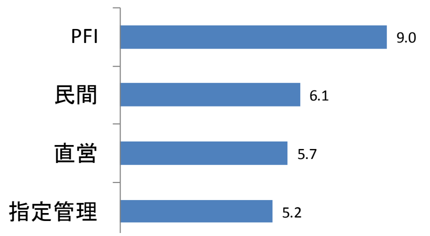


図 2-5 運営手法別の機能設置状況（得点の平均値）

3. 名古屋城に係る課題整理（法令整備、便益施設改善など）

3.1. 関係諸法令の要点整理

特別史跡であり都市公園でもある名古屋城に係る関係諸法令について、専門的意見を聴取しながら要点整理を行う。

3.1.1. 特別史跡等に係る法令

(1) 特別史跡

名古屋城のほとんどが特別史跡に指定されており、文化財保護法の適用を受ける。特別史跡内での建築物の新規設営は国の許可が必要となり、建築物の新規設営は難しく、便益施設は特別史跡外での設置が基本となる。

文化財保護法

（指定）
第 109 条　文部科学大臣は、記念物のうち重要なものを史跡、名勝又は天然記念物（以下「史跡名勝天然記念物」と総称する。）に指定することができる。
２　文部科学大臣は、前項の規定により指定された史跡名勝天然記念物のうち特に重要なものを特別史跡、特別名勝又は特別天然記念物（以下「特別史跡名勝天然記念物」と総称する。）に指定することができる。

（現状変更等の制限及び原状回復の命令）
第 125 条　史跡名勝天然記念物に関しその現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官の許可を受けなければならない。ただし、現状変更については維持の措置又は非常災害のために必要な応急措置を執る場合、保存に影響を及ぼす行為については影響の軽微である場合は、この限りでない。

(2) 都市公園

名城公園は、都市公園法上の都市公園に該当し、民間事業者による建築物の設置・管理には名古屋市の許可が必要となる。名古屋市は、名城公園内に民間事業者による便益施設（tonarino、金シャチ横丁）を誘導している。

都市公園法

（公園管理者以外の者の公園施設の設置等）
第 5 条　第 2 条の 3 の規定により都市公園を管理する者（以下「公園管理者」という。）以外の者は、都市公園に公園施設を設け、又は公園施設を管理しようとするときは、条例（国の設置に係る都市公園にあっては、国土交通省令）で定める事項を記載した申請書を公園管理者に提出してその許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
２　公園管理者は、公園管理者以外の者が設ける公園施設が次の各号のいずれかに該当する場合に限り、前項の許可をすることができる。
(1) 当該公園管理者が自ら設け、又は管理することが不適当又は困難であると認められるもの

(2) 当該公園管理者以外の者が設け、又は管理することが当該都市公園の機能の増進に資すると認められるもの

3　公園管理者以外の者が公園施設を設け、又は管理する期間は、10 年をこえることができない。これを更新するときの期間についても、同様とする。

4　民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号）第 2 条第 5 項に規定する選定事業者が同条第四項に規定する選定事業として行う公園施設の設置又は管理の期間は、前項の規定にかかわらず、当該選定事業に係る同法第 5 条第 2 項第 5 号に規定する事業契約の契約期間（当該契約期間が 30 年を超える場合にあっては、30 年）の範囲内において公園管理者が定める期間とする。

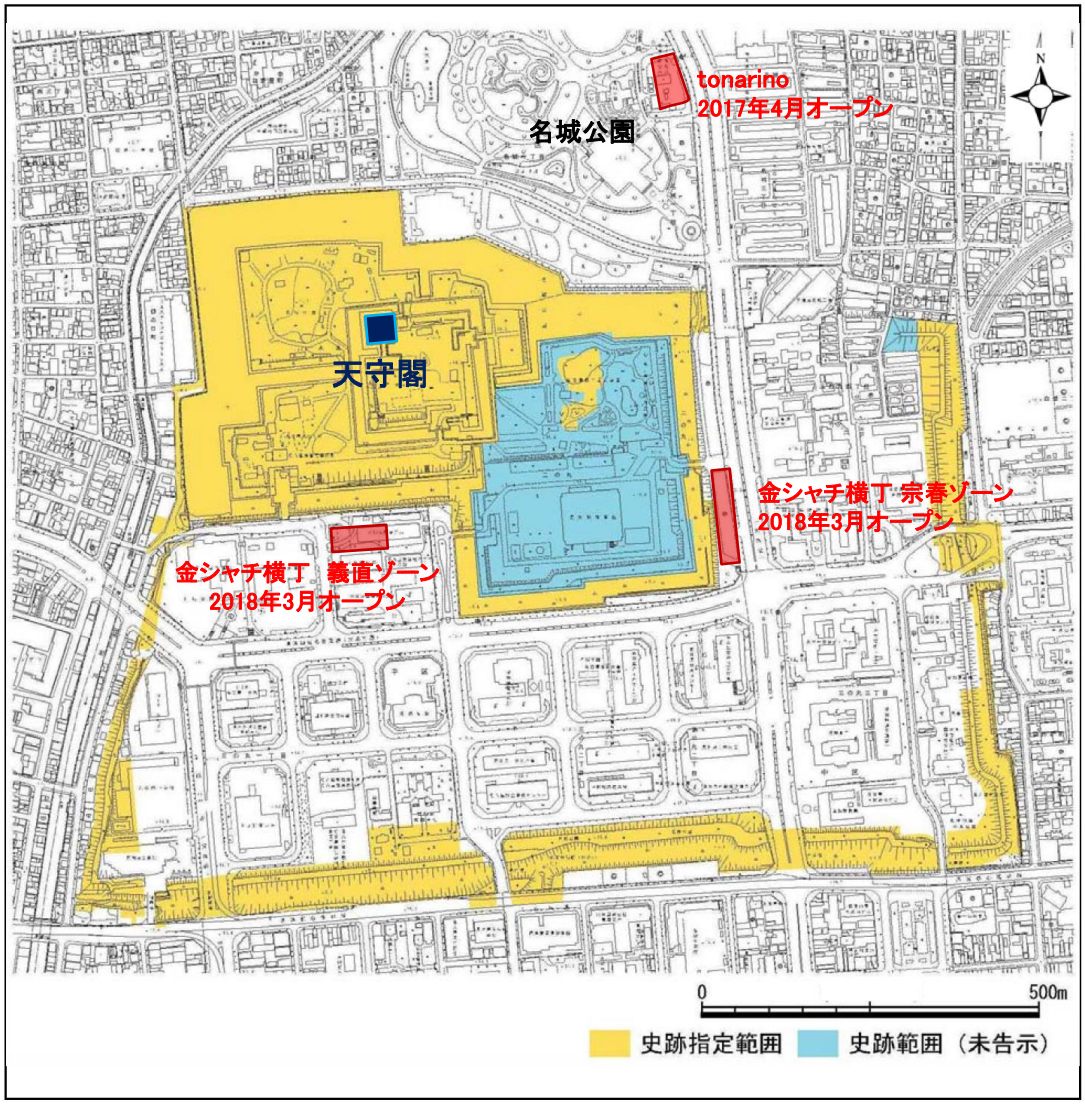


図 3-1　特別史跡の範囲

出典：名古屋市「特別史跡名古屋城跡全体整備計画　増補版」（平成 24 年 12 月）に加筆

(3) 博物館法

現在の名古屋城天守閣は、博物館法第 29 条により規定される博物館の事業に類する事業を行う施設（博物館相当施設）である。

博物館法

第 29 条　博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県の教育委員会（当該施設（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会）が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものについては、第 27 条第 2 項の規定を準用する。

3.1.2. その他関係法令

このほか便益施設の設置については、下記の法令等の適用をうける。

表 3-1　適用を受ける法令等

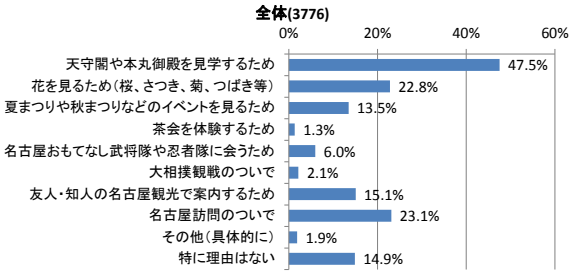
分類	法令等の名称
建築に関する法令	建築基準法，バリアフリー法，建築における衛生的環境の確保に関する法律
火災防止に関する法令	消防法
著作権に関する法令	著作権法
意匠権に関する法令	意匠法，商標法，実用新案法，特許法
広告・表示に関する法令	不当景品類及び不当表示防止法，家庭用品品質表示法
衛生に関する法令	食品衛生法，下水道法，廃棄物の処理及び清掃に関する法律
契約・財産に関する条例	名古屋市財産条例、名古屋市契約規則、名古屋市会計規則、名古屋市公有財産規則
その他・関係法令	興行場法，鉄砲刀剣類所持等取締法，警備業法，文化芸術振興基本法，歴史まちづくり法，軽犯罪法・刑法，省エネ法，製造物責任法，個人情報保護法

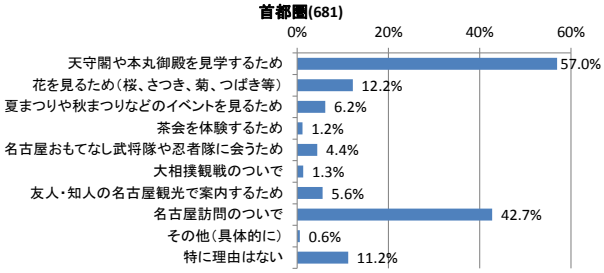
3.1.3. 入場者数を増加させる要因の洗い出し

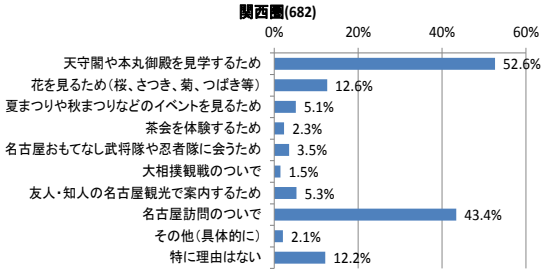
来場者属性の把握及びトイレや休憩所など場内便益施設の老朽化改善や入場者数増加時の需要（必要個数）調査など、名古屋城の入場者数を増加させる要因の洗い出しを行った。

(1) 観光視点からのお城観光への影響要因把握

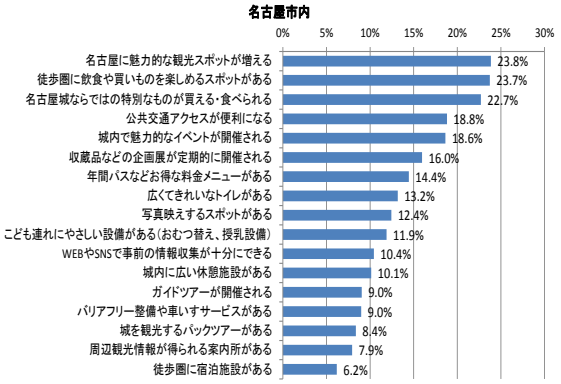
首都圏や関西圏では、「天守閣や本丸御殿を見学するため」という、主目的での訪問が半数を超えるほか、「名古屋訪問のついで」の割合が 4 割を超えており、他施設・他地域への観光客ならびに名古屋を訪問するビジネス客、宿泊用途客などの主目的以外の来訪者にも来訪の働きかけを行っていく必要がある。

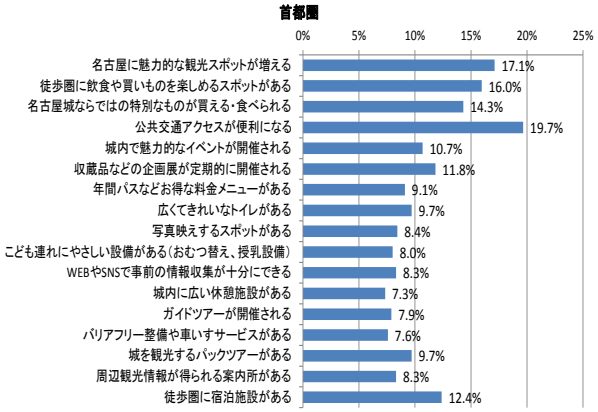


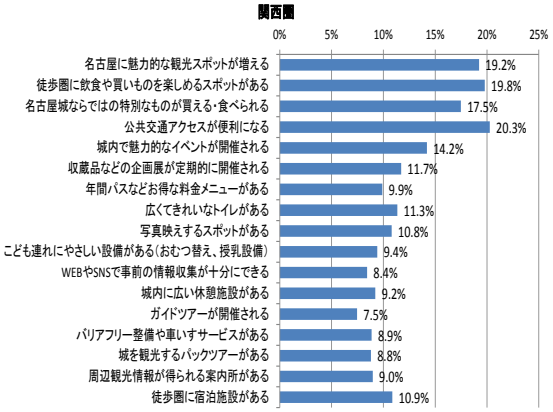




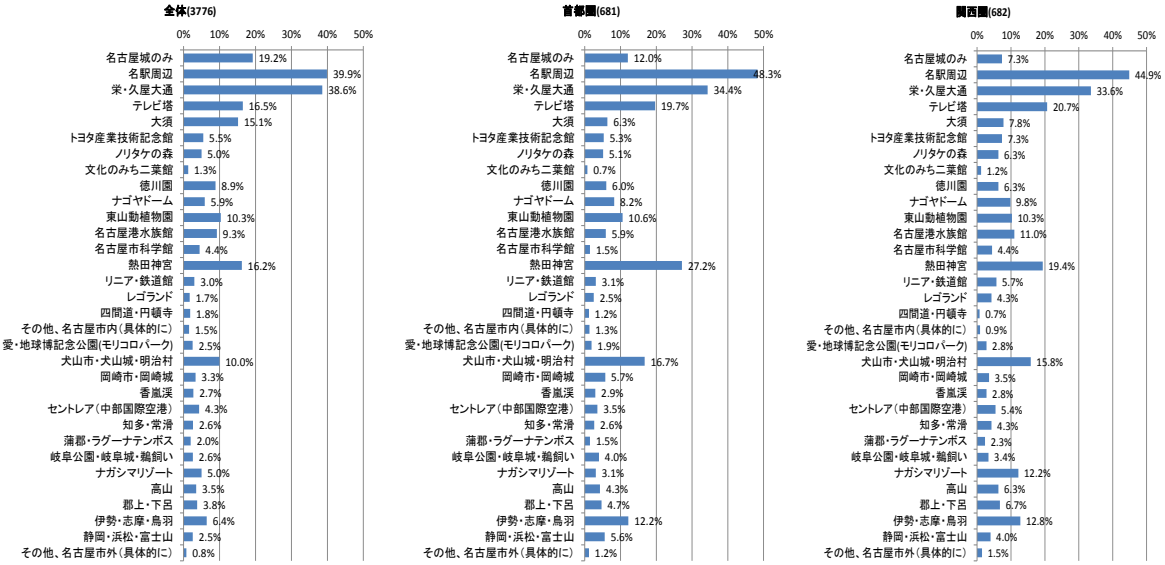
「首都圏」「関西圏」では、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「公共交通アクセスが便利になる」の割合が２割程度と最も高い。また、「徒歩圏に宿泊施設がある」の割合は、名古屋市内・名古屋市外に比べて高い。 交通アクセスの利便性や、アクセス方法の周知を図るほか、近隣の宿泊施設等からの訪問機運向上につながる取り組みを推進する必要がある。





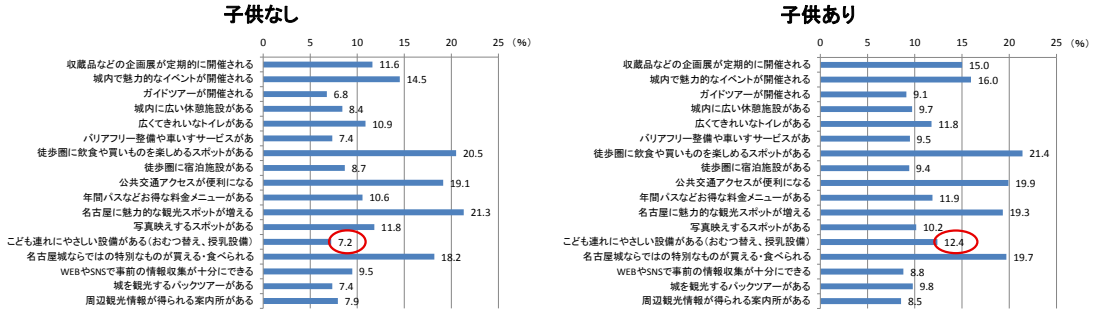


首都圏や関西圏では、全体と比べ、「名古屋城のみ」は少ない。名古屋城の他の周遊先として、「大須」は、全体と比べて少なく、「熱田神宮」、「犬山」は全体と比べて多い。そのため、名古屋訪問のついで寄りの促進、他の観光施設（地域）からの誘客を行うために、各所との回遊性向上が求められる。



「子供あり」が「子供なし」に比べて、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「子供連れにやさしい設備がある（おむつ替え、授乳設備）」が挙げられる。子供連れが安心して観光ができるような環境整備を進めるとともに、子供も楽しめるコンテンツを充実させることで、幅広い層の来訪客を確保していく必要がある。

最も割合の高い条件は、「子供なし」が「名古屋に魅力的な観光スポットが増える」（21.3%）、「子供あり」が「徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある」（21.4%）である。名古屋城の見学だけでなく、周辺での飲食、買いものもセットで楽しめるエリア一帯での集客増加に向けた取り組みが求められる。



(2) トイレ施設検討

トイレ施設について、下記のとおり整理した。

a） 一般的なトイレ設置の考え方

公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドラインバリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編　平成 25 年 6 月　p139

★ 設計上配慮すべき事項

（1）利用者数に応じた必要面積

・ トイレの利用者数の想定においては、社団法人空気調和衛生工学会（ＨＡＳＳ）による適正な衛生器具数の算定法 1 が多く用いられているが、同算定法は 1983 年から改訂されておらず、また車いす使用者用便房や多機能トイレを想定していないなど、現在の状況を必ずしも的確に算定できていないとの指摘もあり、取り扱いには注意が必要である。

・ また、旅客施設や高速道路のパーキングエリアなどのトイレ整備においては、独自の算定法を開発して活用しているところもある。

（2）利用者特性に応じて設計上配慮すべき事項

・ 以下の利用者の特性に応じた利用上の課題・配慮すべき事項をよく理解したうえで、想定する利用者に応じた設計計画を検討する必要がある。

・ なお、これらの配慮すべき事項は、代表的なものであり、できるかぎり当事者の声に耳を傾けて反映していくことが望ましい。

空気調和・衛生工学会規格

「給排水衛生設備基準・同解説 SHASE－S206-2000」技術要項

■利用人数の考え方（参考）

	男性	女性
事務所	人員密度（人/㎡）×室床面積×男性比率 0.1×室床面積×0.8	人員密度（人/㎡）×室床面積×女性比率 0.1×室床面積×0.2
商業施設	人員密度（人/㎡）×室床面積×男性比率 0.3×室床面積×0.4	人員密度（人/㎡）×室床面積×女性比率 0.3×室床面積×0.6
学校	最大収容可能生徒数	

b） 名古屋城トイレの現状

トイレの位置・男女			大便器	小便器	手洗い	備考欄
内苑	小天守	男子トイレ	2個	7個	2個	
		女子トイレ	5個	—	3個	おむつ台1箇所
	内苑	男子トイレ	5個	6個	3個	
		女子トイレ	8個	—	3個	
		多目的トイレ	1個		1個	おむつ台1箇所 オストメイト1箇所
	内苑小計	男子トイレ	7個	13個	5個	
		女子トイレ	13個	—	6個	
		多目的トイレ	1個		1個	おむつ台2箇所 オストメイト1箇所
外苑	正門	男子トイレ	1個	3個	2個	
		女子トイレ	3個	—	2個	
		多目的トイレ	1個		1個	おむつ台1箇所 オストメイト1箇所
	東門	男子トイレ	2個	4個	1個	
		女子トイレ	3個	—	3個	
		多目的トイレ	2個		2個	おむつ台1箇所
	きしめん亭	男子トイレ	4個	4個	2個	
		女子トイレ	6個	—	2個	
	西之丸	男子トイレ	2個	5個	3個	
		女子トイレ	4個	—	3個	
		多目的トイレ	1個		1個	
	深井丸展示館	男子トイレ	1個	1個	1個	
		女子トイレ	1個	—	1個	
	二の丸東庭園	男子トイレ	3個	6個	5個	
		女子トイレ	6個	—	5個	
		多目的トイレ	1個		1個	
	外苑小計	男子トイレ	13個	23個	14個	
		女子トイレ	23個	—	16個	
		多目的トイレ	5個		5個	おむつ台2箇所 オストメイト1箇所
総合計	合計	男子トイレ	20個	36個	19個	
		女子トイレ	36個	—	22個	
		多目的トイレ	6個		6個	おむつ台4箇所 オストメイト2箇所

出典：名古屋城整備検討調査報告書（H27.3）

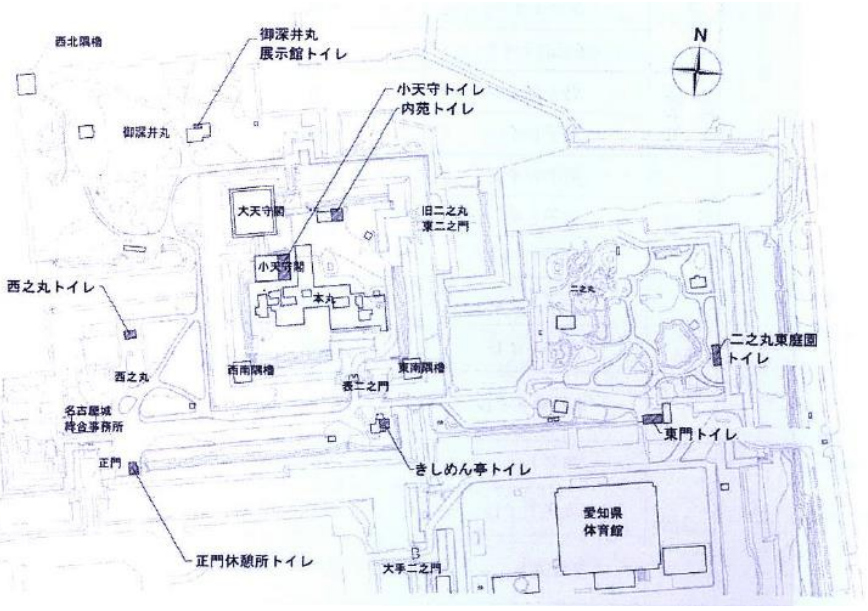
c） トイレに関する意見

- 東門の女子トイレのドアの内側にカバンを掛けるフックを付けて欲しい（女性）
- トレイはシャワートイレを設置した方が良い。今時。名古屋を観られる。（男性）
- 広場のトイレを洋式にし、綺麗に保て（男性）

出典：天守閣7階売店前及び正門休憩所等に常設の意見投函（平成28年～29年）

d） トイレの必要数検討（入場者数の見直しに伴う再検討）

		現在	工事期間中 （本丸御殿オープン）	工事完了後 （木造復元）	工事完了後 （耐震改修）	備考
日平均入場者数		4,570 人 （男：1,828 人） （女：2,742 人）	5,820 人 （男：2,328 人） （女：3,492 人）	8,090 人 （男：3,236 人） （女：4,854 人）	5,820 人 （男：2,328 人） （女：3,492 人）	
男子	大便器	5 個	6 個	8 個	6 個	
		0 個（0 個）	0 個（1 個）	0 個（3 個）	0 個（0 個）	
	小便器	6 個	7 個	8 個	7 個	
		0 個（0 個）	0 個（1 個）	0 個（2 個）	0 個（0 個）	
	手洗い	4 個	5 個	6 個	5 個	
		0 個（0 個）	0 個（2 個）	0 個（3 個）	0 個（0 個）	
女子	大便器	16 個	20 個	26 個	20 個	
		0 個（3 個）	0 個（12 個）	0 個（18 個）	0 個（7 個）	
	手洗い	8 個	10 個	12 個	10 個	
		0 個（2 個）	0 個（7 個）	0 個（9 個）	0 個（4 個）	
多目的	大便器	2 個				
	手洗い	2 個				
	オストメイト	2 個				おむつ台 男女 1 箇所ずつ



出典：名古屋城整備検討調査報告書（H27.3）

e） トイレの必要数検討

◇条件整理

年間の集客目標	約 350 万人	高位シナリオ
入場者目標	平日　6,000 人 休日　20,000 人	仮定
時間あたり利用者	2500 人/時 （ピーク時　5,000 人/時）	
男女比	男:女＝4:6	名古屋市報告書に準拠

※名古屋城は都市公園であるが、トイレ数量の検討では、博物館に準じるものとして想定（天守の用途（建築基準法、消防法上）は博物館である。博物館明治村も同様）

※サービスレベルは、「レベル2：標準的な器具数」として想定

◇必要器具数の算出

・ピーク時 5000 人/時（男 2000 人、女 3000 人）で算出

・百貨店・量販店の適正器具数（任意利用形）の算定グラフを用いて適正な器具数を算出

男子大便器（占有時間 240s）	12 台
男子小便器（占有時間 30s）	10 台
男子洗面器（占有時間 20s）	8 台
女子大便器（占有時間 90s）	27 台
女子洗面器（占有時間 30s）	18 台

上記算出結果について、既存のトイレ器数と比較すれば十分に数量を満たしているが、天守復元による、入場規制区分や滞留場所・時間が変動することから、来訪客の動向を見据えたピーク時人数の再設定、検討範囲を検討の上、再検討する事が求められる。

f） 同種の集客施設におけるトイレ整備状況

◇国内の主な集客施設

国内の主な集客施設のうち、春日大社、善光寺、伏見稲荷大社、川越大師、彌彦神社の５施設について、トイレの整備状況について整理した。なお、施設内に複数のトイレ棟がある場合も、最も利用者が多いと思われる主導線上のトイレ棟を対象としている。

場所	トイレ整備の概要
春日大社	・境内のトイレのため、外観に配慮。 ・外国人利用が多い事から、4 カ国語で使い方を表記。
善光寺	・多くの参拝者の動線上にある山門に隣接することから、景観に配慮した外観と、混雑緩和に対応。 ・混雑緩和のため、女性用個室を 4 から 8 に増設。 ・UD トイレは多目的用と車イス専用の 2 箇所を設置。また幼児専用の個室も設けている。 ・外国人利用が多い事から、5 カ国語で表記するとともに、ピクトグラムも積極的に活用。
伏見稲荷大社	・国内外から多くの観光客が訪れる。最寄駅からの動線上にある正面大鳥居に隣接するトイレで最も多くの利用者がある。 ・外国人利用が多い事から、大便器には 4 カ国語で利用方法を記載したラベルを掲載。
川越大師	・混雑緩和のために、男女ともに個室の数を増やしている。 ・外国人利用が多い事から、大便器の使い方を多言語表記している。
彌彦神社	・男女トイレともに、個室には手洗い所とベビーベッドを設置。女性は個室で化粧直しが可能。

出典：TOTO 公開資料をもとにとりまとめ

（トイレ設置状況）

場所名		入込客数（人/年）	男子（小）	男子（大）	女子	UD	備考
春日大社	境内	不明	11	3	計 10 和 1、洋 9	1	男子は全て洋式、UD にはオムツ替え台あり
善光寺	山門東	約 600 万	6	計 3 和 1、洋 2	計 8 和 1、洋 7	2	幼児専用トイレ有り 女子のうち 2 室は幼児イス付き
伏見稲荷大社	護衛所南	不明	9	計 2 和 1、洋 1	計 8 和 2、洋 6	1	
川越大師喜多院	境内	約 650 万	4	計 2 洋 2	計 6 洋 6	1	
彌彦神社	神苑	約 150 万	4	計 1 洋 1	計 3 洋 3	－	男女とも個室にはそれぞれベビーベッド、手洗い場を設け、女性は化粧直しも可能。

◇国内の主要城郭

国内の主要な城郭として、姫路城と大阪城を対象にトイレの整備状況について現地調査及び管理事務所へのヒアリングにより整理した。

なお、大阪城については複数のトイレ棟があるが、主なものを抜粋して整理している。

場所・集客規模	トイレ整備の概要
姫路城	・城内（入城口）以降のトイレは 3 箇所 ・城内には UD トイレは無し。車イス利用者は、城外の三の丸広場トイレを使用する。 （車イス利用者が城内を見学する場合、3 名の介助者が必要。天守閣の見学は不可）
大阪城	・大阪城公園全体で 18 箇所のトイレあり。 ・内堀の内側には 3 箇所の公衆トイレ、別途、商業施設「ミライザ」内にもトイレあり。 ・最も団体客の利用が多い城南バス駐車場の周辺には 2 箇所のトイレあり。

※現地調査及び管理事務所へのヒアリングによりとりまとめ

（トイレ設置状況）

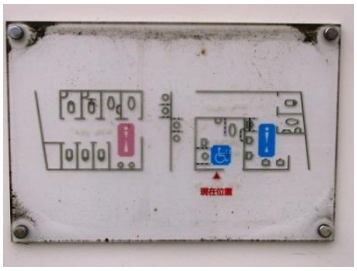
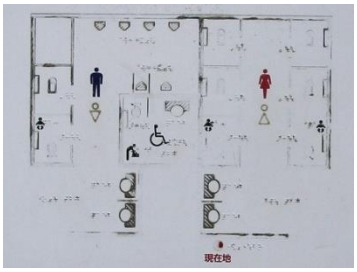
場所名		入込客数（人/年）	男子（小）	男子（大）	女子	UD	備考
姫路城	入口部	2,867,051	3	1	4	0	全て洋式
姫路城	西の丸		1	1	2	0	全て洋式
姫路城	備前丸		3	1	3	0	全て洋式

場所名		入込客数（人/年）	男子（小）	男子（大）	女子	UD	備考
大阪城	城南バス駐車場（ローソン横）	2,557,394	5	計 2 和 1、洋 1	計7 和 5、洋 2	1	UD には男児用小便器・オムツ替え台あり
大阪城	ミライザ西側トイレ		6	計 2 和 1、洋 1	計 6 和 4、洋 2	1	男女とも洋式には幼児イス付き、UD はオムツ替え台あり
大阪城	ピースおおさか横トイレ（城南バス駐車場東）		6	計 2 和 1、洋 1	計 6	1	
大阪城	豊国神社横トイレ		5	計 2 和 1、洋 1	計 6	1	

（参考）姫路城

入口部	西の丸	備前丸

（参考）大阪城

城南バス駐車場横トイレ		
		
ミライザ西側トイレ		
		

ピースおおさか横（城南バス駐車場東）	豊国神社横トイレ

（参考）満足度を高めるトイレの例

近年、商業施設や高速道路のサービスエリア等で、トイレ空間の魅力向上により付加価値を高めている例がみられる。特に女性トイレにおいては、パウダールームを併設するとともに、ソファーを置くなどゆっくりとくつろげるスペースが提供されている。

JR ゲートタワー（名古屋駅）		

g） 対応すべき点（まとめ）

◇適切な数と機能、清潔感

・混雑する時期、時間帯において、待ち時間なくスムーズに利用出来る適切な数量を確保する。

・全般的に洋式が求められており、さらに洗浄機能も必要となる。

・特に女性においては、トイレ自体の清潔感や、安心して利用出来る環境が必要となる。

◇利用者属性に応じた対応

・親子での利用をしやすくするため、個室には幼児用のイスや、簡易ベッド（オムツ替え用）を備えることが効果的である。また、幼児用のイスがなくとも、ベビーカーのまま入ることができるだけのスペースを設けると、利用しやすくなる。

・子供用の小さな便器を備えることも有益。

・外国人旅行者が増えていることに対応し、トイレ内の案内をピクトグラム化するとともに、外国人旅行者にはなじみの無い洗浄機能の使い方について、多言語にて表示をすることが有効。

・障がい者に対しては、多目的トイレを用意する。オストメイト対応、点字・音声など、車イス利用者のみならず、様々な障害を持つ旅行者に対応した機能を設置する。
・多目的トイレについては、障がい者のみならず、家族やLGBT等、様々な方が利用可能とする。(写真:プライムツリー赤池)

◇トイレそのものの魅力の創出

・刈谷ハイウェイオアシス、ＪＲゲートタワー等、近年、トイレ空間自体に魅力を高め、それをひとつの目的として来客を楽しませているトイレもあり、気分よく楽しく使ってもらえるトイレ空間を整備し、魅力を高め、施設自体の満足度を高めていくことも必要。

4. 入場者数増加策の提案

4.1. 入場者数を増加させるための方策

前述の調査結果等をふまえ、名古屋城の入場者数を増加させる方策として、「収益施設」、「コンテンツ」、「ユニバーサルデザイン」、「トイレ」、「休憩所」、「アクセス」の観点から、方策の方向性を以下に整理した。

表 4-1　入場者数増加策の方向性

項目	方策の方向性
収益施設	・名古屋文化の提供、多様性への対応 ・名古屋文化（歴史、食、産業等）のワンストップサービス ・多目的スペースの場所貸し（集客性の高いイベントの実施等） ・土産物施設の拡充 ・ユニークベニューとしての弾力的な運用 ・カフェ・レストラン・宿泊施設の誘致
コンテンツ	・おもてなし武将隊など、既存コンテンツの有効活用 ・名古屋市内の既存イベントとの連携（名古屋城内での関連イベントの実施等） ・名古屋城見学と飲食、買い物が楽しめるパッケージ醸成 ・名古屋城のシンボル化促進（メディア、イベントでの露出促進） ・名古屋城を拠点として名古屋市内他観光施設を回遊するための観光案内機能
ユニバーサルデザイン	・障がい者向けのスロープ、点字、音声案内等 ・子連れに対応したスロープ、ベビーカー置き場等 ・外国人向けの多言語案内表記、多言語ガイド
トイレ	・多様性への対応（障がい者、子連れ、オストメイト、LGBT） ・居心地の良いトイレ空間・利用したくなるトイレ空間の創出 ・個数の充足、和便器・洋便器の割合、本物志向（木製・畳敷等）の採用等
休憩所	・多目的機能の追加（オムツ替え、授乳、着替え、コインロッカー） ・入場者数増加への対応（拡大、設備の充実等）
アクセス	・観光バススペースの充実、外堀での水上交通・架橋、将来的なBRT・LRT等の導入 ・周遊バス「メーグル」ルート拡充 ・他の観光施設からのアクセス性、回遊性を高めるレンタサイクルの導入 ・利便性の高い駐車場（営業時間、駐車台数、駐車料金）

4.2. 収支を均衡させるための方策

1.2. 事業収支計画の策定での検討のとおり、基本シナリオのもとでは、総収支額（期間：2017年度～2071年度）は支出超過となる。民間活力導入手法として、Park-PFI（20年の長期・包括委託）を導入した場合の事業収支を試算する。

(1) 方策１：支出の削減

下記の支出の削減によって基本シナリオのもと総収支額は収支均衡を図る結果となる。

a） 人件費：民間並みの人件費水準

市の直営業務を民間事業者が実施することで人件費を削減する。収支計画上は民間人件費単価を採用する。

b） 委託料：管理運営費の削減

20 年の長期・包括委託によって、長期的視点に立ち管理運営体制を構築するなど、効率化を図ることが可能となる。収支計画上は現状の管理運営費と比較して5%削減されると想定する。

(2) 方策２：収入の増加

さらに収入の増加によって、収支は改善し、総収支額で20億円程度の収入超過となる。

a） 使用料収入の確保

便益施設（宿泊施設を想定）の設置許可によって、年間2,500万円の使用料収入を確保する。また、20 年分の使用料 5 億円の一括前払いを受け、これを建設費に充当することで公債利息を約8,000万円削減する。

表 4-2　民間活力導入による事業収支計画

単位：百万円

		方策1	方策2
入場者シナリオ	基本	基本	基本
人件費水準	実績（H28）	民間	民間
委託料	実績（H28）	削減	削減
使用料収入	実績（H28）	実績（H28）	増加
収入	**91,201**	**91,201**	**92,426**
観覧料収入	89,422	89,422	89,422
使用料収入	556	556	1,781
寄附金	1,223	1,223	1,223
支出	**92,667**	**90,293**	**90,211**
公債費	59,741	59,741	59,660
職員人件費	8,020	6,329	6,329
管理運営費	20,802	20,118	20,118
発注者支援＋事務費	451	451	451
起債手数料	368	368	368
集客促進費	200	200	200
修繕費	3,086	3,086	3,086
収支額	**−1,467**	**908**	**2,214**

表 4-3　使用料収入・償還計画の試算

■使用料収入の試算

割引率　1.655%　　単位：千円

年度	名目額	割引率	割引額
1	25,000	1.00000	25,000
2	25,000	0.98372	24,593
3	25,000	0.96770	24,193
4	25,000	0.95195	23,799
5	25,000	0.93645	23,411
6	25,000	0.92120	23,030
7	25,000	0.90621	22,655
8	25,000	0.89145	22,286
9	25,000	0.87694	21,924
10	25,000	0.86266	21,567
11	25,000	0.84862	21,215
12	25,000	0.83480	20,870
13	25,000	0.82121	20,530
14	25,000	0.80784	20,196
15	25,000	0.79469	19,867
16	25,000	0.78175	19,544
17	25,000	0.76902	19,226
18	25,000	0.75650	18,913
19	25,000	0.74419	18,605
20	25,000	0.73207	18,302
合計	500,000		429,726

■償還計画の試算

平成36年度事業　　単位：千円

	原償還計画	使用料充当案
事業費	505,000	505,000
使用料充当額	0	429,726
公債発行額	505,000	75,274
元金償還	505,000	75,274
利払い額	94,375	13,159
元利償還額	599,375	88,433
利払い額の差額		▲ 81,216

5. 経済波及効果調査

5.1. 分析目的

名古屋城の木造天守閣復元後には、入場者数の増加が期待されるが、同時に関連する観光消費額の増加も期待される。名古屋城は、名古屋市のみならず、愛知県及び中部の目玉となる重要な観光資源であるため、本分析では、広域的な視点をもって愛知県内に及ぶ波及効果を算出する。

産業連関分析を用いて、木造復元することによって、名古屋城入場者がどのくらい変動するのか。そして、その入場者に伴う観光消費によって、県経済に対してどの程度のインパクト（生産誘発）が想定されるのか、を定量的に示した。

5.2. 分析手法

愛知県県民生活部統計課より公表されている愛知県産業連関分析ツール（110 部門）を活用した産業分析手法によって、愛知県内への経済波及効果（生産誘発）を算出する。

また、産業連関事例で見られるように、本検討における経済波及効果の波及過程は、直接効果、間接第 1 次波及効果、間接第 2 次波及効果までの効果を算出対象とする。

5.2.1. 産業の連関関係と産業連関表

ある産業 A の経済活動に着目した場合、A の活動は、他の産業と独立して存在しているわけではなく、別の産業と原材料、部品の購入、製品の販売などの取引関係を有している。さらに、その取引先もまた他の産業との取引関係があり、経済における各種産業の関係は複雑に連鎖していることは想像に難くない。

このように複雑な産業間の取引関係を実態調査等に基づき、数量的に統計表としてとりまとめたものが産業連関表である。愛知県においては、平成 23 年産業連関表が現時点（平成 30 年 3 月時点）において最新の産業連関表として公表されている。

この産業連関表を用いることによって、中間取引に関する産業間の関係性、最終生産物の取引状況の関係性、付加価値や労働、資本などの生産要素市場との関係性を数値計算により紐解くことが可能であり、ある特定の産業部門の変化が他の産業部門に与える影響、経済全体に与える影響については、産業連関分析手法により、定量的に把握することが可能である。

例えば、一般的な観光消費に伴う経済波及効果（生産誘発効果等）に着目すると、来訪者の観光消費支出は、来訪者から飲食店、商店等の事業者へと支払われる。これらの事業者は、その一部を材料の仕入れをはじめとする諸経費に支出するため、最初の直接的な支出は、間接的に、様々な産業の生産を誘発する。この過程ではまた、各産業の事業者の所得が増加するため、それに伴って新たな消費支出が生じ、新たな生産も誘発される。産業連関表を利用した産業連関分析では、このような経済波及の過程を計算している。

5.2.2. 産業連関分析の用語

本検討における経済波及効果の波及過程は、直接効果、間接第 1 次波及効果、間接第 2 次波及効果までを算出対象とする。これら、直接効果、間接第 1 次波及効果、間接第 2 次波及効果の内容について以下に解説する。

■直接効果

各産業の最終需要増加分のうち地域外からの移輸入により対応される分は、予め控除される必要があり、この移輸入分を控除した後の地域内での最初の経済効果を一般的に「直接効果」と呼ばれる。

■間接第 1 次波及効果

直接効果による最終需要の生産を行うために必要な原材料等に関する各産業への連鎖的な生産誘発のことを示す。

■間接第 2 次波及効果とは、直接効果が上流へと生産波及する過程において、各産業で従事する人々の雇用者所得が押し上げられ、その所得増加分の一部を消費に配分すると想定すると、新たな最終需要につながることになる。その消費活動への配分に伴う生産誘発効果は、「間接第 2 次波及効果」と呼ばれる。

直接効果	＝	地域内における直接的な最終需要増加分
間接第 1 次波及効果	＝	直接効果の上流過程への生産波及
間接第 2 次波及効果	＝	雇用者所得の変化に伴う新たな最終需要の変化とその生産波及

上記の間接第 2 次波及効果は、さらに新たな雇用者所得を生み出し、間接第 3 次波及効果を誘発するが、このような所得増加とそれに伴う消費の増加を通じた連鎖的な増産も理論的には無限に続くことになる。

ただし、雇用者所得は粗付加価値部門の一部であり、また増加した雇用者所得が全額消費に配分されることも通常は想定されないため、間接波及効果の規模は次数を追う毎に減衰していくことになる。そのため計算上は、間接効果の全体を間接第 1 次効果と間接第 2 次効果の合計で近似させる事例が多くみられる。

なお、雇用者所得のうち消費にまわる比率（平均消費性向：可処分所得に対する割合）は、総務省「家計調査」より、総世帯のうち勤労者世帯（東海）の平均消費性向について、平成 19 年～平成 28 年の 10 期間を平均した 71.7%を適用した。

また、生産誘発額と付加価値誘発額の概念の違いについて以下に解説する。

生産誘発額と付加価値額について、図 5-1 を用いて概念を簡単に説明する。単純な例として、パンの需要が 1 個増えたときの生産誘発額と付加価値額を示している。

図 5-1 に示すように、最終生産物である 100 円のパンは、パン屋が製粉業者から 60 円で小麦粉を仕入れて、パンを製造して商ったものである。さらに上流過程をたどると、60 円の小麦粉は、製粉業者が農家から 20 円で小麦を仕入れて、加工生産したものである。また、20 円の小麦は、農家が生産したものである。

この過程で新たに生み出された価値額は、小麦を生産した農家、製粉した製粉業者、小麦をパンに焼き流通に乗せたパン屋がそれぞれ付け加えた 20 円、40 円、40 円であり、合計 100 円である。したがって、この付加価値合計が、パン 1 個の需要増加がもたらした「実質的な経済価値」である。付加価値額は、最終生産物（＝最終需要）の価格と一致する。

その一方で、誘発された生産額の合計は、小麦（20 円）、小麦粉（60 円）、パン（100 円）の各価格を足し合わせた 180 円となる。ここでは小麦が 3 重に計上され、小麦粉は 2 重に計上されている。そのため、生産誘発額は正味の経済価値より大きくなっている。生産誘発額の大きさは、経済で新たに生み出された価値というよりは、様々な産業で取引が繰り返されたこと、すなわち「波及」の大きさを示している。

経済波及効果すなわち生産誘発額は、正味の経済価値すなわち付加価値額を含む、より大きな概念である。両者を混同しないよう、留意する必要がある。

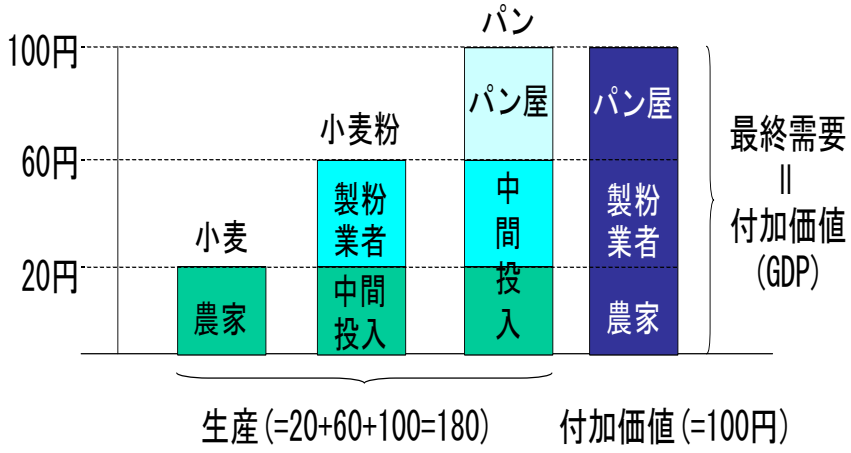


図 5-1　生産誘発額と付加価値額の概念（パンの例）

5.2.3. 産業連関分析の留意事項

愛知県の産業連関表が掲載されているホームページには、産業連関分析の留意事項として以下のことが示されている。本分析の結果の解釈についても同様であるため、ここに掲載する。

表 5-1　産業連関分析の留意事項

①在庫を過剰に抱えている産業では、在庫を処分して需要の増加に対応するため、生産波及効果が中断する可能性があること。
②生産波及効果の達成される時期が明確ではないこと。
③第２次間接波及効果の対象としては雇用者所得や営業余剰が該当し、いずれもその一部が消費や投資にまわって新たな需要を喚起しますが、営業余剰についてはその転換比率となる指標がないことから、雇用者所得だけを対象としていること。
④県内の生産能力を上回る需要が生じた場合は、超過分は移輸入にも依存する可能性があること。
⑤産業連関表は５年ごとに作成しているため、分析対象時点の産業構造と完全に一致するものではないこと。また、価格は推計年時点のものであること。

出典：愛知県県民生活部統計課「産業連関表の見方使い方」(p. 24)
(http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/io2011.html　平成 30 年 3 月閲覧)

5.3. 分析フロー

経済波及効果は以下に示すフローに従い算出した。まず、インプットデータとして発生需要額の設定を行い、愛知県県民生活部統計課から公表されている産業連関分析ツールを用いて経済波及効果分析を実施した。

名古屋城入場者による観光消費額に関して、本検討においては、「木造復元する場合（with）」と「木造復元がなかった場合（without）」の入場者（推計値）の差分に着目し、有無比較の概念によって、名古屋城が木造復元することによって生じる正味の観光消費額の変化に伴う経済波及効果を算出するものとする。

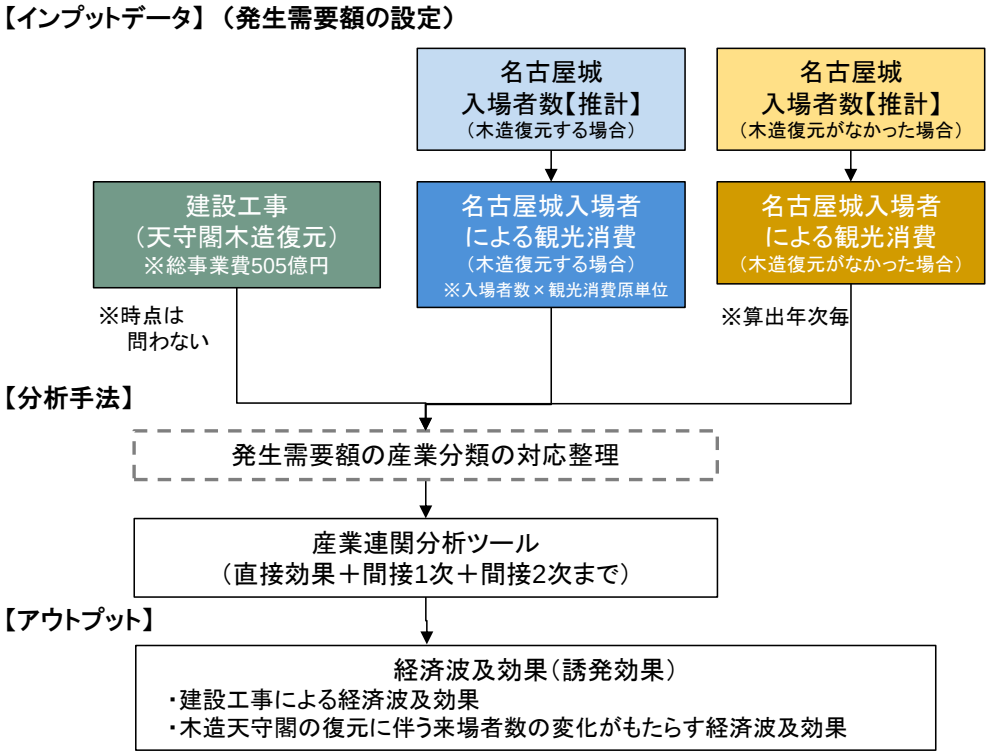


図 5-2　経済波及効果の分析フロー

■効果計測の基本的な考え方

今回の検討において、「木造復元する場合（with）」と「木造復元がなかった場合（without）」に着目した有無比較による分析を行う理由を以下に示す。森杉ら[1]によると、表 5-2 に示すように、「効果計測の基本的な考え方は、プロジェクトがあった場合の社会の状況の相違を持って効果として捉え、必ず有無比較の原則に基づく。」とある。

本分析では、将来において名古屋城天守閣が木造復元する場合と、将来において木造復元がなかった場合のそれぞれの状況下での経済効果を算出し、その差分に着目した有無比較に基づく効果把握の考え方を採用した（図 5-3 参照）。

[1]参考文献：森杉壽芳・宮城俊彦「都市交通プロジェクトの評価－例題と演習－」コロナ社（p.91-92　プロジェクトの効果）

表 5-2　プロジェクト評価における効果計測の基本的な考え方

・プロジェクトがあった場合と無かった場合の社会の状況の相違。 ・事前に予測する場合でも、事後に推定する場合でも、必ず有無比較の原則に基づく。

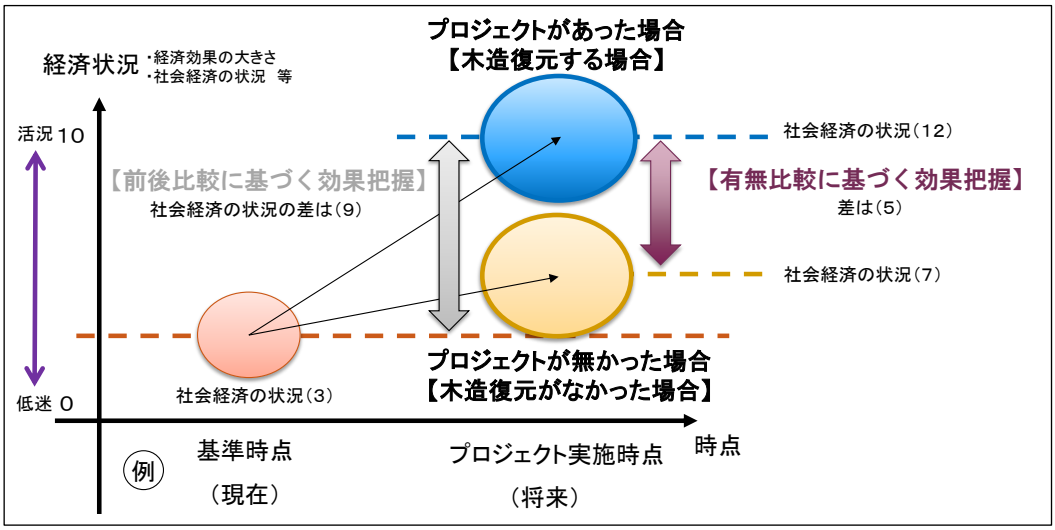


図 5-3　本分析における効果把握の考え方（天守閣木造復元あり、なし）

5.3.1. 名古屋城天守閣木造復元の経済波及効果の算出について

天守閣木造復元の建設工事は、複数年次にわたって段階的に工事が進められると想定されるが、建設工事による経済波及効果の算出においては、時点は問わず、一括して工事費が投入された場合の波及効果を算出した。

5.3.2. 名古屋城入場者の観光消費による経済波及効果の算出について

前述１．で示す年次毎の入場者数【推計】に基づき、「名古屋市内」、「市外（隣県を含めた日帰り圏）」、「広域（首都圏、関西圏、その他）」、「訪日外国人」の来場者の地域区分毎、及び、日帰り・宿泊の種別毎の来場者消費に伴う波及効果を以下に示す指定年次毎に算出する。

表 5-3　観光消費による経済波及効果の算出年次

2020 年（平成 32 年）：東京オリンピック・パラリンピック開催年
2030 年（平成 35 年）：木造天守閣竣工時
2024 年（平成 36 年）：木造天守閣竣工の翌年
2028 年（平成 40 年）（リニア開業翌年）：木造天守閣竣工から 5 年後時点
2033 年（平成 45 年）：木造天守閣竣工から 10 年後時点

5.4. インプットデータ（発生需要額の設定）

5.4.1. 名古屋城天守閣木造復元の工事費

名古屋城天守閣の木造復元の工事費（事業費）は、経済水道委員会説明資料（平成 28 年 4 月 28 日・観光文化交流局）より、優秀提案における提案額は 505 億円と記載されている。本検討においても、この 505 億円を工事費（事業費）として採用する。

なお、産業連関分析を行う際には、この工事費が産業連関表のどの産業分類に合致するのか、対応を設定する必要がある。本検討では、平成 23 年愛知県産業連関表の部門分類（110 部門）において建設業のうち「非住宅建築」に対応すると設定し、経済波及効果分析を実施する。

5.4.2. 名古屋城入場者の観光消費

名古屋城入場者の観光消費額の算出にあたっては、「木造復元する場合（with）」と「木造復元がなかった場合（without）」の有無比較の概念に基づき、それぞれの場合の入場者（推計値）に、観光消費額単価を乗じた観光消費額に基づく、経済波及効果の差分を持って、名古屋城が木造復元することによって生じる正味の経済波及効果を算出する。

(1) 木造復元有無（有り・無し）による入場者数の推計

前述の１．における入場者数見込み調査で検討した推定方法に基づき、「木造復元する場合（with）」の入場者数と「木造復元がなかった場合（without）」の入場者数を表 5-4 に示す。

天守閣木造復元の竣工前にあたる 2020 年は、工事期間中の入場制限によって年間の来場者数は約 50 万人少なくなると見込まれる。

また、天守閣木造復元の竣工以後は、木造復元がなかった場合と比較して、来場者数は約 130～150 万人／年増加すると見込まれる。

表 5-4　「木造復元する場合(with)」と「木造復元がなかった場合(without)」の入場者数推計値の比較

入場者数（差分）			東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点（リニア開業翌年）	木造天守閣竣工から10年後時点
算定年次			2020年	2023年	2024年	2028年	2033年
木造復元による名古屋城　入場者数の変化人数（単位：人）			−472,731	1,514,060	1,293,063	1,529,155	1,520,423
木造復元がなかった場合の名古屋城　入場者数（単位：人）			2,194,684	2,303,901	1,838,602	1,701,638	1,739,770
木造復元を行う場合の名古屋城　入場者数（単位：人）			1,721,953	3,817,961	3,131,665	3,230,793	3,260,193
※プラスは、木造復元があることで増加した人数を示す。	市内（名古屋市内）		−55,457	109,140	91,136	83,645	83,637
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		−157,922	66,297	70,901	70,365	67,762
	広域（首都圏、関西圏、その他）		−351,891	1,134,291	964,525	1,140,596	1,120,949
		首都圏	−199,126	466,032	388,269	612,946	602,854
		関西圏	−43,944	327,077	286,044	263,810	258,863
		その他全国	−108,821	341,182	290,212	263,840	259,232
	訪日外国人		92,540	204,332	166,500	234,549	248,075

表 5-5 「木造復元する場合(with)」の入場者数推計値

			2020年	2023年	2024年	2028年	2033年
名古屋城 入場者数（単位：人）			1,721,953	3,817,961	3,131,665	3,230,793	3,260,193
	市内（名古屋市内）		147,757	314,149	253,257	228,362	229,102
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		313,483	541,864	446,979	406,074	405,202
	広域（首都圏、関西圏、その他）		525,822	2,019,752	1,664,747	1,765,653	1,749,230
		首都圏	204,936	873,661	710,622	900,696	892,088
		関西圏	160,332	533,156	449,012	409,284	405,088
		その他全国	160,554	612,935	505,114	455,674	452,055
	訪日外国人		734,890	942,195	766,681	830,704	876,660

表 5-6 「木造復元がなかった場合(without)」の入場者数推計値

			2020年	2023年	2024年	2028年	2033年
名古屋城 入場者数（単位：人）			2,194,684	2,303,901	1,838,602	1,701,638	1,739,770
	市内（名古屋市内）		203,215	205,009	162,121	144,718	145,464
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		471,406	475,568	376,078	335,708	337,440
	広域（首都圏、関西圏、その他）		877,713	885,462	700,222	625,057	628,281
		首都圏	404,062	407,629	322,353	287,750	289,234
		関西圏	204,276	206,079	162,967	145,474	146,224
		その他全国	269,375	271,753	214,902	191,833	192,823
	訪日外国人		642,350	737,863	600,181	596,155	628,585

（再掲） 表 5-3 観光消費による経済波及効果の算出年次

2020 年（平成 32 年）：東京オリンピック・パラリンピック開催年
2030 年（平成 35 年）：木造天守閣竣工時
2024 年（平成 36 年）：木造天守閣竣工の翌年
2028 年（平成 40 年）（リニア開業翌年）：木造天守閣竣工から 5 年後時点
2033 年（平成 45 年）：木造天守閣竣工から 10 年後時点

a） 名古屋市を訪れる日本人（広域客）の宿泊客比率の設定

名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度）より、名古屋市を訪れる日本人観光客の宿泊と日帰りの比率を表 5-7 に整理する。名古屋市を訪れる名古屋市内在住の方のうち、宿泊比率は、わずか 0.2%であるため、本検討においては、名古屋城の入場者数のうち、名古屋市からの観光客は全て日帰り客であると想定することとした。また、名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度）の調査では、地域区分は、「名古屋市内客」と「市外客」の 2 区分に分けられており、「市外客」の中には、近隣県から訪れるいわば、日帰り圏からの来訪者も含まれているが、市外客の宿泊比率 21%は、首都圏や関西圏及びその他の全国から来訪する広域客の宿泊比率として適用し、表 5-4、表 5-5、表 5-6 における入場者数の観光客属性の推定に適用した。

なお、リニア開業後、首都圏や関西圏から名古屋市（愛知県）を訪れる観光客について、日帰り・宿泊の構成が変わりうることも想定されるが、その変化状況を想定することが困難であるため、本設定では、リニア開業後の観光客属性（日帰り・宿泊）の比率は現状値から変わらないという仮定を設けている。

表 5-7　名古屋市を訪れる日本人（広域客）の宿泊客比率の設定

		全体	名古屋市内客	市外客
観光入込客実人数		4,727 万人	1,711 万人	3,016 万人
	日帰り客	4,088 万人	1,707 万人	2,381 万人
	宿泊客	639 万人	4 万人	635 万人
観光入込客実人数		100%	100%	100%
	日帰り客	86%	99.8%	79%
	宿泊客	14%	0.2%	**21%**

出典：名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度）」

b） 愛知県を訪れる外国人観光客の宿泊客比率の設定

本来は、名古屋市を訪れる外国人観光客の宿泊と日帰りの比率は、既存の名古屋市観光客・宿泊動向調査では把握できないため、愛知県の観光入込客統計に関する共通基準に基づく県調査の数値を代用することとする。

2016 年実績より、観光目的で愛知県を訪れる訪日外国人観光客の宿泊比率は 46%（日帰り比率 54%）である。本分析において、名古屋城に来訪する訪日外国人来場者に対しても、この比率を適用し、来場者の属性を設定した。

表 5-8　愛知県を訪れる外国人観光客の宿泊客比率の設定

2016年暦年
観光入込客数(千人回)

	訪日外国人		
	日帰り	宿泊	計
観光等	739	639	1,378
ビジネス	75	1,086	1,161
計	814	1,725	2,539

日帰り・宿泊構成比率

	訪日外国人		
	日帰り	宿泊	計
観光等	**54%**	**46%**	**100%**
ビジネス	6%	94%	100%
計	32%	68%	100%

出典：愛知県「平成 28 年愛知県観光入込客統計（観光入込客統計に関する共通基準)」

(2) 観光消費単価の設定

名古屋城入場者の居住時属性及び観光客属性（日帰り・宿泊）に応じた観光消費単価を設定した。本検討で想定する観光消費は、名古屋城における消費だけではなく、名古屋城の入場者が、周遊先での観光消費活動を含む幅広な概念に則ったものである。

具体的には、国内の入場者については、名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度)」の数値を採用した。名古屋市内の観光客及び隣県を含めた日帰り圏から来訪する市外観光客は、ともに日帰り客であると仮定し、観光消費単価はそれぞれ、総額 2,905 円／人回、6,211 円／人回と設定する。また、首都圏や関西圏及びその他の国内から来訪する広域観光客は、日帰りと宿泊を区別し、それぞれ適用する単価も、日帰りは 6,211 円／人回、宿泊は 24,530 円／人回と設定する。

また、国外（外国人）については、日帰り客と宿泊客を区分し、平成 28 年愛知県観光入込客統計「観光入込客統計に関する共通基準」より消費単価の合計をコントロールトータルとして、観光庁「訪日外国人消費動向調査(2016 年確報)」の費目別消費額の大項目の構成比率をもとに按分して内訳の単価を算出した数値を適用した。日帰りの訪日外国人の消費単価は、6,307 円／人回、宿泊の訪日外国人は 27,016 円／人回と設定する。

なお、観光消費の内訳（食事、交通費、土産費、宿泊費、入場料、その他）は表 5-9 に示すとおりである。

表 5-9　名古屋城入場者による観光消費額算定に用いる消費単価

（円／人回）

居住地	観光客属性	計							
		食事	交通費	土産費	宿泊費	入場料	その他		
市内（名古屋市内）	日帰り	1,116	451	491		370	477	2,905	①
市外（隣県を含めた日帰り圏）	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211	
広域（首都圏、関西圏、その他）	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211	
	宿泊	6,491	1,674	5,154	8,188	1,254	1,769	24,530	
訪日外国人	日帰り	1,342	781	3,933		245	6	6,307	②
	宿泊	4,007	2,332	11,740	8,188	731	18	27,016	

①の設定にあたって

・名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度）」の数値を適用しており、名古屋市での消費額の概念となる。

②の設定にあたって

・平成 28 年愛知県観光入込客統計「観光入込客統計に関する共通基準」より、消費単価の合計をベンチマークとして、観光庁「訪日外国人消費動向調査(2016 年確報)」の費目別消費額より、消費費目の大項目の比率から按分して内訳の単価を算出しており、本来は、国内観光客の消費単価と同様に名古屋市内での消費が望ましいと考えるが、該当する既存調査結果が確認できないため、愛知県内での消費額の概念となる。

(3) 観光消費額の推計

前述の 5.4.2. (1) 及び(2) に基づき、観光属性毎の名古屋城入場者数に、属性に応じた観光消費単価を乗じて、名古屋城の入場者によって発生する観光消費額を、「木造復元する場合」と「木造復元がない場合」のそれぞれを算出する。

なお、消費額を算出する年次は、表 5-3 に示す 5 時点とする。

（再掲）　表 5-3　観光消費による経済波及効果の算出年次

2020 年（平成 32 年）：東京オリンピック・パラリンピック開催年
2030 年（平成 35 年）：木造天守閣竣工時
2024 年（平成 36 年）：木造天守閣竣工の翌年
2028 年（平成 40 年）（リニア開業翌年）：木造天守閣竣工から 5 年後時点
2033 年（平成 45 年）：木造天守閣竣工から 10 年後時点

a） 木造復元する場合の観光消費額

木造復元する場合の観光消費額を表 5-10 に示す。

木造復元竣工後の名古屋城入場者による観光消費額は、竣工時の 2023 年の約 400 億円／年をピークに、翌年の 2024 年は反動により約 320 億円／年に減少するが、以後、リニア開業翌年の 2028 年、木造天守閣竣工から 10 年後の 2033 年では、約 340 億円／年の規模になると見込まれる。

表 5-10　【木造復元する場合】名古屋城入場者による観光消費額

（単位：百万円）			観光客属性	2020年	2023年	2024年	2028年	2033年
名古屋城　入場者数による観光消費額			合計	19,357	39,583	32,454	34,161	34,724
			日帰り	7,442	17,375	14,273	14,659	14,730
			宿泊	11,915	22,208	18,180	19,502	19,993
	市内（名古屋市内）		日帰り	429	913	736	663	666
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		日帰り	1,947	3,366	2,776	2,522	2,517
	広域（首都圏、関西圏、その他）		合計	5,289	20,315	16,744	17,759	17,594
			日帰り	2,580	9,910	8,168	8,664	8,583
			宿泊	2,709	10,404	8,576	9,095	9,011
		首都圏	合計	2,061	8,787	7,147	9,059	8,973
			日帰り	1,006	4,287	3,487	4,419	4,377
			宿泊	1,056	4,500	3,661	4,640	4,595
		関西圏	合計	1,613	5,362	4,516	4,117	4,074
			日帰り	787	2,616	2,203	2,008	1,988
			宿泊	826	2,746	2,313	2,108	2,087
		その他全国	合計	1,615	6,165	5,080	4,583	4,547
			日帰り	788	3,007	2,478	2,236	2,218
			宿泊	827	3,157	2,602	2,347	2,329
	訪日外国人		合計	11,692	14,990	12,198	13,217	13,948
			日帰り	2,486	3,187	2,593	2,810	2,965
			宿泊	9,207	11,804	9,605	10,407	10,983

特掲	国内		合計	7,665	24,593	20,256	20,944	20,776
			日帰り	4,956	14,188	11,680	11,849	11,765
			宿泊	2,709	10,404	8,576	9,095	9,011
再掲	訪日外国人		合計	11,692	14,990	12,198	13,217	13,948
			日帰り	2,486	3,187	2,593	2,810	2,965
			宿泊	9,207	11,804	9,605	10,407	10,983

b） 木造復元しない場合の観光消費額

木造復元しない場合の観光消費額を表 5-11 に示す。

木造復元をしない場合の名古屋城入場者による観光消費額は、リニア開業翌年の 2028 年で約 180 億円／年、2033 年で約 190 億円／年と見込まれる。

表 5-11　【木造復元しない場合】名古屋城入場者による観光消費額

（単位：百万円）			観光客属性	2020年	2023年	2024年	2028年	2033年
名古屋城　入場者数による観光消費額			合計	22,566	24,195	19,399	18,277	18,838
			日帰り	9,998	10,390	8,273	7,589	7,727
			宿泊	12,569	13,805	11,126	10,688	11,111
	市内（名古屋市内）		日帰り	590	596	471	420	423
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		日帰り	2,928	2,954	2,336	2,085	2,096
	広域（首都圏、関西圏、その他）		合計	8,828	8,906	7,043	6,287	6,319
			日帰り	4,307	4,345	3,436	3,067	3,083
			宿泊	4,521	4,561	3,607	3,220	3,236
		首都圏	合計	4,064	4,100	3,242	2,894	2,909
			日帰り	1,983	2,000	1,582	1,412	1,419
			宿泊	2,081	2,100	1,661	1,482	1,490
		関西圏	合計	2,055	2,073	1,639	1,463	1,471
			日帰り	1,002	1,011	800	714	717
			宿泊	1,052	1,062	839	749	753
		その他全国	合計	2,709	2,733	2,161	1,929	1,939
			日帰り	1,322	1,333	1,054	941	946
			宿泊	1,388	1,400	1,107	988	993
	訪日外国人		合計	10,220	11,739	9,549	9,485	10,001
			日帰り	2,173	2,496	2,030	2,016	2,126
			宿泊	8,047	9,244	7,519	7,468	7,875

特掲	国内		合計	12,346	12,455	9,850	8,792	8,838
			日帰り	7,825	7,894	6,243	5,572	5,601
			宿泊	4,521	4,561	3,607	3,220	3,236
再掲	訪日外国人		合計	10,220	11,739	9,549	9,485	10,001
			日帰り	2,173	2,496	2,030	2,016	2,126
			宿泊	8,047	9,244	7,519	7,468	7,875

c） 木造復元する場合、木造復元しない場合の観光消費額の差

前述の 5.4.2. (3) a）及び b）の算出結果より、木造復元する場合と木造復元しない場合の観光消費額の差を表 5-12 に示す。

東京オリンピック・パラリンピック開催年の 2020 年は、木造復元工事によって入場規制が実施されるため、名古屋城入場者による消費額は、木造復元しない場合と比較して約 30 億円／年少なくなると見込まれる。

木造天守閣復元後の 2023 年度以降では、木造復元することによって、木造復元しない場合と比較して、入場者の観光消費額は 130 億円～160 億円／年増加すると見込まれる。

表 5-12　木造復元する場合としない場合の名古屋城入場者による観光消費額の差

（【木造復元する場合】－【木造復元しない場合】）

金額（百万円）				東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点（リニア開業翌年）	木造天守閣竣工から10年後時点
算定年次				2020年	2023年	2024年	2028年	2033年
名古屋城　入場者数による観光消費額のうち、木造復元による観光消費額の変化額			合計	−3,209	15,388	13,055	15,884	15,885
			日帰り	−2,556	6,986	6,001	7,070	7,003
			宿泊	−653	8,403	7,054	8,814	8,882
	市内（名古屋市内）		日帰り	−161	317	265	243	243
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		日帰り	−981	412	440	437	421
	広域（首都圏、関西圏、その他）		合計	−3,539	11,409	9,701	11,472	11,274
			日帰り	−1,727	5,566	4,733	5,597	5,500
			宿泊	−1,813	5,843	4,969	5,876	5,774
		首都圏	合計	−2,003	4,687	3,905	6,165	6,063
			日帰り	−977	2,287	1,905	3,008	2,958
			宿泊	−1,026	2,401	2,000	3,157	3,105
		関西圏	合計	−442	3,290	2,877	2,653	2,604
			日帰り	−216	1,605	1,404	1,294	1,270
			宿泊	−226	1,685	1,473	1,359	1,333
		その他全国	合計	−1,095	3,432	2,919	2,654	2,607
			日帰り	−534	1,674	1,424	1,295	1,272
			宿泊	−561	1,758	1,495	1,359	1,335
	訪日外国人		合計	1,472	3,251	2,649	3,732	3,947
			日帰り	313	691	563	793	839
			宿泊	1,159	2,560	2,086	2,938	3,108
名古屋城　入場者数（国内）			合計	−4,681	12,138	10,406	12,152	11,938
			日帰り	−2,869	6,294	5,438	6,277	6,164
			宿泊	−1,813	5,843	4,969	5,876	5,774

(4) 観光消費の費目と産業連関表の産業分類との対応

産業連関分析によって経済波及効果を算出する際には、まず、波及効果を生み出す源泉となる「発生需要額」の総額及びその発生需要額がどの産業を産業別に想定する必要がある。

産業別の想定にあたっては、に示す対応付けを行っている。

表 5-13　発生需要額の産業分類との対応

発生需要の区分		平成 23 年愛知県産業連関表の産業分類（110 部門）との対応付け
建設工事	木造復元工事費	A-411　非住宅建築
観光消費	食事	A-672 飲食サービス
	交通費	・複数の産業分類と対応付け ※観光客の居住地属性に応じて、アンケート調査、消費に関する統計から自動車輸送、鉄道輸送など対応する産業分類を別途整理して設定。
	土産費	・複数の産業分類と対応付け ※日本人観光客、訪日外国人観光客に応じて、土産代（買物）の消費費目構成を別統計より整理して設定。
	宿泊費	A-671 宿泊業
	入場料	・複数の産業分類と対応付け ※日本人観光客、訪日外国人観光客に応じて、入場料（娯楽サービス費）の消費費目構成を別統計より整理して設定。
	その他	A-674 娯楽サービス

※産業分類名の前の数値は 110 部門のコード番号を示す。頭文字のアルファベットＡは識別文字。

a） 国内観光客（日本人）の交通費の構成

国内観光客（日本人）の交通費の構成は、アンケート調査結果より、以下のとおり整理したものを適用する。

表 5-14　国内観光客の交通費の構成と産業分類との対応

コード	産業連関表に対応する部門別の利用交通手段の構成比(%)	居住地域 名古屋市	東海(名古屋市を除く)	東海以外
A-571	鉄道輸送	37.9%	47.0%	49.0%
A-572	道路輸送(自家輸送を除く。)	40.9%	5.4%	10.7%
A-573	自家輸送	21.2%	47.5%	30.1%
A-575	航空輸送	0.0%	0.0%	10.3%
		100.0%	100.0%	100.0%

出典:名古屋市に居住･･･名古屋市「平成 28 年度名古屋城秋の陣アンケート調査」
名古屋市以外に居住･･･名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客･宿泊動向調査(平成 28 年度)」

なお、名古屋市に居住する来訪者と、名古屋市以外に居住する来訪者の交通費の構成を検討する既往調査のデータとして異なるものを採用した理由を以下に示す。

平成 28 年度　名古屋城秋の陣アンケート調査における交通手段は、調査票の選択肢の設計から、最終の末端交通手段を把握している設問であると考えられるため、そのため、市外や遠方からの来場者の交通手段を把握するサンプルとしては適切ではないと判断した。

そこで、利用交通手段の想定にあたっては、名古屋市在住者の把握は、平成 28 年度　名古屋城秋の陣アンケート調査の結果を活用し、東海（名古屋市を除く）、東海以外の居住者

については、名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度)」を用いた。

また、名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度)」では、名古屋市在住者の利用交通手段の構成は公表されていないため、複数回答結果の名古屋市在住以外の利用交通手段の回答構成比率に基づき、産業連関表に対応する部門別の利用交通手段構成比を整理した。

表 5-15　（参考）各種アンケート調査結果別の利用交通手段の比較

【名古屋市に居住】

・・・名古屋市「平成 28 年度名古屋城秋の陣アンケート調査」

利用交通手段構成（%）	居住地域 名古屋市居住者
地下鉄・バス	66.57%
メーグル	2.62%
自家用車	18.60%
観光バス	0.00%
バイク	0.00%
自転車	4.65%
徒歩	6.10%
その他	1.45%
	100.0%

コード	産業連関表の部門対応（110部門）	※複数部門に該当する場合は折半
A-571	鉄道輸送	A-572　道路輸送（自家輸送を除く。）
A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）	
A-573	自家輸送	
A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）	
A-573	自家輸送	
※該当無し	※交通費用が発生しないと仮定	
※該当無し	※交通費用が発生しないと仮定	
※該当無し	※交通費用が発生しないと仮定	

【名古屋市以外に居住】

・・・名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度)」

利用交通手段構成（%） *※複数回答結果*	居住地域 東海（名古屋市を除く）居住者	東海以外の居住者	コード	産業連関表の部門対応（110部門）
JR	18.5%	43.2%	A-571	鉄道輸送
名鉄電車	24.5%	1.7%	A-571	鉄道輸送
近鉄電車	4.5%	4.6%	A-571	鉄道輸送
自家用車	48.0%	30.4%	A-573	自家輸送
航空機	0%	10.4%	A-575	航空輸送
路線バス	1.4%	3.5%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）
観光バス	4.1%	7.3%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）
その他	1.3%	2.9%	※該当無し	※交通費用が発生しないと仮定
合計	102.3%	104.0%		

東海とは、愛知県（名古屋市除く、岐阜県、三重県、静岡県）

b） 国内観光客（日本人）の土産費の構成

既往の名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度)」は、名古屋市を訪れる観光客の土産費の詳細な構成に関する調査は実施されていない。そのため、日本人の平均的な土産費の消費構成として、観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016 年確報)」のデータを用いて設定した。

観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016 年確報)」では、観光・レクリエーションの旅行消費額として、「宿泊旅行・日帰り旅行別」及び「消費費目別」に整理されており、表 5-16 に示すように、土産・買物代の費目と、愛知県産業連関表の産業分類（110 部門）との対応を設定した。

表 5-16　国内観光客（日本人）の土産費の構成と産業連関表の産業分類との対応

		観光・レクリエーション　旅行消費額(百万円)				産業連関表の産業分類(110部門)との対応			
		宿泊旅行		日帰り旅行					
		消費額	構成	消費額	構成	(複数の産業部門に該当するものは均等に配分。)			
土産・買物代		1,135,132	100.0%	692,559	100.0%				
	農産物	62,089	5.5%	58,595	8.5%	A-011	耕種農業		
	農産加工品	44,565	3.9%	30,084	4.3%	A-111	食料品		
	水産物	75,471	6.6%	40,608	5.9%	A-017	漁業		
	水産加工品	71,723	6.3%	35,130	5.1%	A-111	食料品		
	菓子類	415,771	36.6%	188,313	27.2%	A-111	食料品		
	その他の食料品	196,960	17.4%	121,745	17.6%	A-112	飲料		
	繊維製品	96,853	8.5%	100,912	14.6%	A-152	衣服・その他の繊維既製品		
	靴・カバン類	56,469	5.0%	26,893	3.9%	A-231	なめし革・毛皮・同製品		
	陶磁器・ガラス製品	22,521	2.0%	17,521	2.5%	A-251	ガラス・ガラス製品	A-253	陶磁器
	出版物	8,734	0.8%	11,914	1.7%	A-591	通信		
	木製品・紙製品	12,921	1.1%	13,191	1.9%	A-161	木材・木製品	A-164	紙加工品
	医薬品・化粧品	12,426	1.1%	4,983	0.7%	A-207	医薬品	A-208	化学最終製品(医薬品を除く。)
	フィルム	1,024	0.1%	860	0.1%	A-208	化学最終製品(医薬品を除く。)		
	電気機器・関連商品	2,840	0.3%	1,654	0.2%	A-332	民生用電気機器		
	カメラ・眼鏡・時計	1,996	0.2%	1,629	0.2%	A-332	民生用電気機器	A-391	その他の製造工業製品
	その他の製造品	52,770	4.6%	38,528	5.6%	A-391	その他の製造工業製品		

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016 年確報）」より産業連関表の産業分類との対応を整理。

c） 国内観光客（日本人）の娯楽サービス費の構成

既往の名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成 28 年度）」は、名古屋市を訪れる観光客の娯楽サービス費の詳細な構成に関する調査は実施されていない。そのため、日本人の平均的な娯楽サービス費の消費構成として、観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016 年確報）」のデータを用いて設定した。

観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016 年確報）」では、観光・レクリエーションの旅行消費額として、「宿泊旅行・日帰り旅行別」及び「消費費目別」に整理されており、前述の 5.4.2. (4) b）と同様に、に示すように、土産・買物代の費目と、愛知県産業連関表の産業分類（110 部門）との対応を設定した。

表 5-17　国内観光客（日本人）の娯楽サービス費の構成と産業連関表の産業分類との対応

		観光・レクリエーション旅行消費額(百万円)		構成比率		産業連関表の産業分類(110部門)との対応	
		宿泊旅行	日帰り旅行	宿泊旅行	日帰り旅行		
入場料・娯楽費・その他		510,525	373,950	100%	100%		
	立寄温泉・温浴施設・エステ	36,799	33,697	7.2%	9.0%	A-673	洗濯・理容・美容・浴場業
	遊園地・博覧会	173,685	108,763	34.0%	29.1%	A-674	娯楽サービス
	美術館・博物館・動植物園・水族館	68,985	43,072	13.5%	11.5%	A-631	教育
	スポーツ施設	41,662	62,551	8.2%	16.7%	A-674	娯楽サービス
	スキー場リフト代	14,111	11,040	2.8%	3.0%	A-674	娯楽サービス
	キャンプ場　1)	…	1,228	–	0.3%	A-671	宿泊業
	スポーツ観戦・芸術鑑賞	61,450	63,444	12.0%	17.0%	A-674	娯楽サービス
	展示会・コンベンション参加費	6,991	9,691	1.4%	2.6%	A-669	その他の対事業所サービス
	観光農園	3,552	6,605	0.7%	1.8%	A-011	耕種農業
	遊漁船	13,856	8,856	2.7%	2.4%	A-674	娯楽サービス
	ガイド料	26,364	2,274	5.2%	0.6%	A-578	運輸附帯サービス
	レンタル料	10,204	6,212	2.0%	1.7%	A-661	物品賃貸サービス
	マッサージ	16,621	1,887	3.3%	0.5%	A-641	医療
	写真撮影代	7,527	4,042	1.5%	1.1%	A-679	その他の対個人サービス
	郵便・通信料	733	165	0.1%	0.04%	A-579	郵便・信書便
	宅配便	16,956	1,852	3.3%	0.5%	A-572	道路輸送(自家輸送を除く。)
	その他	11,031	8,569	2.2%	2.3%	A-674	娯楽サービス

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016 年確報）」より産業連関表の産業分類との対応を整理。

d） 訪日外国人の消費構成（交通費、娯楽サービス費、土産費（買い物代））

観光庁「訪日外国人消費動向調査（2016 年確報）」より、訪日外国人観光客の観光・レジャー目的による平均的な観光消費の内容に基づき大項目での比率を把握する。

観光庁「訪日外国人消費動向調査（2016 年確報）」には、日本滞在中の費目別支出として、購入者単価が示されている。ただし、購入者単価は、文字通り該当する品目を購入した人に限った平均消費単価であるため、消費構成比率の平均的な特徴を捉えるために、同統計に併記されている購入率を乗じて、購入しない人も含めた平均的な費目構成比率を用いることとした。

以上より、観光・レジャーを目的とする訪日外国人の消費構成の比率と産業連関表のサン秒分類との対応を表 5-18 に示す。

表 5-18　訪日外国人の日本滞在中の消費構成と産業連関表の産業分類との対応

訪日外国人【観光・レジャー目的】	消費費目（大項目）（小項目）	大項目別の平均消費単価の構成比 宿泊料金を含む	平均消費単価（円/人）※購入率×購入者単価	（各大項目内における小項目の構成比）		産業連関表の産業分類（110部門）との対応（複数の産業部門に該当するものは均等に配分。）		
日本滞在中の費目別支出1）	宿泊料金	21%	25,708			A-671 宿泊業		
	飲食費	17%	20,880			A-672 飲食サービス		
	交通費	10%	12,152					
	航空（日本国内移動）		605	5%		A-575 航空輸送		
	Japan Rail Pass		2,890	24%		A-571 鉄道輸送		
	鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール		5,805	48%	100%	A-571 鉄道輸送		
	バス・タクシー		1,483	12%		A-572 道路輸送（自家輸送を除く）		
	レンタカー		1,190	10%		A-661 物品賃貸サービス		
	その他交通費		179	1%		A-578 運輸附帯サービス		
	娯楽サービス費	3%	3,809					
	現地ツアー・観光ガイド		687	18%		A-578 運輸附帯サービス		
	ゴルフ場・テーマパーク		1,377	36%		A-674 娯楽サービス		
	舞台鑑賞・スポーツ観戦		221	6%	100%	A-674 娯楽サービス		
	美術館・博物館・動物園・水族館		813	21%		A-631 教育		
	スキーリフト・スキー用品レンタル		421	11%		A-661 物品賃貸サービス		
	その他娯楽サービス費		290	8%		A-674 娯楽サービス		
	買物代	49%	61,178					
	菓子類		5,378	9%		A-111 食料品		
	その他食料品・飲料・酒・たばこ		6,016	10%		A-111 食料品	A-112 飲料	A-114 たばこ
	カメラ・ビデオカメラ・時計		3,211	5%		A-332 民生用電気機器	A-391 その他の製造工業製品	
	電気製品		4,788	8%		A-332 民生用電気機器		
	化粧品・香水		13,196	22%		A-208 化学最終製品（医薬品を除く）		
	医薬品・健康グッズ・トイレタリー		10,793	18%	100%	A-207 医薬品		
	和服（着物）・民芸品		1,372	2%		A-152 衣服・その他の繊維既製品		
	服（和服以外）・かばん・靴		12,362	20%		A-152 衣服・その他の繊維既製品	A-231 なめし革・毛皮・同製品	
	ﾏﾝｶﾞ・ｱﾆﾒ・ｷｬﾗｸﾀｰ関連商品		1,474	2%		A-391 その他の製造工業製品		
	書籍・絵葉書・CD・DVD		609	1%		A-391 その他の製造工業製品	A-591 通信	
	その他買物代		1,979	3%		A-681 事務用品		
	その他	0.1%	93			A-674 娯楽サービス		
		100%	123,820					

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2016 年確報)」より産業連関表の産業分類との対応を整理。

5.4.3. 発生需要額における購入者価格と生産者価格の概念の違い

産業連関分析のインプットデータとなる発生需要額の設定において、建設工事費や来場者の観光消費額を定める必要があるが、通常、一般的に捉える金額は、商品等が消費者の手元に届くまでに要したマージン（商業マージン、運輸マージン）が含まれた【購入者価格】と呼ばれる金額である。

産業連関分析のインプットデータとするためには、これらのマージン部分を適切に処理する作業が必要であり、全国産業連関表の比率（商業マージン率、運輸マージン率）を活用して【生産者価格】と呼ばれる消費額に換算する必要がある。

本業務において活用する愛知県県民生活部統計課が公表する「産業連関分析ツール」には、この購入者価格から生産者価格にコンバートする計算が実装されており、本ツールを活用することで、適切に生産者価格への変換が可能となっている。

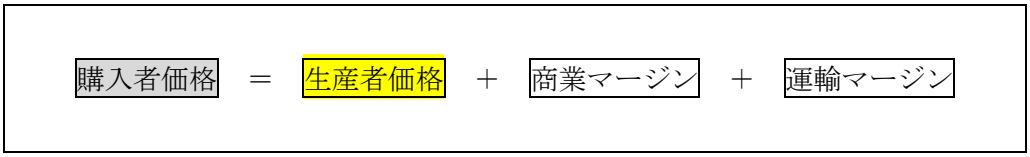


図 5-4　購入者価格と生産者価格の概念

5.5. 経済波及効果（誘発効果）の算出

5.4.1. に記載した名古屋城木造復元の工事費及び 5.4.2. (3) で推計した名古屋城入場者による観光消費額を産業連関分析の発生需要額として捉え、5.4.2. (4) で整理した産業分類（110 部門）との対応に基づき、平成 23 年愛知県産業連関表に基づく産業連関分析により直接効果、間接第 1 次波及効果、間接第 2 次波及効果までを対象とした愛知県内への経済波及効果（誘発効果）を算出した。

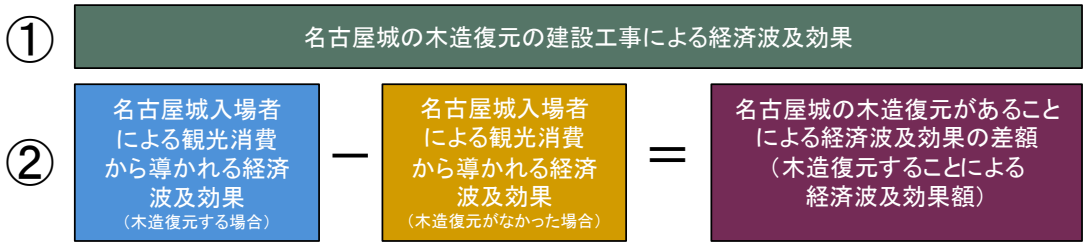


図 5-5　経済波及効果分析の算出ケース概念図

5.5.1. 名古屋城天守閣木造復元の工事費による経済波及効果

名古屋城の木造復元の建設工事（505 億円）による愛知県内への経済波及効果（生産誘発額）は、約 870 億円（建設期間総額）と推計された。また、地域内総生産（Gross Regional Product）の概念に相当する粗付加価値誘発額は、生産誘発額の内数として、約 430 億円（建設期間総額）と見込まれる。

表 5-19　天守閣木造復元工事による経済波及効果（誘発効果）

金額（百万円）		工事全体
発生需要額		50,500
生産誘発	直接効果	50,500
	間接第1次波及効果	20,338
	間接第2次波及効果	16,308
	総合効果	87,146
粗付加価値誘発	直接効果	22,345
	間接第1次波及効果	10,484
	間接第2次波及効果	9,938
	総合効果	42,766

※愛知県県民生活部統計課から公表されている平成 23 年（2011 年）愛知県産業連関表の係数を用いた「産業連関表分析ツール（110 部門）」を活用して算出

5.5.2. 名古屋城入場者の観光消費による経済波及効果

「木造復元する場合」の入場者数に基づく観光消費及び「木造復元しない場合」の入場者数に基づく観光消費による愛知県への経済波及効果を平成 23 年愛知県産業連関表に基づく係数を活用した産業連関分析により推計した。

また、「木造復元する場合」と「木造復元しない場合」の経済波及効果の差分をもって、名古屋城天守閣を木造復元することよる入場者数の変化によって導かれる観光消費の変化に伴う経済波及効果を算出し、木造復元を行うことでの正味の経済波及効果を算出した。

なお、経済波及効果（誘発効果）は、直接効果、間接第 1 次波及効果、間接第 2 次波及効果までを算定対象としている。

(1) 木造復元する場合の入場者数に基づく観光消費による経済波及効果

前述の 5.4.2. (3) a）で整理した、「名古屋城天守閣を木造復元する場合の入場者数に基づく観光消費額」（表 5-10 参照）をインプットデータとして、指定年次における愛知県への経済波及効果（誘発効果）を算出した。

木造天守閣復元後の 2023 年以降では、木造復元する場合の名古屋城入場者数（約 310～380 万人／年）に基づく来場者の観光消費（約 320～400 億円／年）から導かれる経済波及効果（生産誘発額）は、約 390 億～480 億円／年と推計された。

表 5-20　木造復元する場合の入場者数に基づく観光消費による経済波及効果（誘発効果）

金額（百万円）		東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点（リニア開業翌年）	木造天守閣竣工から10年後時点
算定年次		y2020	y2023	y2024	y2028	y2033
発生需要額		19,357	39,583	32,454	34,161	34,724
生産誘発	直接効果	13,134	27,979	22,955	24,073	24,398
	間接第1次波及効果	5,502	11,768	9,656	10,124	10,258
	間接第2次波及効果	3,867	8,085	6,632	6,964	7,068
	総合効果	22,504	47,832	39,242	41,161	41,723
粗付加価値誘発	直接効果	6,953	14,682	12,044	12,637	12,815
	間接第1次波及効果	2,698	5,766	4,731	4,961	5,027
	間接第2次波及効果	2,356	4,927	4,041	4,244	4,307
	総合効果	12,008	25,376	20,817	21,842	22,149

※愛知県県民生活部統計課から公表されている平成 23 年（2011 年）愛知県産業連関表の係数を用いた「産業連関表分析ツール（110 部門）」を活用して算出

(2) 木造復元しない場合の入場者数に基づく観光消費による経済波及効果

前述の 5.4.2. (3) b）で整理した、「名古屋城天守閣の木造復元をしない場合の入場者数に基づく観光消費額」（表 5-11 参照）をインプットデータとして、指定年次における愛知県への経済波及効果（誘発効果）を算出した。

前述の（１）と同期間で比較すると、2023 年以降では、木造復元しない場合の名古屋城入場者数（約 170～230 万人／年）に基づく来場者の観光消費（約 180～240 億円／年）から導かれる経済波及効果（生産誘発額）は、約 220 億～290 億円／年と推計された。

表 5-21　木造復元しない場合の入場者数に基づく観光消費による経済波及効果（誘発効果）

金額（百万円）		東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点（リニア開業翌年）	木造天守閣竣工から10年後時点
算定年次		y2020	y2023	y2024	y2028	y2033
発生需要額		22,566	24,195	19,399	18,277	18,838
生産誘発	直接効果	15,813	16,835	13,477	12,624	12,977
	間接第1次波及効果	6,646	7,071	5,660	5,299	5,446
	間接第2次波及効果	4,589	4,900	3,926	3,687	3,794
	総合効果	27,048	28,807	23,063	21,609	22,217
粗付加価値誘発	直接効果	8,317	8,867	7,100	6,658	6,848
	間接第1次波及効果	3,256	3,465	2,773	2,597	2,669
	間接第2次波及効果	2,796	2,986	2,392	2,247	2,312
	総合効果	14,369	15,318	12,266	11,501	11,829

※愛知県県民生活部統計課から公表されている平成 23 年（2011 年）愛知県産業連関表の係数を用いた「産業連関表分析ツール（110 部門）」を活用して算出

(3) 木造復元に伴う入場者数の変化がもたらす観光消費による正味の経済波及効果

「木造復元する場合」と「木造復元しない場合」の愛知県への経済波及効果の差分をもって、名古屋城天守閣の木造復元を行うことでの正味の経済波及効果は、木造天守閣復元後の 2023 年以降では、木造復元する場合の名古屋城入場者数の差（約 130～150 万人／年増加）に基づく来場者の観光消費額の差（約 130～160 億円／年増加）から導かれる経済波及効果（生産誘発額）は、木造復元することによって約 160 億～200 億円／年増加するものと推計された。

なお、東京オリンピック、パラリンピック開催年である 2020 年は、復元工事期間中にあたり入場者制限があるため、木造復元があることによって入場者数は約 50 万人／年減少すると見込まれ、来場者数の減少によって、観光消費の変動に伴う愛知県への経済波及効果（誘発効果）は約 50 億円／年小さくなると見込まれる。

表 5-22　木造天守閣の復元による入場者数の変化がもたらす正味の観光消費額変化に伴う経済波及効果（誘発効果）

天守閣木造復元があることによる経済波及効果の変化額 金額（百万円）		東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点（リニア開業翌年）	木造天守閣竣工から10年後時点
算定年次		y2020	y2023	y2024	y2028	y2033
発生需要額		−3,209	15,388	13,055	15,884	15,885
生産誘発の差	直接効果	−2,679	11,144	9,478	11,449	11,421
	間接第1次波及効果	−1,144	4,697	3,996	4,825	4,812
	間接第2次波及効果	−722	3,185	2,706	3,278	3,273
	総合効果	−4,545	19,025	16,179	19,552	19,506
粗付加価値誘発の差	直接効果	−1,364	5,816	4,944	5,979	5,967
	間接第1次波及効果	−558	2,301	1,958	2,364	2,358
	間接第2次波及効果	−440	1,941	1,649	1,997	1,995
	総合効果	−2,362	10,058	8,551	10,341	10,320

※愛知県県民生活部統計課から公表されている平成 23 年（2011 年）愛知県産業連関表の係数を用いた「産業連関表分析ツール（110 部門）」を活用して算出

5.5.3. 既往調査事例との経済波及効果の比較

名古屋城に関連する他の経済波及効果の事例を参照し、本検討結果と前提条件などの違いを整理する。

(1) 名古屋城天守閣木造復元工事による経済波及効果（名古屋市提供資料）

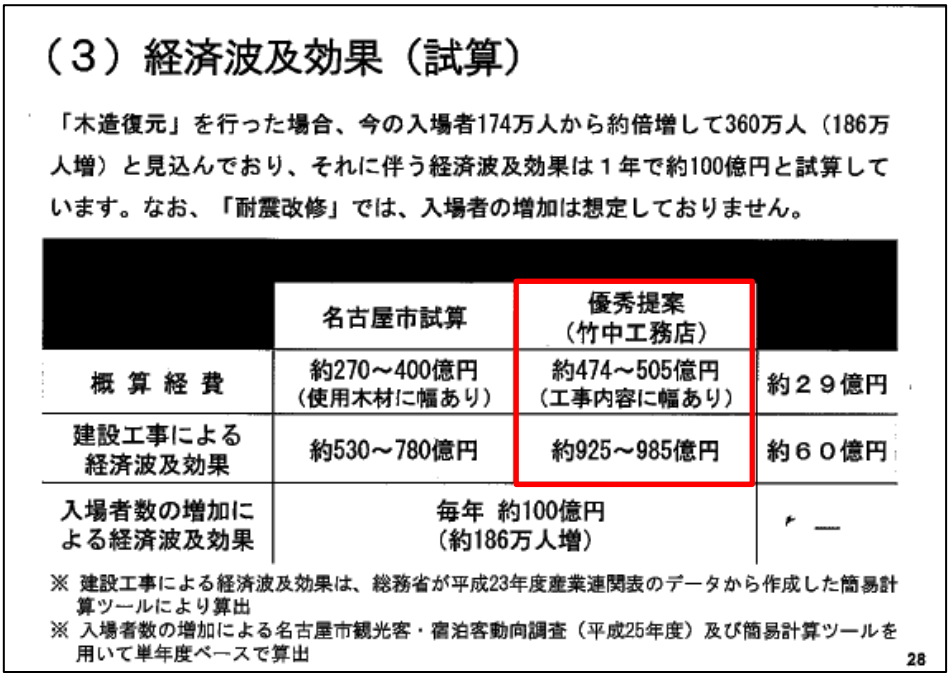
下図に示す建設工事による経済波及効果の既往の試算事例（発注者より情報提供）に関して、本業務における検討結果との前提条件等の違いを整理する。

本業務の検討において、天守閣木造復元の建設工事は 505 億円を想定し、経済波及効果（生産誘発額）は、約 870 億円（建設期間総額）であった。

下図の事例では、インプットデータとなる建設工事費は幅を持たせた設定となっているが、474 億円～505 億円を前提として、経済波及効果は 925～985 億円と推計されており、下図の既往事例の方が大きな数値となっている。

これについては、下図の既往事例では、図中の解説にあるとおり、「※建設工事による経済波及効果は、総務省が平成 23 年産業連関表のデータから作成した簡易計算ツールによる算出」とされている。本業務では、愛知県の平成 23 年産業連関表の係数を用いた分析ツールを採用している。既往事例は全国への波及効果を、本業務では愛知県内への波及効果を計測しており、対象としている地域範囲が異なることが大きな要因であると考えられる。

本検討では愛知県産業連関表を前提とした分析ツールであることから、愛知県の産業活動における自給率が反映され、その他全国の地域への需要の増加として対応される部分が存在するため、本業務の試算結果の方が小さくなる。なお、本検討では、全国平均ではなく、地域構造に合致したより適切な産業連関関係を適用するため、愛知県産業連関表を採用した。



（3）経済波及効果（試算）

「木造復元」を行った場合、今の入場者174万人から約倍増して360万人（186万人増）と見込んでおり、それに伴う経済波及効果は１年で約100億円と試算しています。なお、「耐震改修」では、入場者の増加は想定しておりません。

	名古屋市試算	優秀提案（竹中工務店）	
概 算 経 費	約270～400億円（使用木材に幅あり）	約474～505億円（工事内容に幅あり）	約２９億円
建設工事による経済波及効果	約530～780億円	約925～985億円	約６０億円
入場者数の増加による経済波及効果	毎年 約100億円（約186万人増）		—

※ 建設工事による経済波及効果は、総務省が平成23年度産業連関表のデータから作成した簡易計算ツールにより算出
※ 入場者数の増加による名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成25年度）及び簡易計算ツールを用いて単年度ベースで算出

28

図 5-6 木造復元の建設工事に伴う経済波及効果の算出事例

出典：発注者（名古屋市）提供資料に対して、解説のために赤枠を追記

(2) 名古屋城天守閣整備にかかる名古屋市への税収効果算出業務（2016 年 2 月）との比較

名古屋市「名古屋城天守閣整備にかかる名古屋市への税収効果算出業務　報告書（2016 年 2 月）」では、天守閣の木造復元により、入場者数が 165 万人増加、235 万人増加する仮定のもと、それら増加した来訪者から導出される観光消費額の増加に伴う経済波及効果は、約 109～155 億円／年と推計されている。

本検討では、名古屋城の入場者数は天守閣の木造復元により、約 130～150 万人／年増加を仮定し、経済波及効果（生産誘発額）は、木造復元することによって約 160 億～200 億円／年増加すると推計した。既往事例に入場者数の増加見込みの小さいケースに着目すると、165 万人の増加に対して経済波及効果が約 109 億円／年であり、本検討の方が、増加人数が小さい割に、経済波及効果が大きくなっている。

入場者数が165万人増加すると想定した場合の経済波及効果

項目	合計	直接効果	間接1次効果	間接2次効果
生産誘発額	約109億円	約52億円	約37億円	約19億円
粗付加価値誘発額	約57億円	約27億円	約19億円	約11億円
雇用誘発額	約29億円	約15億円	約10億円	約5億円
雇用誘発者数	約719人	約316人	約282人	約121人

注：四捨五入により、合計と内訳が一致しない場合がある

入場者数が235万人増加すると想定した場合の経済波及効果

項目	合計	直接効果	間接1次効果	間接2次効果
生産誘発額	約155億円	約74億円	約53億円	約27億円
粗付加価値誘発額	約81億円	約39億円	約27億円	約16億円
雇用誘発額	約42億円	約21億円	約14億円	約7億円
雇用誘発者数	約1,024人	約450人	約402人	約172人

注：四捨五入により、合計と内訳が一致しない場合がある

図 5-7　名古屋城天守閣整備による入場者数の増加に伴う経済波及効果の既往事例（2016 年 2 月）

出典：名古屋市「名古屋城天守閣整備にかかる名古屋市への税収効果算出業務　報告書（2016 年 2 月）」に対して解説のために赤枠を追記。

この違いに関しては、観光客 1 人あたりの観光消費単価に違いが見られる。既往事例では、名古屋市「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度）」に基づいて設定されているが、名古屋市内及び名古屋市外の観光客の「日帰り」の単価が採用されている。本検討では、これらの地域属性に加えて、日帰り客と宿泊客の違い、国内観光客と訪日外国人の消費単価の違いも考慮しており、適用する観光消費単価の違いが、想定する観光消費額（発生需要額）の違いにつながり、経済波及効果のオーダー感も異なる数値になっている。

また、詳細な違いを挙げると、既往事例は、平成 23 年全国産業連関表を用いて、独自に簡易版名古屋市産業連関表を作成し、産業連関分析を実施しているが、本検討では平成 23 年愛知県産業連関表を用いており、産業連関表の対象とする地域範囲が異なっている点も補足する。

表 5-23　経済波及効果の既往事例（2016 年 2 月）で適用されている観光消費単価

（単位:円）

	日帰り客(市内)	日帰り客(市外)
食事費	1,327	2,007
交通費	571	1,417
土産費	463	1,577

出典:「名古屋市観光客・宿泊客動向調査(平成25年度)」(名古屋市)

図 5-8

出典：名古屋市「名古屋城天守閣整備にかかる名古屋市への税収効果算出業務　報告書（2016 年 2 月）」

表 5-24　本検討において採用している観光消費単価（再掲）

（円／人回）

居住地	観光客属性	食事	交通費	土産費	宿泊費	入場料	その他	計
市内(名古屋市内)	日帰り	1,116	451	491		370	477	2,905
市外(隣県を含めた日帰り圏)	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211
広域(首都圏、関西圏、その他)	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211
	宿泊	6,491	1,674	5,154	8,188	1,254	1,769	24,530
訪日外国人	日帰り	1,342	781	3,933		245	6	6,307
	宿泊	4,007	2,332	11,740	8,188	731	18	27,016

(3) 名古屋城本丸御殿の復元に伴う経済波及効果（完成前の事前調査結果）との比較

名古屋市「名古屋城本丸御殿の復元に伴う経済波及効果報告書（平成 20 年 3 月）」では、本丸御殿の復元による来訪者の純増分の想定に起因する消費額の増分から導かれる経済波及効果を算出しており、経済波及効果の波及過程の範囲も、直接効果、間接 1 次波及効果、間接 2 次波及効果までを対象にしている。上限として、入場者が延べ約 110 万人／年増加した場合の生産誘発額（経済波及効果）は約 62 億円／年と推計されている。

本検討では、天守閣の木造復元でどれだけ入場者数及び観光消費額が変化するのか、に着目しているが、既往の本丸御殿復元の事例も“復元に伴う変化分”を対象としていることから同様の考え方である。また、名古屋城の入場者数は天守閣の木造復元により、約 130～150 万人／年増加を仮定し、経済波及効果（生産誘発額）は、木造復元することによって約 160 億～200 億円／年増加すると推計した。

入場者の増加人数のオーダー感は、既往事例は 110 万人／年の増加、本検討が約 130～150 万人／年増加であるが、波及効果にはやや乖離が見られる（既往事例：約 62 億円／年、本検討：約 160～200 億円／年）。

■年間のべ約36万人増加の場合（一年間）

項　　目	合　　計	直 接 効 果	間接１次効果	間接２次効果
生 産 誘 発 額	約 20 億円	約 11 億円	約 5 億円	約 5 億円
付加価値額	約 11 億円	約 6 億円	約 3 億円	約 3 億円
雇　　用	約 176 人	約 116 人	約 29 人	約 31 人

（注）四捨五入により、合計と内訳が一致しない場合がある。

■年間のべ約110万人増加の場合（一年間）

項　　目	合　　計	直 接 効 果	間接１次効果	間接２次効果
生 産 誘 発 額	約 62 億円	約 33 億円	約 14 億円	約 14 億円
付加価値額	約 35 億円	約 18 億円	約 8 億円	約 9 億円
雇　　用	約 537 人	約 354 人	約 89 人	約 93 人

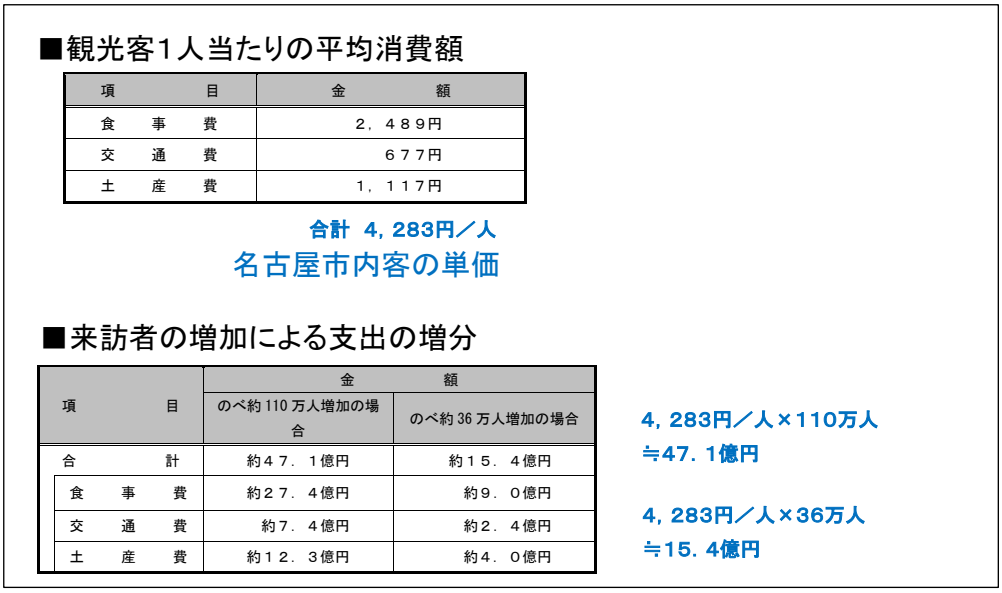
（注）四捨五入により、合計と内訳が一致しない場合がある。

図 5-9　天守閣復元に伴う経済波及効果の算出事例

出典：名古屋市「名古屋城本丸御殿の復元に伴う経済波及効果報告書（平成 20 年 3 月）」に対して、図示するために赤枠を追記。

これに関しては、本丸御殿の既往事例では、観光消費単価として、名古屋市内客の単価（4,283 円／人）を入場者全員に対して乗じることで観光消費額を算出している。

本検討では、入場者数の地域属性及び日帰り・宿泊の観光属性に応じた観光消費単価をそれぞれ適用しているため、産業連関分析のインプットデータとなる観光消費額（発生需要額）に差が生じた結果、経済波及効果のオーダー感が異なっている。



■観光客1人当たりの平均消費額

項　　目	金　　額
食　事　費	２，４８９円
交　通　費	６７７円
土　産　費	１，１１７円

合計　4，283円／人

名古屋市内客の単価

■来訪者の増加による支出の増分

項　　目	金　　額	
	のべ約 110 万人増加の場合	のべ約 36 万人増加の場合
合　　計	約４７．１億円	約１５．４億円
食　事　費	約２７．４億円	約９．０億円
交　通　費	約７．４億円	約２．４億円
土　産　費	約１２．３億円	約４．０億円

4，283円／人×110万人
≒47．1億円

4，283円／人×36万人
≒15．4億円

図 5-10　天守閣復元に伴う経済波及効果の算出事例において適用されている観光消費単価

出典：名古屋市「名古屋城本丸御殿の復元に伴う経済波及効果報告書（平成 20 年 3 月）」に対して、解説のため青文字を追記。

表 5-25　本検討において採用している観光消費単価（再掲）

（円／人回）

居住地	観光客属性	食事	交通費	土産費	宿泊費	入場料	その他	計
市内（名古屋市内）	日帰り	1,116	451	491		370	477	2,905
市外（隣県を含めた日帰り圏）	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211
広域（首都圏、関西圏、その他）	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211
	宿泊	6,491	1,674	5,154	8,188	1,254	1,769	24,530
訪日外国人	日帰り	1,342	781	3,933		245	6	6,307
	宿泊	4,007	2,332	11,740	8,188	731	18	27,016

6. 各分野の専門家から構成される会議体の意見聴取・監修の実施

各種専門家から構成される会議を実施し、「入場者数見込み及び収支計画の策定」、「民間活力の導入検討」、「課題整理及び入場者増加策の提案」、「経済波及効果の推計」に対して、様々な専門的見地から意見を把握し、その意見をもとに、各種調査の見直しや修正を図った。

6.1. 会議概要

会議概要は以下の通りとなる。

１．会議名　　名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会

２．開催時期　2017 年 12 月及び 2018 年 1 月（全 2 回・各 2 時間程度を予定）

３．会議内容　弊社が検討する以下の事項に対するご意見・ご助言
天守閣を木造復元（竣工）した場合の
①入場者数見込み及び収支計画の策定
②民間活力の導入検討
③名古屋城に係る課題整理
④入場者数増加策の検討
⑤経済波及効果の推計の調査　等

４．メンバー　金融、観光、都市計画の専門家 5 名
南山大学　総合政策学部総合政策学科　教授　石川良文氏
三菱東京ＵＦＪ銀行　東海公務部長　伊藤政典氏
株式会社電通　中部支社　顧客ビジネス局　局長　清谷典生氏
中部大学　工学部都市建設工学科／大学院建設専攻
教授　服部敦氏
名鉄観光サービス株式会社　商品事業本部国内旅行部
仕入企画　課長　福井佳代氏

５．スケジュール

【第 1 回懇談会】
１．開催日時　2017 年 12 月 27 日（水）9:30～11:30
２．会　　場　三菱ＵＦＪリサーチ&コンサルティング名古屋オフィス会議室
名古屋市東区葵１－１９－３０　マザックアートプラザ１０階
３．会議内容　（１）本事業の概要について
（２）入場者数見込みについて
（３）その他（アンケート結果について）

【第２回懇談会】
１．開催日時　2018 年 1 月 31 日（水）13:30～15:30
２．会　　場　三菱ＵＦＪリサーチ&コンサルティング名古屋オフィス会議室（予定）
３．会議内容　（１）入場者数見込み及び収支計画について
（２）民間活力の導入検討について
（３）経済波及効果の推計結果について

6.2. 開催結果

6.2.1. 第 1 回会議

第 1 回会議の内容は、下表の通りである。なお、第 1 回会議に欠席された南山大学石川氏には、別途、1 月 12 日（金）にヒアリングを実施した。

(1) 会議資料

議事次第、配付資料は以下の通り。（資料編参照）

（議事次第）
１．会議設置趣旨
２．議　　事
（１）本事業の概要について
（２）入場者数見込みについて
（３）その他
３．連　　絡
（配布資料）
座席表
委員名簿
資料１　本事業の概要
資料２　入場者数見込み
資料３　アンケート調査結果

(2) 結果

【第 1 回：名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会】

（概要）

日時	2017 年 12 月 27 日（水）9 時 30 分～11 時 30 分
場所	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング名古屋オフィス会議室
出席者	＜委員＞ 三菱東京 UFJ 銀行　伊藤　政典　様 株式会社電通　清谷　典生　様 中部大学　服部　敦　様 名鉄観光サービス株式会社　福井　佳代　様 委員随行者様：２名 名古屋市：５名、MURC：宮下主任、右近主任、岩田主任、加藤準研究員、志賀

（会場風景）

（議事録）

１．委員ご紹介

（省略）

２．業務概要説明

- 懇談会の位置づけ
- 今後のスケジュール　等

３．名古屋市ごあいさつ

- 2017 年 2 月に名古屋城木造天守閣基本設計の予算が決定。
- 木造天守閣は史実に忠実な復元をキーワードとしている。世界に唯一の城である。
  - 復元できた暁には、名古屋城だけで観光客を呼び込めるようになると考える。
  - 加えて、城を核とした賑わいづくりも行っている。
- 市の試算では天守閣復元により年間 360 万人の来場が 50 年間続くと想定した。

- 入場料は 1,000 円としつつ、市民サービスの観点から市民は 450 円とした。
- 入場者見込み、収支計画について専門家による調査が必要であると議会からの指摘があり、今回の業務委託となった。

４．資料１（本事業の概要）説明

（省略）

５．資料２（入場者数見込み）説明

- MURC：資料説明

- 委員：母数推計に自動車による移動は含まれているか。
  - MURC：お金のかかる人口は全て交流人口としており、自動車も含まれる。
- 委員：リニア等、これまでに世の中にないものが出てきたときの予見になると考えるが、東海道新幹線のできたときの交流人口に影響どう影響があったか、参考にできる部分はあるか。
  - MURC：北陸新幹線や北海道新幹線の事例では、石川県は県内で 1.3 倍、首都圏で 1.9 倍増加している。また函館でも 1.5 倍増加。移動時間が半分になると 1.3～1.5 倍に瞬間風速的に交流人口が増加する。

- 委員：2016 年以前の直近のトレンドによる影響は、はみていない（入場者推計に反映していない）との理解でよいか。
  - MURC：マクロで推計して合わせている。トレンドはみていない。
  - 委員：トレンドは入場者数の推計に影響しないのか。トレンドの調整があるかないかは気になる。
  - MURC：長期見通しを行う中で近年のトレンドの影響は振れ幅が大きいため考慮していない。

- 委員：ボリュームとしてマクロに見て割り込んだときのボリューム感と現実のボリューム感は合っているのか。推計と実績のバランスを確認する際には、直近の実績値と、推計値の地域別の構成比をチェックしておくとよい。
  - MURC：今回の推計では、来場者数の地域構成は、実績に合わせている。

- 委員：名古屋城の最近の入場者数伸びは何が影響しているか。
  - 市：おもてなし武将隊や本丸御殿公開による影響が出ている。
  - MURC：基本的な構成比は 2016 年の実績値に合わせている。母数は可能な限り低めとなるような趣旨で推計した。

- MURC：外国人観光客の推計に困っている。（現状は、観光客数は 2030 年で頭打ち、訪問率は常に一定としている。）
  - 清谷委員：訪日外国人や観光産業は楽観的に捉えており（今後も伸びる）、当エリアにも影響があると考える。また、トレンドについては、高度ネット社会におけるリアル消費として、イベントや観光にはお金を消費するという反作用的な効果が出ている。今後は単身世帯が増えるため、単身者がどう行動するかというトレンドの影響も大きいと考える。
  - MURC：同行人数が一定としている点も、将来のトレンドで変わり得ると考えるが、アンケートでは把握できていない。他にも様々な前提を置いている。

- 委員：アンケート結果について、首都圏の名古屋城訪問経験ありが 85％（=100%－16.3%）あるという結果には違和感がある。本当にこんなに来訪しているのか。
  - MURC：確認する。

- 委員：今後の BRT、LRT、堀川運河（遊覧）などの開業による影響は推計に考慮しているのか。
  - MURC：考慮していない。ただし、アンケート結果より、公共交通アクセスが良くなれば城観光の頻度を増やしたいという人の頻度変化を高位推計で考慮している。
  - 委員：環境変化による影響は推計に入れる価値はあるのではないか。
  - MURC：施策については入場者数の数字が固まった段階で、施策項目ごとの頻度変化をみていきたいと考えている。

- 委員：名古屋城を主目的として旅行に来る人は少ない。今はツアーもほとんど組まれていないが、木造天守となればツアーが組まれることも考えられる。一方で、名古屋に来る人の多くは名古屋城に行くと考えられる。名古屋城は目玉となるコンテンツであることに違いない。そもそも名古屋に来る人を増やすために、JR 東海も東海道新幹線を使った観光に力を入れている。リニアに乗らない人でも名古屋に来る人が増えると考える。

  アンケート結果からも、首都圏では松本城くらいしか行ける城がないような結果も見受けられる。名古屋周辺には城も多くあるため、首都圏から名古屋へのアクセスがよくなることでお城観光客が増えることが考えられる。
  - MURC：アンケート結果からは、名古屋城を観光した人は名古屋城だけでなく、名駅周辺、栄・久屋大通など他の場所とセットで観光することが多い。また、首都圏・関西圏からは熱田神宮や犬山市など広域的なところと抱き合わせでくることが特徴である。

- 委員：入場者増加策による改善効果を検討する際に、アンケートで読み込んだ施策効果とアンケートで聞ききれていない施策効果があると考えるが、仕分けして影響の反映を考えているか。
  - MURC：観光案内所や新たな収益施設ができた際の効果の検討は進めていきたい。
  - 委員：施策効果は名古屋市が打てる施策効果にとどめるか、中部国際空港の施策等、さらに広域的な施策まで考慮するのか。
  - 市：施策効果は入場者数の上振れ要素として検討していきたい。今回の業務ではベースとなる入場者数をしっかり検討したい。

- 委員：市民を巻き込む点では工事期間が重要。名古屋城を知ってもらい、工事の状況をしっかりと記録し、市民の誇りとして醸成するよい機会になる。お金にはならないが、市民に足を運んでいただくことが重要である。
  - MURC：アンケート結果からも市内は工事期間中の見学をしたいと考えている割合が多い。

- MURC：リニア開業効果として、首都圏から名古屋城に来る人は 1.5 倍増となっているが、推計結果に違和感はないか。
  - 委員：輸送力が増せば、ある程度増加するとは考えられるが・・・。

- MURC：木造天守開業後の逓減率について、金シャチ横丁の影響については削減する必要はないと考え、本来であれば 3 割減となるところを 22%減としている。この数字は過小か過大か。また、（来場者属性に関係なく）一律で削減率を設定しているが、果たして外国人まで減少させる必要はあるのか、と考えている。
  - 委員：（逓減率設定の参考とした）熊本城の事例について、内訳はわからないのか。
    MURC：公表情報では内訳まではわかっていない。

- MURC：アンケート結果より、入場料金が 1,000 円になることへの来場頻度への影響は首都圏・関西圏については小さいということが確認できた。一方で名古屋城に近い人への影響は大きいため、市外（東海 3 県）の人をどれだけ集客できるかが需要に関係する。

- 委員：リニアの影響については、名古屋城に来るかどうかではなく、名古屋に来るかどうかの意向変化をみる必要があると考えるが、今回の推計はそうなっているか。
  - MURC：アンケートでは、木造天守がある前提の上で、リニアができたときに名古屋に行くかどうかの意向を聞いている。
  - 委員：リニアの影響によって、国内の外国人観光客の移動総数に影響があり、その中で木造復元した際の名古屋城来場へのインパクトを推計するというアプローチも

あると考える。

- 委員：外国人観光客が減らないのではないか、ということに対する理屈の立て方としては、国の施策によって国内全体の外国人観光客数が増加した際に、リニアを使って名古屋に来る外国人が増え、その中から名古屋城に来る人が増えるというアプローチになるかもしれない。

- 委員：決して高いハードルではないのだなという印象を持った。
  - 市：ブームが去るのではないかという点を懸念している。
  - MURC：首都圏は城があまりないため、城観光という感覚があまりないと考える。リニアがその風穴を開けるかどうか、ポイントになる。

- 委員：国内の交流人口は、全国シェアを直近のデータで固定しているので、近年の傾向（トレンド）をみた上で推計するべき。また、各統計データの相関関係のフローが経済全般→家計（観光）→経済全般となっている。観光目的に主眼をおいて直接的に推計することが望ましい。

- 委員：外国人の交流人口は、名古屋市への訪問率を直近のデータで固定しているので、近年の傾向（トレンド）をみた上で推計するべき。また、外国人の将来の長期的見通しについては、不確定要素が大きいため、シナリオで検討することが望ましい。

６．資料３（アンケート調査結果）説明

- MURC：資料説明
- MURC：増加策を検討する項目にクロスをかけているため、分析を進めていきたい。

- 委員：大阪城の来場者に中国人が多いのは、はじめて来る人がパッケージとして大阪城・USJ・道頓堀に行くためと考えられる。大阪では、文化・買物・エンターテイメントがわかりやすく体験できる。

  天守閣だけでなく、大阪城公園の中を歩く人も多い。入場料収入だけである程度まわすことが可能になっている。周りにどんなエンターテイメントを作るかを工夫している。また、増加策と並行して駐車場整備の検討も必要になるだろう。

  - MURC：統計データの分析の中で、バスを停められる駐車場があるかどうか、駐車場のボリュームが入場者数に影響している。

- 委員：入場者増加策を検討する選択肢として、施設に着目した観光施策が多いが、どこまで広げて考えていくのか。まちづくり的な要素も絡めて施策として検討することになるのか。
  - 市：アンケートはわかりやすさを重視したものになっている。
  - 委員：「公共交通アクセスが便利になる」という選択肢はリニアのような広域交通を指しているのか、BRT のような市内交通をさしているのか、聞く相手によってイメージが異なる。そうしたときに、首都圏の人はリニアで反応しているように思う。
    同様に、名古屋に魅力的な観光スポットが増えるというイメージも名古屋城近傍なのか、名古屋市全体なのか、名古屋を含む名古屋圏なのか、それによって観光行動に与える影響が異なる。
  - MURC：公共交通の選択肢は、市内公共交通とするべきであった。

７．名古屋市ごあいさつ

- 名古屋城単体での魅力アップだけでなく、全体としての（広域的な）魅力向上に取り組むことを考えているが、この点について今回の業務には反映できていない。上振れ要素として取り組んでいきたい。

８．その他

- MURC：石川委員へは、年明けに意見聴取を行う。

以上

6.2.1. 第 2 回会議

第 2 回会議の内容は、下表の通りである。なお、第 2 回会議に欠席された株式会社電通清谷氏には、別途、2 月 8 日（木）にヒアリングを実施した。

(1) 会議資料

議事次第、配付資料は以下の通り。（資料編参照）

（議事次第）

１．開　　会

２．議　　事

（１）入場者数見込みと収支計画について

（２）民間活力の導入検討について

（３）その他

３．連　　絡

（配布資料）

委員名簿	
資料１	入場者数見込みと収支計画
資料２	民間活力の導入検討
補足資料	入場者数見込みの第 1 回懇談会時と今回の違い
配付資料	経済波及効果分析結果

(2) 結果

【第 2 回：名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会】

（概要）

日時	2018 年 1 月 31 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
場所	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング名古屋オフィス　セミナールーム
出席者	＜委員＞ 南山大学　石川　良文　様 三菱東京 UFJ 銀行　伊藤　政典　様 中部大学　服部　敦　様 名鉄観光サービス株式会社　福井　佳代　様 委員随行者様：１名 名古屋市：４名、MURC：佐々木、宮下、右近、岩田、内田、上田、志賀

（会場風景）

（議事録）

１．司会あいさつ

（省略）

２．議題①：入場者数見込み・収支計画について

- MURC：資料説明
- 委員：職員人数をどう設定されたのか詳しくお聞かせください。
  - MURC：2021 年度まで（木造天守閣オープンまで）は、オープンまでにかかる管理課の人数を 5 人と想定して設定している。オープン後は、現在名古屋城全体で 20 人としている管理課の人数のうち 15 人を天守閣運営にかかる人数として設定している。ただし、22 年度～31 年度までは整備室にかかる人数 2 人分も天守閣事業にかかる人件費として設定している。

- 委員：高位シナリオの考え方で、イベントの実施または、買物・飲食スポットがあると入場者数が増加するというシナリオを選択した理由は、アンケート結果に基づいているという認識でよいか。
  - MURC：増加策を検討するときに参考となるものを持ってきている。回答率が高かったという点も考慮している。意向変化率は、実績値ではなくアンケート結果に基づいたものである。
- 委員：収支計画に広告宣伝費は見込んでいるか。
  - 市：管理運営費の中に入っている。催事関係の中に基本的なイベントや年間を通した広告宣伝費が入っている。現状は、名古屋城全体のイベントとして 3,200 万円かかっており、そのうち数百万円が広告宣伝費としてかかっている。
- 委員：入場者数全体について、海外の人数が増えていくイメージはあるが、日本人の人数はどう考えているか。
  - MURC： GDP が 1.4%以上成長し、交流人口が増加するという前提をおいており、人口減少のスピードに対しても交流人口はそれほど減らないという考え方になっている。
- 委員：収支計画について、名古屋城の収支全体の 75%が天守閣、25%が本丸御殿となっているが、これは整備費の比率に基づいているという認識でよいか。
  - 市：その通りである。
- 委員：現状の本丸御殿の収益がわかっている中で、天守閣事業の収支と本丸御殿事業の収支を分けることはできないのか。また、（収支に計上していない）13 人の職員は本丸御殿に特化して働いているとの認識でよいか。
  - 市：33 人のうち 20 人が既存施設の管理運営を担当しており、残りの 13 人は本丸御殿や庭、天守閣の整備に係っている。収支計画に関しては、独立採算で（天守閣事業を）考えたときに、天守閣の管理運営に要する人数として管理課 20 名のうち 10 名、整備に要する人数として整備室 13 名のうち 5 人を設定している。
- 委員：整備費は全額起債した後、40 年で償還すると認識しているが、公債費が（事業開始後）40 年以降も続いているのはなぜか。
  - 市・MURC：事業費をまとめて起債するのではなく、何度ごとに徐々に起債が発生しているためで、事業完了時 2071 年度の公債費は 2031 年度の起債に対する支払額の残りとなる。また、公債費の支払いは 71 年度ですべて終了となる。
  - 市：天守閣事業だけで独立採算をとるため、会計を（一般会計と）別にしている。（事業終了時の 71 年度で）50 億円の赤字となった場合は名古屋市の一般会計で天守閣に 50 億円の赤字を抱えているという解釈になり、72 年度以降に単年度収支 6 億円として、10 年程度で返還することになると考えている。
- MURC：（委員に対し）広告宣伝費の質問については何か意図したことがあったのか。
  - 委員：その額ですむのかというのはある。入場者見込みを上げていくためには広告

宣伝費に経費を傾注する必要があると考える。それを民活によって入場者数をあげるというシナリオでは無理があるのではないか。公共サイドでやる場合であってもある程度の広告宣伝費をかけていかないと、現在検討しているシナリオを下支えできるようにはならないのではないか。これだけの大きな事業をやるということに対して、現在考えている年間 2000 万円の広告宣伝費は桁が小さすぎるのではないか。一般的に日本の行政は広告宣伝費を低く見積もる傾向がある。

- 委員：高位シナリオについて、アンケート結果の意向変化だけで推計するのは無理がある。高位 A については、他の集客施設について、どの程度のイベントでどの程度の集客効果があるのか、別途根拠を持っておくとよい。

  高位 B については、城内にスポットを作る（ことを前提としている）のではないと考える。また、金シャチ横丁やトナリエの話は既に（ベースの推計に）入ってしまっている。どこに何ができるのか、どこにどのくらいの整備をすればこの効果が得られるのか。適地はどこになるのか。久屋大通でやると考えた場合、それは徒歩圏といえるのか。間の三の丸が抜けてしまっているのではないか。現在、三の丸の再整備の検討をしているが、三の丸にある程度の機能を入れていかないと、徒歩圏としての名古屋城との連続性が出てこないのではないか。金シャチ横丁の整備構想の時にも、本町通から栄に至る飲食購買の連続性を確保する必要があるという話が出た。高位 B シナリオを出していく（主張する）には、そのあたりについて言及する必要がある。

３．議題②：民間活力導入の検討について

- MURC：資料説明
- 委員：法令上の課題のページについて、体育館と市庁舎と県庁舎と図書館に着色しているのはなぜか。
  - MURC：地図の範囲をわかりやすくするためであり、特に意味はない。
- 委員：特別史跡の未告示の範囲について、未告示の理由は何か。
  - 市：まだ愛知県体育館があるというのが一番の理由。今後は、愛知県体育館の移設に合わせて範囲は広がる。
- 委員：二の丸庭園でのユニークベニューは、未告示が理由か。
  - 市：未告示であったとしても、実態としては難しい。既存施設を活用することに関しては問題ない。
  - MURC：二の丸庭園でのユニークベニューは未告示が理由ではない。何か施設を作るということはなく、仮設でのイベント実施等を想定している。
- 委員：アンケート結果にある通り、公共交通アクセスが良くなると観光頻度は増加すると考えられるが、名古屋市としてはこの点についてどのように考えているか。名古屋中心部で考えている新しい交通システムを（入場者増加の）要素として考えているのか。
  - 市:短期的にはメーグルの活用をしやすくすることを検討している。長期的には BRT

も考えている。前回も指摘を受けたが、今回のアンケート設問であると市内の交通アクセスなのか、リニア等のより広域の交通アクセスなのか判断ができない（市としては市内交通としての意図があった）。

- 委員：イベントは、入場者数が減らないよう、毎年実施するという前提なのか。
  - MURC：既存イベントとの連携として、定期的に行われているどまつりやコスプレサミットといったイベントを特別史跡内にこだわって継続的に実施していく。加えてスポット的なイベントも実施していく。
- 委員：年間何回程度イベントを実施することで高位シナリオ A が実現するのか、ボリューム感を把握することが重要である。
- 委員：特別史跡であるからといって遠慮をする必要はないと考える。活用型の史跡利用については文化庁も模索しているところである。やりたいことがあれば、積極的にチャレンジすべきである。穴を掘ること以外は前向きに対応していく可能性がある。ユニークベニューについても二の丸庭園だけでなく、天守閣そのものもユニークベニューになり得る。たとえば天守閣でサミットをするなど、大胆なチャレンジをすることで資産価値が上がる。
- 委員：収益事業について様々事例をあげていただいたが、アイデアは無限にある。フィルムコミッション系、アート展示系、謎解きツアー系、等。城内イベントに限らない収益事業をどれだけうてるか。市内のほかの施設との連携イベントや共通チケットかによる収益の確保も考え得る。城内と市内や広域観光、周辺の武家文化系のツアーもありうる。今後は、収支見込みだけでなく、民間管理者に対して投げかけをする場合に城内にこだわらずに収益をあげることを考える必要がある。空間的なものだけでなく名古屋城そのもののブランド化といったことも考えられる（名古屋城のキャラクター化）。全部を盛り込む必要があるということではないが、収益事業の幅、可能性としての広がりを持たせる必要があると感じた。
- 委員：長い時間をかけて収益を得ていくことを考えた際に、今の時点では考え付かない方法が出てくることが考えられる。一方で、観光客を呼ぶという観点ではトイレひとつとっても刈谷のハイウェイオアシスや、あべのはるかすなど、トイレのためだけに行きたいと思える施設もある。トイレは絶対に作る必要があるものであるならば味のあるものにしておくべきである。
- 委員：伊勢神宮もおかげ横丁ができたことで、内宮まではいかなくても付近まで行く人は増えている。金シャチ横丁がとっかかりになると思うが、食はいつまでも必ず行きたくなる素材であると思うため、そこを膨らませることはできると考える。
- MURC：トイレは集客向上ではなく、顧客満足度を高めるためのものとして捉えていたが、集客向上の視点でとらえるべきか。
  - 委員：作り変える必要がないものであるため、最初にあっと言わせるものを作っておくべきである。

- MURC：現状、国際観光の視点としてマストなものは何が考えられるか。
  - 委員：駐車場の確保、お手洗いの数・スペース、お客様の入りやすさの動線、言語の問題（標識の整備）が重要である。名古屋城は名古屋駅からの行き方が不便であり、循環バスが必要であると思う。
- MURC：案内所についてはどうか。
  - 委員：名古屋城にインフォメーションセンターを置き、名古屋城を起点にして他の観光地に向かうような仕組みができるとよい。
- 市：市の直営事業として考えるべきところが民間活力の導入として整理されている点が気になる。便益施設の民営化や収益事業としてお金をとるべき部分と、民活によって機能向上ができる部分を区別して整理する必要がある。

- 委員：イベントは浮き沈みが大きい。持続性はない。効果の大きなイベントほど大変手間がかかる。

- 委員：入場者数が少なくなったときの人員管理、人件費、緊急対応などが求められるが、民間ではこうした管理をどうやって対応するかは難しい。運営会社でビジネスとしてやっていくのは簡単ではない。ロケーションを含めた検討が必要である。

４．経済波及効果について

- 委員：土産物の商品構成について、名古屋市としての調査を実施されたことはあるか。土産物をどういうものを買うかによって波及効果は変わってくる。域内の波及効果を上げるためには、その地域内で作っているものを販売していくという政策的な意気込みが重要である。
- 市：木造復元による経済波及効果はどのように考えればよいか。
  - 委員：（木造復元をしない）現状のままでの経済波及効果と、木造復元による経済波及効果の差分で考える必要がある。
  - MURC：整理します。構成比に変化がなければ、人数の変化の単純比率で経済波及効果が変化することになる。
- 委員：純粋に名古屋城での消費ではなく、名古屋城を目的として名古屋に来る人による経済波及効果となっているが、その考え方でよいのか。
  - MURC：木造復元によって新規獲得した入場者数による経済波及効果であるという説明になる。

５．名古屋市あいさつ

（省略）

以上

資　料　編

アンケート調査票（国内）
アンケート調査票（中国人）
アンケート調査票（米国人）
推計結果詳細
第 1 回専門家懇談会会議資料
第 2 回専門家懇談会会議資料

アンケート調査票（日本）

観光に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう（掲示板やホームページへの書き込みを含む）、ご協力お願いします。

AC 割付条件設定（回答者には表示されません）

- ☐ 1. 名古屋市
- ☐ 2. 名古屋市外
- ☐ 3. 首都圏
- ☐ 4. 関西圏

【調査内容についての守秘義務遵守のお願い】

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報は、
決して第三者に開示または漏えいしないようお願いいたします。
また、調査で提示された内容や画像等を、掲示板やホームページへ
書き込む行為も固く禁止しております。

くれぐれもそのような行為の無いよう、改めてお願い申し上げます。

Q1 こちらの内容にご同意いただき、本アンケートにご参加いただけますか。
【必須入力】

- ○ 1. 同意する
- ○ 2. 同意しない

日本国内での「お城観光」についておたずねします。
ここでは「お城観光」を、入場料を支払い、有料エリア内で見学・散策する行動と定義します。

Q2 あなたは、「お城観光」をしますか。あなたの行動に最も近いものを一つ選んでください。
【必須入力】

- ○ 1.「お城観光」を主目的として出かけることがある
- ○ 2. 出かけた先にお城があれば必ず「お城観光」をする
- ○ 3. 出かけた先にお城があれば、ついでに「お城観光」をすることがある
- ○ 4. お城を見に行っても有料エリアには入らない
- ○ 5. お城を見に行くことはない

Q3 あなたは、過去1年間に日本国内で日帰りによる「お城観光」をしましたか。
「お城観光」をしたお城を全て選んでください。
【必須入力】

- ☐ 1. 弘前城（青森県）
- ☐ 2. 上山城（山形県）
- ☐ 3. 白石城（宮城県）
- ☐ 4. 若松城（福島県）
- ☐ 5. 小田原城（神奈川県）
- ☐ 6. 松本城（長野県）
- ☐ 7. 丸岡城（福井県）
- ☐ 8. 越前大野城（福井県）
- ☐ 9. 掛川城（静岡県）
- ☐ 10. 浜松城（静岡県）
- ☐ 11. 岡崎城（愛知県）
- ☐ 12. 名古屋城（愛知県）
- ☐ 13. 清洲城（愛知県）
- ☐ 14. 犬山城（愛知県）
- ☐ 15. 岐阜城（岐阜県）
- ☐ 16. 郡上八幡城（岐阜県）
- ☐ 17. 大垣城（岐阜県）
- ☐ 18. 伊賀上野城（三重県）
- ☐ 19. 津城（三重県）
- ☐ 20. 長浜城（滋賀県）
- ☐ 21. 彦根城（滋賀県）
- ☐ 22. 二条城（京都府）
- ☐ 23. 福知山城（京都府）
- ☐ 24. 大阪城（大阪府）
- ☐ 25. 岸和田城（大阪府）
- ☐ 26. 和歌山城（和歌山県）
- ☐ 27. 篠山城（兵庫県）
- ☐ 28. 竹田城跡（兵庫県）
- ☐ 29. 姫路城（兵庫県）
- ☐ 30. 岡山城（岡山県）
- ☐ 31. 備中松山城（岡山県）
- ☐ 32. 松江城（島根県）
- ☐ 33. 福山城（広島県）
- ☐ 34. 広島城（広島県）
- ☐ 35. 岩国城（山口県）
- ☐ 36. 丸亀城（香川県）
- ☐ 37. 今治城（愛媛県）
- ☐ 38. 松山城（愛媛県）
- ☐ 39. 大洲城（愛媛県）
- ☐ 40. 宇和島城（愛媛県）
- ☐ 41. 高知城（高知県）
- ☐ 42. 小倉城（福岡県）
- ☐ 43. 中津城（大分県）
- ☐ 44. 唐津城（佐賀県）
- ☐ 45. 平戸城（長崎県）
- ☐ 46. 島原城（長崎県）
- ☐ 47. 熊本城（熊本県）
- ☐ 48. 首里城（沖縄県）
- ☐ 49. その他（具体的に）
- ☐ 50. 過去1年間に日帰りの「お城観光」をしていない

Q4 あなたは、過去1年間に日本国内で宿泊による「お城観光」をしましたか。
「お城観光」をしたお城を全て選んでください。
【必須入力】

- ☐ 1. 弘前城（青森県）
- ☐ 2. 上山城（山形県）
- ☐ 3. 白石城（宮城県）
- ☐ 4. 若松城（福島県）
- ☐ 5. 小田原城（神奈川県）
- ☐ 6. 松本城（長野県）
- ☐ 7. 丸岡城（福井県）
- ☐ 8. 越前大野城（福井県）
- ☐ 9. 掛川城（静岡県）
- ☐ 10. 浜松城（静岡県）
- ☐ 11. 岡崎城（愛知県）
- ☐ 12. 名古屋城（愛知県）
- ☐ 13. 清洲城（愛知県）
- ☐ 14. 犬山城（愛知県）
- ☐ 15. 岐阜城（岐阜県）
- ☐ 16. 郡上八幡城（岐阜県）
- ☐ 17. 大垣城（岐阜県）
- ☐ 18. 伊賀上野城（三重県）
- ☐ 19. 津城（三重県）
- ☐ 20. 長浜城（滋賀県）
- ☐ 21. 彦根城（滋賀県）
- ☐ 22. 二条城（京都府）
- ☐ 23. 福知山城（京都府）
- ☐ 24. 大阪城（大阪府）
- ☐ 25. 岸和田城（大阪府）
- ☐ 26. 和歌山城（和歌山県）
- ☐ 27. 篠山城（兵庫県）
- ☐ 28. 竹田城跡（兵庫県）
- ☐ 29. 姫路城（兵庫県）
- ☐ 30. 岡山城（岡山県）
- ☐ 31. 備中松山城（岡山県）
- ☐ 32. 松江城（島根県）
- ☐ 33. 福山城（広島県）
- ☐ 34. 広島城（広島県）
- ☐ 35. 岩国城（山口県）
- ☐ 36. 丸亀城（香川県）
- ☐ 37. 今治城（愛媛県）
- ☐ 38. 松山城（愛媛県）
- ☐ 39. 大洲城（愛媛県）
- ☐ 40. 宇和島城（愛媛県）
- ☐ 41. 高知城（高知県）
- ☐ 42. 小倉城（福岡県）
- ☐ 43. 中津城（大分県）
- ☐ 44. 唐津城（佐賀県）
- ☐ 45. 平戸城（長崎県）
- ☐ 46. 島原城（長崎県）
- ☐ 47. 熊本城（熊本県）
- ☐ 48. 首里城（沖縄県）
- ☐ 49. その他（具体的に）
- ☐ 50. 過去1年間に宿泊の「お城観光」をしていない

Q5 あなたは、どれくらいの頻度（回数）で名古屋市内の観光施設に訪れていますか。
あてはまるもの一つを選んでください。
【 必須入力 】

【2回以上訪れている】
○ 1. 月1回以上
○ 2. 3か月に1回以上
○ 3. 半年に1回以上
○ 4. 年に1回以上
○ 5. 2年に1回以上
○ 6. 5年に1回以上
○ 7. 5年に1回未満
【2回以上訪れたことは無い】
○ 8. 1回のみ
○ 9. 訪れたことは無い

Q6 あなたは、Q5で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。
あてはまるもの一つを選んでください。
名古屋市内の観光施設を訪れる頻度(Q5)の回答：【【Q5の選択内容】】
【 必須入力 】

【2回以上訪れている】
○ 1. 名古屋市内に訪れた際、毎回名古屋城でお城観光をする
○ 2. 名古屋市内に訪れた際、2回に1回程度名古屋城でお城観光をする
○ 3. 名古屋市内に訪れた際、3回に1回程度名古屋城でお城観光をする
○ 4. 名古屋市内に訪れた際、5回に1回程度名古屋城でお城観光をする
○ 5. 名古屋市内に訪れた際、上記よりも低い頻度で名古屋城でお城観光をする
【2回以上訪れていない】
○ 6. 名古屋市内に訪れた際、一度のみ名古屋城でお城観光をした
○ 7. 名古屋城でお城観光をしたことはない

Q7 どのような理由で名古屋城の「お城観光」をしていますか。あてはまるものを全て選んでください。
【 必須入力 】

☐ 1. 天守閣や本丸御殿を見学するため
☐ 2. 花を見るため（桜、さつき、菊、つばき等）
☐ 3. 夏まつりや秋まつりなどのイベントを見るため

☐ 4. 茶会を体験するため
☐ 5. 名古屋おもてなし武将隊や忍者隊に会うため
☐ 6. 大相撲観戦のついで
☐ 7. 友人・知人の名古屋観光で案内するため
☐ 8. 名古屋訪問のついで
☐ 9. その他（具体的に）

☐ 10. 特に理由はない

Q8 前回、名古屋城を「お城観光」したときに、その前後で訪れた観光施設（地域）はありましたか。
あてはまるものを全て選択してください。
【必須入力】

☐ 1. 名古屋城のみ

〔名古屋市内〕
☐ 2. 名駅周辺
☐ 3. 栄・久屋大通
☐ 4. テレビ塔
☐ 5. 大須
☐ 6. トヨタ産業技術記念館
☐ 7. ノリタケの森
☐ 8. 文化のみち二葉館
☐ 9. 徳川園
☐ 10. ナゴヤドーム
☐ 11. 東山動植物園
☐ 12. 名古屋港水族館
☐ 13. 名古屋市科学館
☐ 14. 熱田神宮
☐ 15. リニア・鉄道館
☐ 16. レゴランド
☐ 17. 四間道・円頓寺
☐ 18. その他、名古屋市内（具体的に）

〔名古屋市外〕
☐ 19. 愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
☐ 20. 犬山市・犬山城・明治村
☐ 21. 岡崎市・岡崎城
☐ 22. 香嵐渓
☐ 23. セントレア（中部国際空港）
☐ 24. 知多・常滑
☐ 25. 蒲郡・ラグーナテンボス
☐ 26. 岐阜公園・岐阜城・鵜飼い
☐ 27. ナガシマリゾート
☐ 28. 高山
☐ 29. 郡上・下呂
☐ 30. 伊勢・志摩・鳥羽
☐ 31. 静岡・浜松・富士山
☐ 32. その他、名古屋市外（具体的に）

Q9 「名古屋城」を「お城観光」したことがない理由をおしえてください。あてはまるものを全て選んでください。
【必須入力】

☐ 1. 名古屋城へのアクセスがわかりづらい
☐ 2. 名古屋城に魅力を感じない
☐ 3. 名古屋の観光に魅力を感じない
☐ 4. 名古屋城をよく知らない
☐ 5. 有料である
☐ 6. お城に興味がない
☐ 7. その他

☐ 8. 特に理由はない

Q10 「名古屋城天守閣の木造復元」について、ご存じですか。あてはまるもの一つを選んでください。
【必須入力】

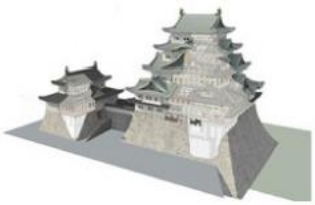
○ 1. 知っており、興味がある
○ 2. 知っているが、興味はない
○ 3. 知らないが、興味がある
○ 4. 知らないし、興味もない

以下の内容をご覧いただき設問にご回答ください。

〔名古屋城天守閣の木造復元の背景〕

名古屋城は、徳川幕府を開いた徳川家康の命令により築城されました。
名古屋城天守閣は、城郭建築としては延べ床面積が日本一の巨大な木造の城でした。
また、名古屋城本丸御殿は京都の二条城の二の丸御殿と並び、武家書院造の双璧と言われた木造建築物でした。
名古屋城は、城郭建築として国宝第1号として指定されていましたが、
第2次世界大戦時の空襲により、惜しくも焼失してしまいました。
名古屋城天守閣は、戦後、鉄筋コンクリート造で再建されましたが、
半世紀が経過し、施設の老朽化や耐震性など、様々な課題が発生している状態です。
焼失前の名古屋城については、豊富な資料が残されています。
江戸時代には、尾張藩士が、「金城温古録（きんじょうおんころく）」と呼ばれる名古屋城に関する詳細な資料を残しています。
また、焼失する前の木造の天守閣を計測した豊富な図面が残されています（昭和実測図）。
さらに、焼失前の木造の天守閣の内外を撮影した写真が残されています。
本来、要塞であって、内部構造を秘密にしておくべき城郭において、
こういった図面や写真といった資料が残されていることは世界的にも大変貴重なことであり、
史実に忠実な復元ができる唯一の城郭と言われています。
それらの資料を基に、名古屋市では、天守閣の木造復元を進めており、2022年12月の竣工を予定しています。
また、本丸御殿の復元事業を以前から進めており、完成した部分から順次公開を進めてきましたが、
いよいよ2018年6月に全体公開を開始します。

国後提供：名古屋城総合事務所



国後提供：㈱竹中工務店

名古屋城天守閣木造復元について：
http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/tenshukaku/03_fukugenjigyo/index.html

〔金シャチ横丁の紹介〕

「金シャチ横丁」とは、名古屋の武家文化のシンボルである名古屋城及びその周辺の魅力を一層向上させるとともに、
国内外からの来訪者に対して名古屋の魅力を発信することを目的とした施設で、2018年3月に開業します。
金シャチ横丁には、定番・老舗のなごやめし（名古屋名物の料理）、気概あふれる新興の店舗、
計19店舗が出店予定です（2017年10月現在）。

金シャチ横丁について：
http://kinshachi-y.jp/

Q11 「名古屋城天守閣の木造復元の背景」をご覧いただき、
これが実現した場合、名古屋城でお城観光をしたいという気持ちになりましたか。
※すでに行ったことがある方は、今後行きたいかどうかについてお答えください。
【 必須入力 】

○ 1. 名古屋城でお城観光をしたい気持ちになった
○ 2. 名古屋城でお城観光をしたい気持ちにはならない

Q12 名古屋城天守閣をコンクリートから木造に建て替えると、お城の「魅力」は増すと思いますか。
【必須入力】

○1. 増すと思う
○2. 変わらない
○3. コンクリートの方がいい

Q13 あなたは、名古屋城周辺に「金シャチ横丁」(2018年予定)ができた場合、「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。
お城観光をしてみたい方は、その頻度も併せてお知らせください。
あてはまるもの一つを選んでください。
【必須入力】

【2回以上お城観光したい】
○1. 月1回以上
○2. 3か月に1回以上
○3. 半年に1回以上
○4. 年に1回以上
○5. 2年に1回以上
○6. 5年に1回以上
○7. 5年に1回未満
【2回以上お城観光しなくてもよい】
○8. 1回のみ
○9. お城観光をしたいとは思わない

Q14 「名古屋城天守閣の木造復元」の工事期間(2020年～2022年)は「天守閣」のみ入場できませんが
高度で大規模な木造建築技術や匠の技を間近に見ることのできる唯一の期間でもあります。
工事期間中に「名古屋城」に行きたいと思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。
【必須入力】

○1. 工事期間中に一度は見学したい
○2. 工事期間中に複数回見学したい
○3. 工事期間中は見学してみたいとは思わない

Q15 あなたは、どれくらいの頻度(回数)で「名古屋城天守閣の木造復元」後の名古屋城でお城観光をしたいと思いますか。
あてはまるもの一つを選んでください。(料金、周辺施設、交通アクセス等は現在と同じ条件とします)
【必須入力】

【2回以上お城観光したい】
○1. 月1回以上
○2. 3か月に1回以上
○3. 半年に1回以上
○4. 年に1回以上
○5. 2年に1回以上
○6. 5年に1回以上
○7. 5年に1回未満
【2回以上お城観光しなくてもよい】
○8. 1回のみ
○9. お城観光をしたいとは思わない

Q16 「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、
名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。
以下の(1)～(17)の項目について、お考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んでください。
※お城観光する頻度が減るまたはお城観光したい気持ちが低くなる場合は、「変わらない」をお選びください。
【 必須入力 】

		1 お城観光する頻度が増える	2 お城観光したい気持ちが高まる	3 変わらない
1. 収蔵品などの企画展が定期的に開催される	→	○	○	○
2. 城内で魅力的なイベントが開催される	→	○	○	○
3. ガイドツアーが開催される	→	○	○	○
4. 城内に広い休憩施設がある	→	○	○	○
5. 広くてきれいなトイレがある	→	○	○	○
6. バリアフリー整備や車いすサービスがある	→	○	○	○
7. 徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある	→	○	○	○
8. 徒歩圏に宿泊施設がある	→	○	○	○
9. 公共交通アクセスが便利になる	→	○	○	○
10. 年間パスなどお得な料金メニューがある	→	○	○	○
11. 名古屋に魅力的な観光スポットが増える	→	○	○	○
12. 写真映えするスポットがある	→	○	○	○
13. こども連れにやさしい設備がある(おむつ替え、授乳設備)	→	○	○	○
14. 名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる	→	○	○	○
15. WEBやSNSで事前の情報収集が十分にできる	→	○	○	○
16. 城を観光するパックツアーがある	→	○	○	○
17. 周辺観光情報が得られる案内所がある	→	○	○	○

Q17 現在、名古屋城の入場料金は一般大人500円、中学生以下無料です。
あなたは、入場料金一般大人が1,000円になった場合、Q15で回答した頻度(回数)は変わると思いますか。
当てはまるもの一つを選んでください。変化が想定されない場合は、同じ選択肢を選んでください。
「名古屋城天守閣の木造復元」後に「お城観光」をしたい頻度(Q15)の回答 【【Q15の選択内容】】
【 必須入力 】

▼ 参考までに、類似施設の料金は以下のとおりです。 ▼

東京スカイツリー天望デッキ(当日券大人2,060円、高校生・中学生1,540円、小学生930円、幼児620円
東京タワー大展望台(高校生以上900円、小中学生500円、幼児400円)
姫路城(18歳以上1,000円、小学生～高校生300円)
大阪城天守閣(大人600円、中学生以下無料)
名古屋テレビ塔展望料金(昼)(大人700円、高校・大学生600円、小・中学生300円、シニア600円)

【2回以上お城観光したい】
○ 1. 月1回以上
○ 2. 3か月に1回以上
○ 3. 半年に1回以上
○ 4. 年に1回以上
○ 5. 2年に1回以上
○ 6. 5年に1回以上
○ 7. 5年に1回未満
【2回以上お城観光しなくてもよい】
○ 8. 1回のみ
○ 9. お城観光をしたいとは思わない

Q18 リニア中央新幹線が2027年に品川－名古屋間、2037年に品川－名古屋－新大阪間で開業する予定です。
品川－名古屋間は40分、新大阪－名古屋間は20分と、現在の新幹線料金に数百円の料金を追加することで利用でき、
名古屋へのアクセス利便性がよくなります。
リニア中央新幹線ができることで、名古屋市に観光に訪れたいと思いますか。
名古屋城天守閣の木造復元がされた状態であることを前提としてお考えください。
【 必須入力 】

【2回以上訪れたい】
○1. 月1回以上
○2. 3か月に1回以上
○3. 半年に1回以上
○4. 年に1回以上

○5. 2年に1回以上
○6. 5年に1回以上
○7. 5年に1回未満
【2回以上訪れなくてもよい】
○8. 1回のみ
○9. 訪れたいとは思わない

Q19 リニア中央新幹線開業した後、Q18で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。
あてはまるもの一つを選んでください。
リニア中央新幹線ができることで、名古屋市に観光に訪れたい頻度(Q18)の回答 【【Q18の選択内容】】
【 必須入力 】

【2回以上訪れたい】
○1. 名古屋城で毎回お城観光をしたい
○2. 名古屋城で2回に1回程度お城観光をしたい
○3. 名古屋城で3回に1回程度お城観光をしたい
○4. 名古屋城で5回に1回程度お城観光をしたい
○5. 名古屋城で上記よりも低い頻度でお城観光をしたい
【2回以上訪れなくてもよい】
○6. 名古屋城で一度はお城観光をしたい
○7. 名古屋城でお城観光はしない

Q20 「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、
名古屋市外に住む家族、友人・知人があなたのお住まいの地域や名古屋市に来るときに、
名古屋城の「お城観光」をお勧めしますか。あてはまるもの一つ選んでください。
【 必須入力 】

○1. 強く勧める
○2. いくつかのスポットの1つとして勧める
○3. どちらともいえない
○4. 勧めない

Q21 「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、
名古屋市外に住む家族、友人・知人があなたのお住まいの地域や名古屋市に来るときに、
何が充実していると名古屋城の「お城観光」をお勧めしたいと思いますか。
特に重要と考えるもの一つを選んでください。
【 必須入力 】

○1. 収蔵品などの企画展が定期的に開催される
○2. 城内で魅力的なイベントが開催される
○3. ガイドツアーが開催される
○4. 城内に広い休憩施設がある
○5. 広くてきれいなトイレがある
○6. バリアフリー整備や車いすサービスがある
○7. 徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある
○8. 徒歩圏に宿泊施設がある
○9. 公共交通アクセスが便利になる

○ 10. 年間パスなどお得な料金メニューがある
○ 11. 名古屋に魅力的な観光スポットが増える
○ 12. 写真映えするスポットがある
○ 13. こども連れにやさしい設備がある（おむつ替え、授乳設備）
○ 14. 名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる
○ 15. WEBやSNSで事前の情報収集が十分にできる
○ 16. 城を観光するバックツアーがある
○ 17. 周辺観光情報が得られる案内所がある

○ 18. 上記にあてはまるものはない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送　信

アンケート調査票（中国人）

S1 请选择您目前的居住国。
*

○ 1. 美国
○ 2. 中国

S2 请选择您的性别。
*

○ 1. 男性
○ 2. 女性

S3 请输入您的年龄。
*

[ ] 周岁

S4 请选择所有您至今去过的地区。
回答时无需考虑是出于观光或商务目的。*

☐ 1. 中国
☐ 2. 台湾
☐ 3. 澳门
☐ 4. 香港
☐ 5. 日本
☐ 6. 韩国
☐ 7. 北朝鲜
☐ 8. 蒙古国
☐ 9. 新加坡
☐ 10. 马来西亚
☐ 11. 泰国
☐ 12. 老挝
☐ 13. 印度尼西亚
☐ 14. 印度
☐ 15. 缅甸
☐ 16. 英国
☐ 17. 爱尔兰
☐ 18. 意大利
☐ 19. 圣马力诺
☐ 20. 德国
☐ 21. 奥地利
☐ 22. 列支敦士登
☐ 23. 瑞士
☐ 24. 比利时
☐ 25. 卢森堡
☐ 26. 法国
☐ 27. 摩纳哥
☐ 28. 西班牙
☐ 29. 葡萄牙
☐ 30. 安道尔
☐ 31. 梵蒂冈
☐ 32. 美国
☐ 33. 加拿大
☐ 34. 墨西哥
☐ 35. 巴西
☐ 36. 澳大利亚
☐ 37. 新西兰
☐ 38. 非洲
☐ 39. 中东
☐ 40. 其他

S5 您至今去过日本几次？请用数字填写。
*

[ ] 次

Q1 请问您现在有去日本旅游的计划吗？
*

○ 1. 有计划
○ 2. 没有计划

Q2 您去日本旅游时，期待以下内容吗？请单选一个最接近您想法的选项。
*

		1 非常期待	2 期待	3 不太期待
1. 拥有世界遗产及米其林指南等世界著名的旅游资源	→	○	○	○
2. 可以接触日本的历史和文化	→	○	○	○
3. 可以漫步传统街道	→	○	○	○
4. 可以接触感受四季的风景和大自然	→	○	○	○
5. 拥有可进行各种体验的旅游资源	→	○	○	○
6. 有节庆活动	→	○	○	○
7. 可以洗温泉	→	○	○	○
8. 可以接触手工、工业	→	○	○	○
9. 有购物景点	→	○	○	○
10. 可以进行城市观光	→	○	○	○
11. 可以享受日本的饮食文化	→	○	○	○
12. 口碑评价好	→	○	○	○
13. 被旅游指南介绍过	→	○	○	○
14. 目的地周边有充满魅力的旅游景点，可以一并进行周边旅游	→	○	○	○
15. 所处位置在行程上正好位于理想的距离和时间点上	→	○	○	○
16. 有喜欢的日式旅馆	→	○	○	○
17. 是此前没有造访过的地区	→	○	○	○
18. 其他	→	○	○	○

Q3 2020年举行的东京奥运会，会成为您前往日本的契机吗？
请选择1个相符的项。
*

○ 1. 会成为契机，并实施旅游计划
○ 2. 会成为契机，并会考虑旅游计划

Q4 计划前往日本旅游时，您想在东京奥运会的举办年(2020年)去吗？
请选择所有相符的项。
*

☐ 1. 想在东京奥运会的举办年去
☐ 2. 想在东京奥运会的举办年之前去
☐ 3. 想在东京奥运会的举办年之后去
☐ 4. 不介意旅游计划的时机(想去的时候去)
☐ 5. 不知道

名古屋市是位于日本中部的人口规模继东京、大阪之后的第3大城市。

Q5 您知道"名古屋"这座城市吗？请选择最符合的选项。
*

○ 1. 去过
○ 2. 没有去过，但知道地理位置和特产、旅游景点等
○ 3. 听说过城市名，但几乎不知道
○ 4. 完全不知道

Q6 您至今去名古屋旅游过几次？请用数字填写。
*

[ ] 次

Q7 将来到日本旅游时，您有想去名古屋旅游的意向吗？
*

○ 1. 非常想去
○ 2. 想去
○ 3. 不想去
○ 4. 不知道

Q8 您至今为止，有过游览以下日本城堡的经历吗？
*

		过去10年间的访问次数			
		无	1次	2次	3次及以上
城堡					
1. 名古屋城	→	○	○	○	○
2. 姬路城	→	○	○	○	○
3. 大阪城	→	○	○	○	○
4. 熊本城	→	○	○	○	○
5. 首里城	→	○	○	○	○
6. 松本城	→	○	○	○	○
7. 二条城	→	○	○	○	○

Q9 您今后在日本旅游时，有造访以下城堡的计划吗？
*

		今后想造访	今后不想造访	不知道
城堡				
1. 名古屋城	→	○	○	○
2. 姬路城	→	○	○	○
3. 大阪城	→	○	○	○
4. 熊本城	→	○	○	○
5. 首里城	→	○	○	○
6. 松本城	→	○	○	○
7. 二条城	→	○	○	○

Q10 您对日本的城堡期待怎样的事情？请在以下各项目中，选择最接近您想法的选项。
*

		1 非常重视	2 重视	3 不太重视
1. 在联合国教科文组织的世界遗产等被登记，具有知名度。	→	○	○	○
2. 保留建筑当时的状态等，城堡本身具有真实感	→	○	○	○
3. 免费无线网络等的通信环境完备	→	○	○	○
4. 可应对多国语言的工作人员和指示牌等完备	→	○	○	○
5. 定期举办收藏品等的企划·	→	○	○	○
6. 在城内举办有魅力的活动	→	○	○	○
7. 在城内举办导游解说	→	○	○	○
8. 城内有宽敞的休息设施	→	○	○	○
9. 有宽敞又干净的卫生间	→	○	○	○
10. 有无障碍设施和轮椅服务	→	○	○	○
11. 步行游览圈内有享受餐饮和购物的景点	→	○	○	○
12. 步行游览圈内有住宿设施	→	○	○	○
13. 公共交通方便	→	○	○	○
14. 全年通票等有优惠的价格	→	○	○	○
15. 有上镜的拍照景点	→	○	○	○
16. 有只有在城内才能买到或吃到的特别物品	→	○	○	○
17. 在网上或社交网站上事先可充分收集信息	→	○	○	○
18. 有游览该城的旅游套餐	→	○	○	○
19. 有可以获得周边观光信息的咨询处	→	○	○	○

▼ 请阅览以下内容后回答问题。 ▼

〔名古屋城天守阁的木造・・的・景・

名古屋城，由建立德川幕府的德川家康的命令而被建成。
名古屋城天守阁作为城郭式建筑，是总面积居日本第一的巨大木造之城。
此外，名古屋城本丸御殿是与京都二条城的二之丸御殿并列称为武家书院造双璧的木造建筑物。
名古屋城作为城郭式建筑被指定为国宝第1号，
但在第2次世界大战时遭到空袭，不幸被烧毁。
名古屋城天守阁，虽然在战后用钢筋混凝土重建，
但经过半个世纪，现正面临设施老化和耐震性等各种课题。
关于烧毁前的名古屋城，丰富的资料被保存了下来。
江户时期的尾张藩士保留下来了叫做"金城温古录"的名古屋城的相关详细资料。
另外，还保留了烧毁前测量木造的天守阁的丰富图纸（昭和实测图）。
并且，还保留了烧毁前的木造的天守阁内外的照片。
由于本来是要塞，所以须将内部结・・为秘密的城郭的
图纸和照片资料被保留下来在世界上也很罕见，
堪称是唯一可以忠实于史实进行・・的城・。
以这些资料为基础，名古屋市正在推进天守阁的木造・・，预计在2022年12月竣工。

另外，从前已经・・・进的本丸御殿的・・工・，正在・完成的部分・次进行公・，
2018年6月起将全部公・。

画像提供：名古屋城総合事務所

画像提供：(株)竹中工務店

关于名古屋城・・阁的木造・・：
http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/tenshukaku/03_fukugenjigyo/index.html

〔Kinshachi Yokocho的介绍〕

"Kinshachi Yokocho"是为进一步提高名古屋武家文化象征的名古屋城以及周边的魅力的同时，
面向来自日本国内外的来访者展现名古屋魅力为目的的设施，将于2018年3月・业。
在"Kinshachi Yokocho"，预计・设经典老字号的名古屋美食（名古屋特产的菜肴）、气派洋溢的新兴店铺等，
共19家店铺（2017年10月现在）。

关于"・-・・・・・・・・・・・・・・・":
http://kinshachi-y.jp/

Q11 如果将名古屋城天守阁从混凝土改建为木造，您认为会增加城堡的"魅力"吗？ *

- ○ 1. 认为会增加
- ○ 2. 没有变化
- ○ 3. 混凝土好

"名古屋城天守阁的木造・・"的施工期间（预计2020年～2022年），虽然仅"天守阁"无法进入，但也是能近看高水平大规模木造建筑技术和工匠技术的唯一期间。

Q12 如果名古屋城作为木造天守阁，以更高的真实感・・时，您想去名古屋城吗？

*

○ 1. 施工期间（2020年～2022年）想去
○ 2.・・后（2022年以后）想去
○ 3. 施工期间（2020年～2022年）和・・后（2022年以后）・想去
○ 4. 不想去

Q13 如果有和名古屋城相邻的"Kinshachi Yokocho"（2018年），您想去・・后的名古屋城吗？请选择1个相符的项。

*

○ 1. 非常想去
○ 2. 想去
○ 3. 不想去
○ 4. 不知道

Q14 您想・・"・悬浮列车"吗？

*

○ 1. 想
○ 2. 不想

Q15 另外，通过利用磁悬浮列车，东京至名古屋之间仅需40分钟，使游览东京的同时也便于去名古屋旅游。这样您想去名古屋市旅游吗？

*

○ 1. 想
○ 2. 不想

Q16 您去名古屋旅游时，想顺便去"名古屋城"吗？请选择1个相符的项。

*

○ 1. 如果是・・成・造，想顺便去"名古屋城"
○ 2. 即使不是・・成・造，・想顺便去"名古屋城"
○ 3. 即使是・・成・造，・不想顺便去"名古屋城"

Q17 如果再现名古屋城的木造的天守阁，加上在前面问题Q10中您回答"1.非常・视"的项目都被满足时，您想去名古屋城吗？

*

○ 1. 非常想去名古屋城
○ 2. 会考虑去名古屋城旅游
○ 3. 不想去

答卷结束。感谢您的参与。
请・认有无漏答，然后点击"提交"。

提　交

アンケート調査票（米国人）

S1 Please tell us your country of residence.
*

○ 1. United States
○ 2. China

S2 Please tell us your gender.
*

○ 1. Male
○ 2. Female

S3 Please tell us your age.
*

[ ] years old

S4 Please tell us all countries and regions you have ever visited.
Please include all visits whether it was for pleasure or business purpose. *

☐ 1. China
☐ 2. Taiwan
☐ 3. Macau
☐ 4. Hong Kong
☐ 5. Japan
☐ 6. South Korea
☐ 7. North Korea
☐ 8. Mongolia
☐ 9. Singapore
☐ 10. Malaysia
☐ 11. Thailand
☐ 12. Laos
☐ 13. Indonesia
☐ 14. India
☐ 15. Myanmar
☐ 16. United Kingdom
☐ 17. Ireland
☐ 18. Italy
☐ 19. San Marino
☐ 20. Germany
☐ 21. Austria
☐ 22. Liechtenstein
☐ 23. Switzerland
☐ 24. Belgium
☐ 25. Luxembourg
☐ 26. France
☐ 27. Monaco
☐ 28. Spain
☐ 29. Portugal
☐ 30. Andorra
☐ 31. Vatican City
☐ 32. United States
☐ 33. Canada
☐ 34. Mexico
☐ 35. Brazil
☐ 36. Australia
☐ 37. New Zealand
☐ 38. Africa
☐ 39. Middle East
☐ 40. Other

S5 How many times have you been to Japan? Please enter a number.
*

[ ] time(s)

Q1 As of now, do you have a plan to go to Japan for sightseeing?
*

○ 1. Yes
○ 2. No

Q2 Do you expect the following when you travel to Japan? Please choose the one that best describes your thoughts.
*

	1 I expect it very much	2 I expect it	3 I don't particularly expect it
1. There are world-famous destinations such as world heritage and Michelin-rated establishments →	○	○	○
2. I can see the history and culture of Japan →	○	○	○
3. I can stroll through traditional townscape →	○	○	○
4. I can see seasonal changes in scenery and nature →	○	○	○
5. There are tourist attractions/activities where I can have various experiences →	○	○	○
6. There are festivals and events →	○	○	○
7. There are hot springs →	○	○	○
8. I can see manufacturing and industries →	○	○	○
9. There are shopping destinations →	○	○	○
10. I can tour cities →	○	○	○
11. I can enjoy the Japanese food culture →	○	○	○
12. It has excellent consumer reviews →	○	○	○
13. It is listed in a guidebook →	○	○	○
14. There are attractive tourist spots around the destination so that I can include them in my sightseeing →	○	○	○
15. It is ideally located in terms of distance and time for my itinerary →	○	○	○
16. There are Japanese-style inns suitable to my taste →	○	○	○
17. It is an area I have not visited in the past →	○	○	○
18. Other →	○	○	○

Q3

Would the Tokyo Olympics to be held in 2020 give you a reason to go to Japan? Please choose the one that applies.
*

○ 1. Yes, I will make a travel plan
○ 2. Yes, I will consider making a travel plan
○ 3. No

Q4 **If you plan to travel to Japan, would you want to go in the year the Tokyo Olympics will be held (2020)? Please choose all that apply.**
*

☐ 1. I want to go in the year the Tokyo Olympics will be held
☐ 2. I want to go before the year the Tokyo Olympics will be held
☐ 3. I want to go after the year the Tokyo Olympics will be held
☐ 4. I don't care about the timing of my travel plan (I'll go when I want to)
☐ 5. I don't know

The city of Nagoya located in central Japan is the third largest city after Tokyo and Osaka in terms of population.

Q5 **Have you heard of a city called "Nagoya?" Please choose the one that is most applicable.**
*

○ 1. I have been there
○ 2. I know where it is, what they are famous for, where tourist spots are, etc. although I have never been there
○ 3. I barely know about it, although I have heard of the name of the city
○ 4. I have never heard of it

Q6 **How many times have you been to Nagoya for sightseeing? Please enter a number.**
*

[ ] time(s)

Q7 **When you travel to Japan in the future, would you go sightseeing in Nagoya?**
*

○ 1. I would love to go
○ 2. I would like to go
○ 3. I don't particularly want to go
○ 4. I don't know

Q8 Have you ever visited the following Japanese castles for sightseeing?
*

Castles	Number of visits in the past 10 years			
	Zero	Once	Twice	Three times or more
1. Nagoya Castle →	○	○	○	○
2. Himeji Castle →	○	○	○	○
3. Osaka Castle →	○	○	○	○
4. Kumamoto Castle →	○	○	○	○
5. Shuri Castle →	○	○	○	○
6. Matsumoto Castle →	○	○	○	○
7. Nijo Castle →	○	○	○	○

Q9 Do you plan to visit the following castles when you travel to Japan in the future?
*

Castles	I would like to visit it in the future	I don't particularly want to visit it in the future	I don't know
1. Nagoya Castle →	○	○	○
2. Himeji Castle →	○	○	○
3. Osaka Castle →	○	○	○
4. Kumamoto Castle →	○	○	○

Q10 What kind of expectations do you have with Japanese castles? Please choose the one that best describes your thoughts for each of the following items.
*

	1 I consider it very important	2 I consider it important	3 I don't particularly consider it important
1. It is well-known by being registered as a UNESCO World Heritage Site, etc. →	○	○	○
2. The castle itself is authentic such as maintaining the appearance from the time of construction →	○	○	○
3. The environment for telecommunication, like free Wi-Fi, is available →	○	○	○
4. Staff members and directional signage are available in multiple languages →	○	○	○
5. Rotating exhibits of collections and other items are held on regular basis →	○	○	○
6. Attractive events are held at the site of the castle →	○	○	○
7. Guided tours are provided inside the castle →	○	○	○
8. There is a large rest area at the site of the castle →	○	○	○
9. There are large, clean restroom facilities →	○	○	○
10. Wheelchair-accessible facilities and wheelchair services are available →	○	○	○
11. There are places for dining and shopping within walking distance →	○	○	○
12. There are lodging facilities within walking distance →	○	○	○
13. The access to public transportation is convenient →	○	○	○
14. An array of discount prices such as annual pass is available →	○	○	○
15. There are great spots for photos →	○	○	○
16. I can purchase/eat something special to the castle →	○	○	○
17. I can collect sufficient information in advance on the Internet or social media →	○	○	○
18. There are packaged tours to visit the castle →	○	○	○
19. There is an information desk where I can obtain information on surrounding tourist spots →	○	○	○

[Background of the wooden restoration of the Nagoya Castle donjon]

Nagoya Castle was built by the order of Tokugawa Ieyasu who founded the Tokugawa shogunate.
The Nagoya Castle donjon was a huge wooden castle with the largest total floor area among all castle buildings in Japan.
Nagoya Castle's Hommaru Palace was also a wooden building touted as one of the two master "samurai-style shoin zukuri" along with Nijo Castle's Ninomaru Palace in Kyoto.
Nagoya Castle was designated as the first National Treasure castle building.
However, it was unfortunately burned down by air raids during the World War II.
Although the Nagoya Castle donjon was rebuilt as a reinforced concrete structure after the war,
various problems such as aging facilities and inadequate earthquake resistance have been surfacing after half a century has passed.
There is plenty of information remaining on the Nagoya Castle before it burned down.
The Owari clan in the Edo period has left detailed documentations called "Kinjo onkoroku" on the Nagoya Castle.
There is also plenty of drawings that measured the wooden donjon before it burned down (the Showa actual measurement diagrams).
Furthermore, photographs remain of the inside and outside the wooden donjon prior to being burned down.
Considering that it is a fortress castle with which the internal structure should have been kept secret,
the fact these diagrams and photographs were left is extremely rare even worldwide.
Therefore, it has been said it is the only castle that can be restored faithfully to historical facts.
Based on these documentations, the city of Nagoya is undertaking the wooden restoration of the donjon, planning to complete the construction in December 2022.
In addition, a restoration project has been underway for Hommaru Palace for some time and the completed parts have been unveiled sequentially to the public.
The entire project will be finally made open to the public in June 2018.

画像提供：名古屋城総合事務所

画像提供：(株)竹中工務店

About Wooden restoration of the Nagoya Castle donjon:
http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/tenshukaku/03_fukugenjigyo/index.html

[Introduction to Kinshachi Yokocho]

"Kinshachi Yokocho," which is a facility intended to further improve Nagoya Castle—a symbol of samurai culture in Nagoya—and the surrounding area
and communicate the charms of Nagoya to domestic and international visitors, will open in March 2018.
A total of 19 stores, including restaurants offering the standard, traditional Nagoya food (specialty dishes in Nagoya) and spirited emerging stores,
are scheduled to open in Kinshachi Yokocho (as of October 2017).

Q11 **Do you think the attractiveness of the Nagoya Castle donjon will increase once the concrete version is rebuilt with wood?** *

- ○ 1. The attractiveness will increase
- ○ 2. The attractiveness will stay the same
- ○ 3. I prefer concrete

Q12 Would you like to go to Nagoya Castle once it is more realistically restored as a wooden donjon?
*

- ○ 1. I would like to go during the construction period (2020 to 2022)
- ○ 2. I would like to go after the restoration (2022 or after)
- ○ 3. I would like to go both during the construction period (2020 to 2022) and after the restoration (2022 or after)
- ○ 4. I don't particularly want to go

Q13 Would "Kinshachi Yokocho" (opens in 2018) adjacent to Nagoya Castle make you want to go to the restored Nagoya Castle? Please choose the one that applies.
*

- ○ 1. I would love to go
- ○ 2. I would like to go
- ○ 3. I don't particularly want to go
- ○ 4. I don't know

In addition to the restoration of Nagoya Castle's wooden donjon in 2022, a high-speed railroad (the world's first levitated linear motor train that runs at 500km/h which will shorten the current travel time of 1 hour 30 minutes between Tokyo and Nagoya to 40 minutes) is expected to open in 2027 between Tokyo and Nagoya (approximately 300km).

Q14 Would you like to ride this linear motor train?
*

- ○ 1. Yes
- ○ 2. No

Q15 By using the linear motor train which will travel between Tokyo and Nagoya in 40 minutes, sightseeing Nagoya along with sightseeing Tokyo will also become easy. Would it make you want to go to Nagoya City for sightseeing?
*

- ○ 1. Yes
- ○ 2. No

Q16 Would you like to stop by at Nagoya Castle when you go to Nagoya for sightseeing? Please choose the one that applies.
*

- ○ 1. I would like to stop by at Nagoya Castle if it is going to be restored with wood
- ○ 2. I would like to stop by at Nagoya Castle even if it is not restored with wood
- ○ 3. I wouldn't stop by at Nagoya Castle even if it is restored with wood

Q17 If all items you said "I consider it very important" in the previous Q10 were satisfied in addition to the reconstruction of Nagoya Castle's wooden donjon, would it make you want to go to Nagoya Castle?

*

- ○ 1. I would love to go to Nagoya Castle
- ○ 2. I would like to consider visiting Nagoya Castle
- ○ 3. I don't particularly want to go

This is the end of the questionnaire. Thank you for your cooperation.
Please review your answers and click "Send".

Send

推計結果詳細

入場者母数

		実績値	市内	市外	首都圏	近畿圏	その他	外国人	合計
H22	2010	1,517,727							
H23	2011	1,414,769							
H24	2012	1,472,305							
H25	2013	1,657,370							
H26	2014	1,641,787							
H27	2015	1,740,178							
H28	2016	1,919,479							
H29	2017		200,903	466,043	399,465	201,952	266,310	325,537	1,860,210
H30	2018		201,690	467,869	401,031	202,743	267,354	371,877	1,912,565
H31	2019		202,465	469,667	402,571	203,522	268,381	587,400	2,134,006
H32	2020		203,215	471,406	404,062	204,276	269,375	642,350	2,194,684
H33	2021		203,807	472,780	405,240	204,871	270,160	674,188	2,231,045
H34	2022		204,414	474,189	406,447	205,482	270,965	706,025	2,267,522
H35	2023		205,009	475,568	407,629	206,079	271,753	737,863	2,303,901
H36	2024		205,586	476,906	408,777	206,659	272,518	761,091	2,331,536
H37	2025		206,126	478,161	409,852	207,203	273,235	784,319	2,358,896
H38	2026		206,522	479,078	410,638	207,600	273,759	807,547	2,385,143
H39	2027		206,921	480,005	411,433	208,002	274,289	830,775	2,411,425
H40	2028		207,311	480,908	412,207	208,393	274,805	854,003	2,437,626
H41	2029		207,676	481,754	412,932	208,760	275,288	877,231	2,463,641
H42	2030		208,021	482,557	413,620	209,108	275,747	900,459	2,489,511
H43	2031		208,157	482,872	413,890	209,245	275,927	900,459	2,490,550
H44	2032		208,278	483,152	414,130	209,366	276,087	900,459	2,491,470
H45	2033		208,380	483,389	414,333	209,468	276,222	900,459	2,492,251
H46	2034		208,457	483,568	414,487	209,546	276,325	900,459	2,492,841
H47	2035		208,511	483,691	414,593	209,600	276,395	900,459	2,493,248
H48	2036		208,570	483,829	414,710	209,659	276,474	900,459	2,493,700
H49	2037		208,617	483,939	414,805	209,707	276,537	900,459	2,494,064
H50	2038		208,654	484,024	414,878	209,744	276,585	900,459	2,494,344
H51	2039		208,680	484,085	414,930	209,770	276,620	900,459	2,494,544
H52	2040		208,697	484,124	414,963	209,787	276,642	900,459	2,494,672
H53	2041		208,705	484,143	414,979	209,795	276,653	900,459	2,494,733
H54	2042		208,705	484,143	414,980	209,796	276,653	900,459	2,494,737
H55	2043		208,699	484,129	414,968	209,789	276,645	900,459	2,494,690
H56	2044		208,688	484,102	414,945	209,778	276,630	900,459	2,494,601
H57	2045		208,672	484,065	414,913	209,761	276,608	900,459	2,494,477
H58	2046		208,652	484,019	414,873	209,741	276,582	900,459	2,494,326
H59	2047		208,629	483,965	414,827	209,718	276,551	900,459	2,494,149
H60	2048		208,603	483,905	414,776	209,692	276,517	900,459	2,493,951
H61	2049		208,574	483,838	414,718	209,663	276,479	900,459	2,493,730
H62	2050		208,542	483,764	414,655	209,631	276,436	900,459	2,493,486
H63	2051		208,506	483,681	414,583	209,595	276,389	900,459	2,493,213
H64	2052		208,466	483,587	414,503	209,555	276,336	900,459	2,492,905
H65	2053		208,420	483,481	414,413	209,509	276,275	900,459	2,492,556
H66	2054		208,368	483,360	414,309	209,456	276,206	900,459	2,492,157
H67	2055		208,308	483,222	414,190	209,396	276,127	900,459	2,491,701
H68	2056		208,240	483,063	414,054	209,327	276,036	900,459	2,491,178
H69	2057		208,161	482,882	413,898	209,249	275,932	900,459	2,490,581
H70	2058		208,073	482,676	413,722	209,160	275,815	900,459	2,489,904
H71	2059		207,973	482,445	413,524	209,059	275,683	900,459	2,489,143
H72	2060		207,862	482,187	413,303	208,948	275,536	900,459	2,488,295
H73	2061		207,849	482,156	413,277	208,934	275,518	900,459	2,488,193
H74	2062		207,778	481,992	413,136	208,863	275,424	900,459	2,487,653
H75	2063		207,708	481,828	412,996	208,792	275,331	900,459	2,487,113
H76	2064		207,637	481,664	412,855	208,721	275,237	900,459	2,486,573
H77	2065		207,566	481,500	412,715	208,650	275,143	900,459	2,486,033
H78	2066		207,495	481,337	412,574	208,579	275,049	900,459	2,485,493
H79	2067		207,425	481,173	412,434	208,508	274,956	900,459	2,484,953
H80	2068		207,354	481,009	412,293	208,437	274,862	900,459	2,484,413
H81	2069		207,283	480,845	412,152	208,366	274,768	900,459	2,483,873
H82	2070		207,213	480,681	412,012	208,295	274,675	900,459	2,483,333
H83	2071		207,142	480,517	411,871	208,224	274,581	900,459	2,482,793

基本シナリオ

単位：人

		実績値	市内	市外	首都圏	関西圏	その他	外国人	合計
H22	2010	1,517,727							
H23	2011	1,414,769							
H24	2012	1,472,305							
H25	2013	1,657,370							
H26	2014	1,641,787							
H27	2015	1,740,178							
H28	2016	1,919,479							
H29	2017		200,903	466,043	399,465	201,952	266,310	325,537	1,860,210
H30	2018		135,173	338,236	239,517	178,569	184,400	371,877	1,447,772
H31	2019		127,464	318,683	216,050	162,992	166,882	626,360	1,618,432
H32	2020		147,757	313,483	204,936	160,332	160,554	734,890	1,721,953
H33	2021		164,194	346,408	226,063	176,233	176,832	715,550	1,805,279
H34	2022		192,958	377,380	376,419	256,148	276,533	789,910	2,269,348
H35	2023		314,149	541,864	873,661	533,156	612,935	942,195	3,817,961
H36	2024		253,257	446,979	710,622	449,012	505,114	766,681	3,131,665
H37	2025		227,350	406,360	640,939	412,535	458,725	699,628	2,845,537
H38	2026		227,693	406,208	640,962	411,317	457,092	720,549	2,863,821
H39	2027		228,035	406,148	641,136	410,306	456,391	741,454	2,883,471
H40	2028		228,362	406,074	900,696	409,284	455,674	830,704	3,230,793
H41	2029		228,662	405,963	898,687	408,236	454,920	853,693	3,250,161
H42	2030		228,939	405,825	896,634	407,168	454,137	876,660	3,269,363
H43	2031		229,012	405,710	895,289	406,711	453,893	876,660	3,267,275
H44	2032		229,067	405,469	893,710	405,909	452,987	876,660	3,263,802
H45	2033		229,102	405,202	892,088	405,088	452,055	876,660	3,260,193
H46	2034		229,110	404,898	890,409	404,241	451,085	876,660	3,256,401
H47	2035		229,091	404,558	888,674	403,369	450,080	876,660	3,252,431
H48	2036		229,075	404,236	886,822	402,622	449,567	876,660	3,248,980
H49	2037		229,045	403,893	884,965	401,814	448,702	876,660	3,245,078
H50	2038		229,003	403,535	883,083	501,584	447,821	876,660	3,341,685
H51	2039		228,950	403,161	881,177	499,959	446,924	876,660	3,336,831
H52	2040		228,889	402,774	879,249	498,325	446,013	876,660	3,331,908
H53	2041		228,818	402,378	877,315	496,699	445,127	876,660	3,326,997
H54	2042		228,737	401,973	875,375	495,079	444,241	876,660	3,322,064
H55	2043		228,648	401,561	873,431	493,465	443,355	876,660	3,317,119
H56	2044		228,552	401,143	871,486	491,858	442,472	876,660	3,312,171
H57	2045		228,453	400,722	869,542	490,259	441,591	876,660	3,307,228
H58	2046		228,351	400,297	867,601	488,669	440,715	876,660	3,302,294
H59	2047		228,247	399,870	865,664	487,088	439,844	876,660	3,297,374
H60	2048		228,139	399,442	863,732	485,517	438,979	876,660	3,292,468
H61	2049		228,029	399,011	861,804	483,955	438,119	876,660	3,287,577
H62	2050		227,913	398,579	859,880	482,401	437,263	876,660	3,282,696
H63	2051		227,792	398,143	857,958	480,856	436,411	876,660	3,277,821
H64	2052		227,664	397,703	856,037	479,319	435,562	876,660	3,272,945
H65	2053		227,527	397,258	854,114	477,787	434,714	876,660	3,268,060
H66	2054		227,380	396,806	852,187	476,261	433,866	876,660	3,263,159
H67	2055		227,223	396,344	850,253	474,739	433,015	876,660	3,258,234
H68	2056		227,053	395,873	848,310	473,219	432,160	876,660	3,253,275
H69	2057		226,870	395,389	846,355	471,701	431,300	876,660	3,248,276
H70	2058		226,673	394,893	844,387	470,184	430,434	876,660	3,243,230
H71	2059		226,463	394,383	842,404	468,666	429,560	876,660	3,238,134
H72	2060		226,238	393,858	840,404	467,148	428,677	876,660	3,232,985
H73	2061		226,102	393,478	838,641	465,742	427,945	876,660	3,228,568
H74	2062		225,909	393,017	836,756	464,288	427,137	876,660	3,223,767
H75	2063		225,712	392,558	834,881	462,845	426,337	876,660	3,218,994
H76	2064		225,513	392,101	833,017	461,413	425,546	876,660	3,214,249
H77	2065		225,310	391,647	831,162	459,992	424,762	876,660	3,209,532
H78	2066		225,104	391,194	829,318	458,581	423,986	876,660	3,204,843
H79	2067		224,895	390,744	827,483	457,181	423,218	876,660	3,200,181
H80	2068		224,683	390,296	825,659	455,792	422,457	876,660	3,195,546
H81	2069		224,469	389,850	823,844	454,413	421,704	876,660	3,190,939
H82	2070		224,252	389,406	822,040	453,044	420,958	876,660	3,186,359
H83	2071		224,032	388,965	820,245	451,686	420,219	876,660	3,181,806

低位シナリオ

単位：人

年度		実績値	市内	市外	首都圏	関西圏	その他	外国人	合計
H22	2010	1,517,727							
H23	2011	1,414,769							
H24	2012	1,472,305							
H25	2013	1,657,370							
H26	2014	1,641,787							
H27	2015	1,740,178							
H28	2016	1,919,479							
H29	2017		200,903	466,043	399,465	201,952	266,310	325,537	1,860,210
H30	2018		134,790	337,345	238,912	178,237	183,985	371,877	1,445,146
H31	2019		126,738	316,993	214,951	162,380	166,125	626,360	1,613,547
H32	2020		146,490	310,977	203,365	159,425	159,456	734,890	1,714,603
H33	2021		162,354	342,784	223,795	174,924	175,248	715,550	1,794,654
H34	2022		190,093	372,274	371,330	253,621	273,202	789,910	2,250,430
H35	2023		309,030	533,970	861,158	527,581	605,098	942,195	3,779,032
H36	2024		273,815	420,687	678,543	415,159	476,425	766,681	3,031,310
H37	2025		239,501	372,002	600,089	366,690	421,029	699,628	2,698,939
H38	2026		239,318	371,291	599,082	365,381	419,019	720,549	2,714,640
H39	2027		239,132	370,668	598,219	364,274	417,923	741,454	2,731,670
H40	2028		238,929	370,028	850,519	363,155	416,808	830,704	3,070,142
H41	2029		238,698	369,352	847,520	362,011	415,658	853,693	3,086,931
H42	2030		238,443	368,649	844,478	360,847	414,479	876,660	3,103,555
H43	2031		238,136	368,126	842,425	360,299	414,005	876,660	3,099,651
H44	2032		237,813	367,480	840,144	359,409	412,883	876,660	3,094,389
H45	2033		237,471	366,812	837,828	358,504	411,738	876,660	3,089,013
H46	2034		237,106	366,114	835,464	357,577	410,564	876,660	3,083,485
H47	2035		236,717	365,388	833,056	356,630	409,360	876,660	3,077,811
H48	2036		236,332	364,677	830,542	355,784	408,593	876,660	3,072,588
H49	2037		235,936	363,950	828,030	354,882	407,489	876,660	3,066,947
H50	2038		235,531	363,212	825,500	451,253	406,372	876,660	3,158,528
H51	2039		235,117	362,464	822,954	449,566	405,245	876,660	3,152,005
H52	2040		234,697	361,706	820,392	447,872	404,108	876,660	3,145,436
H53	2041		234,271	360,944	817,832	446,189	402,997	876,660	3,138,892
H54	2042		233,837	360,176	815,271	444,511	401,887	876,660	3,132,342
H55	2043		233,397	359,405	812,712	442,841	400,779	876,660	3,125,793
H56	2044		232,954	358,631	810,158	441,178	399,673	876,660	3,119,254
H57	2045		232,510	357,857	807,610	439,523	398,572	876,660	3,112,732
H58	2046		232,066	357,082	805,070	437,878	397,476	876,660	3,106,232
H59	2047		231,622	356,308	802,539	436,242	396,385	876,660	3,099,756
H60	2048		231,176	355,535	800,018	434,616	395,301	876,660	3,093,305
H61	2049		230,730	354,764	797,505	433,000	394,222	876,660	3,086,881
H62	2050		230,283	353,993	795,002	431,393	393,149	876,660	3,080,479
H63	2051		229,832	353,223	792,507	429,795	392,082	876,660	3,074,097
H64	2052		229,377	352,452	790,019	428,205	391,018	876,660	3,067,731
H65	2053		228,918	351,680	787,535	426,623	389,958	876,660	3,061,374
H66	2054		228,453	350,905	785,056	425,048	388,900	876,660	3,055,021
H67	2055		227,981	350,127	782,578	423,479	387,843	876,660	3,048,667
H68	2056		227,501	349,344	780,101	421,915	386,786	876,660	3,042,306
H69	2057		227,014	348,556	777,622	420,356	385,728	876,660	3,035,934
H70	2058		226,518	347,762	775,140	418,800	384,668	876,660	3,029,548
H71	2059		226,014	346,961	772,656	417,248	383,606	876,660	3,023,144
H72	2060		225,501	346,153	770,169	415,700	382,542	876,660	3,016,724
H73	2061		225,034	345,416	767,799	414,209	381,551	876,660	3,010,669
H74	2062		224,536	344,640	765,375	412,699	380,526	876,660	3,004,436
H75	2063		224,036	343,865	762,960	411,197	379,507	876,660	2,998,225
H76	2064		223,533	343,092	760,555	409,705	378,492	876,660	2,992,036
H77	2065		223,027	342,320	758,159	408,221	377,484	876,660	2,985,870
H78	2066		222,519	341,549	755,772	406,746	376,480	876,660	2,979,726
H79	2067		222,009	340,780	753,394	405,280	375,482	876,660	2,973,603
H80	2068		221,496	340,012	751,025	403,822	374,489	876,660	2,967,503
H81	2069		220,981	339,246	748,665	402,373	373,501	876,660	2,961,424
H82	2070		220,463	338,480	746,313	400,932	372,518	876,660	2,955,366
H83	2071		219,944	337,717	743,971	399,500	371,539	876,660	2,949,330

高位シナリオ

単位：人

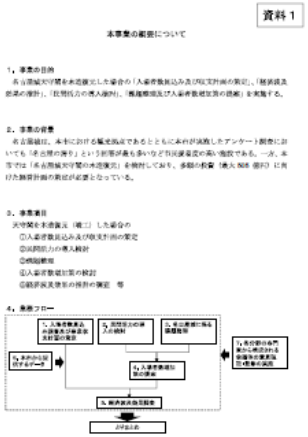
	年度	実績値	市内	市外	首都圏	関西圏	その他	外国人	合計
H22	2010	1,517,727							
H23	2011	1,414,769							
H24	2012	1,472,305							
H25	2013	1,657,370							
H26	2014	1,641,787							
H27	2015	1,740,178							
H28	2016	1,919,479							
H29	2017		200,903	466,043	399,465	201,952	266,310	325,537	1,860,210
H30	2018		135,173	338,236	239,517	178,569	184,400	371,877	1,447,772
H31	2019		127,464	318,683	216,050	162,992	166,882	626,360	1,618,432
H32	2020		147,757	313,483	204,936	160,332	160,554	734,890	1,721,953
H33	2021		164,194	346,408	226,063	176,233	176,832	715,550	1,805,279
H34	2022		208,229	404,299	403,755	269,871	294,291	789,910	2,370,355
H35	2023		375,232	649,539	983,008	588,049	683,967	942,195	4,221,990
H36	2024		301,412	531,886	796,848	492,296	561,121	766,681	3,450,244
H37	2025		269,967	481,519	717,266	450,848	508,298	699,628	3,127,526
H38	2026		270,300	481,160	717,128	449,526	506,339	720,549	3,145,004
H39	2027		270,633	481,095	717,298	448,509	505,625	741,454	3,164,614
H40	2028		270,951	481,014	976,853	447,481	504,894	830,704	3,511,898
H41	2029		271,241	480,898	974,839	446,428	504,127	853,693	3,531,226
H42	2030		271,509	480,753	972,781	445,355	503,330	876,660	3,550,388
H43	2031		271,575	480,877	971,651	445,057	503,346	876,660	3,549,165
H44	2032		271,622	480,633	970,069	444,252	502,432	876,660	3,545,667
H45	2033		271,649	480,363	968,445	443,429	501,490	876,660	3,542,035
H46	2034		271,651	480,056	966,764	442,579	500,511	876,660	3,538,220
H47	2035		271,626	479,714	965,026	441,705	499,496	876,660	3,534,226
H48	2036		271,603	479,394	963,147	440,979	499,059	876,660	3,530,841
H49	2037		271,567	479,049	961,288	440,169	498,186	876,660	3,526,918
H50	2038		271,522	478,687	959,403	539,936	497,296	876,660	3,623,505
H51	2039		271,466	478,311	957,494	538,310	496,391	876,660	3,618,631
H52	2040		271,403	477,921	955,563	536,673	495,471	876,660	3,613,690
H53	2041		271,331	477,524	953,629	535,047	494,585	876,660	3,608,778
H54	2042		271,245	477,120	951,689	533,427	493,699	876,660	3,603,840
H55	2043		271,151	476,708	949,746	531,813	492,813	876,660	3,598,890
H56	2044		271,052	476,290	947,801	530,206	491,930	876,660	3,593,938
H57	2045		270,953	475,868	945,857	528,607	491,049	876,660	3,588,995
H58	2046		270,852	475,444	943,916	527,017	490,174	876,660	3,584,062
H59	2047		270,747	475,017	941,979	525,436	489,303	876,660	3,579,142
H60	2048		270,639	474,589	940,047	523,865	488,437	876,660	3,574,236
H61	2049		270,527	474,158	938,119	522,303	487,577	876,660	3,569,343
H62	2050		270,408	473,726	936,195	520,749	486,721	876,660	3,564,459
H63	2051		270,282	473,290	934,273	519,204	485,869	876,660	3,559,579
H64	2052		270,148	472,850	932,352	517,667	485,020	876,660	3,554,697
H65	2053		270,004	472,405	930,429	516,135	484,172	876,660	3,549,805
H66	2054		269,850	471,952	928,502	514,609	483,324	876,660	3,544,897
H67	2055		269,684	471,491	926,568	513,087	482,473	876,660	3,539,963
H68	2056		269,505	471,019	924,625	511,567	481,619	876,660	3,534,995
H69	2057		269,314	470,536	922,670	510,049	480,759	876,660	3,529,988
H70	2058		269,108	470,040	920,702	508,532	479,892	876,660	3,524,933
H71	2059		268,889	469,529	918,718	507,014	479,018	876,660	3,519,828
H72	2060		268,656	469,005	916,719	505,496	478,135	876,660	3,514,671
H73	2061		268,512	468,625	914,956	504,090	477,403	876,660	3,510,246
H74	2062		268,310	468,164	913,071	502,636	476,595	876,660	3,505,436
H75	2063		268,105	467,705	911,196	501,193	475,796	876,660	3,500,654
H76	2064		267,897	467,248	909,331	499,761	475,004	876,660	3,495,901
H77	2065		267,686	466,794	907,477	498,340	474,220	876,660	3,491,175
H78	2066		267,471	466,341	905,633	496,929	473,444	876,660	3,486,478
H79	2067		267,254	465,891	903,798	495,529	472,676	876,660	3,481,808
H80	2068		267,034	465,443	901,974	494,140	471,915	876,660	3,477,165
H81	2069		266,811	464,997	900,159	492,761	471,162	876,660	3,472,549
H82	2070		266,585	464,553	898,355	491,392	470,416	876,660	3,467,961
H83	2071		266,357	464,112	896,560	490,034	469,678	876,660	3,463,399

参考シナリオ

単位：人

	年度	実績値	市内	市外	首都圏	関西圏	その他	外国人	合計
H22	2010	1,517,727							
H23	2011	1,414,769							
H24	2012	1,472,305							
H25	2013	1,657,370							
H26	2014	1,641,787							
H27	2015	1,740,178							
H28	2016	1,919,479							
H29	2017		200,903	466,043	399,465	201,952	266,310	325,537	1,860,210
H30	2018		135,173	338,236	239,517	178,569	184,400	377,881	1,453,776
H31	2019		127,464	318,683	216,050	162,992	166,882	636,292	1,628,364
H32	2020		147,757	313,483	204,936	160,332	160,554	754,899	1,741,962
H33	2021		164,194	346,408	226,063	176,233	176,832	745,574	1,835,304
H34	2022		192,958	377,380	376,419	256,148	276,533	835,755	2,315,192
H35	2023		314,149	541,864	873,661	533,156	612,935	1,007,260	3,883,026
H36	2024		253,257	446,979	710,622	449,012	505,114	829,485	3,194,468
H37	2025		227,350	406,360	640,939	412,535	458,725	766,075	2,911,984
H38	2026		227,693	406,208	640,962	411,317	457,092	798,523	2,941,795
H39	2027		228,035	406,148	641,136	410,306	456,391	831,629	2,973,646
H40	2028		228,362	406,074	900,696	409,284	455,674	944,324	3,344,413
H41	2029		228,662	405,963	898,687	408,236	454,920	982,173	3,378,641
H42	2030		228,939	405,825	896,634	407,168	454,137	1,020,741	3,413,444
H43	2031		229,012	405,710	895,289	406,711	453,893	1,031,738	3,422,353
H44	2032		229,067	405,469	893,710	405,909	452,987	1,042,736	3,429,878
H45	2033		229,102	405,202	892,088	405,088	452,055	1,053,734	3,437,267
H46	2034		229,110	404,898	890,409	404,241	451,085	1,064,731	3,444,473
H47	2035		229,091	404,558	888,674	403,369	450,080	1,075,729	3,451,501
H48	2036		229,075	404,236	886,822	402,622	449,567	1,086,727	3,459,047
H49	2037		229,045	403,893	884,965	401,814	448,702	1,097,725	3,466,144
H50	2038		229,003	403,535	883,083	501,584	447,821	1,108,722	3,573,748
H51	2039		228,950	403,161	881,177	499,959	446,924	1,119,720	3,579,892
H52	2040		228,889	402,774	879,249	498,325	446,013	1,130,718	3,585,966
H53	2041		228,818	402,378	877,315	496,699	445,127	1,141,716	3,592,053
H54	2042		228,737	401,973	875,375	495,079	444,241	1,152,713	3,598,118
H55	2043		228,648	401,561	873,431	493,465	443,355	1,163,711	3,604,171
H56	2044		228,552	401,143	871,486	491,858	442,472	1,174,709	3,610,220
H57	2045		228,453	400,722	869,542	490,259	441,591	1,185,707	3,616,274
H58	2046		228,351	400,297	867,601	488,669	440,715	1,196,704	3,622,339
H59	2047		228,247	399,870	865,664	487,088	439,844	1,207,702	3,628,417
H60	2048		228,139	399,442	863,732	485,517	438,979	1,218,700	3,634,509
H61	2049		228,029	399,011	861,804	483,955	438,119	1,229,697	3,640,615
H62	2050		227,913	398,579	859,880	482,401	437,263	1,240,695	3,646,732
H63	2051		227,792	398,143	857,958	480,856	436,411	1,251,693	3,652,854
H64	2052		227,664	397,703	856,037	479,319	435,562	1,262,691	3,658,976
H65	2053		227,527	397,258	854,114	477,787	434,714	1,273,688	3,665,089
H66	2054		227,380	396,806	852,187	476,261	433,866	1,284,686	3,671,186
H67	2055		227,223	396,344	850,253	474,739	433,015	1,295,684	3,677,258
H68	2056		227,053	395,873	848,310	473,219	432,160	1,306,682	3,683,297
H69	2057		226,870	395,389	846,355	471,701	431,300	1,317,679	3,689,295
H70	2058		226,673	394,893	844,387	470,184	430,434	1,328,677	3,695,248
H71	2059		226,463	394,383	842,404	468,666	429,560	1,339,675	3,701,149
H72	2060		226,238	393,858	840,404	467,148	428,677	1,350,672	3,706,998
H73	2061		226,102	393,478	838,641	465,742	427,945	1,361,670	3,713,579
H74	2062		225,909	393,017	836,756	464,288	427,137	1,372,668	3,719,775
H75	2063		225,712	392,558	834,881	462,845	426,337	1,383,666	3,726,000
H76	2064		225,513	392,101	833,017	461,413	425,546	1,394,663	3,732,253
H77	2065		225,310	391,647	831,162	459,992	424,762	1,405,661	3,738,533
H78	2066		225,104	391,194	829,318	458,581	423,986	1,416,659	3,744,842
H79	2067		224,895	390,744	827,483	457,181	423,218	1,427,657	3,751,178
H80	2068		224,683	390,296	825,659	455,792	422,457	1,438,654	3,757,541
H81	2069		224,469	389,850	823,844	454,413	421,704	1,449,652	3,763,932
H82	2070		224,252	389,406	822,040	453,044	420,958	1,460,650	3,770,350
H83	2071		224,032	388,965	820,245	451,686	420,219	1,471,648	3,776,794

第 1 回専門家懇談会会議資料


資料１

本事業の概要について

1．事業の目的

名古屋城天守閣を木造復元した場合の「入場者数見込み及び収支計画の策定」、「経済波及効果の推計」、「民間活力の導入検討」、「機運醸成及び入場者数確定策の提案」を実施する。

2．事業の背景

名古屋城は、本市における観光拠点であるとともに本市が実施したアンケート調査においても「名古屋の誇り」という回答が最も多いなど市民愛着度の高い施設である。一方、本市では「名古屋城天守閣の木造復元」を検討しており、多額の投資（最大 86% 億円）に対する施設計画の裏付が必要となっている。

3．事業項目

天守閣を木造復元（戦工）した場合の

①入場者数見込み及び収支計画の策定

②民間活力の導入検討

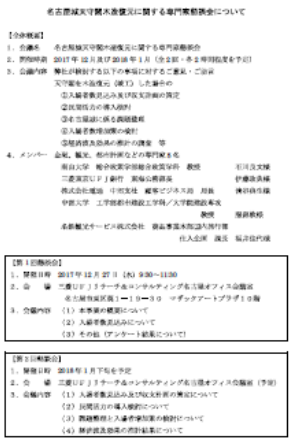
③機運醸成

④入場者数確定策の検討

⑤経済波及効果の推計の策定　等

4．業務フロー

1


名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会について

【会議概要】

1．会議名　名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会

2．開催時期　2017年 12月及び 2018年 1月（全2回・各2時間程度を予定）

3．会議内容　幹社が検討する以下の事項に対するご意見・ご助言

天守閣を木造復元（戦工）した場合の

①入場者数見込み及び収支計画の策定

②民間活力の導入検討

③名古屋城に係る調査整理

④入場者数確定策の検討

⑤経済波及効果の推計の調査　等

4．メンバー　企業、観光、都市計画などの専門家を名

南山大学　総合政策学部総合政策学科　教授　石川良文様

三菱東京UFJ銀行　新宿公務部長　伊藤良典様

株式会社電通　中京支社　経営ビジネス局　局長　横田信生様

中部大学　工学部都市建設工学科／大学院建設基本法　教授　服部教授

名都観光サービス株式会社　豊島事業本部国内旅行部　仕入企画　課長　福井信代様

【第１回懇談会】

1．開催日時　2017年 12月 27日（水）9:30～11:30

2．会　場　三菱UFJリサーチ&コンサルティング名古屋オフィス会議室

名古屋市東区東1－10－30　マザックアートプラザ10階

3．会議内容　（1）本事業の概要について

（2）入場者数見込みについて

（3）その他（アンケート結果について）

【第２回懇談会】

1．開催日時　2018年 1月下旬を予定

2．会　場　三菱UFJリサーチ&コンサルティング名古屋オフィス会議室（予定）

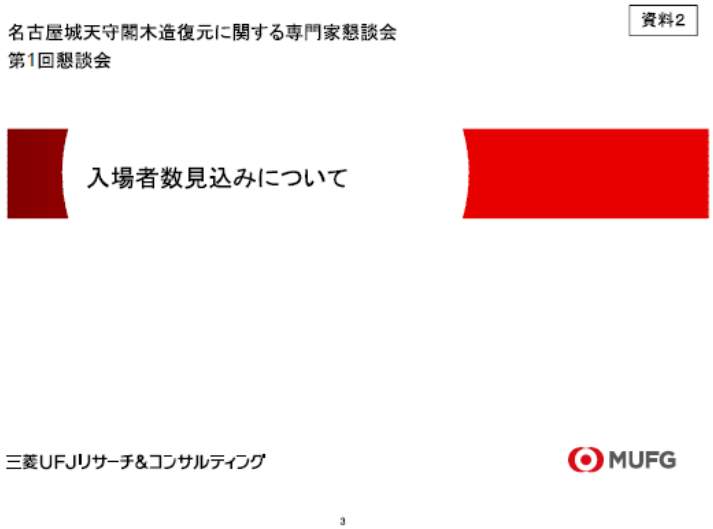
3．会議内容　（1）入場者数見込み及び収支計画の策定について

（2）民間活力の導入検討について

（3）機運醸成と入場者数確定策の検討について

（4）経済波及効果の推計結果について

2


資料２

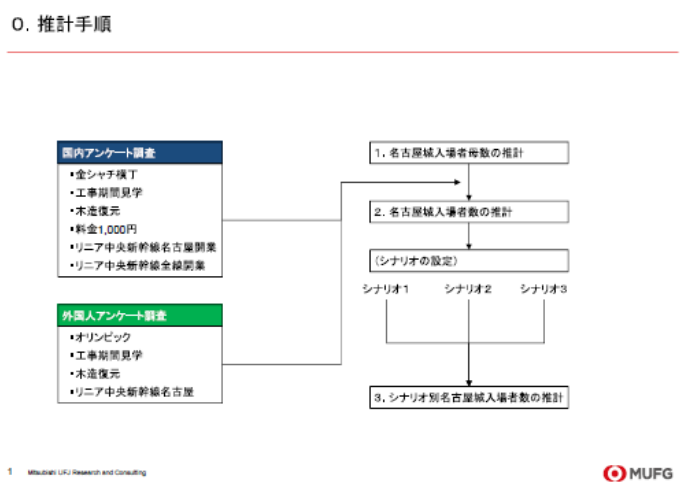
名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会
第1回懇談会

入場者数見込みについて

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

MUFG

3


0．推計手順

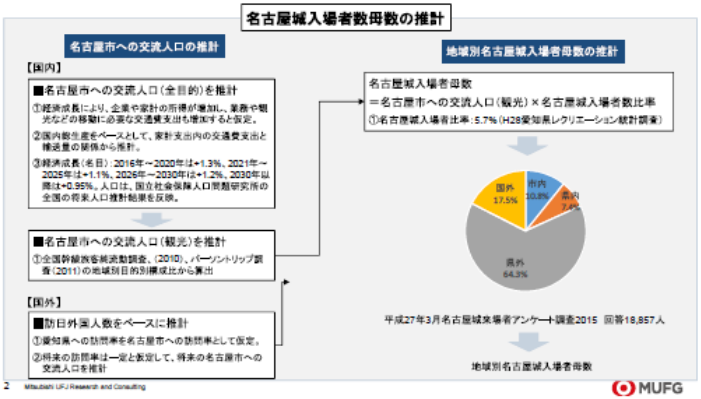
1　Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

4

1. 名古屋城入場者母数の推計

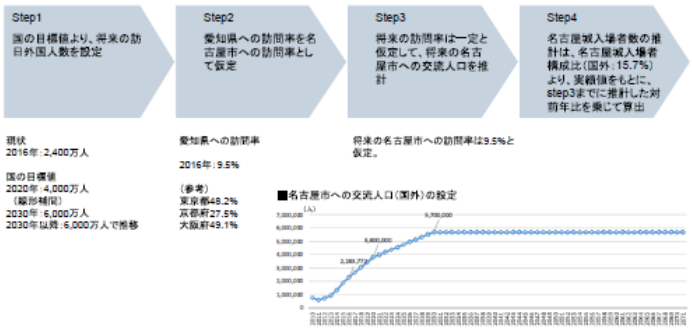
国内の交流人口は、経済活動及び人口動向の影響を考慮できるように、国内総生産をベースとして、家計支出内の交通費支出額と輸送量の関係から推計した。また、国外からの交流人口は、訪日外国人数をベースに推計した。



MUFG

1. 名古屋城入場者母数の推計

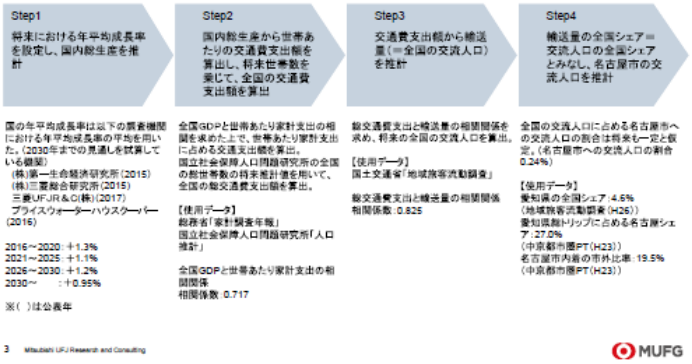
名古屋市への交流人口の推計（国外）について



MUFG

1. 名古屋城入場者母数の推計

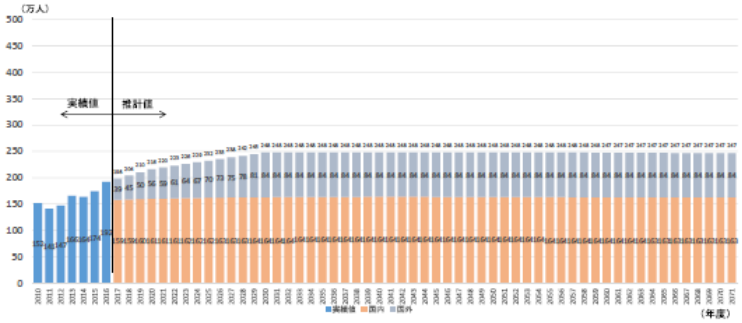
名古屋市への交流人口の推計（国内）について



MUFG

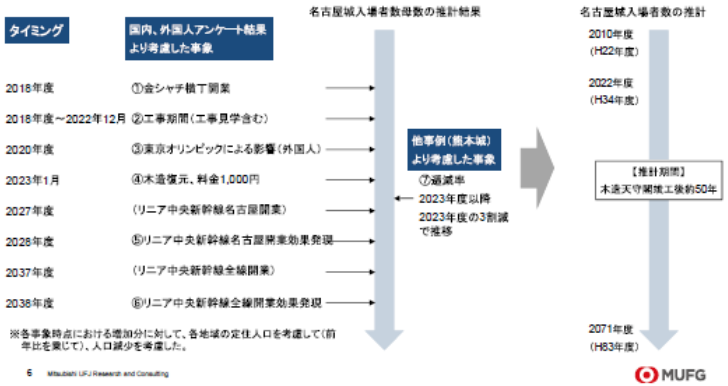
1. 名古屋城入場者母数の推計

名古屋市への交流人口（観光）の推移から、本格復元や他の要因（リニア開業等）がない場合の名古屋城入場者数は、約198万～247万人で推移すると推計。
国内は2041年をピークに減少。国外は2030年まで増加。2030年以降は一定で推移。



MUFG

2. 名古屋城入場者数の推計



6 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

9

2. 名古屋城入場者数の推計（シナリオの設定）

木造天守閣復元に係る入場者数について、施策による頻度変化の影響や不確定要素のある入場者数を把握するため、基本シナリオを設定して、低位シナリオ、高位シナリオを加えた3つのシナリオにおける入場者数を推計した。

基本シナリオ

名古屋城への新規の入場者数及びリピートの入場者数の頻度変化を考慮した場合

アンケート結果から、名古屋城にこれまで訪問経験のない人の訪問意向を地域別に反映。
リニア開業の影響も、名古屋城にこれまで訪問経験のない人の訪問意向のみ反映。
工事期間や料金の影響は、訪問経験のある人の意向も含んで推計。
アンケート結果から、入場者母数で推計された全ての人に対して、木造復元等による訪問頻度の変化が起きた場合を想定。
いずれも地域別に推計。

低位シナリオ

名古屋城への新規の入場者数のみ考慮した場合

アンケート結果から、名古屋城にこれまで訪問経験のない人の訪問意向を地域別に反映。
リニア開業の影響も、名古屋城にこれまで訪問経験のない人の訪問意向のみ反映。

高位シナリオ

名古屋市内の都市魅力が上昇させる施策を実施し、名古屋城への来訪頻度が増えた場合

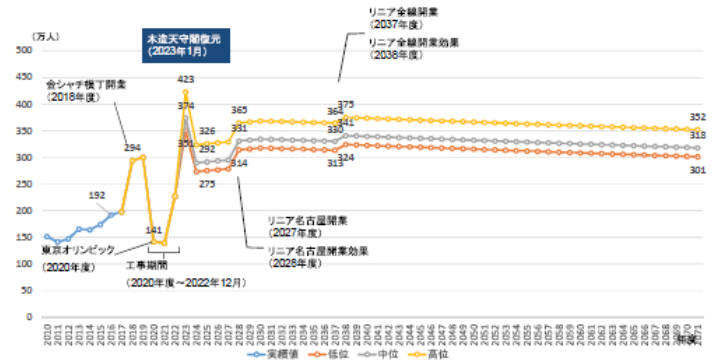
ここでは、アンケート結果で回答率の高い「名古屋に魅力的な観光スポットが増える」、「公共交通アクセスが便利になる」の項目について、「訪問頻度が増える」と回答した人の訪問頻度の変化率を求めて加算。

7 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

10

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果

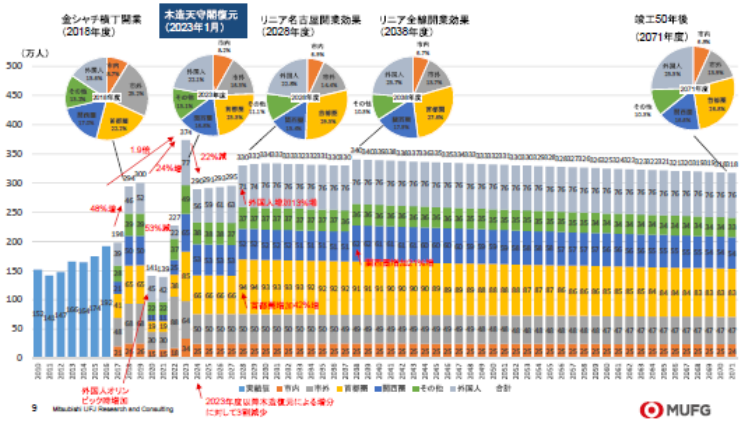


8 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

11

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（基本シナリオ）

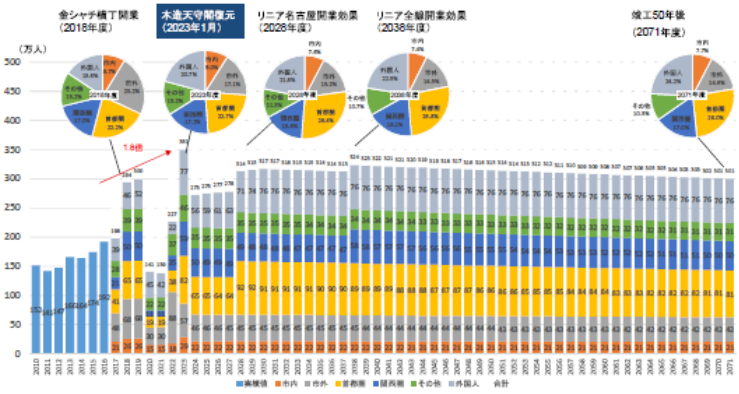


9 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

12

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（低位シナリオ）



10 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

13

4. 推計に用いたアンケート結果

図内：金シャチ横丁の影響（新規需要：基本、低位、高位）

	対象人口 A	名古屋城訪問経験なしの割合 B	名古屋城に行く意向のある人の割合 C	平均頻度 D	同行人数 E	名古屋城訪問経験はないがお城見学に興味あり F	人数 G= A×B×C×D×E×F
市内	1,717,648人	9.3%	34.6%	0.76人／年	2.15	53.6%	48,386
市外	6,022,026人	16.5%	30.9%	0.40人／年	2.82	58.1%	198,745
首都圏	27,423,230人	16.3%	24.3%	0.13人／年	2.44	71.6%	239,953
関西圏	13,595,052人	23.2%	29.0%	0.14人／年	3.25	70.5%	293,577
その他	—	—	—	—			111,761
	国勢調査（2015）人口減少を考慮	本アンケート	本アンケート	本アンケート	H28名古屋城アンケート調査結果	本アンケート	892,423

図内：工事期間の影響（減少数：基本、低位、高位）

	城に行かない割合 0日	一度は見学したい割合 1日／年	複数回見学したい割合 1日／年
市内	48.9%	44.8%	6.3%
市外	55.9%	40.3%	3.8%
首都圏	67.6%	30.0%	2.4%
関西圏	62.9%	34.5%	2.6%

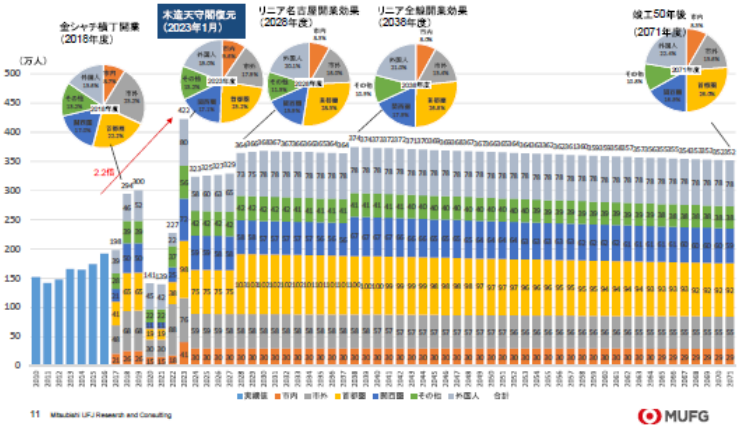
× 該当年の地域別入場者数＋金シャチ横丁開業にともなう入場者数 ＝ 減少数

12 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

15

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（高位シナリオ）



11 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

14

4. 推計に用いたアンケート結果

図内：木造復元の影響（新規需要：基本、低位、高位）

	対象人口 A	名古屋城訪問経験なしの割合 B	名古屋城に行く意向のある人の割合 C	平均頻度 D	同行人数 E	名古屋城訪問経験はないがお城見学に興味あり F	人数 G= A×B×C×D×E×F
市内	1,717,648人	9.3%	27.5%	0.52人／年	2.15	53.6%	26,172
市外	6,022,026人	16.5%	26.5%	0.31人／年	2.82	58.1%	135,110
首都圏	27,423,230人	16.3%	24.3%	0.12人／年	2.44	71.6%	219,456
関西圏	13,595,052人	23.2%	24.5%	0.13人／年	3.25	70.5%	236,312
その他	—	—	—	—			88,338
	国勢調査（2015）人口減少を考慮	本アンケート	本アンケート	本アンケート	H28名古屋城アンケート調査結果	本アンケート	705,389

図内：木造復元の影響（リピーター：低位、高位）

	木造復元に伴う来場意向増減率 L
市内	125.0%
市外	124.7%
首都圏	105.7%
関西圏	108.1%

× 該当年の地域別入場者数

図内：木造復元の影響（リピーター：高位）

	都市魅力があがることにより頻度が増える割合	都市魅力があることによる頻度が増える人の変化率
市内	24.9%	1.32倍
市外	26.3%	1.27倍
首都圏	18.1%	1.79倍
関西圏	21.2%	2.04倍

13 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

16

4. 推計に用いたアンケート結果

国内：リニア開業の影響（リピーター：基本、低位、高位）

	リニア開業による頻度変化率	人数
市内	―	―
市外	―	―
首都圏	1.04倍	416,400
関西圏	1.04倍	186,867

国内：料金1,000円の影響（新規需要：基本、低位、高位）

	頻度の変化率	反映／非反映
市内	66.0%	反映しない
市外	73.4%	反映
首都圏	96.2%	反映
関西圏	86.6%	反映
その他	―	―
	本アンケート	―

MUFG

4. 推計に用いたアンケート結果

国外：オリンピックの影響（新規需要：基本、低位、高位）

	対象人口 A	オリンピックを きっかけに日本旅行を実行に移す割合	オリンピック前 2018～2019	オリンピック開催中 2020	オリンピック後 2021～	日本訪問 平均頻度	人数
中国	122,000,000人	1.0%	7.1%	57.1%	42.9%	0.14人／年	オリンピック前 630人 オリンピック中 20,152人 オリンピック後 2,239人
米国	73,453,000人	1.5%	40.0%	40.0%	20.0%	0.25人／年	オリンピック前 3,185人 オリンピック中 14,863人 オリンピック後 6,370人
	海外旅行者数（各国統計）	本アンケート	本アンケート	本アンケート	本アンケート	本アンケート	

国外：工事期間・本復元の影響（リピート：基本、低位、高位）

	工事期間中に行きたい人数	復元後に行きたい人数	日本訪問 [illegible]	リニア開業にともなう本復元 [illegible]
中国	11.2%	30.1%	0.06人／年	26.4%
米国	31.6%	66.0%	0.08人／年	7.8%

MUFG

4. 推計に用いたアンケート結果

国内・国外：減減率（全体：基本、低位、高位）

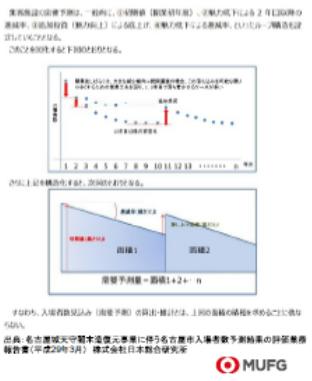
	復元時減少率
1年後以降	30%

熊本城の事例

	復元公開年度に対する減少率
1年後	22.9%
2年後	35.1%
3年後	28.4%
4年後	28.8%
5年後	26.5%

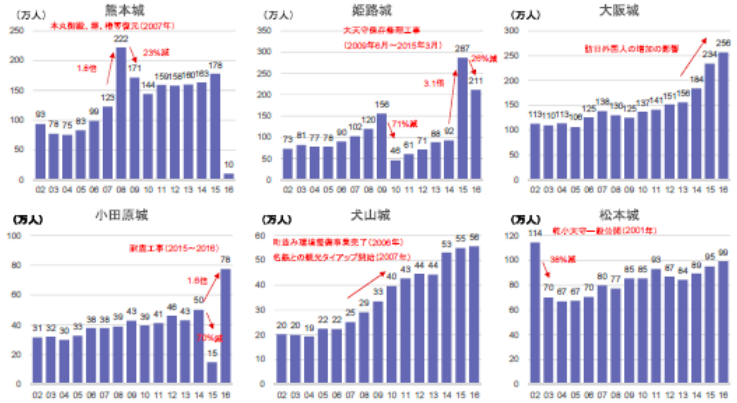
姫路城の事例

	復元公開年度に対する減少率
1年後	26.3%



MUFG

（参考）主な城の入場者数の推移



名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会
第1回懇談会

資料3

アンケート結果について

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

MUFG

1．アンケート調査概要（国内）

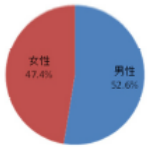
	内容
実施日	2017年11月16日～2017年11月192日
対象者	名古屋市内、名古屋市外（名古屋城から2時間以内に含まれる市町村）、首都圏、関西圏に在住するマクロミルモニター 20～34歳、35～49歳、50～64歳、65歳以上
サンプル数	合計6,592サンプル 名古屋市内1,648、名古屋市外1,648、首都圏1,648、関西圏1,648
目的	木造天守閣への来場者数を推計するため、国内及び外国人の名古屋城への来場意向を把握する。
設問	**Ⅰ.「お城観光」への参加状況** Q1 お城観光の行動 Q2 過去1年にお城観光（日帰り）を実施したか Q3 過去1年にお城観光（宿泊）を実施したか **Ⅱ. 名古屋城の訪問実態** Q4 名古屋市への訪問実態 Q5 名古屋城への訪問実態 Q6 名古屋城への来場目的 Q7 名古屋城の観光とあわせて巡った観光資源 Q8 名古屋城に行かない理由 **Ⅲ. 名古屋城来場意向** Q9天守閣木造復元の認知度 Q10天守閣木造復元の訪問意向 Q11天守閣木造復元の魅力 Q12金シャチ横丁のある名古屋城への訪問意向 Q13工事期間中の訪問意向 Q14天守閣木造復元の条件と行動 Q16天守閣木造復元後の入場料金と訪問頻度 Q17リニア中央新幹線開業後の名古屋市への観光意向 Q18リニア中央新幹線開業後の名古屋城への観光意向 Q19名古屋城を市外の人に勧めたいか Q20名古屋城を市外の人に勧める際に重視すること

MUFG

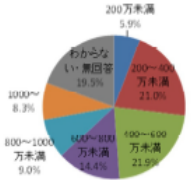
（1）回答者属性

○性別は、若干男性の方が多い。
○世帯年収は200万～400万円が21.0%と最も高い。600万円未満が半数。
○職業は、会社員が35.2%、次いで専業主婦が18.5%。

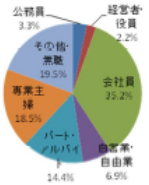
【性別】



【世帯年収】



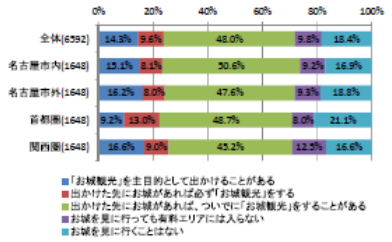
【職業】



MUFG

（2）回答結果

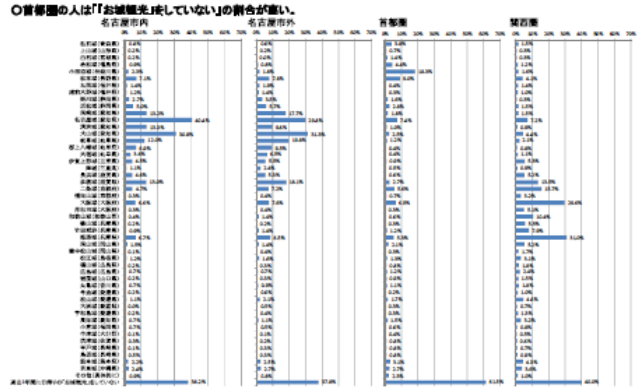
【設問】あなたは、「お城観光」をしますか。あなたの行動に最も近いものを一つ選んでください。
○首都圏の「「お城観光」を主目的として出かけることがある」の割合が他地域と比較して低く、「出かけた先にお城があれば必ず「お城観光」をする」の割合が他地域と比較して高い。



MUFG

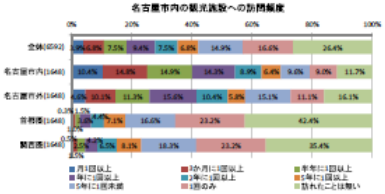
（2）回答結果

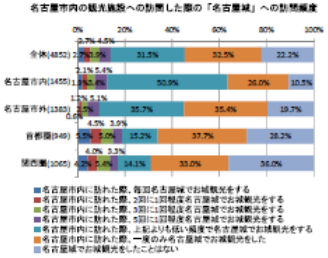
【設問】あなたは、過去1年間に日本国内で日帰りによる「お城観光」をしましたか。「お城観光」をしたお城を全て選んでください。
○首都圏の人は「『お城観光』をしていない」の割合が高い。



（2）回答結果

【設問】あなたは、どれくらいの頻度（回数）で名古屋市内の観光施設に訪れていますか。あてはまるもの一つを選んでください。
【設問】あなたは、前問で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしますか。あてはまるもの一つを選んでください。
○年に1回以上の多頻度の割合は、名古屋市内で60%弱、名古屋市外で40%強、首都圏や関西圏では1割未満となっている。
○名古屋市内の観光施設に訪れた人のうち、名古屋城に5回に1回程度以上お城観光をする人は、首都圏や関西圏で2割弱となっている。



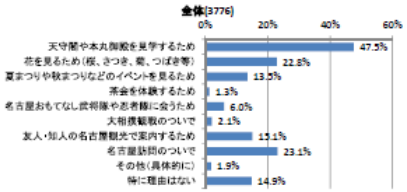


（2）回答結果

【設問】あなたは、過去1年間に日本国内で宿泊による「お城観光」をしましたか。「お城観光」をしたお城を全て選んでください。
○宿泊を伴う「お城観光」は10%未満と少ない。

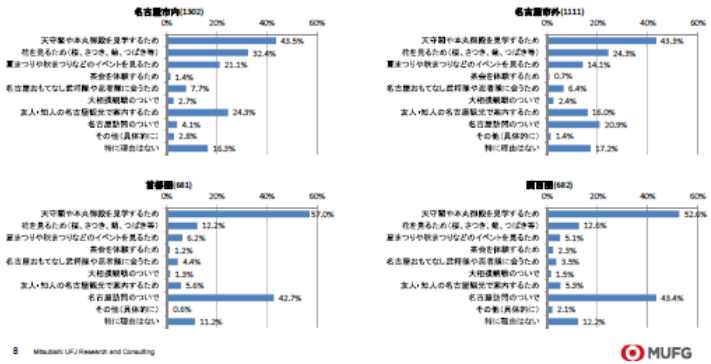
（2）回答結果

【設問】どのような理由で名古屋城の「お城観光」をしていますか。あてはまるものを全て選んでください。
○全体では、「天守閣や本丸御殿を見学するため」が47.5%と最も高く、次いで「名古屋訪問のついで」が23.1%となる。



(2)回答結果

【設問】どのような理由で名古屋城の「お城観光」をしていますか。あてはまるものを全て選んでください。
○首都圏や関西圏では、「名古屋訪問のついで」の割合が4割を超える。

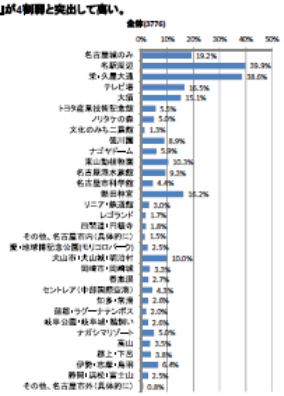


8 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

(2)回答結果

【設問】前問、名古屋城を「お城観光」したときに、その前後で訪れた観光施設(地域)はありましたか。あてはまるものを全て選択してください。
○全体では「名駅周辺」、「栄・久屋大通」が4割弱と突出して高い。

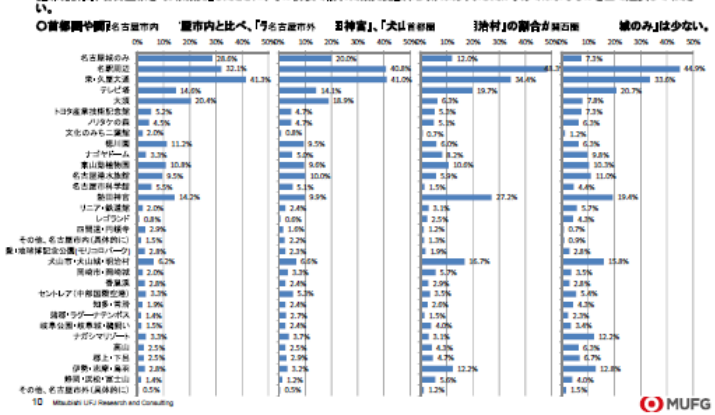


9 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

(2)回答結果

【設問】前問、名古屋城を「お城観光」したときに、その前後で訪れた観光施設(地域)はありましたか。あてはまるものを全て選択してください。
○首都圏や関西圏は名古屋市内と比べ、「名古屋市外」、「犬山首都圏」、「治村」の割合が関西圏は「城のみ」は少ない。

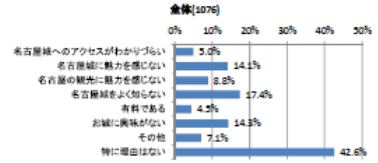


10 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

(2)回答結果

【設問】「名古屋城」を「お城観光」したことがない理由をおしえてください。あてはまるものを全て選んでください。
○全体では、「特に理由はない」が42.6%と最も高い。



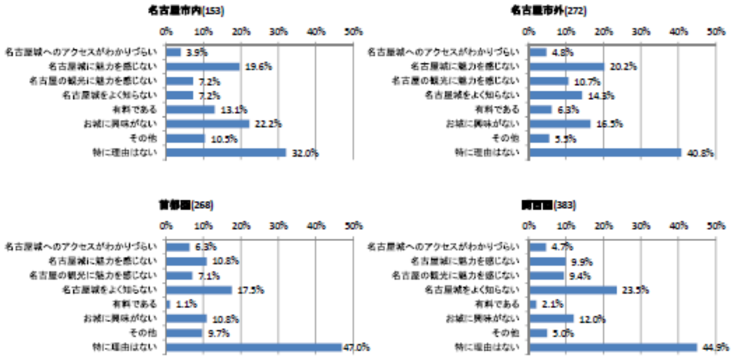
11 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

（2）回答結果

【設問】「名古屋城」を「お城観光」したことがない理由をおしえてください。あてはまるものを全て選んでください。

○首都圏や関西圏では、「名古屋城をよく知らない」の割合が2番目に高い。名古屋市内や名古屋市外では「名古屋城に魅力を感じない」や「お城に興味がない」の割合が2割程度みられる。



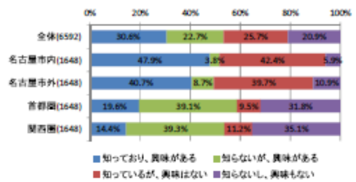
12 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

（2）回答結果

【設問】名古屋城天守閣の木造復元」について、ご存じですか。あてはまるもの一つを選んでください。

○「知っている」の割合が高いのは「名古屋市内」「名古屋市外」。「興味がある」の割合はいずれの地域も半数程度みられる。



13 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

（2）回答結果

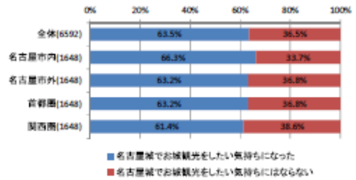
【設問】「名古屋城天守閣の木造復元の背景」をご覧いただき、これが実現した場合、名古屋城でお城観光をしたいという気持ちになりましたか。

○いずれの地域も6割強の方が「名古屋城でお城観光をしたい気持ちになった」と回答。

〔名古屋城天守閣の木造復元の背景〕

名古屋城は、[illegible]により築城されました。
名古屋城天守閣は、[illegible]日本一の巨大な木造の城でした。
また、名古屋城本丸御殿は京都の二条城の二の丸御殿と並び、武家風書院造の双璧と言われた木造建築物でした。
名古屋城は、城郭建築として国宝第1号として指定されていましたが、
第2次世界大戦時の空襲により、惜しくも焼失してしまいました。
名古屋城天守閣は、戦後、鉄骨鉄筋コンクリート造で再建されましたが、
半世紀が経過し、設備の老朽化や耐震性など、様々な課題が発生している状況です。
焼失前の名古屋城については、豊富な資料が残されています。
江戸時代には、尾張藩士が、「金城温古録（きんじょうおんころく）」と呼ばれる名古屋城に関する詳細な資料を残しています。
また、焼失する前の木造の天守閣を計測した豊富な図面が残されています（昭和実測図）。
さらに、焼失前の木造の天守閣の内外を撮影した写真が残されています。
[illegible]
こういった図面や写真といった資料が残されていることは世界的にも大変貴重なことであり、
史実に忠実な復元ができる唯一の城郭と言われています。
それらの資料を基に、[illegible]天守閣の木造復元を進めており、[illegible]の竣工を予定しています。
また、本丸御殿の復元事業を以前から進めており、完成した部分から順次公開を進めてきましたが、
いよいよ2018年6月に全体公開を開始します。

名古屋城天守閣木造復元について：
http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/[illegible]/index.html

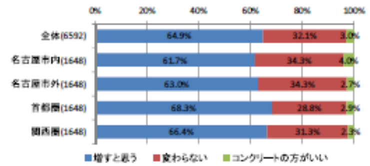


MUFG

（2）回答結果

【設問】名古屋城天守閣をコンクリートから木造に建て替えると、お城の「魅力」は増すと思いますか。

○いずれの地域も6割以上の方が「増すと思う」と回答。とりわけ首都圏や関西圏で高い。



15 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

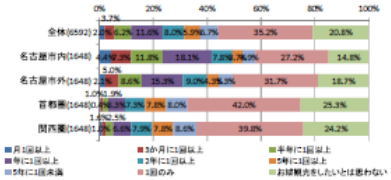
（2）回答結果

【設問】あなたは、名古屋城周辺に「金シャチ横丁」（2018年予定）ができた場合、「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。
お城観光をしてみたい方は、その頻度も併せてお知らせください。あてはまるもの一つを選んでください。
○年に1回以上の多頻度の割合をみると、名古屋市内は約4割、名古屋市外は約3割、首都圏や関西圏は1割強となっている。
○1回のみの割合をみると、首都圏や関西圏で4割程度と高い。

【金シャチ横丁の紹介】

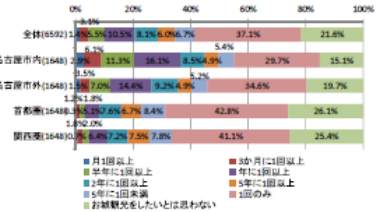
「金シャチ横丁」とは、名古屋の城下町のシンボルである名古屋城西ぶりやその周辺の魅力を一層向上させるとともに、国内からの来訪者に加えて、名古屋の魅力を発信することを目的とした施設で、2018年2月に開業します。
金シャチ横丁では、尾張・名古屋の「こだわり」、「名古屋文化の体験」、「気軽に入れる飲食の店舗」、「お土産」が集まる予定となっています。

金シャチ横丁について：
http://kinshachi-yc.jp/



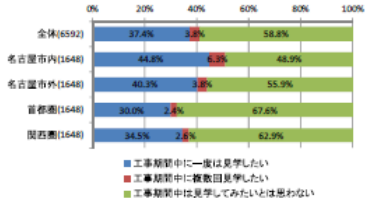
（2）回答結果

【設問】あなたは、どれくらいの頻度（回数）で「名古屋城天守閣の木造復元」後の名古屋城でお城観光をしたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。（料金、周辺施設、交通アクセス等は現在と同じ条件とします）
○年に1回以上の多頻度の割合をみると、名古屋市内は4割弱、名古屋市外は3割弱、首都圏や関西圏は1割程度となっている。
○1回のみの割合をみると、首都圏や関西圏で4割程度と高い。
○「金シャチ横丁」ができた場合に比べて、「木造復元」の方がお城観光したいと思う方の頻度が少ない。



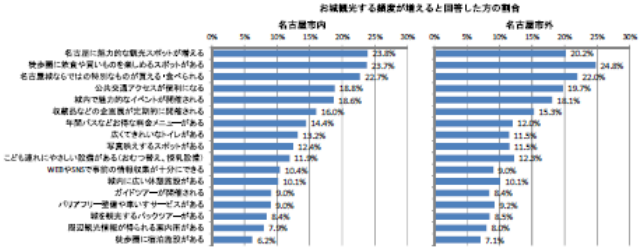
（2）回答結果

【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の工事期間（2020年～2022年）は「天守閣」のみ入場できませんが高度で大規模な木造建築技術や匠の技を間近に見ることのできる唯一の期間でもあります。工事期間中に「名古屋城」に行きたいと思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。
○名古屋市内及び名古屋市外において、「工事期間中に一度は見学したい」と回答した人が4割を超える。



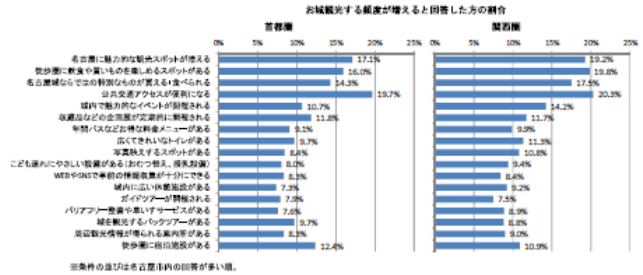
（2）回答結果

【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。
以下の(1)～(17)の項目について、お考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んでください。※お城観光する頻度が減るまたはお城観光したい気持ちが低くなる場合は、「変わらない」をお選びください。
○「名古屋市内」「名古屋市外」では、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「名古屋に魅力的な観光スポットが増える」「徒歩圏に飲食や買い物を楽しめるスポットがある」「名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる」の割合が2割を超える。



（2）回答結果

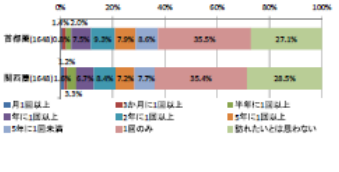
【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。
以下の(1)～(17)の項目について、お考えに最も近いものをそれぞれ一つずつ選んでください。※お城観光する頻度が減るまたはお城観光したい気持ちが低くなる場合は、「変わらない」をお選びください。
○「首都圏」「関西圏」では、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「公共交通アクセスが便利になる」の割合が2割程度と最も高い。また、「後歩圏に宿泊施設がある」の割合は、名古屋市内・名古屋市外に比べて高い。

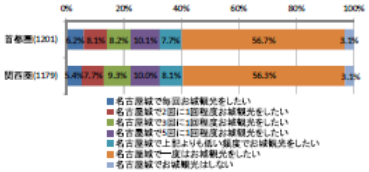


※条件の並びは名古屋市内の回答が多い順。

（2）回答結果

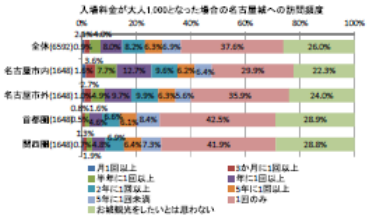
【設問】リニア中央新幹線が2027年に品川－名古屋間、2037年に品川－名古屋－新大阪間で開業する予定です。品川－名古屋間は40分、新大阪－名古屋間は20分と、現在の新幹線料金に数百円の料金を追加することで利用でき、名古屋へのアクセス利便性がよくなります。リニア中央新幹線ができることで、名古屋市に観光に訪れたいと思いますか。名古屋城天守閣の木造復元がされた状態であることを前提としてお考えください。
【設問】リニア中央新幹線開業した後、前問で回答した頻度（回数）のうち、どのくらいの割合で「名古屋城」でお城観光をしたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。
○名古屋市への観光以降について、「首都圏」「関西圏」の回答割合はほぼ同じ。「年に1回以上」より多い多頻度は1割程度となっている。
○名古屋城でのお城観光は、「一度はお城観光したい」が6割弱であり、5回に1回より多いリピートは4割程度となる。

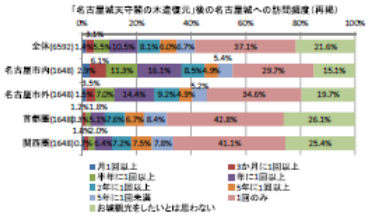




（2）回答結果

【設問】「現在、名古屋城の入場料金は一般大人500円、中学生以下無料です。あなたは、入場料金一般大人が1,000円になった場合、前問で回答した頻度（回数）は変わると思いますか。当てはまるもの一つを選んでください。変化が想定されない場合は、同じ選択肢を選んでください。
○「名古屋市内」「名古屋市外」において、半年に1回以上より多頻度の項目の割合は小さくなり、年に1回程度から5年に1回程度の割合が高くなっているなど、料金1,000円となることで訪問頻度が少なくなる。
○「首都圏」や「関西圏」の回答傾向は大きく変わらない。



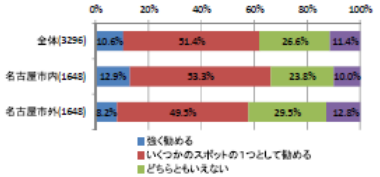


提示した参考情報

東京スカイツリー天望デッキ（当日券大人2,060円、高校生・中学生1,540円、小学生930円、幼児620円）
東京タワー大展望台（高校生以上900円、小中学生500円、幼児400円）
伝馬城（18歳以上1,000円、小学生～高校生300円）
大阪城天守閣（大人600円、中学生以下無料）
名古屋テレビ塔展望料金（昼）（大人700円、高校・大学生600円、小・中学生300円、シニア600円）

（2）回答結果

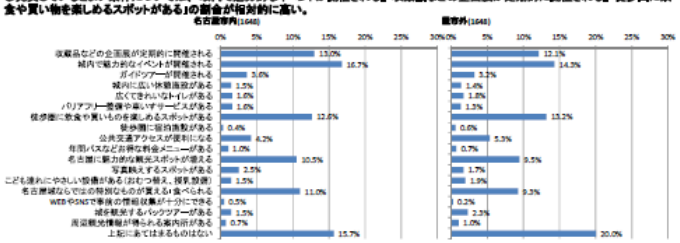
【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、名古屋市外に住む家族、友人・知人があなたのお住まいの地域や名古屋市に来るときに、名古屋城の「お城観光」をお勧めしますか。あてはまるもの一つ選んでください。
○名古屋城の「お城観光」を「いくつかのスポットの1つとして勧める」の割合が半数程度となった。



（2）回答結果

【設問】「「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、名古屋市外に住む家族、友人・知人があなたのお住まいの地域や名古屋市に来るときに、何が充実していると名古屋城の「お城観光」をお勧めしたいと思いますか。特に重要と考えるもの一つを選んでください。

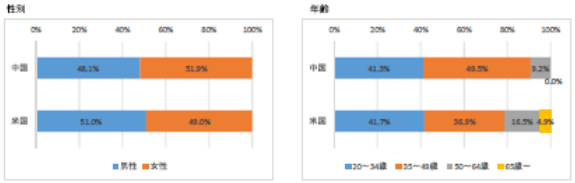
○充実しているとよい条件については、「城内で魅力的なイベントが開催される」「収蔵品などの企画展が定期的に開催される」「徒歩圏に飲食や買い物を楽しめるスポットがある」の割合が相対的に高い。



MUFG

（1）回答者属性

○性別は男女半々。
○年齢は中国は50歳以上が1割と少ない。両国とも50歳未満の方が8割かそれ以上の割合となる。



MUFG

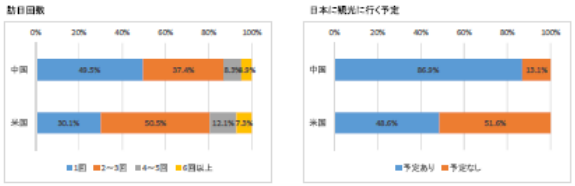
2．アンケート調査概要（国外）

	内容
実施日	2017年11月27日～2017年12月4日
対象者	名古屋市内への宿泊者数の最も多い国を対象 アジア：中国（313,701人：44.0%）、欧米：米国（26,020人：3.7%） ※合計712,918人（H27年度宿泊施設調査） 訪日経験のある人に限定
サンプル数	合計412サンプル 中国206、米国206
目的	木造天守閣への来場者数を推計するため、国内及び外国人の名古屋城への来場意向を把握する。
設問	**Ⅰ．属性** Q1 性別 Q2 年齢 Q3 日本に行く予定の有無 **Ⅱ．訪日状況** Q3 訪日への期待 Q4 東京オリンピックと訪日旅行 Q5 日本への旅行計画のタイミング Q6 名古屋の認知度 Q7 名古屋の観光回数 Q8 名古屋への観光意向 Q9 日本のお城観光の経験 Q10今後の日本旅行でお城を訪問する予定か Q11日本のお城への期待 **Ⅲ．名古屋城来場意向** Q12天守閣木造復元の魅力 Q13名古屋城に行ってみたいタイミング Q14金シャチ横丁のある名古屋城への訪問意向 Q15リニア乗車意向 Q16リニアを利用して名古屋で観光したいか Q17名古屋に観光する際に名古屋城に立ち寄りたいか Q18名古屋城の木造天守閣再現と重視する項目が充足された場合の来場意向

MUFG

（2）回答結果

【設問】あなたは、これまでに日本に何回いったことがありますか。数字をご記入ください。
【設問】あなたは、現時点で日本に観光にいく予定はありますか。
○日本への訪問回数は、中国では1回が49.5%、2~3回が37.4%、米国では1回が30.1%、2~3回が50.5%。
○現時点で日本に観光に行く予定がある人は、中国では9割弱、米国では半数程度となっている。



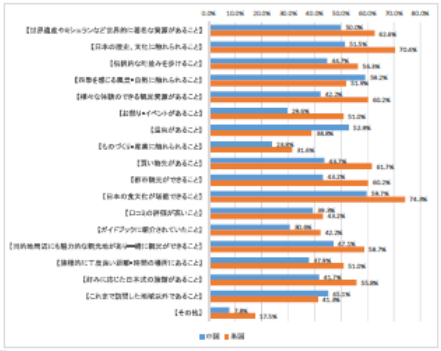
MUFG

（2）回答結果

【設問】あなたは日本に旅行する際に、以下の内容を期待しますか。あなたのお考えに最も近いもの一つをお選びください。

○「大いに期待する」の割合をみると、中国では、「四季を感じる風景・自然に触れられること」「日本の食文化が堪能できること」の割合、米国では「日本の食文化が堪能できること」「日本の歴史、文化に触れられること」の割合が相対的に高い。

「大いに期待する」の割合



MUFG

（2）回答結果

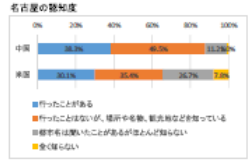
【設問】あなたは「名古屋」という都市をご存じですか。最もあてはまるものを選択してください。

【設問】これまでに名古屋を観光したことは何回ありますか。数字をご記入ください。

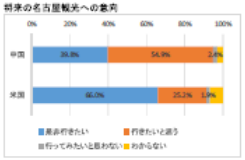
【設問】将来、日本へ旅行する場合、名古屋を観光する意向はありますか。

○名古屋に「行ったとがある」人は中国で4割、米国で3割。そのうち、複数回の人は中国で5割、米国で7割。将来の名古屋観光の意向について、「是非行きたい」の割合は米国で66.0%と中国より高い。

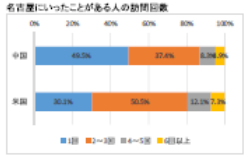
名古屋の認知度



将来の名古屋観光への意向



名古屋にいったことがある人の訪問回数



MUFG

（2）回答結果

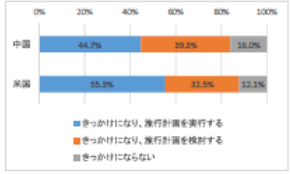
【設問】2020年の東京オリンピックの開催は、日本に行くきっかけとなりますか。あてはまるもの一つを選択してください。

【設問】日本への旅行を計画する場合、東京オリンピックの開催年（2020年）に行きたいと思いますか。あてはまるもの全てを選択してください。

○オリンピックが訪日のきっかけになり旅行計画を実行する人の割合は中国では44.7%、米国では55.3%。

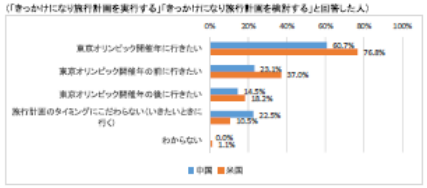
○日本旅行のタイミングとしては、両国ともに「東京オリンピック開催年に行きたい」が最も高い。

オリンピックが訪日のきっかけになるか



日本旅行のタイミング

（「きっかけになり旅行計画を実行する」「きっかけになり旅行計画を検討する」と回答した人）

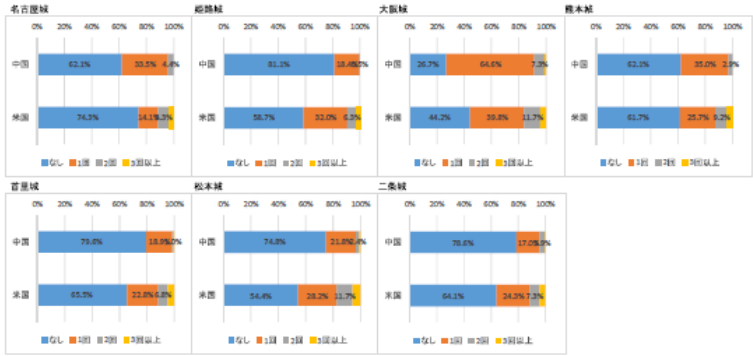


MUFG

（2）回答結果

【設問】あなたはこれまでに、以下の日本のお城を観光した経験はありますか。

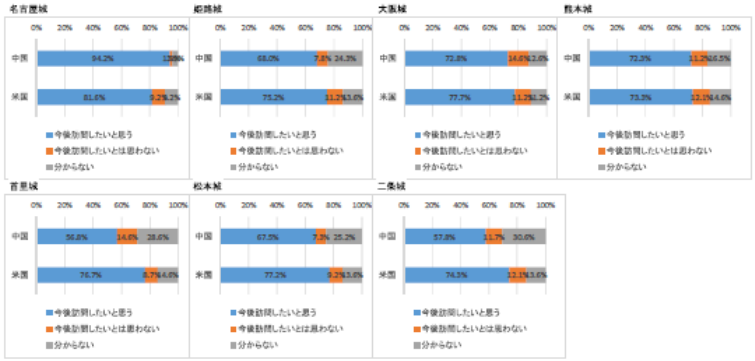
○1回以上の経験の多い城は、中国、米国ともに「大阪城」。米国人が中国人よりも経験の多い城は「姫路城」「首里城」「松本城」「二条城」



MUFG

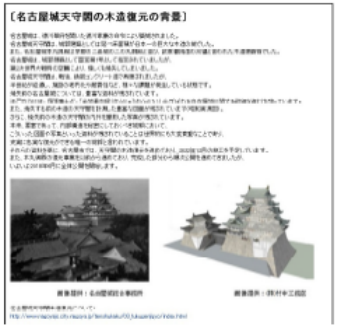
（2）回答結果

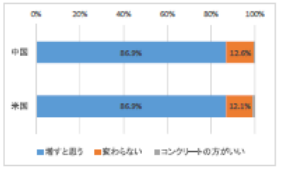
【設問】あなたは今後日本旅行で、以下のお城を訪問する予定ですか。
○名古屋城は中国、米国ともに、「今後訪問したいと思う」の割合が8割以上。中国の方が割合が高い。



（2）回答結果

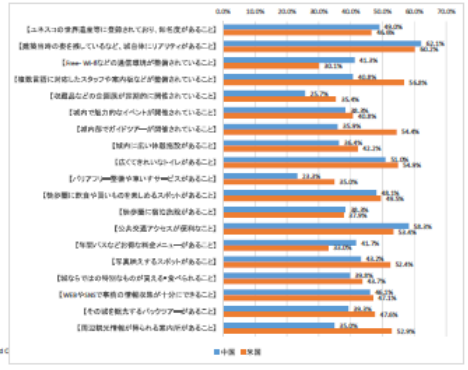
【設問】名古屋城天守閣をコンクリートから木造で建て替えると、お城の「魅力」は増すと思いますか。
○中国、米国ともに、8割以上の人が「増すと思う」と回答。





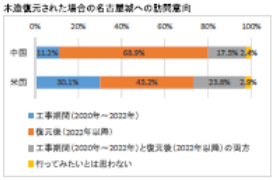
（2）回答結果

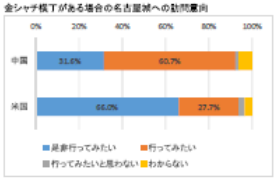
【設問】あなたは日本のお城にどういったことを期待しますか。以下項目毎に、あなたのお考えに最も近いものを選択してください。
○中国、米国ともに「建築当時の姿を残しているなど、城自体にリアリティがあること」の割合が最も高い。次いで、中国では「公共交通アクセスが便利なこと」、米国では「複数言語に対応したスタッフや案内板などが整備されていること」の割合が高い。



（2）回答結果

【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の工事期間（2020年～2022年を予定）は「天守閣」のみ入場できませんが高度で大規模な木造建築技術や匠の技を間近に見ることのできる唯一の期間でもあります。名古屋城が木造天守閣として、よりリアリティの高い姿で復元された場合、名古屋城に行ってみたいと思いますか。
【設問】あなたは、名古屋城に隣接する「金シャチ横丁」（2018年）があれば、復元された名古屋城に行ってみたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。
○中国は「復元後」の割合が7割弱と高く、米国では「工事期間」が3割、「復元後」が4割との回答となっている。
○金シャチ横丁がある場合の名古屋城への訪問意向は、「是非行ってみたい」の割合が中国よりも米国の方が66.0%と高い。





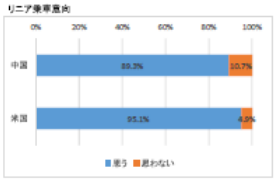
（2）回答結果

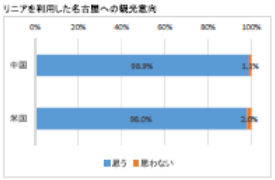
【設問】2022年の名古屋城の木造天守閣復元に加えて、2027年には東京ー名古屋間（約300km）において、東海鉄道（世界初の時速500km/h以上で走行する浮上式リニアモーターカー、現在東京ー名古屋間の所要時間1時間30分が40分に短縮）の開業が予定されています。あなたはこのリニアモーターカーに乗ってみたいと思いますか。

【設問】また、リニアモーターカーを利用することにより、東京ー名古屋間は40分で結ばれ、東京観光とあわせて、名古屋への観光がしやすくなります。名古屋市への観光をしたいと思いますか。

○リニア乗車意向は中国、米国ともに9割もしくは8割以上。

○リニア乗車意向のある人のリニアを利用した名古屋への観光意向は38%の人が名古屋市への観光をしたいと思うに回答。



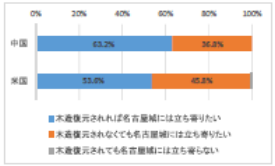


MUFG

（2）回答結果

【設問】名古屋に観光する際に、「名古屋城」に立ち寄りたいと思いますか。あてはまるもの一つを選んでください。

○「木造復元されれば名古屋城に立ち寄りたい」の割合は中国で6割強、米国で5割強。

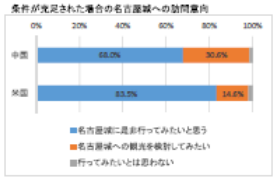


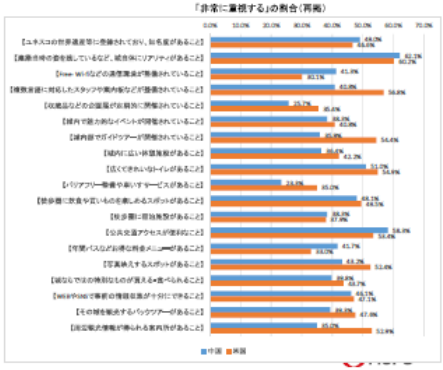
MUFG

（2）回答結果

【設問】名古屋城の木造天守閣再現に加え、前問であなたが「1. 非常に重視する」と答えた項目がすべて充足された場合、名古屋城に行ってみたいと思いますか。

○「名古屋城に是非行ってみたいと思う」は中国で7割弱、米国で8割強。





資料1

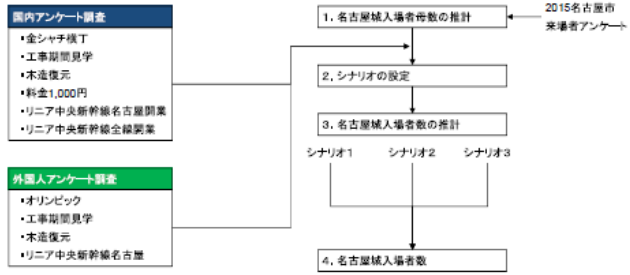
名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会
第2回懇談会

入場者数見込みと収支計画

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

MUFG

0. 推計手順



MUFG

I. 入場者数見込みについて

MUFG

0. 第1回懇談会の指摘事項と対応

【名古屋城入場者数の推計に関して】

	指摘事項	対応
国内流動	国内の交流人口は、全国シェアを直近のデータで固定しているので、近年の傾向（トレンド）をみた上で推計するべき	全国シェアについて、2010年から2015年のトレンドを確認 直近（2014）、3カ年トレンド、5カ年トレンドで整理 過大評価を避けるため「直近（2014）」を採用
	各統計データの相関関係のフローが経済全般→家計（観光）→経済全般となっている。観光目的に主眼をおいて直接的に推計することが望ましい	目的別に把握できる流動、GDP、人口のデータ制約により困難
国外流動	外国人の交流人口は、名古屋市への訪問率を直近のデータで固定しているので、近年の傾向（トレンド）をみた上で推計するべき	訪問率について、2007年から2016年のトレンドを確認 過去10カ年平均、過去5カ年トレンド、過去10カ年トレンドで整理 訪問率のばらつきがあることから、「過去10カ年平均」を採用
	外国人の将来の長期的見通しについては、不確定要素が大きいため、シナリオで検討することが望ましい	参考値として、高位シナリオに外国人増加シナリオを追加 上記の「過去5カ年トレンド」を採用

【推計全般について】

	指摘事項	対応
推計方法	名古屋市に訪れる交流人口と、そのうち名古屋城に訪れる人の関係を明確にする必要がある	名古屋市訪問者と名古屋城入場者の関係を確認
リニア開業	リニアが開業の影響度について、他の事例も含めると説明しやすい	北陸新幹線の事例を付記
施策への反映	入場者数の推計において、施策毎の感度変化を見る必要がある	高位シナリオを高位A（イベント）、高位B（飲食・買いもの）に分けた推計を実施

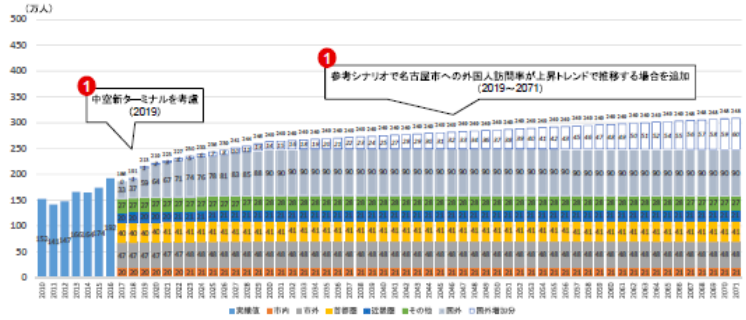
MUFG

1. 見直し点

		第1回	今回	
入場者母数の推計について	推計の考え方	国内は将来のGDP、家計支出より推計	変更なし	
		国内の全国シェアを直近(2014)の数値を用いた	変更なし	
	外国人訪問率の扱い	訪問率を直近(2016) 9.49%とした 国外は将来の訪問率を一定として推計	訪問率を10カ年平均(2007~2016) 9.53%とした 基本シナリオでは国外は将来の訪問率を一定として推計 参考シナリオでは訪問率上昇を加味 2019年度の中部国際空港第2ターミナル整備を考慮。**名古屋市への外国人訪客数を+167万人/年増加。** ※新ターミナルの年間海客取扱数は国際300万人と設定されている。現状の中空の外国人比率は45.5%であるが、外国人比率は2016年度の関西国際空港と同程度の64.5%に伸びると設定した。	↑
推計について	外国人の扱い →オリンピック、工事期間、リニアの影響をきちんとめているか	「日本への訪問経度」、「名古屋市訪問意向」、「名古屋城来場意向」が反映されていなかった	「日本への訪問経度」、「名古屋市訪問意向」、「名古屋城来場意向」を反映	↑
	天守閣閉鎖、工事期間、見学施設オープンの扱い	対応していない	2018年天守閣閉鎖、2019年~2022年の工事期間、2020年~見学施設オープンを反映した。	↓
	新規の入場者数の対象者 →金シャチ横丁の入場者数は過大ではないか	各地域における 「①お城観光を主目的として出かけることがある」 「②出かけた先にお城があれば必ずお城観光をする」 「③出かけた先にお城があれば、ついでにお城観光をすることがある」の3つの選択肢回答者数の比率	各地域における 「①お城観光を主目的として出かけることがある」 「②出かけた先にお城があれば必ずお城観光をする」 「③出かけた先にお城があれば、ついでにお城観光をすることがある」の2つの選択肢回答者数の比率	↓
	「その他」地域の扱い →地域構成比をみて、他地域の構成比は過小でないか	国内計に対する「その他」の比率	首都圏及び関西圏に対する「その他」の比率	↑
	開業後の減衰率の扱い →根拠が不明確	熊本城と姫路城の事例を踏まえて2年目以降は開業年の**30%**と設定	年間100万人以上の主要類似集客施設(3施設)の開業後の「来場者数」と「開業年数」の回帰分析により、1年目は開業年の**21.1%減**、2年目以降は開業年の**30.2%減**と設定	↓
	県外家族・知人への紹介に伴う市民入場者数の加算	対応していない	復元後、**市内入場者数**のうち、県外にいる家族・知人に対して復元した名古屋城を勧める割合**15.4%**が自身も含めて名古屋城に訪れると設定。	↑
	シナリオ	基本、低位、高位(魅力的な観光スポット、公共交通)	「基本」、「低位」、「高位(イベント)」、「高位(飲食・買いものスポット)」、参考の5シナリオを設定	

2. 名古屋城入場者母数の推計

名古屋城入場者母数とは、2015年の来場者アンケート調査に基づく訪問者の地域別構成比をベースとし、国内は「経済成長率」と「人口減少」、国外は「訪日外客数」と「訪問率」を加味したもの(本速復元の効果は含まない)



3. 名古屋城入場者数の推計(シナリオの設定)

8 本速天守閣復元に係る入場者数について、施策よる頻度変化の影響や不確定要素のある入場者数を把握するため、基本シナリオを設定して、低位、高位A、高位B、参考シナリオの入場者数を推計した。

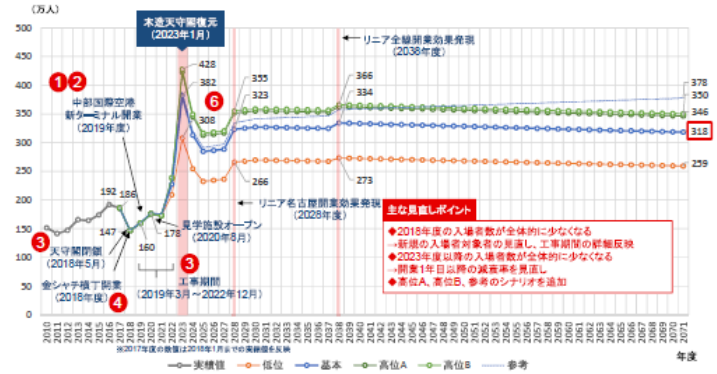
基本シナリオ
名古屋城への「新規の入場者数」+「リピートの入場者数」の頻度増加を考慮した場合
アンケート結果から、名古屋城にこれまで訪問経験のない人の訪問意向を地域別に反映。
リニア開業の影響も、名古屋城にこれまで訪問経験のない人の訪問意向のみ反映。
工事期間や料金の影響は、訪問経験のある人の意向も含んで推計。
アンケート結果から、入場者母数で推計された全ての人に対して、本速復元等による訪問頻度の変化が起きた場合を想定。いずれも地域別に推計。

低位シナリオ
名古屋城への「新規の入場者数」の増加のみ考慮した場合
基本シナリオの「リピートの入場者数」の頻度増加を考慮しない場合。(リピート頻度は現状と同じと仮定)

高位シナリオA
高位シナリオB
名古屋市内の都市魅力が上昇させる施策を実施し、名古屋城への来訪頻度が増えた場合
以下のアンケート結果の施策項目において、「訪問頻度が増える」と回答した人の頻度変化が起きた場合を加算。
A:「域内で魅力的なイベントが開催される」
B:「徒歩圏に飲食や買い物を楽しめるスポットがある」

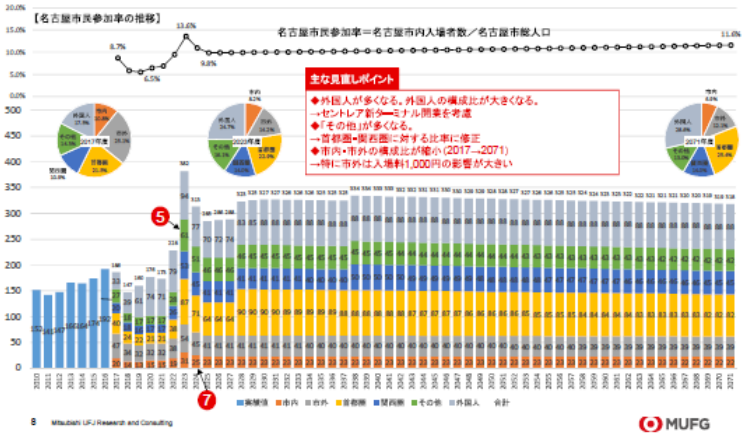
参考)シナリオ
名古屋市への外国人訪問率を過去5カ年トレンドとした場合

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果



3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（基本）

基本シナリオ
新規＋リピート増

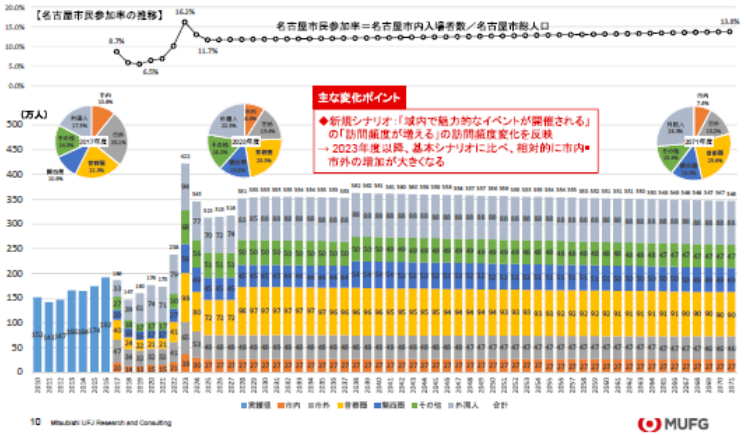


9 Mitsubishi UFJ Research and Consulting MUFG

9

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（高位A）

高位Aシナリオ
基本＋イベント

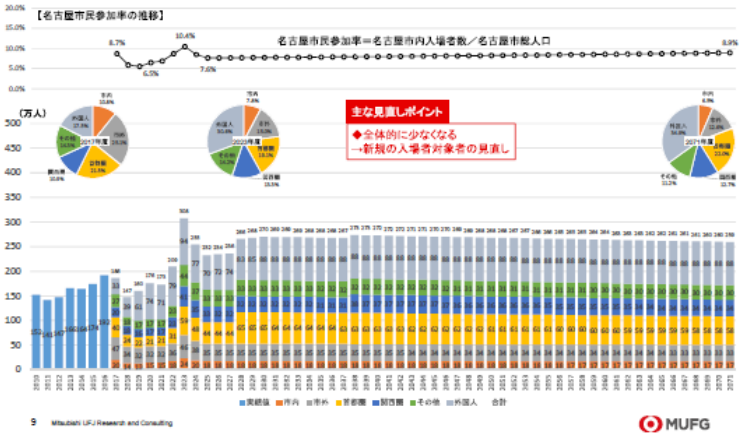


10 Mitsubishi UFJ Research and Consulting MUFG

11

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（低位シナリオ）

低位シナリオ
新規のみ

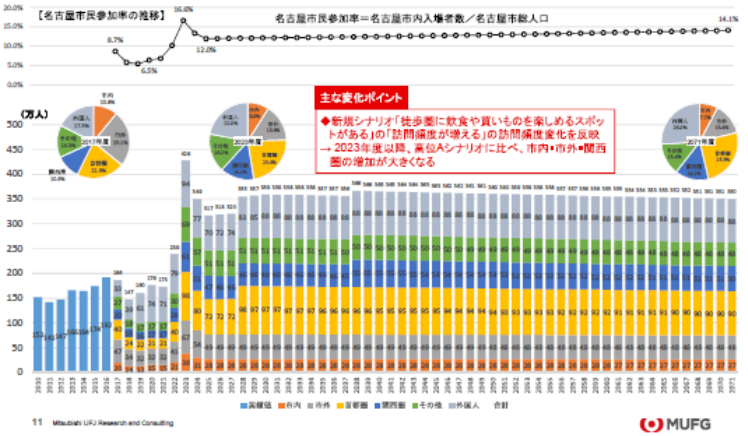


9 Mitsubishi UFJ Research and Consulting MUFG

10

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（高位B）

高位Bシナリオ
基本＋飲食・買い物

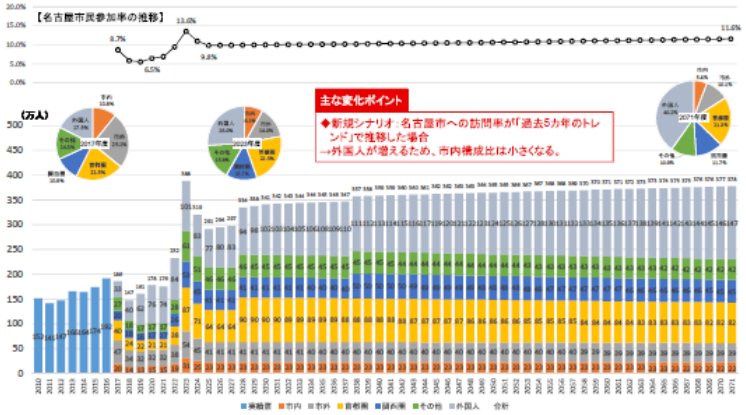


11 Mitsubishi UFJ Research and Consulting MUFG

12

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（参考）

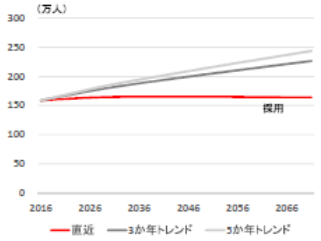
参考シナリオ
基本＋外国人訪問率UP



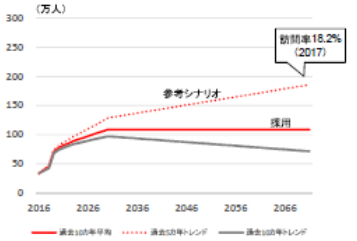
MUFG

参考データ

【国内の名古屋城入場者母数の推移】



【国外の名古屋城入場者母数の推移】



MUFG

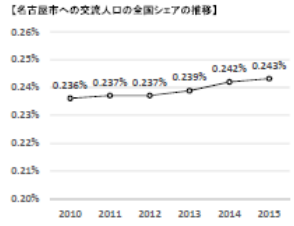
4. 名古屋城入場者数の推計結果のまとめ

シナリオ	復元(ピーク)の入場者数	復元後の年平均入場者数	2071年市内構成比	2071年市民参加率	基本シナリオとの比較にみる特徴
基本シナリオ	381.8万人	324.4万人	6.9%	11.6%	―
低位シナリオ	307.6万人	265.2万人	6.5%	8.9%	復元後平均320万人を確保するためには、リピート客の頻度上昇による約60万人の入場者数が必要
高位Aシナリオ	422.2万人	352.9万人	7.6%	13.8%	スポット的な施策である「イベントの取り組み」は市内・市外の構成比を高める 市民参加率は基本シナリオに比べ2.2ポイント高い
高位Bシナリオ	427.6万人	356.7万人	7.7%	14.1%	恒常的な施策となる「飲食・買いものを楽しめるスポット」の充実は、高位Aよりも市内、市外、関西圏の構成比を高める 市民参加率は高位Aに比べ0.3ポイント高い ※高位Aと高位Bの組み合わせも可能
参考	388.4万人	357.3万人	5.8%	11.6%	過去5カ年の訪問率トレンド（2071年18.2%）でいけば、2071年の外国人構成比は40.3%にのぼる（2016年の大阪城は日本人と外国人半々）

MUFG

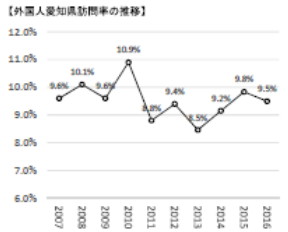
参考データ

【名古屋市への交流人口の全国シェアの推移】



出典：国土交通省「地域旅客流動調査」

【外国人愛知県訪問率の推移】



出典：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」、JNTO

MUFG

参考データ

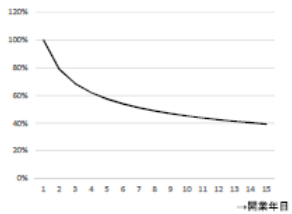
【減衰率の設定】　開業年で1,000,000人以上、かつ、データが収集可能な集客施設　　人

	開業年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
リニア・鉄道館	2011	1,057,400	679,300	592,200	531,000	546,000
熊本城	2007	2,219,517	1,710,201	1,440,355	1,589,925	1,579,714
スカイツリー	2012	6,648,000	6,190,000	5,310,000	4,790,000	4,490,000

Y＝αTβ
ここで、Y：入場者数、T：年数、α、β：係数
対数変換による回帰分析により、α、βを導出

	係数等	t値
相関係数	0.772	–
決定係数	0.596	–
サンプル数	15	–
α	−0.0291	−0.3810
β	−0.3006	−1.3821

減衰曲線



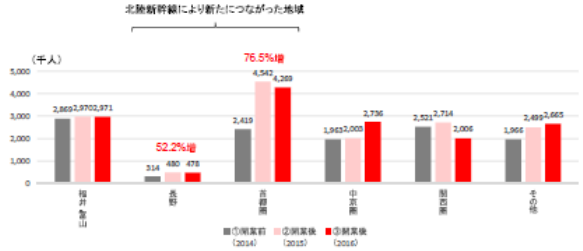
MUFG

II.　事業収支計画について

MUFG

参考データ

北陸新幹線と新たにつながった地域からの観光客数は、開業前に比べ1.5倍以上の伸び。



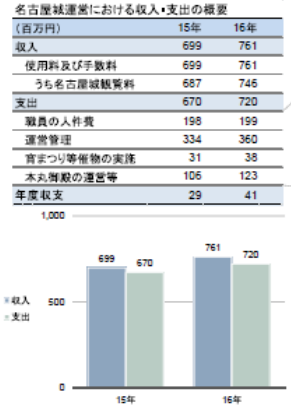
出典：統計からみた石川県の観光

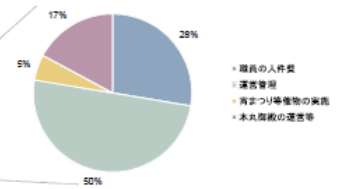
MUFG

1　事業収支の概要

名古屋城運営における収入・支出の概要

（百万円）	15年	16年
収入	699	761
使用料及び手数料	699	761
うち名古屋城観覧料	687	746
支出	670	720
職員の人件費	198	199
運営管理	334	360
育まつり等催物の実施	31	38
本丸御殿の運営等	106	123
年度収支	29	41





■ 職員の人件費：名古屋城総合事務所に勤務する職員33人（事務職員19名、技術職員14名｜2016年度）のうち管理課20人分の人件費

■ 運営管理：名古屋城の運営管理に係る費用

（百万円）	15年		16年	
全体	334	100%	360	100%
雇用費	103	31%	94	26%
光熱費	26	8%	27	7%
水道料	58	17%	51	14%
委託料	187	56%	214	59%
警備・清掃・環境等業務	109	33%	120	33%
工事請負費	16	5%	25	7%

MUFG

2 前提条件

木造天守閣復元事業の収支計画

		算定方法	条件設定
収入			
	観覧料収入	入場者数×入場料×客単価率×0.75	✓ 入場料：市内450円、市外1,000円 ✓ 客単価率＝客単価実績値÷入場料実績値（料金割引や無料入場者の影響を考慮） ✓ 名古屋城観覧料収入の75%を天守閣運営事業収入として充当。（天守閣整備費：本丸御殿整備費＝75：25）
	使用料収入	実績値×0.75	✓ 施設使用料、茶席使用料、行為使用料、駐車場使用料による収入の75%を計上。
支出			
	公債費（建設費＋利子）	元金＋利払い額	✓ 償還期間　40年（20年公募債・借換1回） ✓ 積立　当初：4年据置3%　借換：4年据置6% ✓ 利率0.565%（平成28年兵庫県実績）
	職員人件費	職員人数×単価	✓ 単価＝人件費実績値÷人数実績値 ✓ 人数　～21年度：5人、22～31年度：17人、32年度～：15人
	管理運営費	①運営管理＝天守閣分経費＋共通経費×0.75 ②催事実施＝実績値×0.75 ③消費税納付＝預かり消費税ー支払い消費税	① 管理運営費実績内訳を基に整理。（2ー1参照） ② 変動費は入場者数に連動。 ①・② 共通経費、催事費用の75%を天守閣経費として計上。 ③ 消費税率は現状の8%で設定。
	発注者支援＋事務費	n/a	✓ 市の予算に基づき設定。
	起債手数料	○発行手数料＝起債額×0.0416×1.08 ○新規記録手数料＝起債額×0.00005×1.08 ○償還手数料（元金）＝起債額×0.0000075×1.08 ○償還手数料（利子）＝起債額×0.0000075×1.08×2（上期・下期）	
	集客促進費	n/a	✓ 5周年ごとに記念イベントを実施。
	修繕費	n/a	✓ 10年ごとに修繕を実施。（市の予算を4回に配分）

MUFG

3 事業収支計画

《総収支額》（期間：2017年度～2071年度）

単位：百万円

						備考
入場者シナリオ	低位	基本	高位A	高位B	参考	
収入	**73,869**	**89,987**	**97,468**	**98,444**	**98,388**	
観覧料収入	73,314	89,431	96,913	97,888	98,843	名古屋城観覧料収入の75%
使用料収入	556	556	556	556	556	施設使用料等収入の75%
支出	**93,639**	**95,288**	**96,795**	**96,160**	**96,240**	
公債費	60,565	60,565	60,565	60,565	60,565	建設費（元金＋利子）
職員人件費	7,818	7,818	7,818	7,818	7,818	
管理運営費	21,392	23,041	23,749	23,914	23,994	運営管理、消費税納付、催事関係
発注者支援＋事務費	208	208	208	208	208	
起債手数料	369	369	369	369	369	
集客促進費	200	200	1,000	200	200	
修繕費	3,086	3,086	3,086	3,086	3,086	
収支額	**−19,769**	**−5,301**	**673**	**2,283**	**3,158**	収入ー支出

高位A：「域内で魅力的なイベントが開催される」 ➡ **木造天守閣オープン後、集客イベントを毎年実施**
高位B：「駐歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある」
参考　：名古屋市への訪問率が「過去5カ年のトレンド」で推移

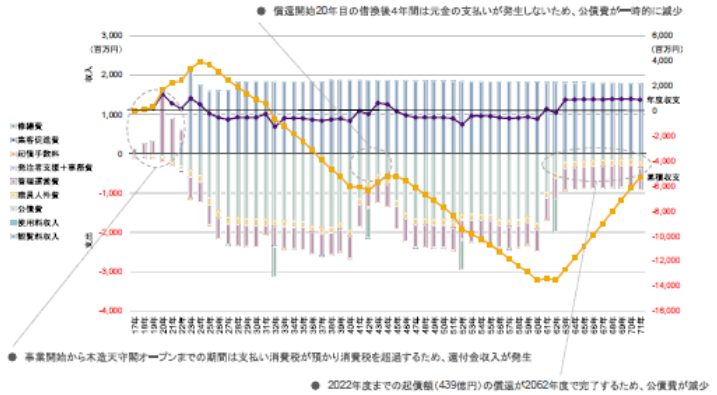
MUFG

2ー1．（参考）運営管理費科目の仕分け方法

■ 天守閣にかかる経費は全て本事業の経費とする。
■ 本丸御殿にかかる経費は、本丸御殿の管理運営のための収入は別で確保している（名古屋城収入の25%）と考え、本事業の経費としない。
■ 天守・本丸以外の特定の場所・施設または場所・施設が限定できない経費は、場所・施設が特定できない経費のみ天守閣にもかかる経費と考え、その75%を本事業の経費として計上する。（ただし、賃金、報償費、旅費、役務費、使用料・賃借料、工事請負費、原材料費、備品購入費、負担金補助・交付金は少額のため、本事業の経費から除いた）

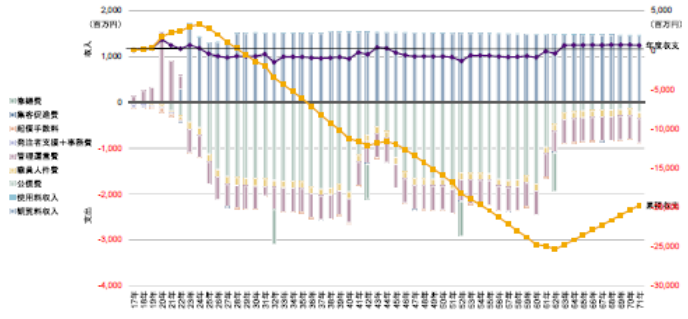
MUFG

3ー1．事業収支計画｜基本シナリオ



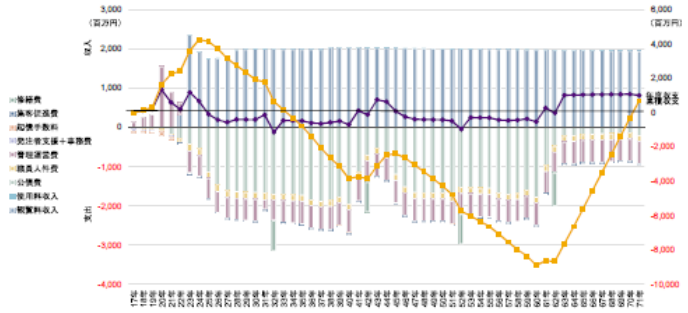
MUFG

3−2. 事業収支計画｜低位シナリオ



MUFG

3−3. 事業収支計画｜高位Aシナリオ



MUFG

3−4. 事業収支計画｜高位Bシナリオ

MUFG

3−5. 事業収支計画｜参考シナリオ

MUFG

名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会
第2回懇談会

資料2

民間活力の導入の検討

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

MUFG

資料2の構成

資料1 入場者数の見込み・事業収支計画のレビュー

ケース	シナリオ	年平均入場者数	総収支額(2017～71年度)	
低位シナリオ	新規入場者	265.2万人	▲19,769百万円	△支出超過
基本シナリオ	＋リピート入場者の増加	324.4万人	▲5,301百万円	△支出超過
高位Aシナリオ	基本＋域内で魅力的なイベントが開催される	352.9万人	673百万円	○収入超過
高位Bシナリオ	基本＋徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある	356.7万人	2,283百万円	○収入超過

入場者数増加や収支均衡には、**高位シナリオ(イベント・便益施設)の実現**と**経営効率化を図る**こと
また、これらを実施する**事業手法・民間活力の導入**が必要

資料2 民間活力の導入の検討

項目	内容
1 名古屋城にかかる課題の整理	・入場者数の増加に向けた名古屋城の弱み、法令上の課題
2 管理運営にかかる民間活力の導入	・経営効率化・市民サービス向上の方向、民間活力導入手法
3 便益施設及び収益事業にかかる民間活力の導入	・名古屋城での便益施設、収益事業の可能性
4 観光視点・家族視点などにかかる民間活力の導入	・市内外施設との連携、来場者の拡大(年代・国籍等)
5 入場者増加策と民間活力による事業収支	・上記の方策に基づく事業収支計画

MUFG

1 名古屋城にかかる課題の整理

MUFG

1－1 入場者数の増加に向けた課題

■名古屋城の特長と課題

	内 容	キーワード
特 長	【本物志向】 ○木造天守閣、本丸御殿、能楽堂等、"本物志向"型の観光施設として面的集積を有する ○非日常性を味わえるユニークベニューとしての活用の可能性 【象徴的な存在】 ○市民の誇りとして根強い象徴的な存在である「名古屋城」 ○隣接の愛知県体育館にて大相撲名古屋場所が行われる名古屋を代表するエリア 【集客力】 ○三英傑をテーマとしたエンターテイメント性の強い「名古屋おもてなし武将隊」 ○「宵祭り」などのイベント拠点 【観光資源の集積】 ○徳川園等の観光施設、伝統産業、四間道、円頓寺、大須、文化のみち等の集積	○史跡の面的集積 ○名古屋の代表エリア ○多彩なイベント ○街の界隈性
課 題	【資産の活用】 △消費行動に繋がる施設が乏しい(買う・食べる・観る・遊ぶ・癒やされる) 金シャチ横丁(物販・飲食)から、エンターテインメント・イベント・宿泊施設等への拡張 △ユニークベニューとして積極的に活用できていない(活用の余地が大きい) △夜間駐車場の有効活用が進んでいない(機会損失) 【市内施設との連携】 △「史跡の面的集積」と「街の界隈性」との相乗効果が発揮されていない △広域情報拠点として「次の目的地」への橋渡し機能が不足している △観光周遊バス:メーグルでは観光施設が網羅し切れていない 【来場者の拡大】 △外国人向けのニーズや意向に合った案内 △本物であるがゆえに有する、授乳室、おむつ替え、バリアフリー(エレベーター、スロープ、手すり等)への対応の難しさ △様々な世代に支持され、好まれるコンテンツの提供	△便益施設の整備 △収益事業の拡大 △利用の拡大 △拠点性・周遊性の強化 △多様性への対応

MUFG

1－2 （参考）お城観光への影響要因

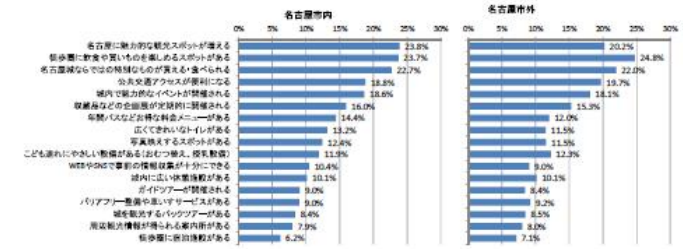
インターネットアンケート調査結果より抜粋

【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。

■来場者属性ごとの意向確認

○お城観光の頻度が増える要因

名古屋市内・名古屋市外ともに・・・・「魅力的な観光スポットが増える」、「徒歩圏に飲食や買い物を楽しめるスポットがある」、「名古屋城ならではの特別なものが買える・食べられる」、「公共交通アクセスが便利になる」、「場内で魅力的なイベントが開催される」等



MUFG

2 管理運営にかかる民間活力の導入

MUFG

1－3 法令上の課題

■特別史跡（文化財保護法）

- **名古屋城のほとんどが特別史跡に指定されている。**
- **特別史跡内での建築物の新築設置は国の許可が必要となり、建築物の新築設置は難しい。**
- **便益施設は特別史跡外での設置が基本となる。**

文化財保護法　第125条

史跡名勝天然記念物に関しその現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官の許可を受けなければならない。

■都市公園（都市公園法）

- **名城公園は、都市公園法上の都市公園に該当する。**
- **民間事業者による建築物の設置・管理には名古屋市の許可が必要となる。**
- **名古屋市は、名城公園内に民間事業者による便益施設（tonarino、金シャチ横丁）を設置している。**

都市公園法　第5条

公園を管理する者以外の者は、都市公園に公園施設を設け、又は公園施設を管理しようとするときは、条例で定める事項を記載した申請書を公園管理者に提出してその許可を受けなければならない。

※名古屋市「特別史跡名古屋城跡全体整備計画　増補版」（平成24年12月）に加筆

MUFG

2－1 管理運営における民間活力の導入

■主な支出科目と民間活力の導入可能性

事業名	科目	主な支出・業務	金額等（H28決算）	経営効率化・市民サービス向上の方向
職員の人件費			328,237,698円	●直営業務の民間委託
指定管理	報酬	指導員・学芸嘱託員等	10,809,600円	・人件費の縮減
	共済費	上記共済費	1,998,496円	・民間事業者による広報・宣伝、行催事の企画・運営
	賃金	臨時職員	1,791,603円	
	報償費	謝金・謝礼品	88,037 円	
	旅費	出張旅費等	3,210,630円	
	需用費	光熱費	25,798,889円	●需用費の市負担から民間負担への移行
		水道料	50,557,477円	・民間事業者によるコストマネジメント
		印刷製本費	8,949,420円	
		その他消耗品等	8,173,283円	
	委託料	発券・改札・警備・清掃等	129,887,447円	●単年度・分離分割発注の長期・包括契約への移行
		植物管理・剪定・除草	48,167,038円	・既に3年・包括契約に移行済み
		建物設備保守	8,916,480円	⇒経費削減効果あり
		展示室等運営	1,998,000円	**⇒更なる経営効率化を図る方策**
		農業施設管理	9,426,755円	**・契約期間の長期化（例：10年超）**
		その他運営管理	15,115,983円	**・直営業務を含めた鍵屋と監督権の付与**
	工事請負費	経常営繕工事	22,877,424円	**・収益機会の拡大**
		耐化整備工事	1,846,800円	
	原材料費		491,940円	
	備品購入費		1,523,219円	
	負担金補助等		252,116円	

MUFG

2－2　民間活力導入手法

■経営効率化・市民サービス向上を図る民間活力導入手法
民間に裁量を付与し、より経営効率を高める手法として、公募設置管理制度(Park-PFI)が考えられる。

制度名	根拠法	事業期間	民間の事業範囲	民間の裁量	導入効果	事例
包括委託(現状)	―	3年	・管理運営	(基準)		
指定管理者制度	地方自治法	3～5年	・管理運営 ・収益事業	やや大きい	①サービス向上 ②コスト削減(管理運営) ③収益増加	大阪城公園 (公募設置管理制度に近い手法)
PFI事業	PFI法	10～30年	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・収益事業	大きい	①サービス向上 ②コスト削減(＋施設整備) ③収益増加	熊本城様の馬場
設置管理制度	都市公園法	10年以内	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・収益事業	大きい	①サービス向上 ②コスト削減(＋施設整備) ③収益増加	名城公園北園
コンセッション	PFI法	10～30年	・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・収益事業	より大きい	①サービス向上 ②コスト削減(＋施設整備) ③収益増加 ④運営権対価の市への納付	(公園施設にはない)
公募設置管理制度(Park-PFI)	**都市公園法**	**20年以内**	**・資金調達 ・施設整備 ・管理運営 ・便益施設**	**より大きい**	**①サービス向上 ②コスト削減(＋施設整備) ③収益増加 ④収益の市への還元**	久屋大通公園

3　便益施設及び収益事業にかかる民間活力の導入

3－1　便益施設・収益事業の取組み

■想定される便益施設・収益事業の取組み例（赤字は次頁以降で紹介）

	内　容	事例・実施案
便益施設	・カフェ・レストラン・土産物施設の拡充 ・観光案内所の整備	・**商業・観光案内施設(JO-TERRACE OSAKA(大阪城))** ・飲食施設(旧第四師団司令部庁舎(大阪城))
	・名古屋文化(元禄料理)の提供、多様性への対応	・ムスリム対応　等
収益事業	・ユニークベニューとしての積極的な運用	・**プロジェクションマッピング(大阪城)** ・レセプション ・ウェディング(二条城、掛川城) ・グルメイベント(ビアガーデン(松本城、掛川城)) ・宿泊(グランピング(島原城)) ・将棋タイトル戦(掛川城)
	・場内観覧方法の拡大	・城内循環バス(大阪城) ・セグウェイツアー(二条城)
利用の拡大	・既存の大規模イベントを名古屋城での開催	・どまつり、コスプレサミット、武将をテーマにしたイベント　等 ・コスプレ撮影・島原城
	・名古屋城を活用した新規イベントの開催	・カーミーティング(皇川相府)、 ・チャンバライベント(宇和島城) ・スポーツイベント(トライアスロン・モトクロスバイク(大阪城)、駅伝大会(松本城、舞鶴城)　※利用の拡大を兼ねる
	・夜間イベント	・天守閣からの初日の出観覧、天守閣・本丸御殿等での宿泊等
	・ビジネス客を取り込む、早朝、夜間営業拡大	
市民の日常利用	・高齢者向けのコミュニティスペースとしての場の提供	・ラジオ体操、太極拳、ゲートボール　等
	・ワークショップの開催	・カメラ教室、盆栽教室　等
愛着の醸成	・ファンクラブ、スポンサー制度	・名前入り平板ブロック(シトレア)
	・バックヤードツアー	

3－2　便益施設事例　大阪城 JO-TERRACE OSAKA

■特別史跡外における施設の設置例

【大阪城の便益施設の例】
・大阪城を管理する民間事業者の提案により、平成29年6月、城内で商業施設「JO-TERRACE OSAKA」がオープン(延床面積4,823㎡)。
・天守閣を眺めながらバーベキューを楽しめるレストランや、和装体験ができる和食・和スイーツ店など、幅広い業態の飲食店を中心に22店舗が開業。観光案内機能も備える。

3−3 名古屋城での便益施設

【名古屋城における便益施設の可能性】

・現状、城内（特別史跡内）において売店4店舗を運営。名城公園（特別史跡外）において、平成29年4月に商業施設「tonarino」がオープンし、平成30年3月に金シャチ横丁もオープン予定。

・一定規模の建築物の新築が可能なエリアとして、正門前駐車場東側用地と名城公園（南園）がある。

正門前駐車場東側用地　：市内観光の拠点となりうる立地 ⇒ 観光案内所・エンターテインメント（金シャチ横丁第二期）

名城公園・南園　：天守閣の眺望に最も優れる場所の一つ ⇒ レセプション・宿泊施設

MUFG

3−4 収益事業事例 大阪城 プロジェクションマッピングイベント

■特別史跡内でのイベント

【大阪城の収益事業の例】

・USJが西の丸庭園（特別史跡内）でプロジェクションマッピングイベント「戦国ザ・リアル」を開催（H28.12.16～H29.3.12）。

・これと連携する形で、大阪城を管理する民間事業者が、天守閣内で企画展示「戦国ザ・リアル」を実施（H28.11.30～H29.1.26）。

・その結果、天守閣への入館者数が前年同期間（約2ヶ月間）と比べて26,672人(8.35%)増の346,036人となった。

MUFG

3−5 名古屋城での収益事業

【名古屋城における収益事業の可能性】

・二之丸広場を活用したイベントの企画・誘致
（ユニークベニューとしての押力的な運用）

・既存イベントとの連携
どまつり、コスプレサミット、武将をテーマにしたイベント等、年間を通じたイベントの実施
・レセプション、ガーデンウェディング
・スポーツイベント
・グルメイベント
・宿泊（グランピング等）

MUFG

3−6 （参考）収益事業事例

収益事業

■ミライザ大阪城

大阪城本丸広場にある「旧第四師団司令部庁舎」を改装・活用した商業施設。2017年10月にオープン。大阪パークマネジメントによる管理運営。

写真：大阪市ウェブサイト

■大阪城公園内移動交通システム

場内の移動を円滑にするために配置されている有料の交通システム。

■大阪城フリースタイルモトクロス

2014年5月、世界最高峰のフリースタイル・モトクロス（FMX）大会「Red Bull X-Fighters World Tour」を大阪城公園の西の丸庭園にて開催。専用コース（盛土）を設置。

■大阪城トライアスロン

大阪城内を使用してトライアスロンを開催。スイムは、外堀を活用。2017年6月に初開催。約900名の選手と、家族、観光客などで賑わった。

■二条城ウェディング

世界遺産「二条城の美しいロケーションを活かした人前結婚式を行うことができる。2009年より開始。

■二条城セグウェイツアー

世界遺産二条城の二の丸御殿、本丸殿、清流園などを眺めながら数多くの見所をガイドと一緒に巡るセグウェイツアー。

■島原城 グランピング

島原城前に広がる広場にて、テントを立て宿泊できるグランピングイベントを開催。

利用の拡大

■舞鶴城公園 剣道大会

毎年4月に開催される信玄公祭りのイベントとして、舞鶴城公園にて、甲府市剣道連盟大野試合が開催させている。

写真：甲府市ウェブサイト

■松本城・少年少女剣道なぎなた大会

11月の秋祭りのイベントの一つとして、に松本城庭園にて開催。

写真：松本市ウェブサイト

■島原城 コスプレ撮影会

島原城をはじめ、近隣の武家屋敷・四明荘等を開放し、コスプレイヤーが撮影をすることができる。コンベンションビューロー事業。

写真：島原市ウェブサイト

■宇和島城 チャンバライベント

宇和島への愛着を持ってもらうために宇和島市が開催する小学生向けのイベント。城落としゲーム、火縄銃実演等。

■愛川篝荷 カーミーティング

クラシックカー愛好家が、愛車を愛川篝荷に集まり、境内でイベントを行うもの。会が賑わいイベントへの協力をした先進的な事例。

4 観光視点・家族視点などにかかる民間活力の導入

4－1 観光視点・家族視点における基本的な考え方

■観光視点における基本的な考え方

内 容
○魅力度 ・観光地の魅力の向上 **○アクセス性** ・観光客が来やすく、他の観光スポットからの往来がしやすい交通ネットワークの充実 **○拠点性** ・周遊観光の拠点としての位置付け **○情報発信** ・様々な観光情報が入手可能 ・外国人向けの案内の充実（多言語対応） ・観光案内のゲートウェイ（外国人観光案内所認証カテゴリーⅢ）

多機能を有する観光案内所
（東京都台東区立浅草文化観光センター）

■家族視点における基本的な考え方

内 容
○安心、快適 ・誰もが安心して、快適に利用できる設備（トイレ、休憩所 等） **○多様性** ・ファミリー、障がい者、高齢者、外国人、宗教等、多様な客層のニーズに対応（様々なコンテンツ、多目的スペースなどの設備 等） **○満足度** ・様々な客層のニーズや要望、欲求に応える施設整備

利用者満足度が高まるトイレ（JRゲートタワーモール）

4－2 名古屋城での観光視点・家族視点の取組み

■観光視点の取組み例

	内 容
アクセス向上	・周遊バス「メーグル」ルート拡充 ・観光バス駐車スペースの充実 ・レンタサイクルの導入 ・堀川クルーズの活用、外堀での水上交通・架橋、BRT・LRT 等
周遊性向上	・市内観光施設との連携 ・名古屋城の観光の拠点化 ・近隣他城との連携（犬山城、岡崎城、岐阜城 等）
情報発信	・名古屋市の観光情報の集約化 ・市外、県外の観光地の情報発信による観光拠点間のネットワーク化

■家族視点の取組み例

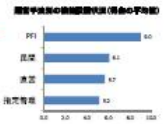
	内 容
設備：トイレ	・個数の充足、和便器・洋便器の割合、本物志向（木製・畳敷等）の採用等 ・居心地の良いトイレ空間・利用したくなるトイレ空間の創出 ・多目的トイレの整理（障がい者、子連れ、オストメイト、LGBT 等）
施設：休憩所	・入場者数増加への対応（拡大、設備の充実等） ・多目的機能の追加 （オムツ替え、授乳、着替え、コインロッカー 等）
多様性への対応	・多目的スペースの設置 （おむつがえ、着替えスペース、礼拝スペース 等） ・多国籍対応（多言語表記、多言語案内、留学生を活用した名古屋城ガイド、戦略的な情報発信 等） ・様々な宗教、食文化への対応（礼拝スペースの設置、飲食施設での原材料表記 等） ・障がい者の観覧への対応（城内の移動の円滑化）

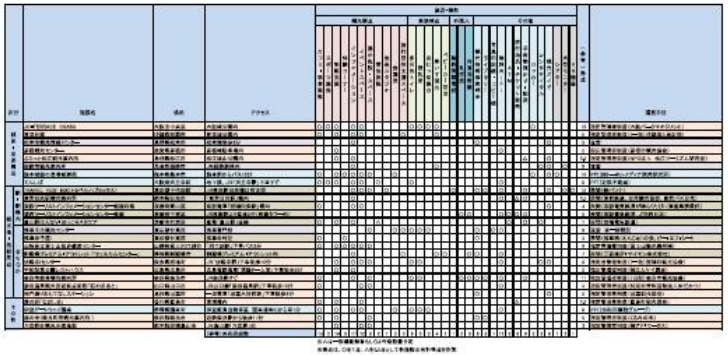
4－3 観光視点・家族視点にかかる民間活力の導入

・観光視点・家族視点のサービスを提供する全国の観光案内所等の先進事例について、施設が有する機能別に整理し、機能の有無をもとに数値化した。

○運営手法・・・PFIで運営されている施設は、比較的機能が充実。

○保有機能・・・観光視点では、インフォメーション、物販施設、カフェ・飲食施設、イベントスペース等といった機能が比較的充実。家族視点では、授乳室、おむつ交換台などの機能を有する施設は少ない。



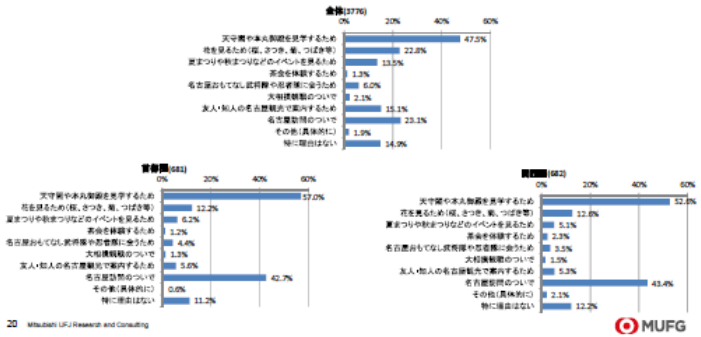


4－4 （参考）観光視点からのお城観光への影響要因①

インターネットアンケート調査結果より抜粋

【設問】どのような理由で名古屋城の「お城観光」をしていますか。あてはまるものを全て選んでください。

○首都圏や関西圏では、「名古屋訪問のついで」の割合が4割を超える。

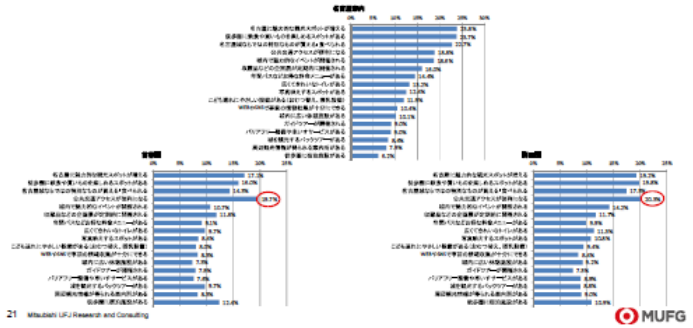


4－5 （参考）観光視点からのお城観光への影響要因②

インターネットアンケート調査結果より抜粋

【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。

○「首都圏」「関西圏」では、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「公共交通アクセスが便利になる」の割合が2割程度と最も高い。また、「徒歩圏に宿泊施設がある」の割合は、名古屋市内・名古屋市外に比べて高い。



4－6 （参考）観光視点からのお城観光への影響要因③

インターネットアンケート調査結果より抜粋

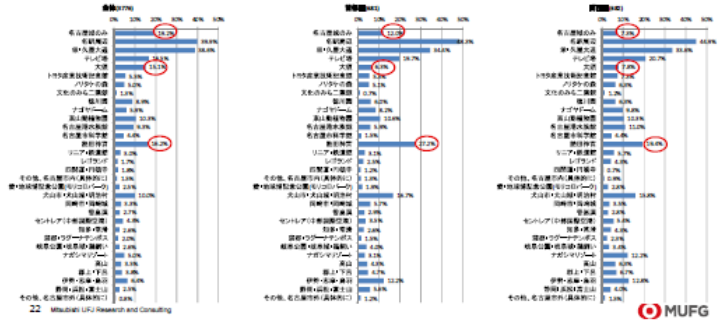
【設問】前問、名古屋城を「お城観光」したときに、その前後で訪れた観光施設（地域）はありましたか。あてはまるものを全て選択してください。

○首都圏や関西圏では、全体と比べ、「名古屋城のみ」は少ない。名古屋城の他の周遊先として、「大須」は、全体と比べて少なく、「熱田神宮」、「犬山」は全体と比べて多い。

⇒名古屋訪問のついで容りの促進、他の観光施設（地域）からの誘客を行うために、名所との回遊性向上が求められる。

（参考）平成27年度名古屋市観光客・宿泊客動向調査　http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/cmsfiles/contents/0000088/88464/27honpen-2-1.pdf

⇒名古屋城を訪れる人がセットで訪れる観光施設は、熱田神宮が他と比べて多い。（10.7%） 熱田神宮を訪れた人がセットで訪れる場所についても、名古屋城が他と比べて多い。（17.8%）



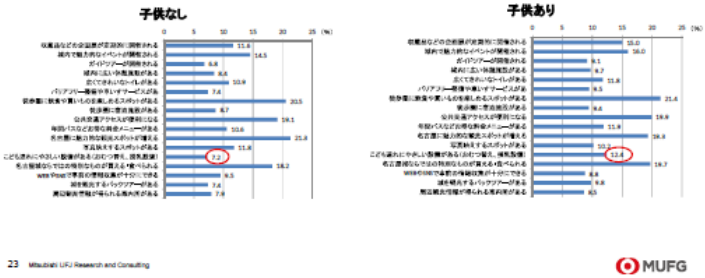
4－7 （参考）家族視点からのお城観光への影響要因

インターネットアンケート調査結果より抜粋

【設問】「名古屋城天守閣の木造復元」の竣工後、以下の条件がある場合、名古屋城を「お城観光」する行動に影響が出ると思いますか。

○「子供あり」が「子供なし」に比べて、お城観光する頻度が増えると回答した方の割合の高い条件として、「こども連れにやさしい設備がある（おむつ替え、授乳設備）」が挙げられる。

○最も割合の高い条件は、「子どもなし」が「名古屋に魅力的な観光スポットが増える」(21.3%)、「子どもあり」が「徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポットがある」(21.4%)である。



5 入場者増加策と民間活力導入による事業収支

MUFG

5－1 前提条件 入場者増加策と民間活力導入の効果

		算定方法	条件設定
収入			
	観覧料収入	**収益事業(イベント)による入場者数の増加**	**◇入場者数の増加** 基本入場者数　**入場者増加波効果** 基本シナリオ　⇒　**高位シナリオA** ※想定される便益施設は「徒歩圏に飲食や買いものを楽しめるスポット」ではなく、現段階で高位シナリオBは採用し難い
	使用料収入	**便益施設の設置許可**	**◇使用料収入の増額** 便益施設(宿泊施設を想定)の設置許可による使用料 ✓ 年間使用料 設置許可面積10,000㎡ × 2,500円/㎡ ＝ **25,000千円**
支出			
	公債費(建設費＋利子)	(変更なし)	
	職員人件費	**人件費の削減**	**◇人件費の削減** 市の国営業務の民間事業者による実施 **民間人件費単価の採用**(平成28年賃金構造基本統計調査(不動産業)) ✓ 民間人件費単価 年間給与×(1＋保険料事業主負担率)＋賞与等
	管理運営費	**管理運営費の削減**	**◇管理運営費の削減** 名古屋城は、3年・包括委託によって既に10%程度費用削減 20年の長期・包括委託によってさらに**5%費用削減**と想定
	発注者支援＋事務費	(変更なし)	
	総債手数料	(変更なし)	
	集客促進費	**イベント実施頻度の増加**	**◇イベント実施頻度の増加** 毎年イベントを実施すると想定
	修繕費	(変更なし)	

MUFG

5－2 事業収支計画

《総収支額》(期間：2017年度～2071年度)

・イベント等(収益事業)の実施により入場者が増加することで観覧料収入が75億円増額し、収入超過となる(①⇒④)。

・民間活力(Park-PFI等)の導入効果(人件費・管理運営費▲23億円)によって収支は改善し(④⇒⑤)、便益施設の使用料収入増(12億円)によってさらに事業収支は改善する(⑤⇒⑥)。

単位：百万円

	①	②	③	④	⑤	⑥
入場者シナリオ	基本	基本	基本	高位A	高位A	高位A
人件費水準	実績(H28)	民間	民間	実績(H28)	民間	民間
委託料	実績(H28)	削減	削減	実績(H28)	削減	削減
使用料収入	実績(H28)	実績(H28)	増加	実績(H28)	実績(H28)	増加
収入	**89,987**	**89,987**	**91,212**	**97,468**	**97,468**	**98,693**
観覧料収入	89,431	89,431	89,431	96,913	96,913	96,913
使用料収入	556	556	1,781	556	556	1,781
支出	**95,288**	**92,945**	**92,945**	**98,795**	**94,452**	**94,452**
公債費	60,565	60,565	60,565	60,565	60,565	60,565
職員人件費	7,818	6,170	6,170	7,818	6,170	6,170
管理運営費	23,041	22,347	22,347	23,749	23,054	23,054
発注者支援＋事務費	208	208	208	208	208	208
総債手数料	369	369	369	369	369	369
集客促進費	200	200	200	1,000	1,000	1,000
修繕費	3,086	3,086	3,086	3,086	3,086	3,086
収支額	**-5,301**	**-2,958**	**-1,733**	**673**	**3,016**	**4,241**

MUFG

6 まとめ(論点整理)

MUFG

6 まとめ（論点整理）

項目	論点
1 名古屋城にかかる課題の整理	・便益施設の整備、収益事業の拡大、利用の拡大、観点性・周遊性の強化、多様性への対応 ・特別史跡内での便益施設の新規整営は難しく、特別史跡外（都市公園内）での整備が基本
2 管理運営にかかる民間活力の導入	・経営効率化のためには、契約期間の延長、裁量と運営権の付与、収益機会の拡大が必要 ・民間に裁量を付与し、より経営効率を高める手法として、公募設置管理制度（Park-PFI）等の導入が考えられる
3 便益施設及び収益事業にかかる民間活力の導入	・正門前駐車場東側用地での観光案内所・エンターテインメント施設、名城公園・南園でのレセプション・宿泊施設の整備（使用料収入増） ・ニの丸広場（ユニークベニュー）を活用した、既存イベントとの連携、レセプション、ガーデンウェディング、スポーツイベント、グルメイベント、宿泊等の実施
4 観光視点・家族視点などにかかる民間活力の導入	・名古屋城そのものと市内他施設の魅力向上、名古屋城を拠点性とした様々な情報発信及び市内他施設への相互のアクセス性向上が必要 ・多様なニーズに対応した、安心・快適で満足度を高める施設整備・機能の拡充が必要
5 入場者増加策と民間活力による事業収支	・事業収支の均衡を図るには、イベント等の実施によって入場者数の増加が必要 ・事業収支の改善、将来の入場者数の変動リスク等に対応するには、Park-PFI、便益施設の整備等に民間活力の導入が必要

I. 経済波及効果分析の概要

配布資料

名古屋城天守閣木造復元に関する専門家懇談会
第2回懇談会

経済波及効果分析結果

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

MUFG

分析目的と分析フロー

■経済波及効果分析の目的

名古屋城の木造天守閣復元後には、入場者数の増加が期待されるが、同時に関連する観光消費額の増加も期待される。

名古屋城は、名古屋市のみならず、愛知県および中部の目玉となる重要な観光資源であるため、本分析では、広域的な視点をもって愛知県内に及ぶ波及効果を算出する。

産業連関分析を用いて、名古屋城入場者による観光消費によって、県経済に対してどの程度のインパクト（生産誘発）が期待されるかを、定量的に示すことを目的に分析を行う。

■分析手法

愛知県県民生活部統計課より公表されている愛知県産業連関分析ツール（110部門）を活用する。

■インプットデータ（発生需要額の設定）

建設工事（天守閣木造復元）：年次毎の投資額のタイミングは問わず建設工事全体を対象として波及効果を算出

名古屋城来場者による観光消費：年次毎の入場者数【推計】に基づき、来場者消費に伴う波及効果を年次毎に算出

算出年次
- y2020：東京オリンピック・パラリンピック開催年
- y2030：木造天守閣竣工時
- y2024：木造天守閣竣工の翌年
- y2028（リニア開業翌年）：木造天守閣竣工から5年後時点
- y2033：木造天守閣竣工から10年後時点

■経済波及効果分析のフロー

【インプットデータ】（発生需要額の設定）

名古屋城入場者数【推計】

建設工事（天守閣木造復元）※総事業費505億円

名古屋城入場者による観光消費 ※入場者数×観光消費原単位

※時点は問わない

※算出年次毎

【分析手法】

発生需要額の産業分類の対応整理

産業連関分析ツール（直接効果＋間接1次＋間接2次まで）

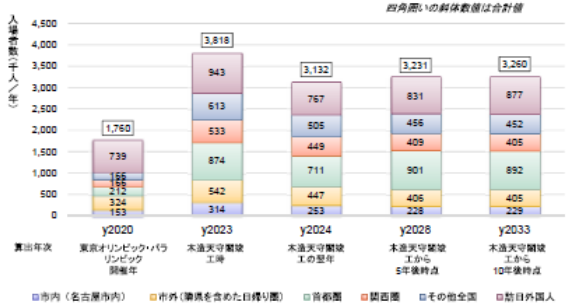
【アウトプット】

経済波及効果（誘発効果）

名古屋城入場者数【推計】

名古屋城を訪れる観光客によってもたらされる観光消費額の算出根拠となる入場者数（推計結果）は以下を適用。

■名古屋城入場者数（推計値）の居住地別内訳



（参考）宿泊・日帰り比率のバックデータ

既存統計を用いて、名古屋城を訪れる日本人（広域客）および外国人の宿泊・日帰りの比率を以下の通りに設定。

■名古屋市を訪れる日本人（広域客）の宿泊客比率の設定

～名古屋市を訪れた観光客

2016年度		全体	名古屋市内客	市外客
観光入込客実人数		4,727 万人	1,711 万人	3,016 万人
	日帰り客	4,088 万人	1,707 万人	2,381 万人
	宿泊客	639 万人	4 万人	635 万人
観光入込客実人数		100%	100%	100%
	日帰り客	86%	99.8%	79%
	宿泊客	14%	0.2%	21%

出典：名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」

■愛知県を訪れる外国人観光客の宿泊客比率の設定

2016年暦年
観光入込客数（千人回）

	訪日外国人		
	日帰り	宿泊	計
観光等	739	639	1,378
ビジネス	75	1,086	1,161
計	814	1,725	2,539

日帰り・宿泊構成比率

	訪日外国人		
	日帰り	宿泊	計
観光等	54%	46%	100%
ビジネス	6%	94%	100%
計	32%	68%	100%

出典：愛知県「平成28年愛知県観光入込客統計（観光入込客統計に関する共通基準）」

リニア開業後、首都圏や関西圏から名古屋市（愛知県）を訪れる観光客について、日帰り・宿泊の構成が変わりうることも想定されるが、本設定では、リニア開業後の観光客属性（日帰り・宿泊）の比率は現状値から変わらないという仮定のもと算出する。

名古屋城　入場者数【推計】観光客属性（日帰り、宿泊）の設定

市内、市外の入場者は日帰り客と仮定。広域および訪日外国人については調査する調査結果から宿泊・日帰り比率を用いて算出。

（単位：千人）	観光客属性	y2020 東京オリンピック・パラリンピック開催年	y2023 本造天守閣竣工時	y2024 本造天守閣竣工の翌年	y2028 [リニア開業後年] 本造天守閣竣工から5年後時点	y2033 本造天守閣竣工から10年後時点
名古屋城　入場者数	合計	1,760	3,818	3,132	3,231	3,260
	日帰り	1,303	2,957	2,427	2,475	2,486
	宿泊	457	861	705	756	774
市内（名古屋市内）	日帰り	153	314	253	228	229
市外（隣県を含めた日帰り圏）	日帰り	324	542	447	406	405
広域（首都圏、関西圏、その他）	合計	544	2,020	1,665	1,766	1,749
	日帰り	429	1,596	1,316	1,395	1,382
	宿泊	114	424	350	371	367
首都圏	合計	212	874	711	901	892
	日帰り	167	690	561	712	705
	宿泊	44	183	149	189	187
関西圏	合計	166	533	448	403	405
	日帰り	131	421	355	323	320
	宿泊	35	112	94	86	85
その他全国	合計	166	613	505	456	452
	日帰り	131	484	399	360	357
	宿泊	35	129	106	96	95
訪日外国人	合計	739	943	767	831	877
	日帰り	396	505	411	446	470
	宿泊	343	437	356	385	407
名古屋城　入場者数（国内）	合計	1,021	2,876	2,365	2,400	2,384
	日帰り	907	2,452	2,015	2,029	2,016
	宿泊	114	424	350	371	367

本設定では、リニア開業後の観光客属性（日帰り・宿泊）の比率は現状値を想定する。

←21%（市外客の宿泊比率）
名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」

←46%（観光目的・宿泊比率）
平成28年愛知県観光入込客統計「観光入込客統計に関する共通基準」

観光消費額単価

名古屋城入場者の居住地属性および観光客属性（日帰り・宿泊）に応じて、下表のとおり観光消費単価を設定。

■名古屋城入場者による観光消費額算定に用いる消費単価

（円／人回）

居住地	観光客属性	食事	交通費	土産費	宿泊費	入場料	その他	計	
市内（名古屋市内）	日帰り	1,116	451	491		370	477	2,905	①
市外（隣県を含めた日帰り圏）	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211	①
広域（首都圏、関西圏、その他）	日帰り	1,999	1,056	1,512		850	794	6,211	①
	宿泊	4,491	1,674	5,154	8,188	1,254	1,769	24,530	①
訪日外国人	日帰り	1,342	781	3,933		245	6	6,307	②
	宿泊	4,007	2,332	13,760	8,188	751	18	27,016	②

①の設定にあたって
・名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」の数値を適用。
※名古屋市での消費額の概念

②の設定にあたって
・平成28年愛知県観光入込客統計「観光入込客統計に関する共通基準」より、消費単価の合計をベンチマークとして、観光庁「訪日外国人消費動向調査(2016年確報)」の費目別消費額より、消費費目の大項目の比率から按分して内訳の単価を算出。
※愛知県内での消費額の概念

（参考）共通基準による観光入込客統計における訪日外国人（観光目的）の消費単価の例

（円／人回）

2016年	観光目的	北海道	岩手県	宮城県	東京都	新潟県	山梨県	岐阜県	三重県	京都府	兵庫県	愛知県
	日帰り		12,035	9,952	31,135	8,883	3,281	12,257	10,904	4,848		6,307
	宿泊	133,853	33,872	32,488	91,766	35,420	7,862	14,798	25,254	22,420	14,568	27,016

※当該都道府県内における消費の単価。
※調査時点で、一部の県は2016年値が集計中となっている。（なお、大阪府のみが共通基準による統計作成を未導入。）

名古屋城　入場者による観光消費額

名古屋城入場者数と観光消費単価を乗じて、観光消費額を算定。本データが、経済波及効果分析のインプットデータ(発生需要額)となる。

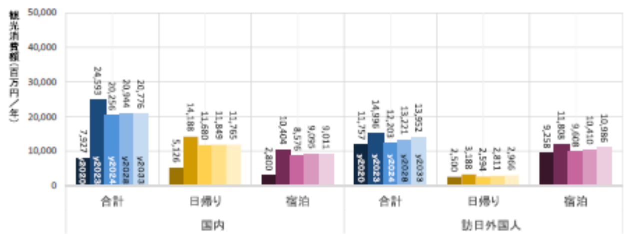
■名古屋城入場者による観光消費額（産業連関分析の発生需要額）

算出年次				y2020 東京オリンピック・パラリンピック開催年	y2023 木造天守閣竣工時	y2024 木造天守閣竣工の翌年	y2028（リニア開業翌年）木造天守閣竣工から5年後時点	y2033 木造天守閣竣工から10年後時点
（単位：百万円）			観光客属性	y2020	y2023	y2024	y2028	y2033
名古屋城　入場者数による観光消費額			合計	19,684	39,589	32,459	34,165	34,728
			日帰り	7,626	17,377	14,274	14,660	14,731
			宿泊	12,058	22,213	18,184	19,506	19,997
	市内（名古屋市内）		日帰り	445	913	736	663	666
	市外（隣県を含めた日帰り圏）		日帰り	2,014	3,386	2,778	2,522	2,517
	広域（首都圏、関西圏、その他）		合計	5,468	20,315	16,744	17,759	17,594
			日帰り	2,668	9,910	8,168	8,664	8,583
			宿泊	2,800	10,404	8,576	9,095	9,011
		首都圏	合計	2,131	8,787	7,147	9,059	8,973
			日帰り	1,040	4,287	3,487	4,419	4,377
			宿泊	1,091	4,500	3,661	4,640	4,595
		関西圏	合計	1,667	5,362	4,516	4,117	4,074
			日帰り	813	2,616	2,203	2,008	1,988
			宿泊	854	2,746	2,313	2,108	2,087
		その他全国	合計	1,670	6,165	5,080	4,583	4,547
			日帰り	815	3,007	2,478	2,236	2,218
			宿泊	855	3,157	2,602	2,347	2,329
	訪日外国人		合計	11,757	14,996	12,203	13,221	13,952
			日帰り	2,500	3,188	2,594	2,811	2,966
			宿泊	9,258	11,808	9,608	10,410	10,986
国内			合計	7,927	24,593	20,256	20,944	20,776
			日帰り	5,126	14,188	11,680	11,849	11,765
			宿泊	2,800	10,404	8,576	9,095	9,011
	訪日外国人		合計	11,757	14,996	12,203	13,221	13,952
			日帰り	2,500	3,188	2,594	2,811	2,966
			宿泊	9,258	11,808	9,608	10,410	10,986

観光消費額(国内・訪日外国人別 【日帰り・宿泊別】)

名古屋城入場者の属性別の観光消費額

■名古屋城入場者による観光消費額（国内・訪日外国人別、日帰り・宿泊別）

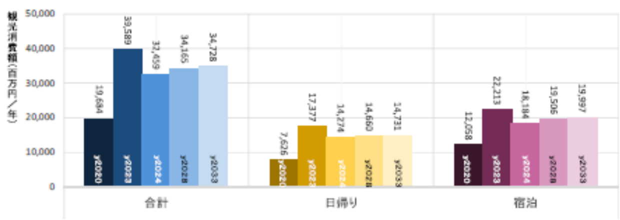


算出年次	y2020	y2023	y2024	y2028（リニア開業翌年）	y2033
	東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点	木造天守閣竣工から10年後時点

観光消費額(日帰り・宿泊別)

名古屋城入場者の属性別の観光消費額

■名古屋城入場者による観光消費額（日帰り・宿泊別）

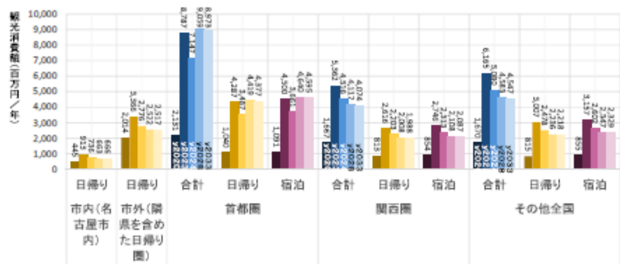


算出年次	y2020	y2023	y2024	y2028（リニア開業翌年）	y2033
	東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点	木造天守閣竣工から10年後時点

観光消費額(国内の居住地別 【日帰り・宿泊別】)

名古屋城入場者の属性別の観光消費額

■名古屋城入場者による観光消費額（国内客の居住地別、日帰り・宿泊別）



算出年次	y2020	y2023	y2024	y2028（リニア開業翌年）	y2033
	東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点	木造天守閣竣工から10年後時点

産業連関表の産業分類との対応整理

観光消費の費目に複数の産業分類に対応することが想定されるものは、既存統計等を活用して発生需要を割り付ける産業部門を設定。

■観光消費原単位の費目と産業連関表の産業分類との整理方針

消費原単位費目	産業連関表の産業分類との対応整理
食事	A-672飲食サービス
交通費	※観光客の居住地属性に応じて、アンケート調査、消費に関する統計から自動車輸送、鉄道輸送など対応する産業分類を別途整理して設定。
土産費	※日本人観光客、訪日外国人観光客に応じて、土産代（買物）の消費費目構成を別統計より整理して設定。
宿泊費	A-671宿泊業
入場料	※日本人観光客、訪日外国人観光客に応じて、入場料（娯楽サービス費）の消費費目構成を別統計より整理して設定。
その他	A-674娯楽サービス

※産業分類名の前の数値は110部門のコード番号を示す。頭文字のアルファベットAは識別文字。

（バックデータ）入場者（日本人）の交通費の構成想定

日本人の交通費の構成は、アンケート調査結果より、以下のとおり整理したものを適用。

■観光消費原単位の費目と産業連関表の産業分類との整理

コード	産業連関表に対応する部門別の利用交通手段の構成比(%)	居住地域 名古屋市	東海（名古屋市を除く）	東海以外
A-571	鉄道輸送	37.9%	47.0%	49.0%
A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）	40.9%	5.4%	10.7%
A-573	自家輸送	21.2%	47.5%	30.1%
A-575	航空輸送	0.0%	0.0%	10.3%
		100.0%	100.0%	100.0%

出典：名古屋市に居住・・・名古屋市「平成28年度名古屋城秋の陣アンケート調査」
名古屋市以外に居住・・・名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」

<備考>

平成28年度 名古屋城秋の陣アンケート調査 の交通手段は、選択肢の設計から、最終の末端交通手段を把握していると考えられるため、そのため、市外や遠方からの来場者の交通手段を把握するサンプルとしては適切ではないと考えられる。

そこで、利用交通手段の設定にあたっては、名古屋市在住者の把握は、平成28年度 名古屋城秋の陣アンケート調査の結果を活用し、東海（名古屋市を除く）、東海以外の居住者については、名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」を用いることとする。

なお、名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」では、名古屋市在住者の利用交通手段の構成は公表されていないため、複数回答結果の名古屋市在住以外の利用交通手段の回答構成比率に基づき、産業連関表に対応する部門別の利用交通手段構成比を整理した。

<（参考）各種アンケート調査結果別の利用交通手段の結果>

【名古屋市に居住】
・・・名古屋市「平成28年度名古屋城秋の陣アンケート調査」

利用交通手段構成(%)	居住地域 名古屋市居住者	コード	産業連関表の部門対応（110部門）	※複数部門に該当する場合は折半
地下鉄・バス	65.57%	A-571	鉄道輸送	A-572 道路輸送（自家輸送を除く。）
メーグル	2.63%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）	
自家用車	18.00%	A-573	自家輸送	
観光バス	0.00%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）	
バイク	0.00%	A-573	自家輸送	
自転車	4.65%	該当部門なし	交通費支出が発生しない想定	
徒歩	5.10%	該当部門なし	交通費支出が発生しない想定	
その他	1.45%	該当部門なし	交通費支出が発生しない想定	
	100.0%			

利用交通手段構成の出典
：名古屋市に居住・・・名古屋市「平成28年度名古屋城秋の陣アンケート調査」

【名古屋市以外に居住】
・・・名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」

利用交通手段構成(%) ※複数回答	居住地域 東海（名古屋市を除く）居住者	東海以外の居住者	コード	産業連関表の部門対応（110部門）
JR	18.2%	43.2%	A-571	鉄道輸送
名鉄電車	24.5%	1.7%	A-571	鉄道輸送
近鉄電車	4.2%	4.8%	A-571	鉄道輸送
自家用車	48.6%	33.4%	A-573	自家輸送
航空機	0%	10.4%	A-575	航空輸送
高速バス	1.4%	3.5%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）
観光バス	4.2%	2.2%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）
不明	1.2%	2.9%	該当部門なし	交通費支出が発生しない想定
合計	102.2%	104.0%		

東海とは、愛知県（名古屋市除く、岐阜県、三重県、静岡県）

利用交通手段構成の出典
：名古屋市以外に居住・・・名古屋市観光文化交流局「名古屋市観光客・宿泊動向調査（平成28年度）」

（バックデータ）入場者（日本人）の土産代の構成想定

日本人の土産代の消費構成の詳細は、統計データより、以下のとおり整理したものを適用。

■日本人の土産・買物代の構成比率

平均消費単価（円／人）は、旅行者数で消費額を除して算出。

平均消費単価(概念) 単価：円／人		観光・レクリエーション 宿泊旅行 単価	構成	日帰り旅行 単価	構成	産業連関表のコード対応（110部門）（複数の産業部門に該当するものは均等に配分。）			
土産・買物代		6,425	100.0%	3,317	100.0%				
	農産物	351	5.5%	281	8.5%	A-011	耕種農業		
	農産加工品	252	3.9%	144	4.3%	A-111	食料品		
	水産物	427	6.6%	194	5.9%	A-017	漁業		
	水産加工品	406	6.3%	168	5.1%	A-111	食料品		
	菓子類	2,353	36.6%	902	27.2%	A-111	食料品		
	その他の食料品	1,115	17.4%	583	17.6%	A-112	飲料		
	繊維製品	548	8.5%	483	14.6%	A-152	衣服・その他の繊維既製品		
	靴・カバン類	320	5.0%	129	3.9%	A-231	なめし革・毛皮・同製品		
	陶磁器・ガラス製品	127	2.0%	84	2.5%	A-251	ガラス・ガラス製品	A-253	陶磁器
	出版物	49	0.8%	57	1.7%	A-591	通信		
	木製品・紙製品	73	1.1%	63	1.9%	A-161	木材・木製品	A-164	紙加工品
	医薬品・化粧品	70	1.1%	24	0.7%	A-207	医薬品	A-208	化学最終製品（医薬品を除く。）
	フィルム	6	0.1%	4	0.1%	A-208	化学最終製品（医薬品を除く。）		
	電気機器・関連商品	16	0.3%	8	0.2%	A-332	民生用電気機器		
	カメラ・眼鏡・時計	11	0.2%	8	0.2%	A-332	民生用電気機器	A-391	その他の製造工業製品
	その他の製造品	299	4.6%	185	5.6%	A-391	その他の製造工業製品		

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016年確報）」

（バックデータ）入場者（日本人）の娯楽サービス費の構成想定

日本人の娯楽サービス費の消費構成の詳細は、統計データより、以下のとおり整理したものを適用。

■日本人の入場料・娯楽費・その他（娯楽サービス費）の構成比率

	観光・レクリエーション旅行消費額（百万円） 宿泊旅行	日帰り旅行	構成比率 宿泊旅行	日帰り旅行	産業連関表の産業分類（110部門）との対応	
入場料・娯楽費・その他	510,525	373,950	100%	100%		
立寄温泉・温浴施設・エステ	38,799	33,697	7.2%	9.0%	A-673	洗濯・理容・美容・浴場業
遊園地・博覧会	173,685	108,763	34.0%	29.1%	A-674	娯楽サービス
美術館・博物館・動植物園・水族館	68,985	43,072	13.5%	11.5%	A-631	教育
スポーツ施設	41,662	62,551	8.2%	16.7%	A-674	娯楽サービス
スキー場リフト代	14,111	11,040	2.8%	3.0%	A-674	娯楽サービス
キャンプ場 1)	…	1,228	–	0.3%	A-671	宿泊業
スポーツ観戦・芸術鑑賞	61,450	63,444	12.0%	17.0%	A-674	娯楽サービス
展示会・コンベンション参加費	6,991	9,691	1.4%	2.6%	A-669	その他の対事業所サービス
観光農園	3,552	6,605	0.7%	1.8%	A-011	耕種農業
遊漁船	13,856	8,856	2.7%	2.4%	A-674	娯楽サービス
ガイド料	26,364	2,274	5.2%	0.6%	A-578	運輸附帯サービス
レンタル料	10,204	6,212	2.0%	1.7%	A-661	物品賃貸サービス
マッサージ	16,621	1,887	3.3%	0.5%	A-641	医療
写真撮影代	7,527	4,042	1.5%	1.1%	A-679	その他の対個人サービス
郵便・通信料	733	165	0.1%	0.04%	A-579	郵便・信書便
宅配便	16,956	1,852	3.3%	0.5%	A-572	道路輸送（自家輸送を除く。）
その他	11,031	8,569	2.2%	2.3%	A-674	娯楽サービス

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査（2016年確報）」

参考
旅行者数で消費額を除した平均消費単価（円／人）

宿泊旅行 単価	日帰り旅行 単価
2,890	1,751
208	181
983	521
390	206
236	300
80	53
0	6
348	304
40	46
20	32
78	42
149	11
58	30
94	9
43	19
4	1
96	9
62	41

（バックデータ）訪日外国人の消費構成の設定

訪日外国人消費動向調査より、観光消費の内容に基づき大項目での比率を把握。また、産業連関分析の産業分類との対応は以下にて設定。

■日本人の入場料・娯楽費・その他（娯楽サービス費）の構成比率

訪日外国人【観光・レジャー目的】	消費費目（大項目）	（小項目）	大項目別の平均消費単価の構成比 宿泊料金を含む	大項目別の平均消費単価の構成比 宿泊料金を含まない	平均消費単価（円／人）※購入率×購入者単価	（各大項目内における小項目の構成比）		産業連関表のコード対応（110部門）（複数の産業部門に該当するものは均等に配分。）		
日本滞在中の費目別支出 1）	宿泊料金		21%		23,706			A=071 宿泊業		
	飲食費		17%	31%	20,888			A=072 飲食サービス		
	交通費		10%	12%	12,153					
		航空（日本国内移動）			600	5%	100%	A=075 航空輸送		
		Japan Rail Pass			2,920	24%		A=071 鉄道輸送		
		鉄道・新幹線・地下鉄・モノレール			5,800	48%		A=071 鉄道輸送		
		バス・タクシー			1,400	12%		A=072 道路輸送（自家輸送を除く）		
		レンタカー			1,190	10%		A=081 物品賃貸サービス		
		その他交通費			179	1%		A=079 運輸附帯サービス		
	娯楽サービス費		3%	4%	3,830					
		旅行ツアー・観光ガイド			507	10%	100%	A=079 運輸附帯サービス		
		ゴルフ場・テーマパーク			1,377	36%		A=074 娯楽サービス		
		舞台鑑賞・スポーツ観戦			221	6%		A=074 娯楽サービス		
		美術館・博物館・動物園・水族館			813	21%		A=031 教育		
		スキーリフト・スキー用品レンタル			421	11%		A=081 物品賃貸サービス		
		その他娯楽サービス費			290	8%		A=074 娯楽サービス		
	買物代		49%	57%	61,179					
		菓子類			5,378	9%	100%	A=111 食料品		
		その他食料品・飲料・酒・たばこ			6,314	10%		A=111 食料品	A=112 飲料	A=114 たばこ
		カメラ・ビデオカメラ・時計			3,211	5%		A=332 民生用電気機器	A=391 その他の製造工業製品	
		電気製品			4,799	8%		A=332 民生用電気機器		
		化粧品・香水			13,198	22%		A=209 化学最終製品（医薬品を除く）		
		医薬品・健康グッズ・トイレタリー			10,790	18%		A=207 医薬品		
		和服（着物）・民芸品			1,372	2%		A=152 衣服・その他の繊維既製品		
		服（和服以外）・かばん・靴			12,350	20%		A=152 衣服・その他の繊維既製品	A=231 なめし革・革製品・毛皮	
		マンガ・アニメ・キャラクター関連商品			1,474	2%		A=391 その他の製造工業製品		
		書籍・絵葉書・CD・DVD			909	1%		A=391 その他の製造工業製品	A=591 通信	
		その他買物代			1,979	3%		A=681 事務用品		
	その他		0.1%	0.1%	93			A=674 娯楽サービス		
			100%	100%	123,920					

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2016年確報）」

MUFG

経済波及効果　算出結果

天守閣木造復元の建設工事（505億円）に伴う生産誘発額は、871億円。（直接効果、間接第1次波及効果、間接第2次波及効果の合算）

名古屋城への来場者消費に伴う生産誘発額は、入場者数ピーク時の木造天守閣竣工時（2023年）に478億円。その翌年の2024年には入場者数の反動減により減少するが、リニア開業翌年の2028年は首都圏からの入場者の増加、訪日外国人の増加により生産誘発額は増加。

■建設工事（天守閣木造復元）に伴う経済波及効果

金額（百万円）		工事全体
最終需要額		50,500
生産誘発	直接効果	50,500
	間接第1次波及効果	20,338
	間接第2次波及効果	16,308
	総合効果	87,146
粗付加価値誘発	直接効果	22,345
	間接第1次波及効果	10,484
	間接第2次波及効果	9,938
	総合効果	42,766

■名古屋城への来場者消費に伴う経済波及効果

金額（百万円）		東京オリンピック・パラリンピック開催年	木造天守閣竣工時	木造天守閣竣工の翌年	木造天守閣竣工から5年後時点（リニア開業翌年）	木造天守閣竣工から10年後時点
算定年次		y2020	y2023	y2024	y2028	y2033
最終需要額		19,684	39,589	32,459	34,165	34,728
生産誘発	直接効果	13,377	27,983	22,955	24,073	24,398
	間接第1次波及効果	5,605	11,769	9,656	10,124	10,258
	間接第2次波及効果	3,936	8,086	6,632	6,964	7,068
	総合効果	22,917	47,839	39,242	41,161	41,723
粗付加価値誘発	直接効果	7,080	14,684	12,044	12,637	12,815
	間接第1次波及効果	2,748	5,767	4,731	4,961	5,027
	間接第2次波及効果	2,398	4,928	4,041	4,244	4,307
	総合効果	12,226	25,379	20,817	21,842	22,149
参考　名古屋城入場者数（推計）千人／年		1,760	3,818	3,132	3,231	3,260

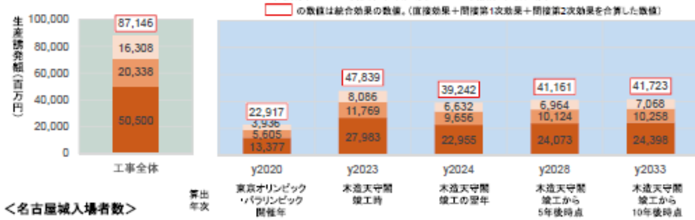
＜備考＞
・購入者価格から生産者価格に変換するマージン率は、総務省「平成23年全国産業連関表」から算出するマージン率を適用。
・雇用者所得のうち、消費に向けられる割合は、総務省「家計調査（総世帯のうち勤労者世帯　平均消費性向・東海」より、平成19年～平成28年の10期間平均である0.717を採用。

MUFG

経済波及効果　算出結果

■生産誘発効果

＜建設工事（天守閣木造復元）に伴う経済波及効果＞　＜名古屋城への来場者消費に伴う経済波及効果＞



＜名古屋城入場者数＞

算出年次	y2020	y2023	y2024	y2028	y2033
名古屋城　入場者数（単位：人）	1,760,015	3,818,338	3,131,962	3,231,056	3,260,456
市内（名古屋市内）	153,093	314,149	253,257	228,262	229,102
市外（県内を含めた日帰り圏）	324,289	541,884	446,979	405,074	405,202
広域（首都圏、関西圏、その他）	543,649	2,019,752	1,664,747	1,765,853	1,749,230
首都圏	211,887	873,661	710,622	900,896	892,088
関西圏	165,736	533,156	449,012	409,284	405,088
その他全国	166,025	612,935	505,114	455,674	452,055
訪日外国人	738,985	942,572	766,978	830,867	876,923

MUFG

第1回

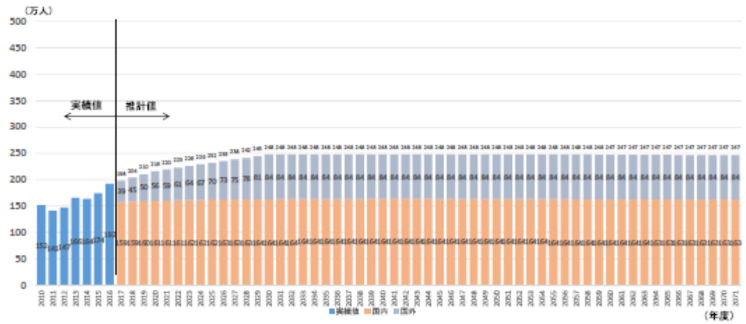
入場者数見込みの第1回懇談会時と今回の違い

補足資料

1．名古屋城入場者母数の推計

名古屋市への交流人口（観光）の推移から、木造復元や他の要因（リニア開業等）がない場合の名古屋城入場者数は、約198万～247万人で推移すると推計。

国内は2041年をピークに減少。国外は2030年まで増加。2030年以降は一定で推移。

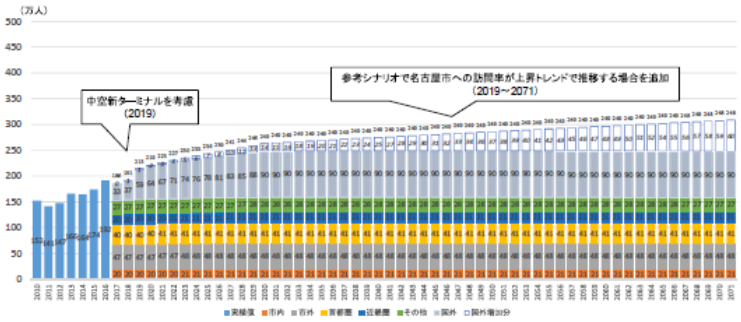


MUFG

今回

2. 名古屋城入場者母数の推計

名古屋城入場者母数とは、2015年の来場者アンケート調査に基づく訪問者の地域別構成比をベースとし、圏内は「経済成長率」と「人口減少」、圏外は「訪日外客数」と「訪問率」を加味したもの（木造復元の効果は含まない）



1 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

77

今回

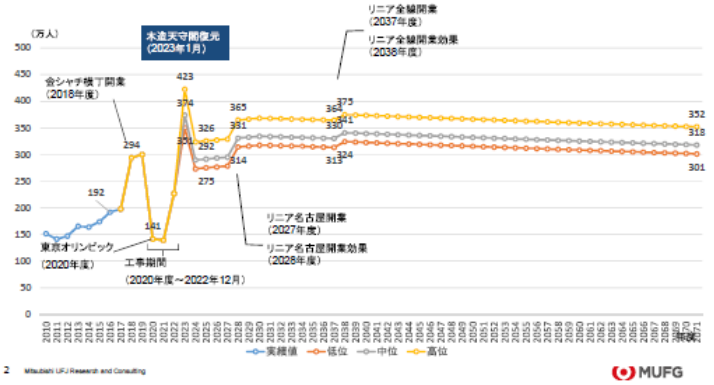
3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果

3 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

79

第1回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果

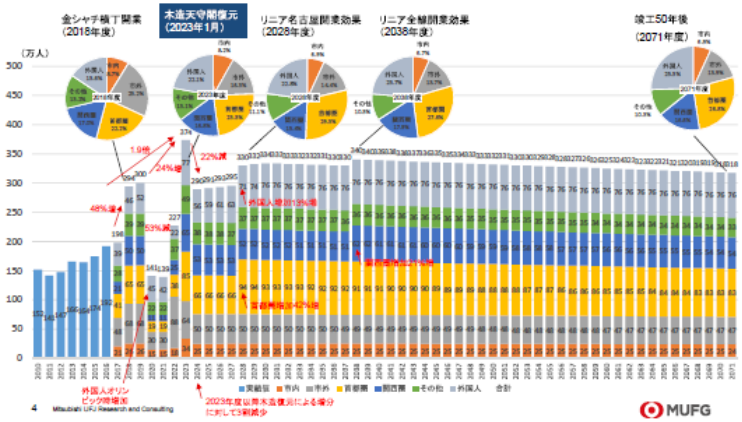


2 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

78

第1回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（基本シナリオ）



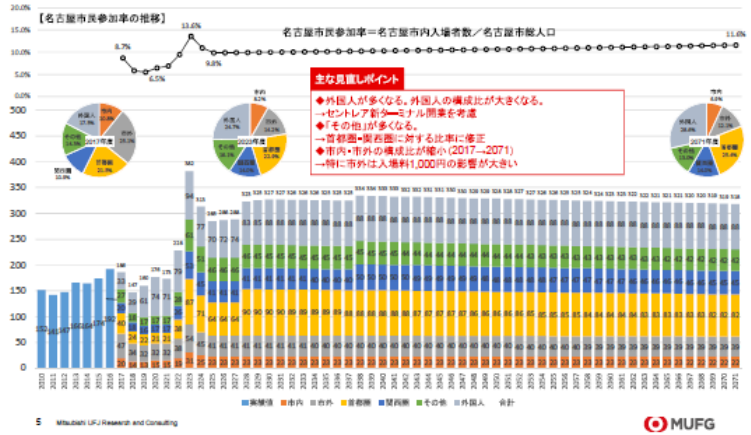
4 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

80

今回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（基本）

基本シナリオ
新規＋リピート



5 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

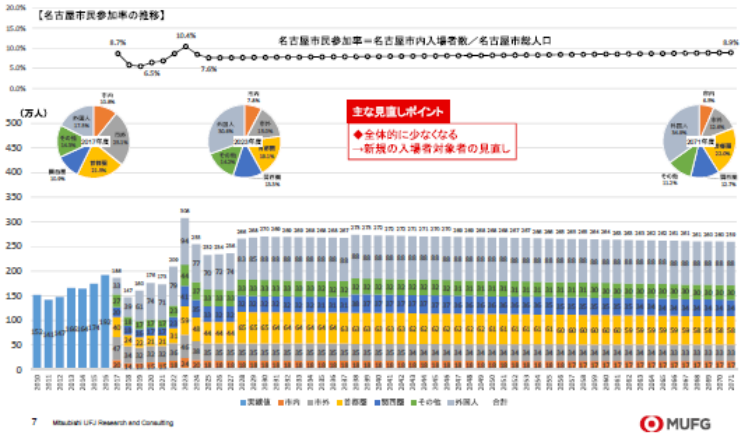
MUFG

81

今回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（低位シナリオ）

低位シナリオ
新規のみ



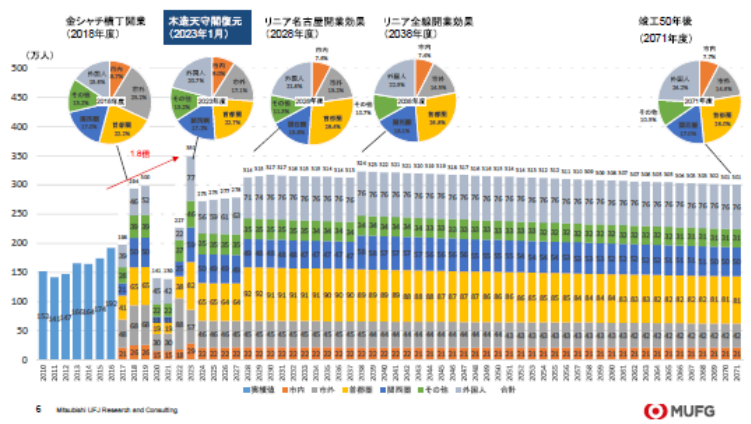
7 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

83

第1回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（低位シナリオ）



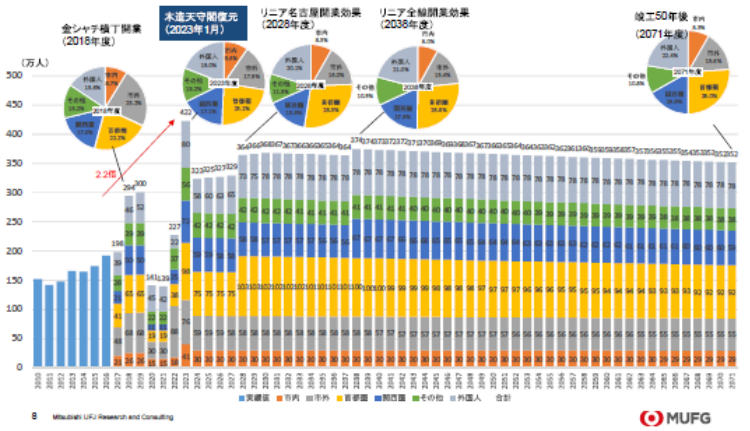
6 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

82

第1回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（高位シナリオ）



8 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

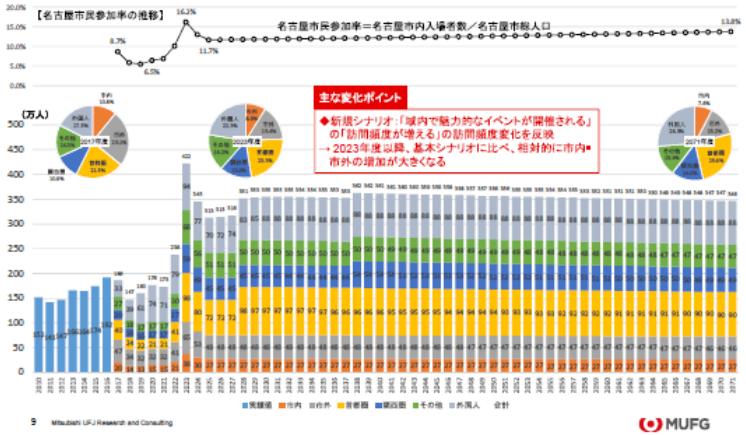
MUFG

84

今回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（高位A）

高位Aシナリオ
基本＋イベント



9 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

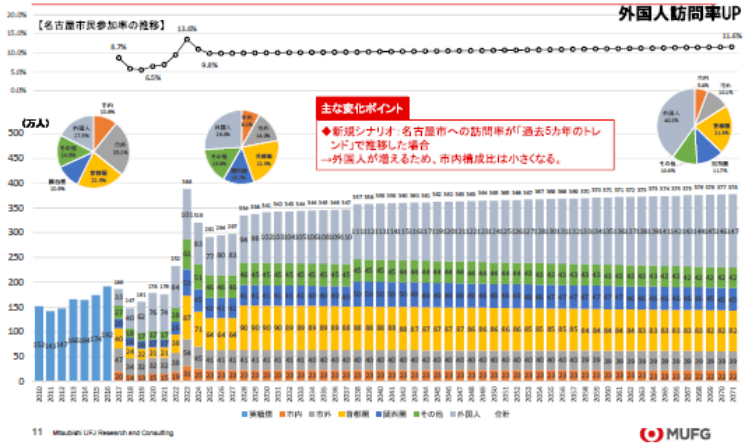
MUFG

85

今回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（参考）

参考シナリオ
外国人訪問率UP



11 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

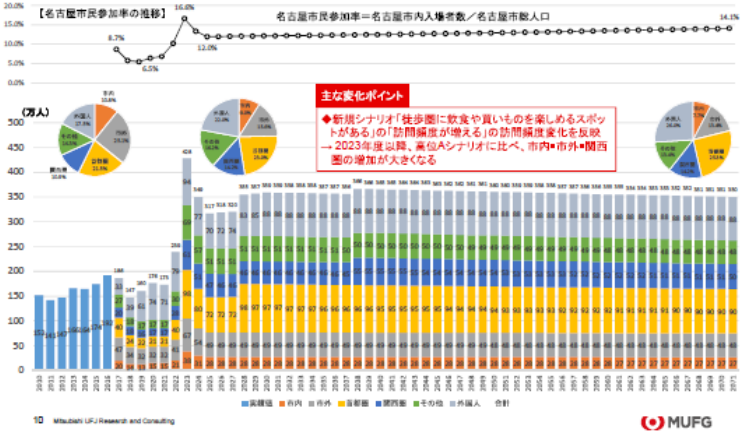
MUFG

87

今回

3. シナリオ別名古屋城入場者数の推計結果（高位B）

高位Bシナリオ
基本＋飲食・買い物



10 Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

86